

地域福祉の推進に向けた
青森県民の意識に関するアンケート調査
結果報告書

令和7年9月

青森県 健康医療福祉部 健康医療福祉政策課

目 次

調査概要	1
調査結果	
1 回答者の属性（問 1～問 4）	3
2 地域とのかかわりについて（問 5～問 6）	1 0
3 地域の支え合いについて（問 7～問 11）	3 5
4 ボランティア活動について（問 12）	9 4
5 様々な相談窓口について（問 13）	1 0 0
6 福祉に関する情報と今後の地域福祉のあり方について（問 14～問 17）	1 0 7
調査票	1 3 9

調査概要

1 調査の目的

青森県地域福祉支援計画を策定するための基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査の対象等

- ・調査実施地域 青森県全域
- ・調査対象 県内在住の20歳以上の県民
- ・調査数 2,000人
- ・抽出方法 住民基本台帳による無作為抽出

市町村名	人口	抽出数
青森市	265,518	444
東津軽郡	19,568	33
東青地域	285,086	477
弘前市	160,473	268
黒石市	30,687	51
平川市	29,512	49
中津軽郡・南津軽郡＋板柳町	43,557	73
中南地域	264,229	441
五所川原市	50,140	84
つがる市	29,121	49
西津軽郡・北津軽郡(板柳町を除く)	36,794	62
西北地域	116,055	195
十和田市	57,814	97
三沢市	37,475	63
上北郡(おいらせ町を除く)	66,703	112
上北地域	161,992	272
八戸市	216,434	362
三戸郡＋おいらせ町	85,419	143
三八地域	301,853	505
むつ市	52,031	87
下北郡	13,621	23
下北地域	65,652	110
合計	1,194,867	2,000
市部	929,205	1,554
郡部	265,662	446

3 調査方法

調査対象者へ調査票を郵送し、ウェブ回答とした。

4 調査実施期間

令和6年10月2日～10月21日

5 回収結果

有効回答数 454 (回収率 22.7%)

6 参考掲載

類似の全国調査の結果を参考として掲載しています。

(1) 出典

「人々のつながりに関する基礎調査（令和5年）」調査結果の概要

令和6年3月 内閣官房孤独・孤立対策担当室

https://www.cao.go.jp/kodoku_koritsu/torikumi/zenkokuchousa/r5/pdf/tyosakekka_gaiyo.pdf

(2) 本報告書での掲載ページ

37 ページ（問7 関係）、47 ページ（問8 関係）、50 ページ（問8-1 関係）

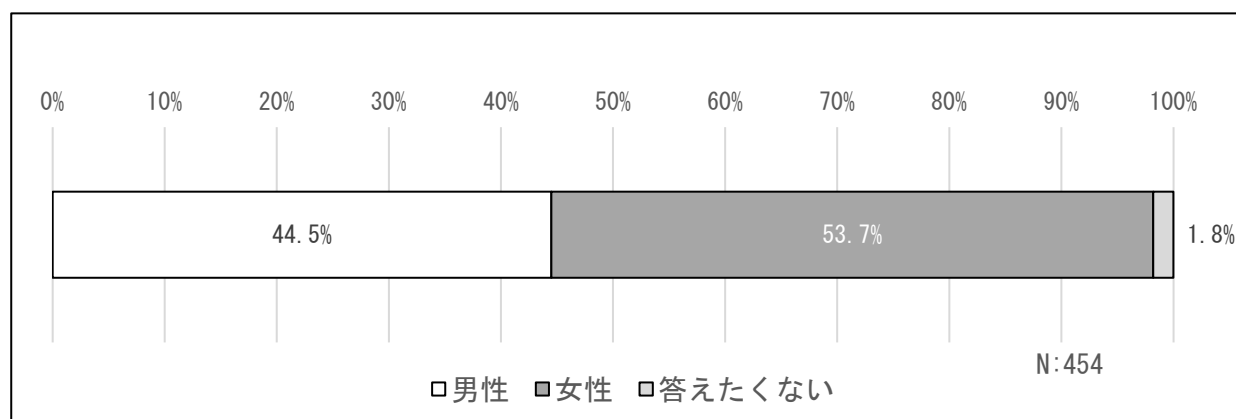
56 ページ（問9 関係）、61 ページ（問7×問9 関係）、62 ページ（問8×問9 関係）

調査結果

1 回答者の属性

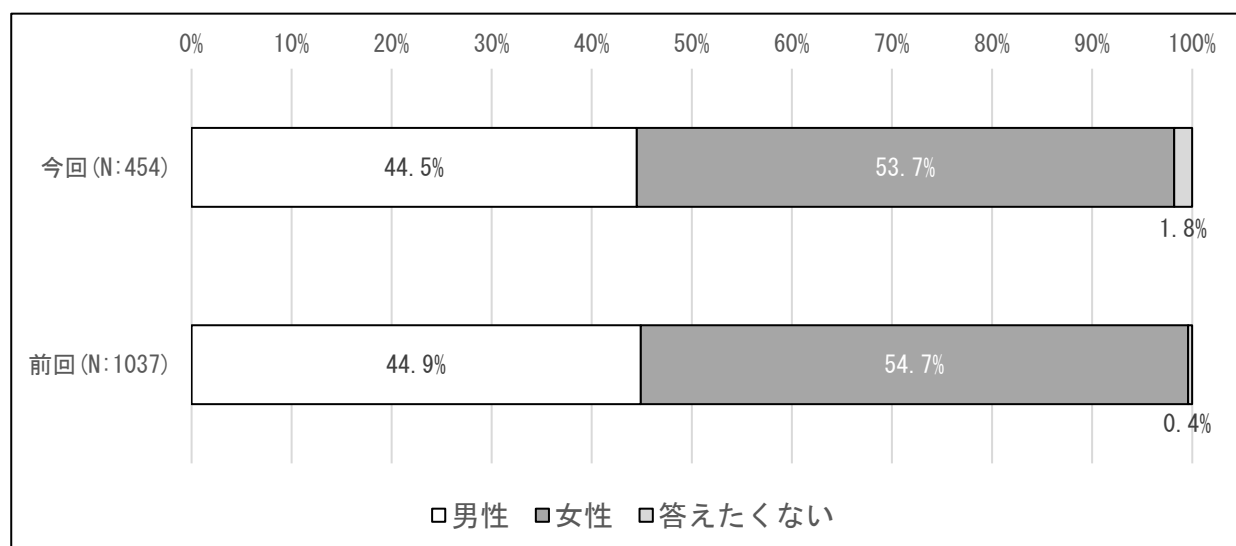
問1 あなたの性別をお答えください。（1つ）

・回答者の性別



男性が 44.5%、女性が 53.7%である。無回答は 1.8%（8 件）である。

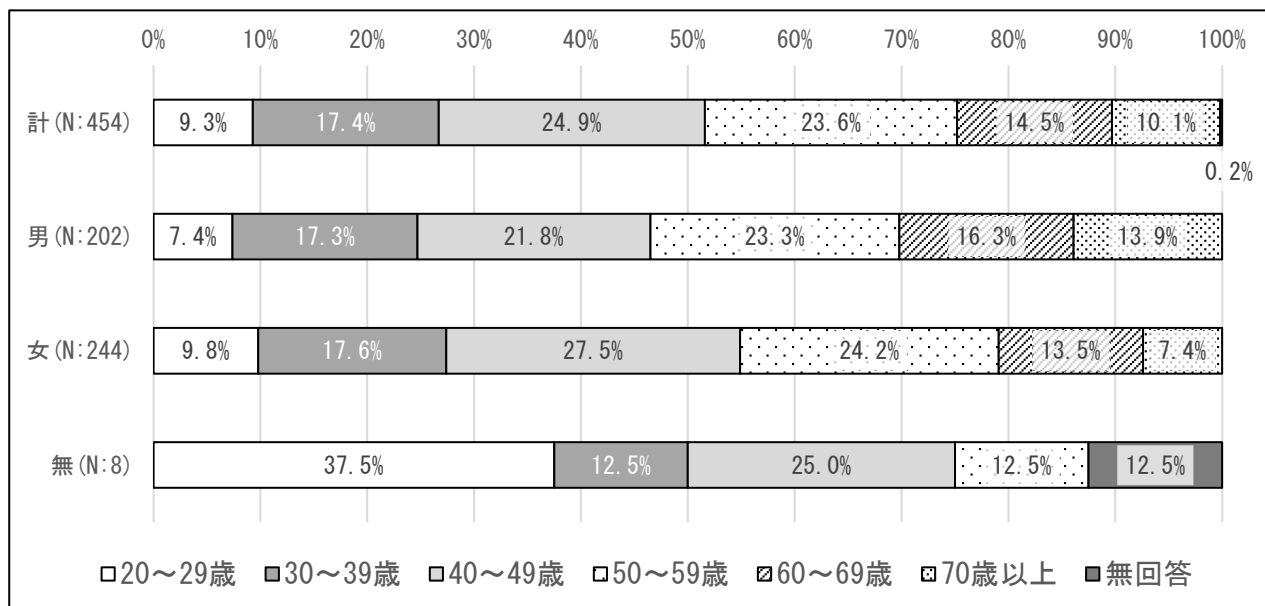
【前回との比較】



男性、女性ともに前回とほぼ同じ割合である。

問2 あなたの年齢をお答えください。（令和6年10月現在）

・回答者の年齢

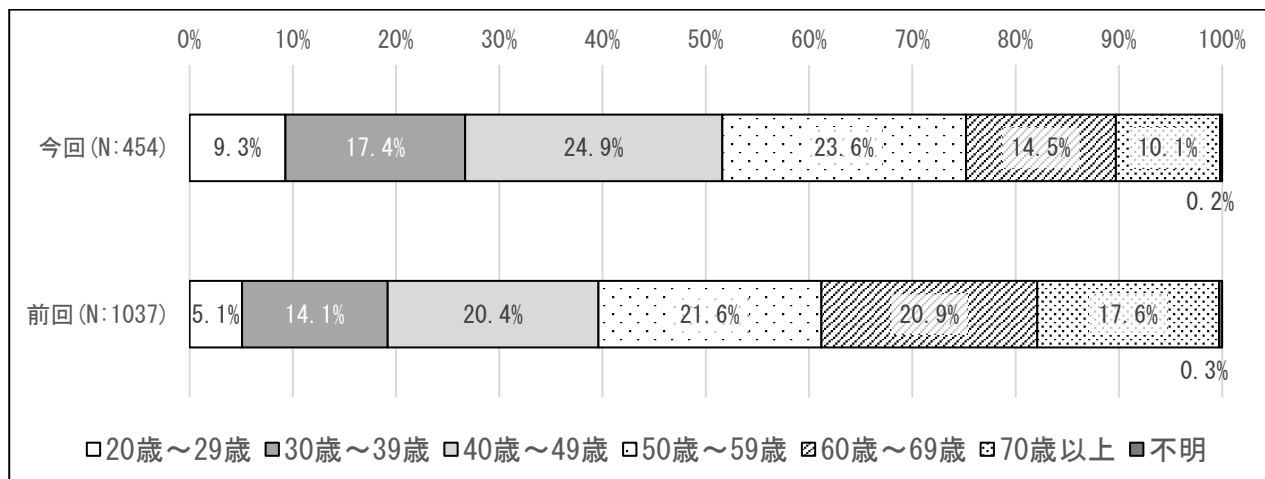


「20代」が9.3%、「30代」が17.4%、「40代」が24.9%、「50代」が23.6%、「60代」が14.5%、「70歳以上」が10.1%となっている。

【男女別・年代別】

男性、女性ともに40代、50代の割合が高い。男性は女性と比較すると70歳以上の割合が高い。

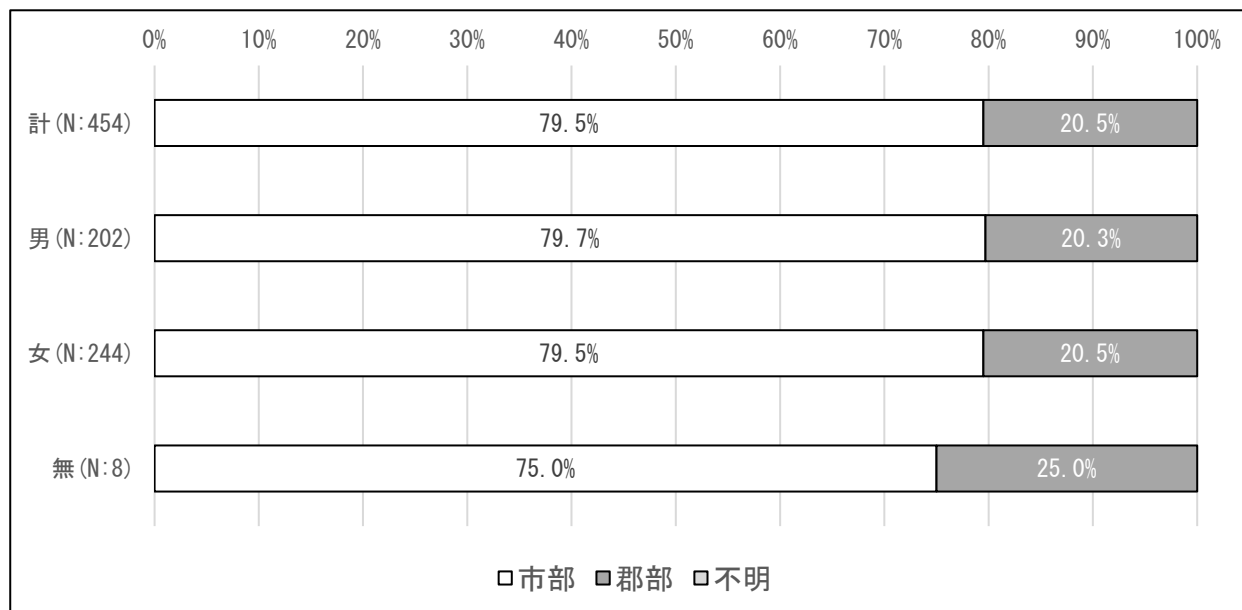
【前回との比較】



「50代」以下の年代において前回より割合が高くなっている。一方で、「60代」以上の割合は低くなっている。

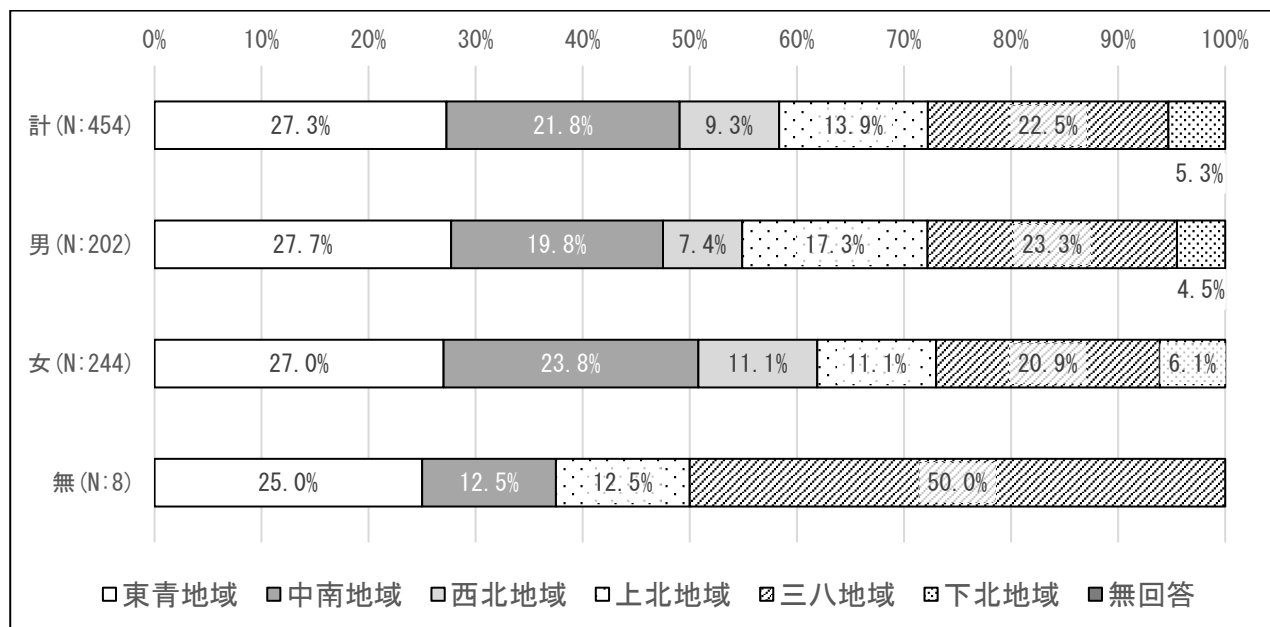
問3 あなたがお住まいの市町村をお答えください。

【市部・郡部別】



「市部」と「郡部」の比率は8:2となっている。男女別では、「市部」「郡部」で大きな違いは見られない。

【男女別・地域別】

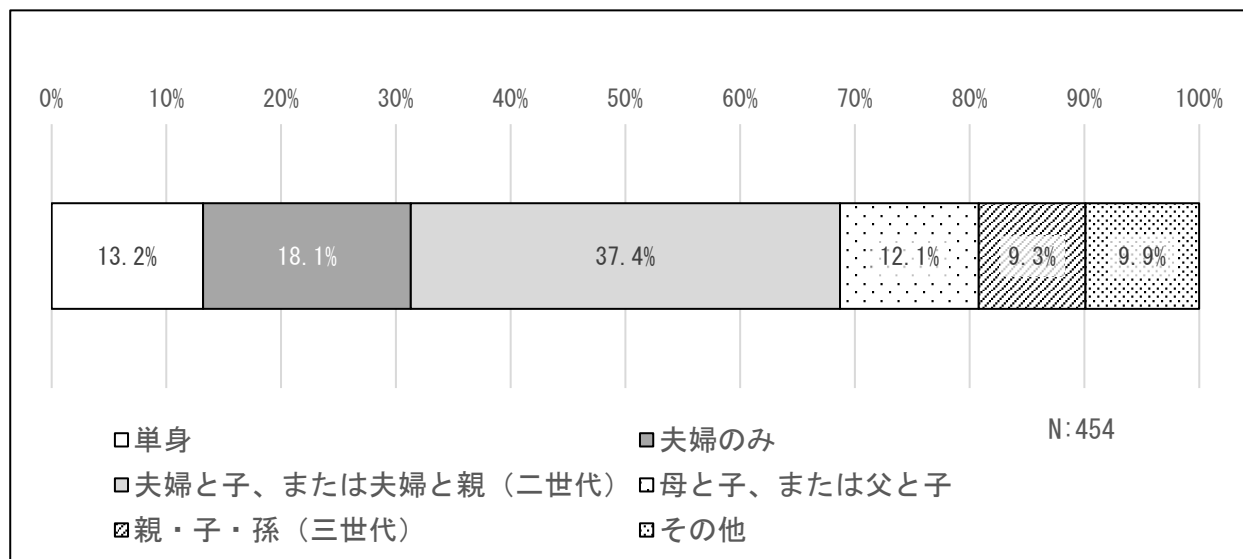


居住地域は、割合が高い順に、「東青地域」が27.3%、「三八地域」が22.5%、「中南地域」が21.8%、「上北地域」が13.9%、「西北地域」が9.3%、「下北地域」が5.3%となっている。

男女別では、「東青地域」が男女ともに27%台と最も高く、次いで女性は「中南地域」、「三八地域」の順、男性は「三八地域」、「中南地域」の順となっている。

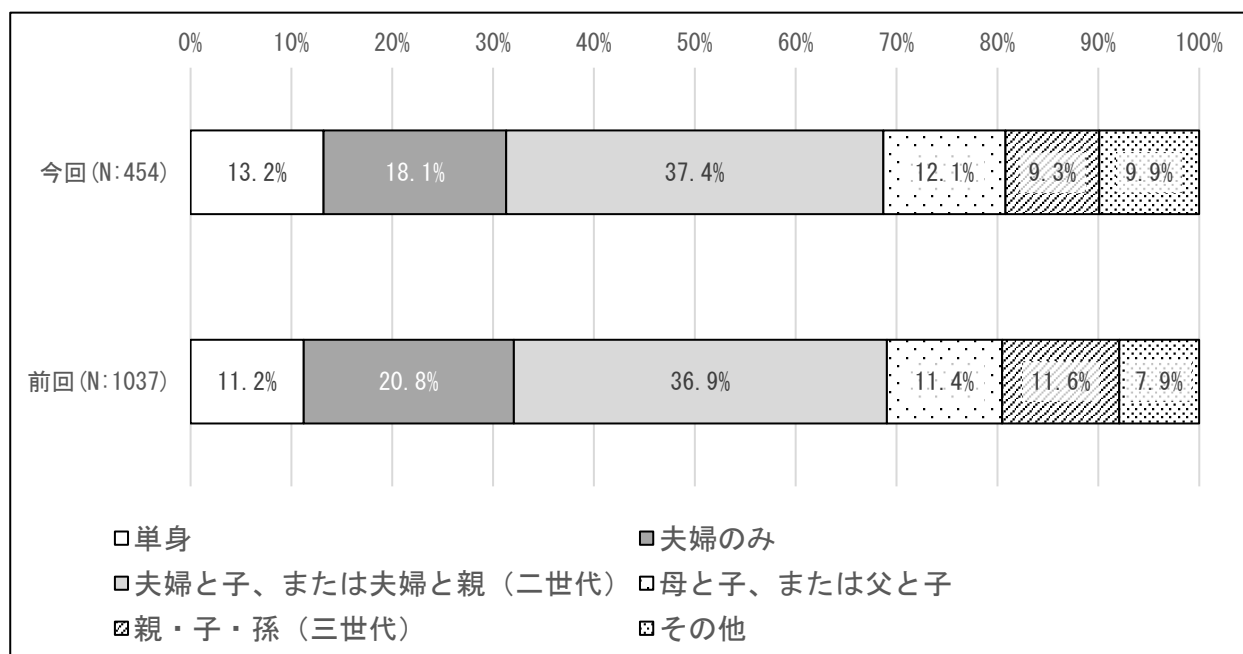
問4 あなたは現在、どのような家族構成で暮らしていますか。（1つ）

・家族構成



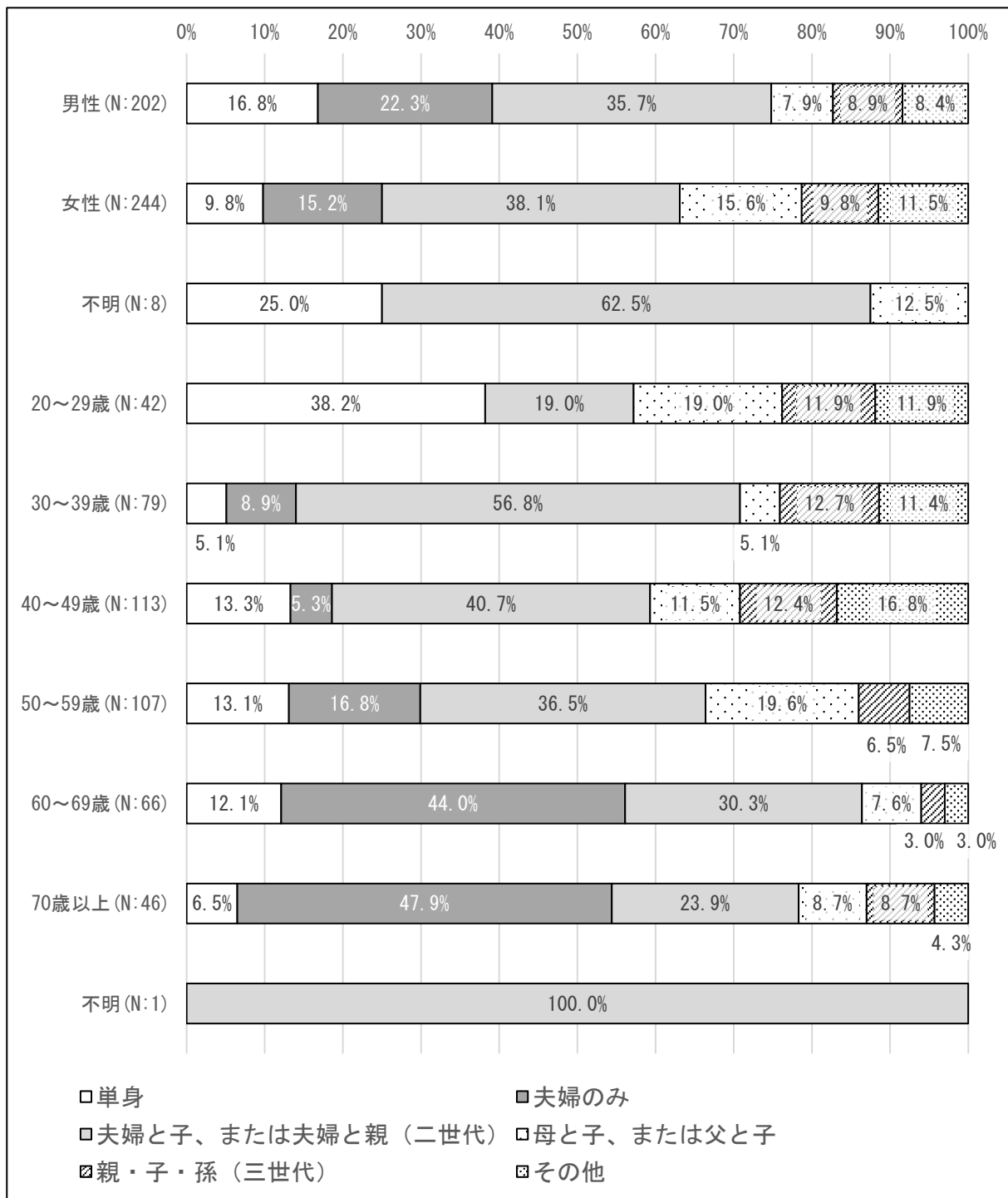
「夫婦と子、または夫婦と親（二世代）」が37.4%と最も高く、次いで「夫婦のみ」が18.1%、「単身」が13.2%、「母と子、または父と子」が12.1%、「親・子・孫（三世代）」と「その他」がほぼ同率の9%台の順となっている。

【前回との比較】



前回と同様に「夫婦と子、または夫婦と親（二世代）」が最も高く、次いで「夫婦のみ」となっている。

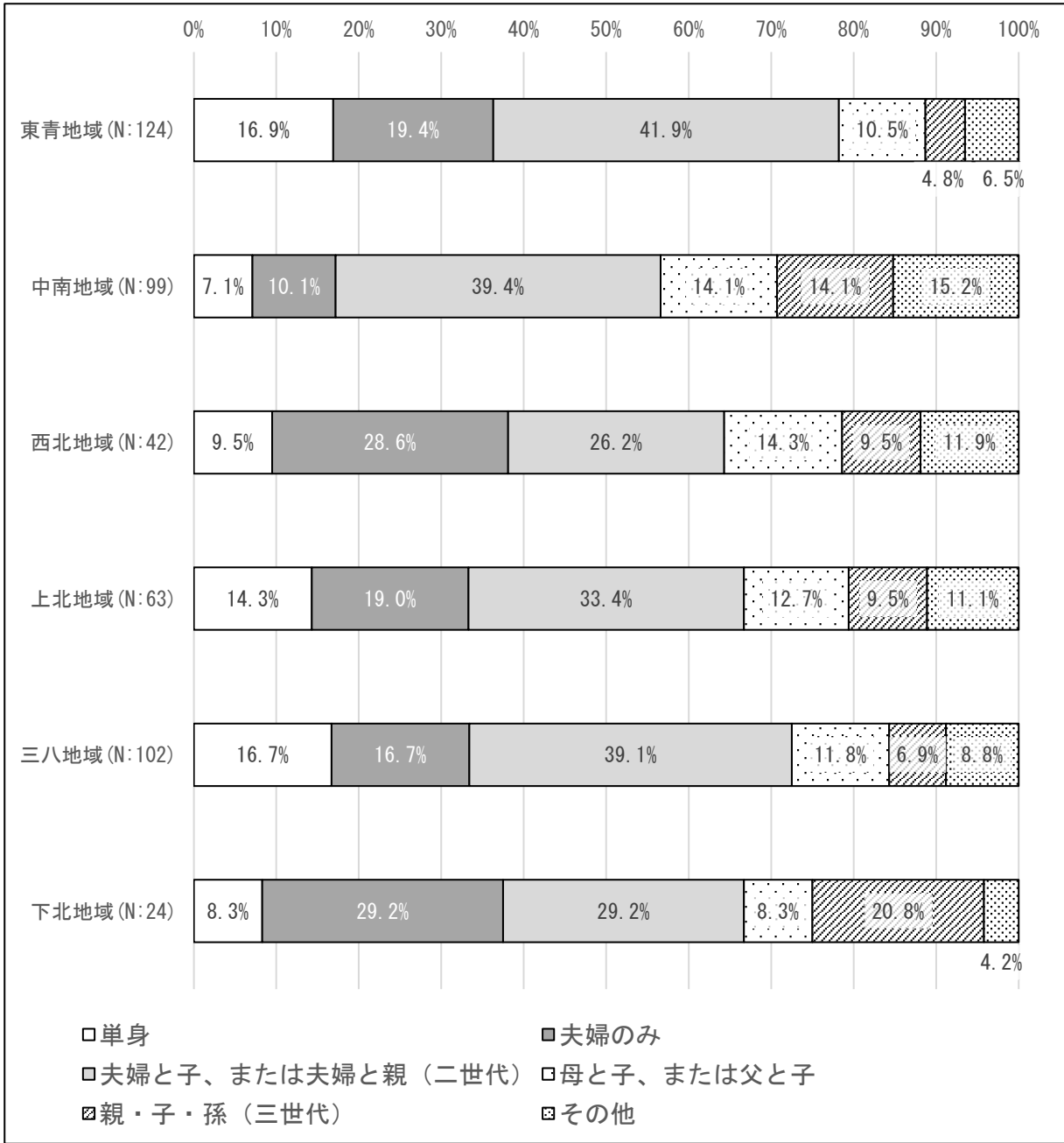
【男女別・年代別】



男女ともに「夫婦と子、または夫婦と親（二世代）」が最も高い。

年代別に見ると、「20代」は「単身」が他年代と比べて高く、「60代」以上は「夫婦のみ」が他年代と比べて高くなっている。

【地域別】

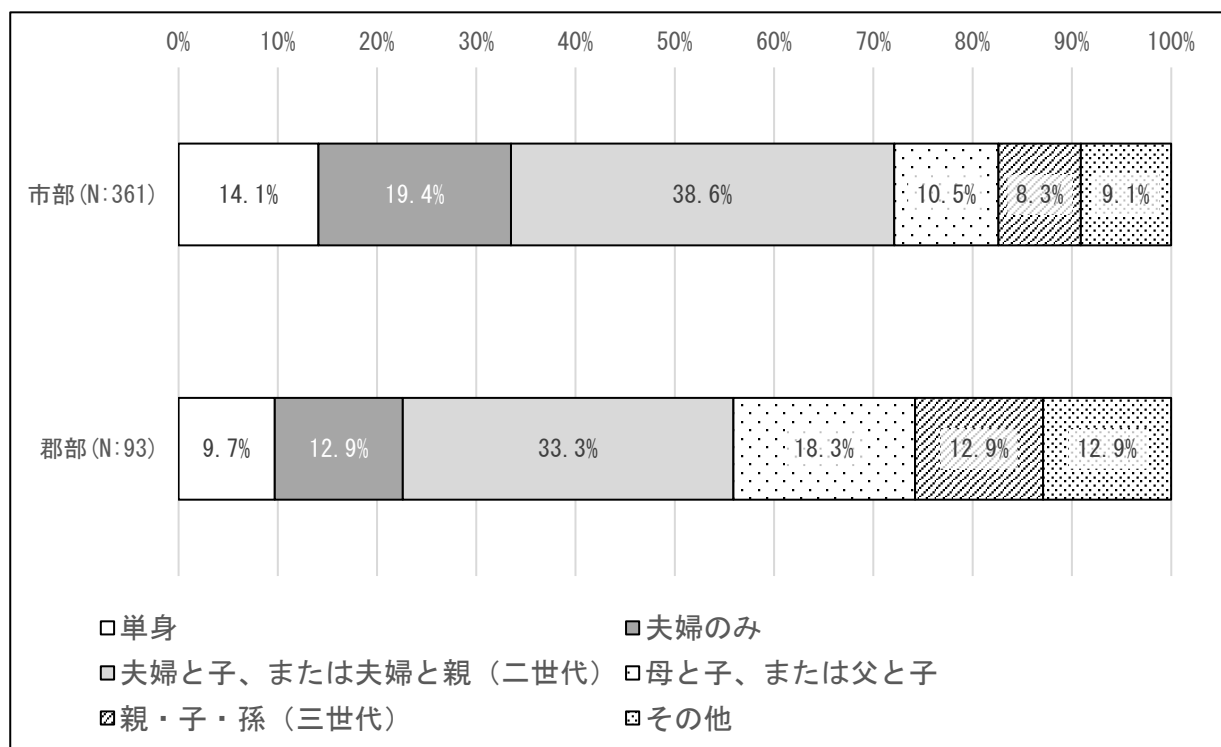


「東青地域」、「中南地域」、「三八地域」は「夫婦と子、または夫婦と親（二世帯）」が他地域と比べて高くなっている。

「西北地域」、「下北地域」は「夫婦のみ」が他地域と比べて高くなっている。

また、「下北地域」は「親・子・孫（三世代）」が他地域と比べて高い。

【市部・郡部別】

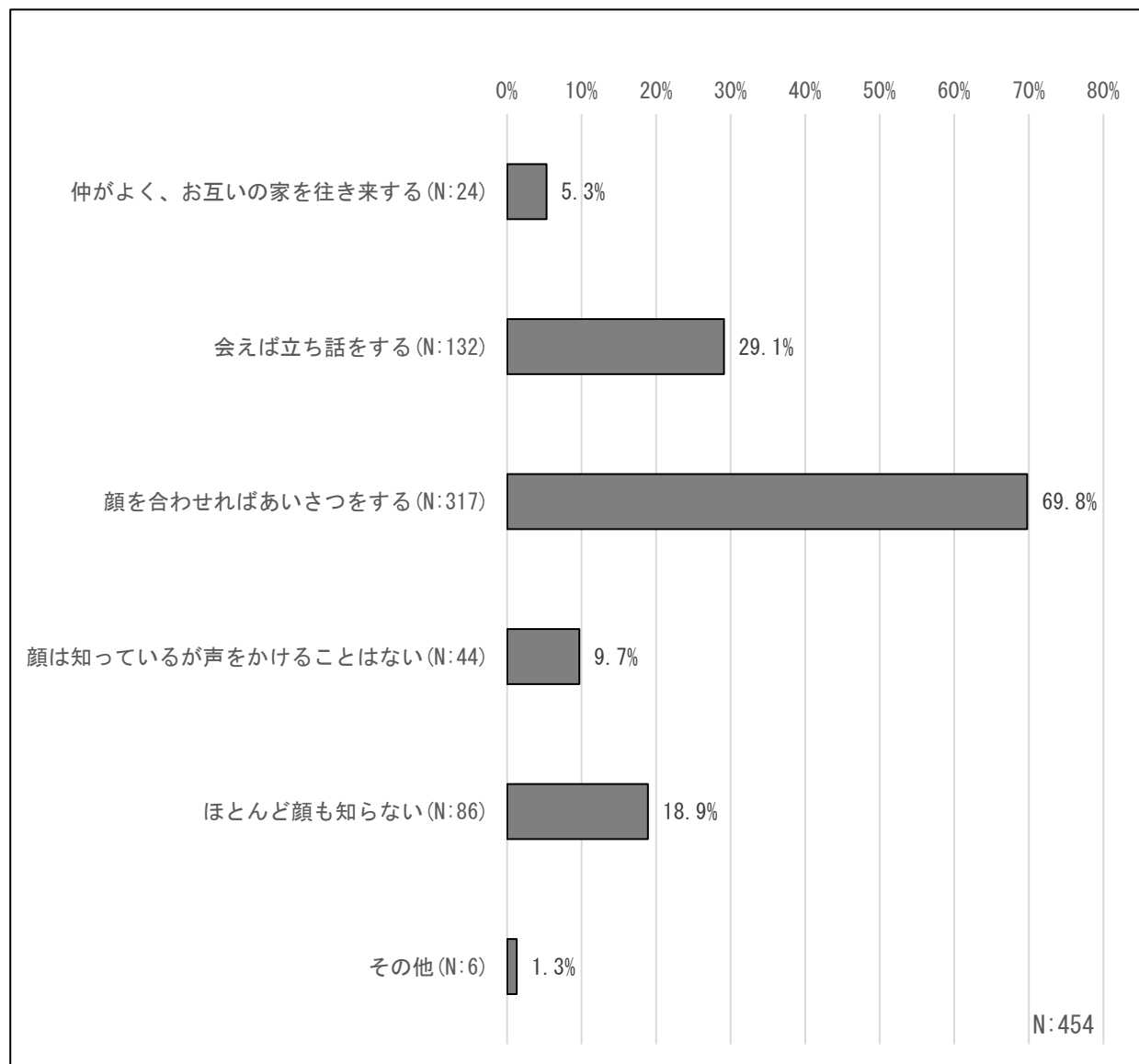


「市部」、「郡部」とともに「夫婦と子、または夫婦と親（二世帯）」が最も高く、次いで「市部」は「夫婦のみ」、「郡部」は「母と子、または父と子」の順となっている。

2 地域とのかかわりについて

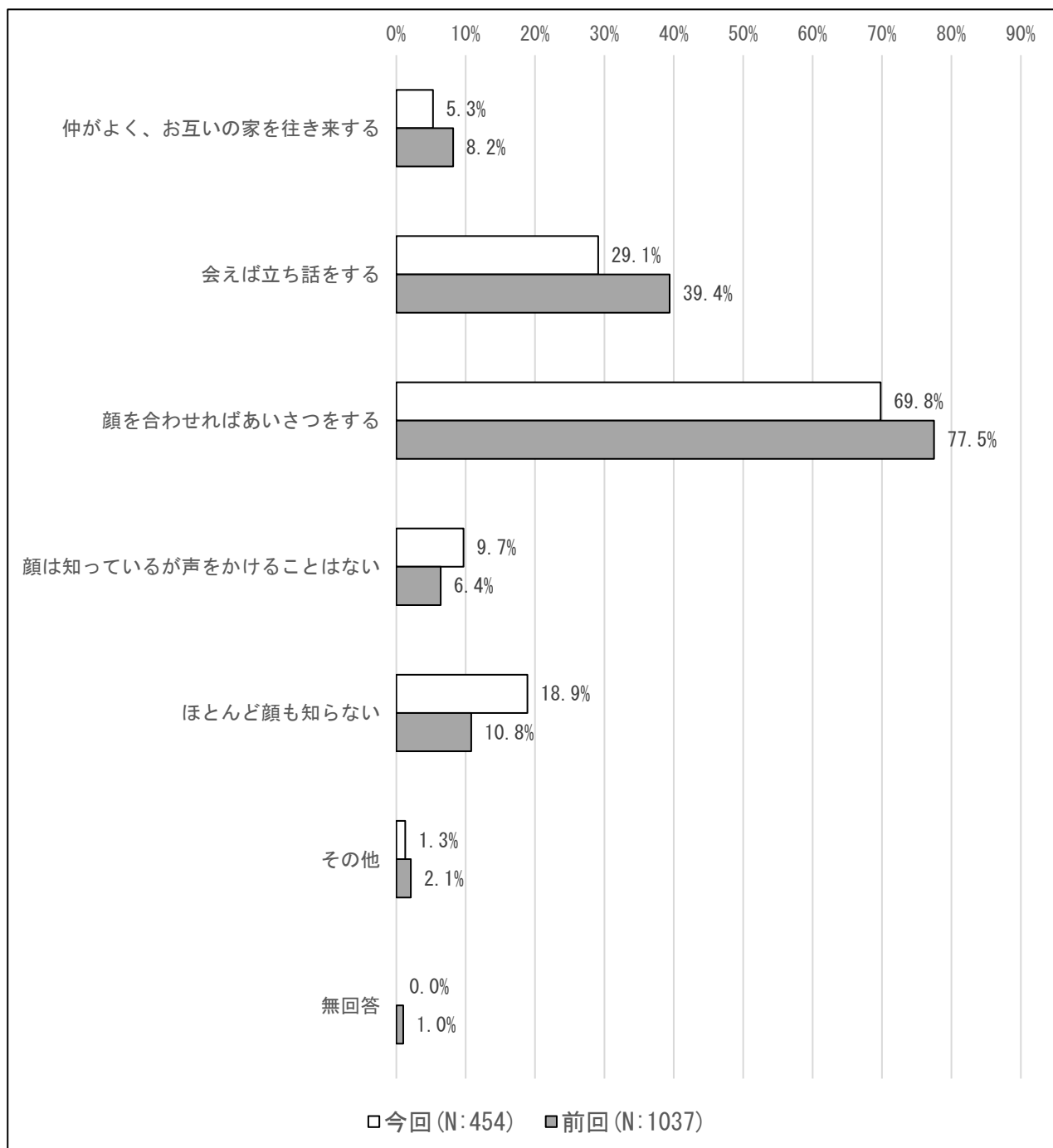
問5 あなたは、地域の人とどのような付き合いをしていますか。（2つまで）

・地域の人との付き合い方



「顔を合わせればあいさつをする」が 69.8%、「会えば立ち話をする」が 29.1%、「ほとんど顔も知らない」が 18.9%となっている。

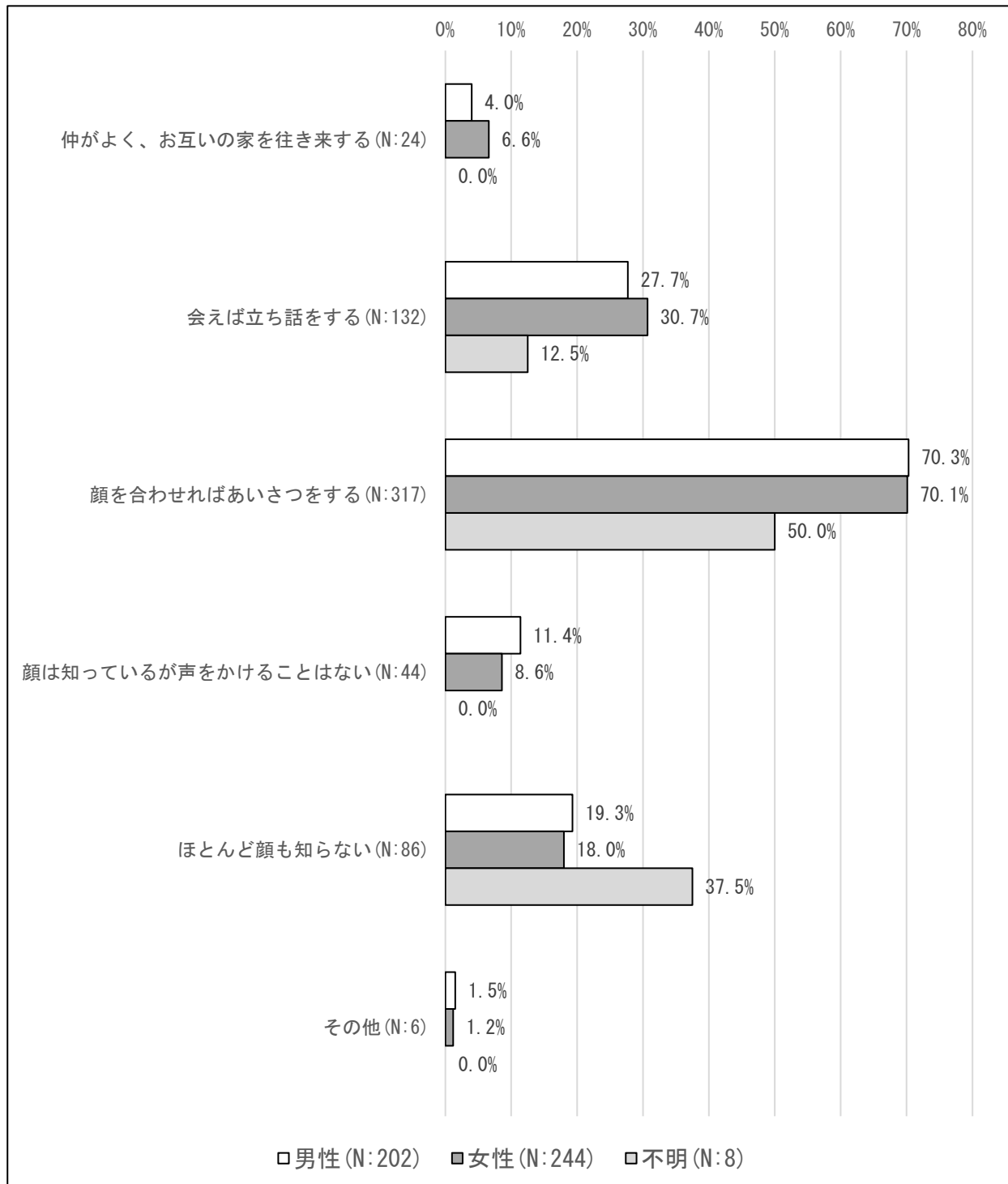
【前回との比較】



前回と同様に「顔を合わせればあいさつをする」が最も高く、次いで「会えば立ち話をする」が高くなっている。

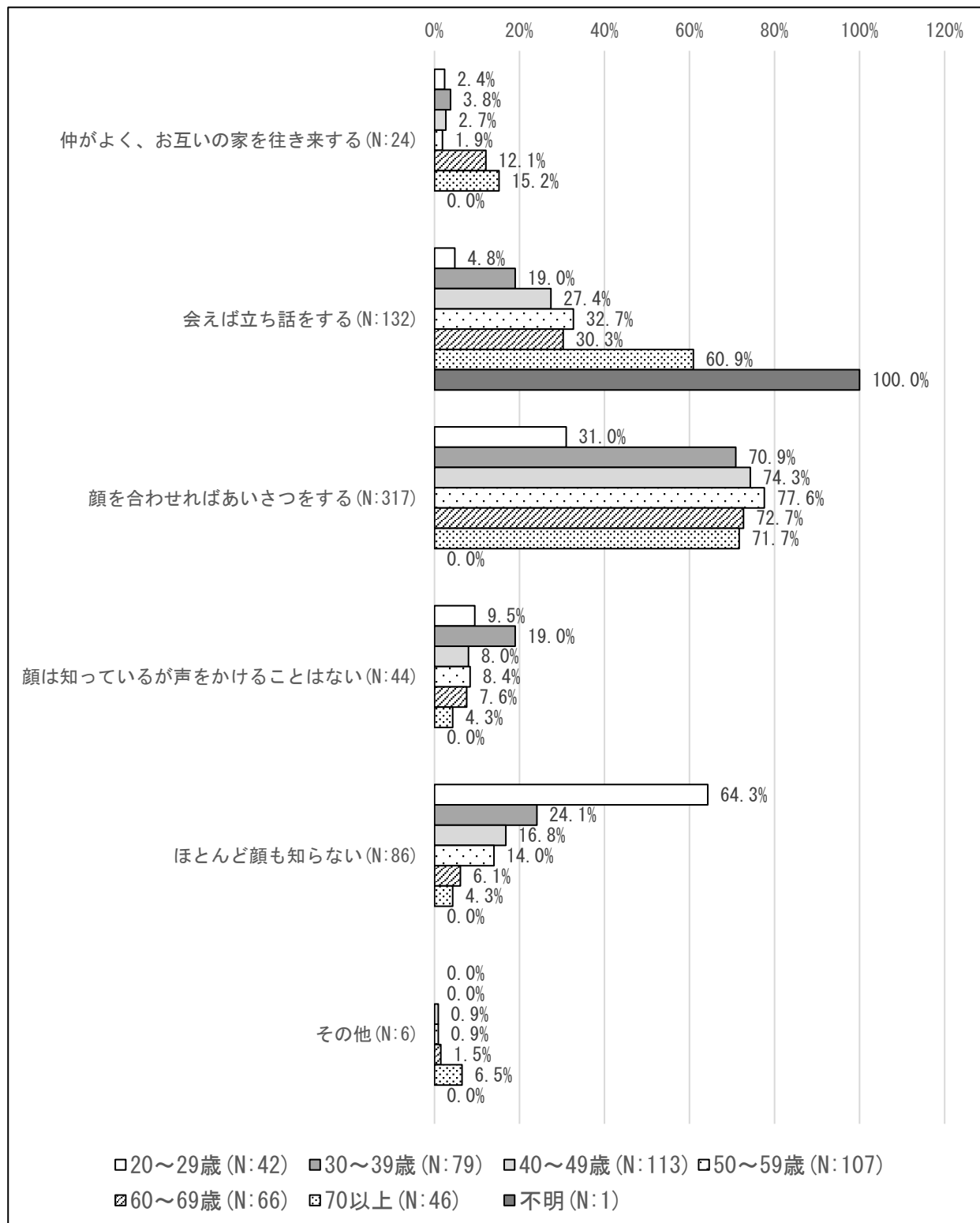
「ほとんど顔も知らない」、「顔を知っているが声をかけることはない」が前回より高くなっており、反対に「顔を合わせればあいさつをする」、「会えば立ち話をする」、「仲がよく、お互いの家を行き来する」が前回より低くなっている。

【男女別】



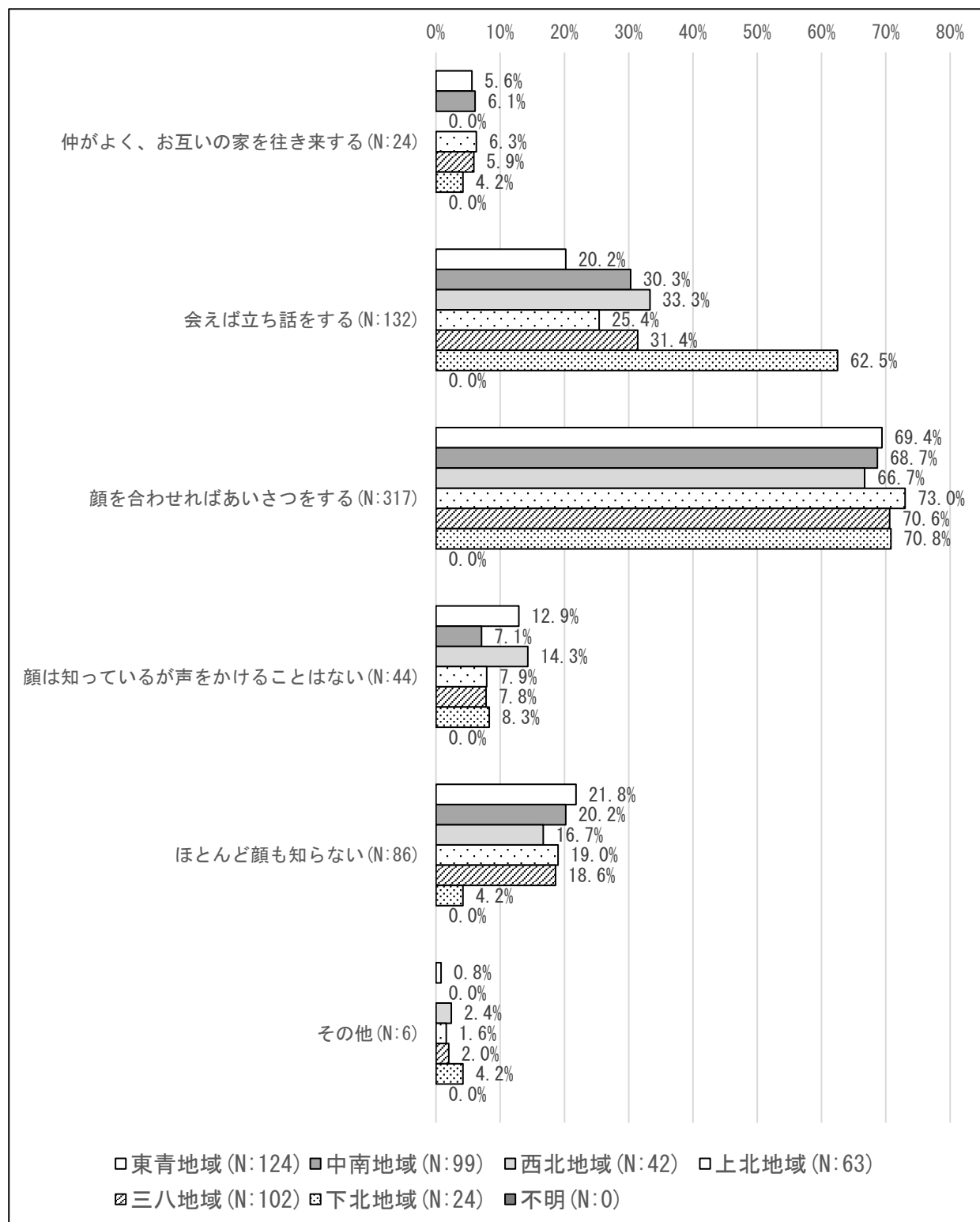
男女ともに「顔を合わせればあいさつをする」が最も高く、次いで「会えば立ち話をする」となっている。

【年代別】



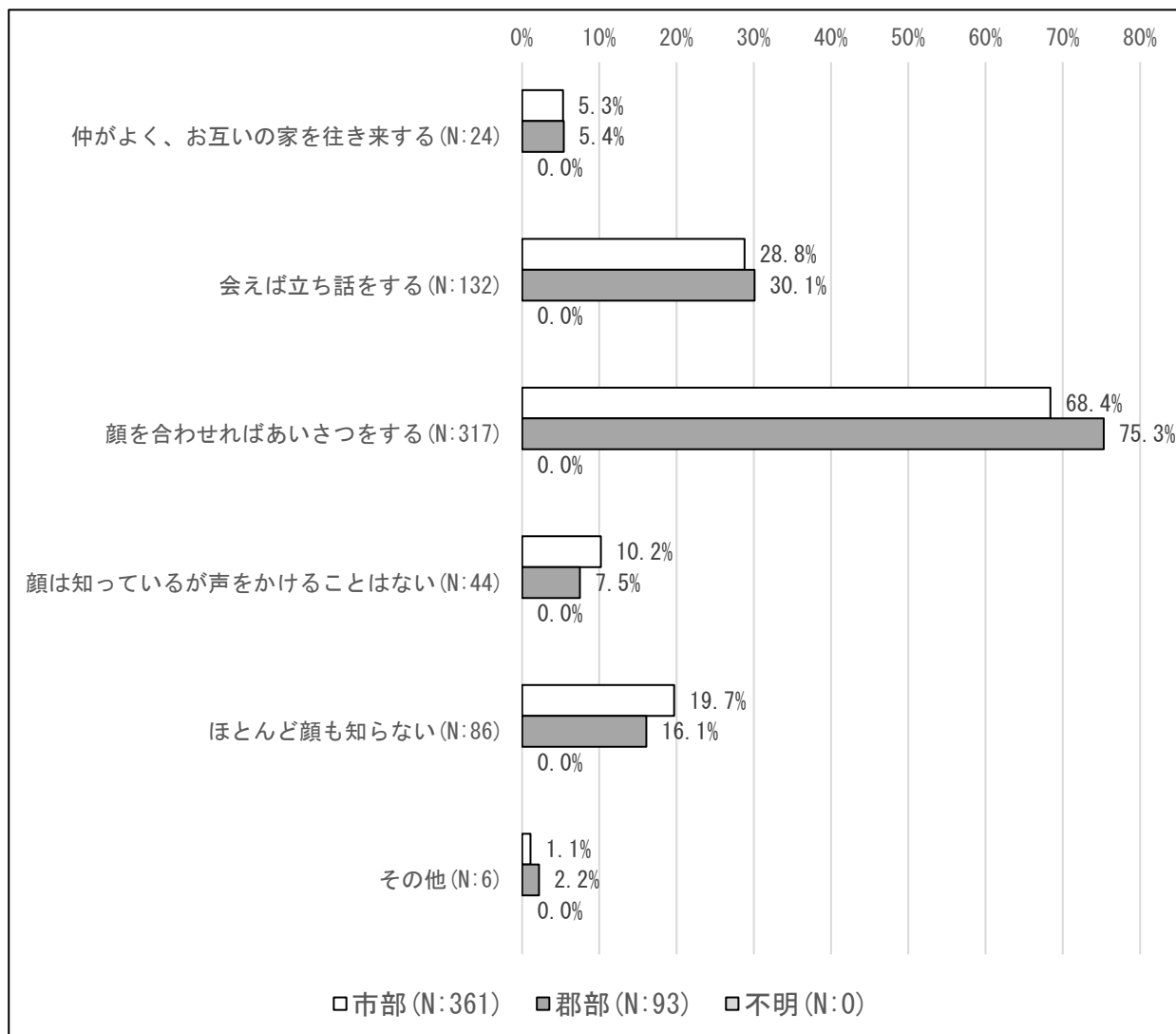
「20代」は「ほとんど顔も知らない」が最も高くなっている。その他の年代では「顔を合わせればあいさつをする」が最も高くなっている。「60代」は「会えば立ち話をする」が他年代と比べて高くなっている。

【地域別】



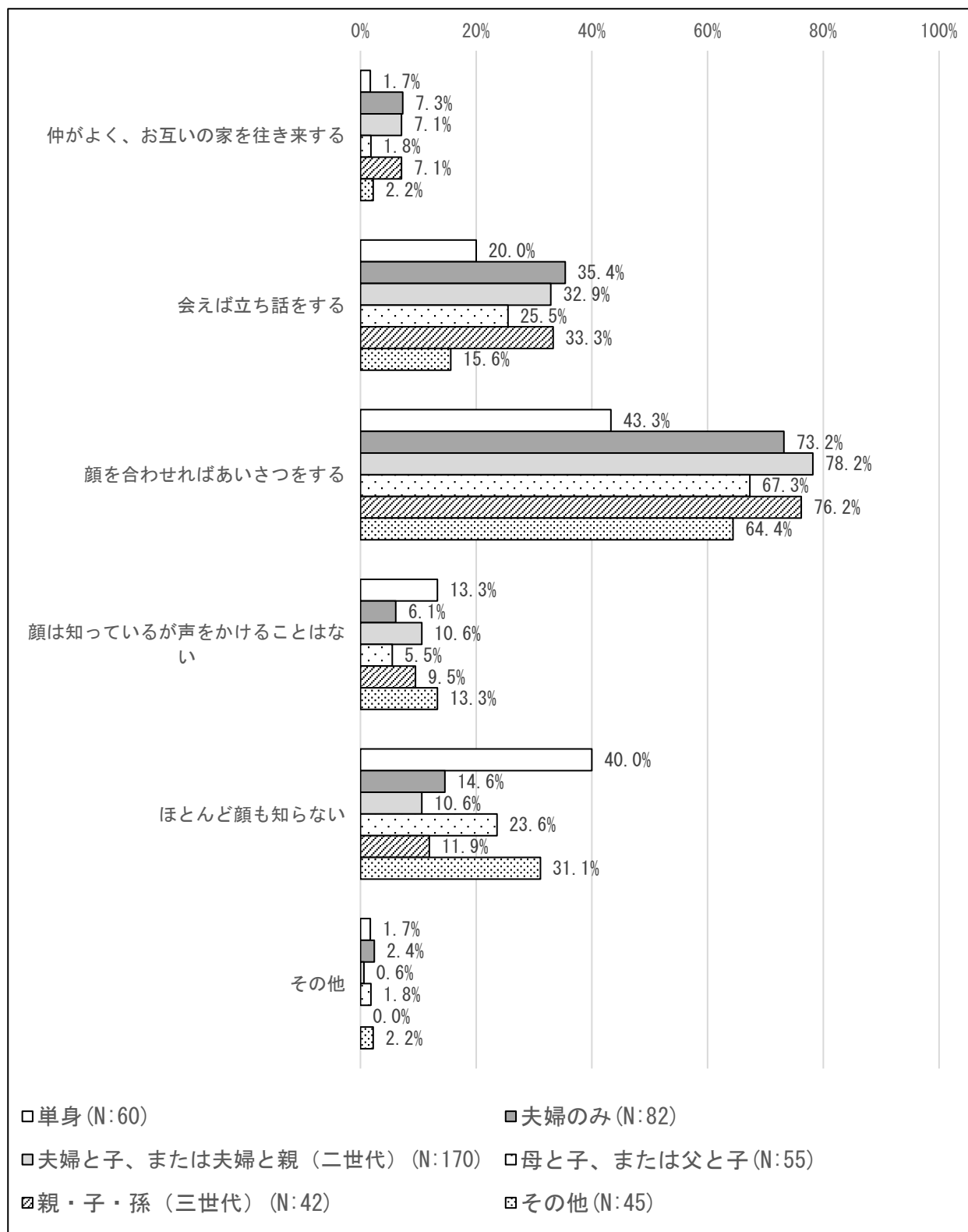
全ての地域で「顔を合わせればあいさつをする」が最も高い。「下北地域」は「会えば立ち話をする」が他地域と比べて高くなっている。

【市部・郡部別】



「市部」、「郡部」とともに「顔を合わせればあいさつをする」が最も高く、次いで「会えば立ち話をする」となっている。

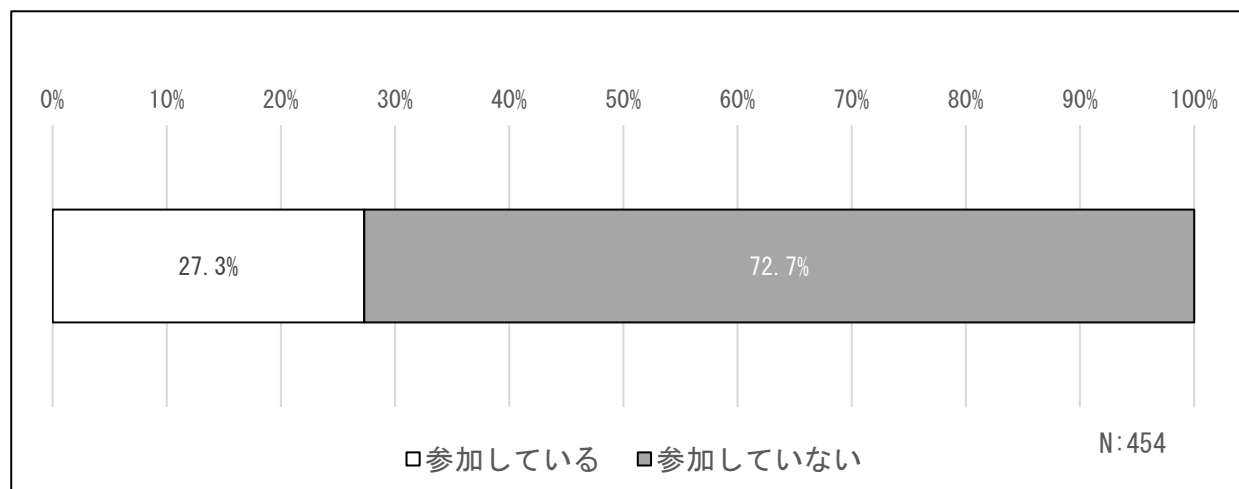
【家族構成】



全ての家族構成ともに「顔を合わせればあいさつをする」が最も高く、「単身」は次いで「ほとんど顔も知らない」が高く、その他の家族構成では次いで「会えば立ち話をする」が高くなっている。

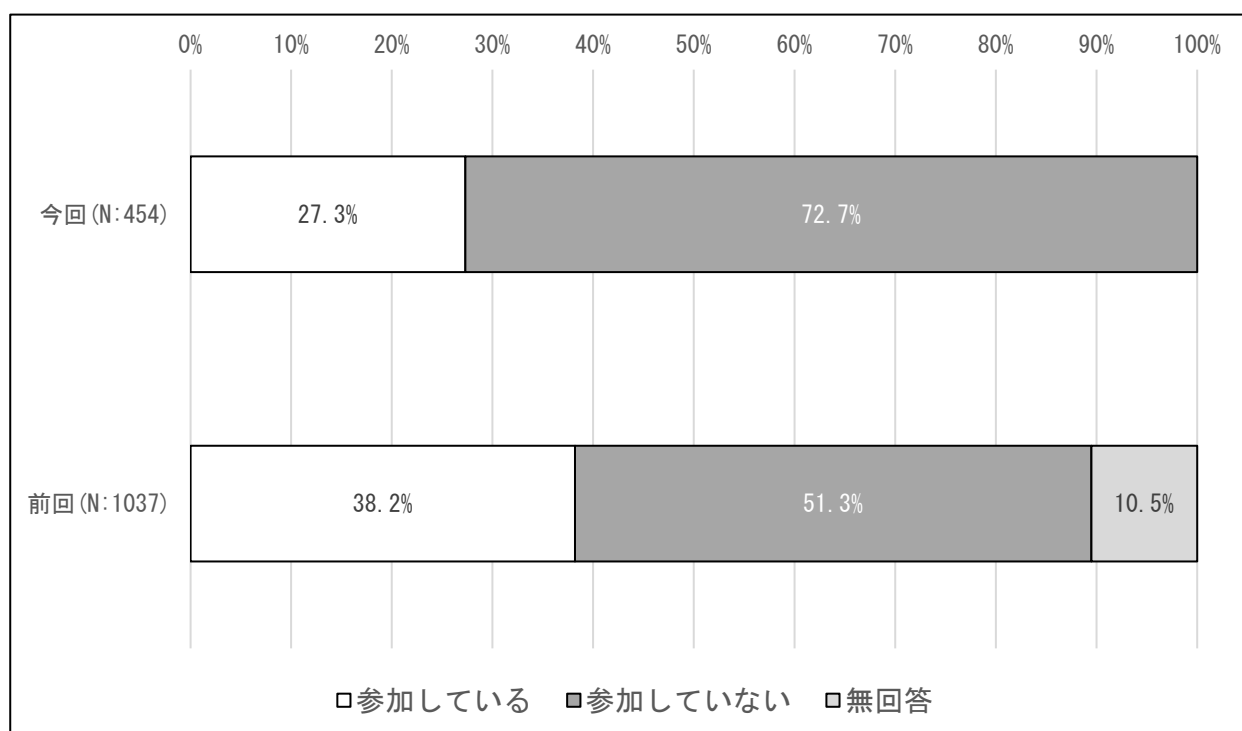
問 6 あなたは地域活動に参加していますか。（1つ）

・ 地域活動への参加



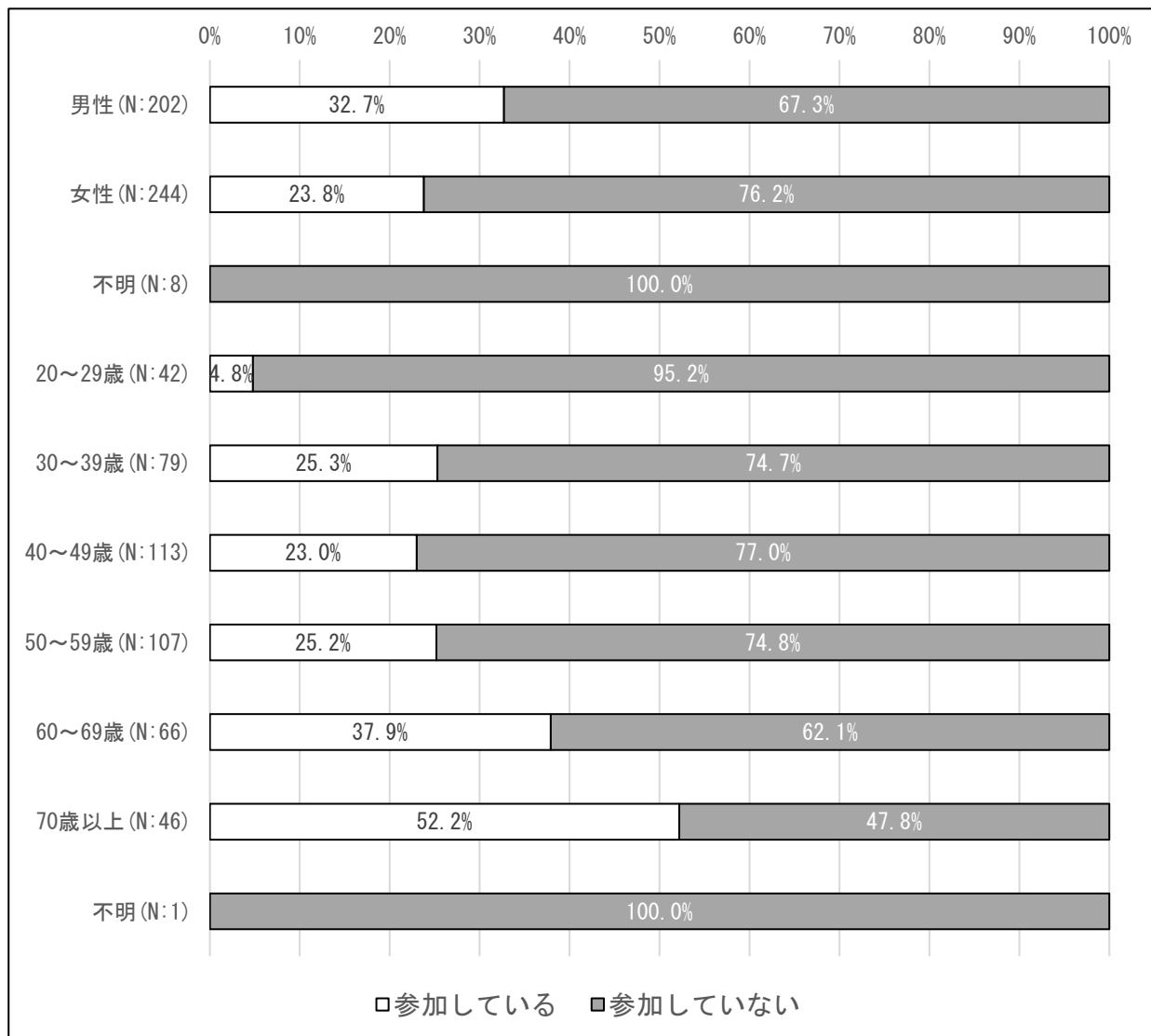
「参加している」が27.3%、「参加していない」が72.7%となっている。

【前回との比較】



前回と比べると「参加していない」の割合が高くなっている。

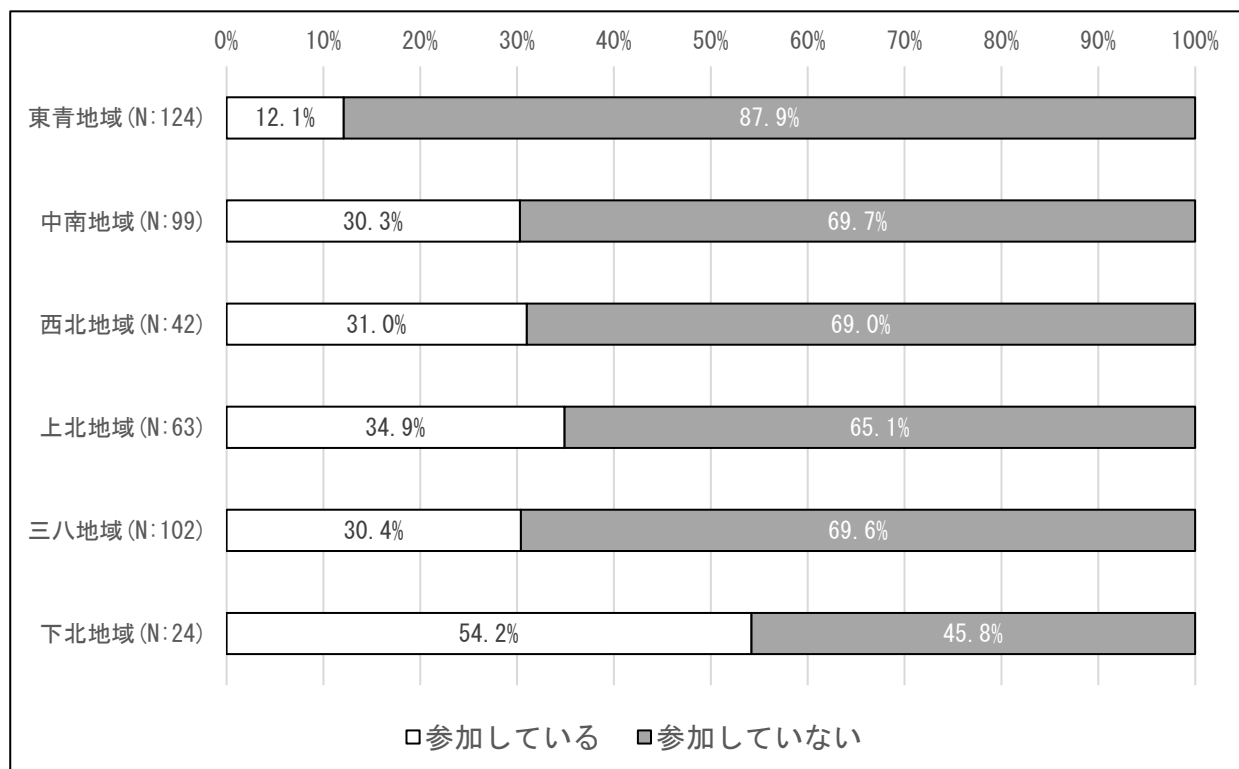
【男女別・年代別】



男女ともに「参加していない」が「参加している」を上回っている。

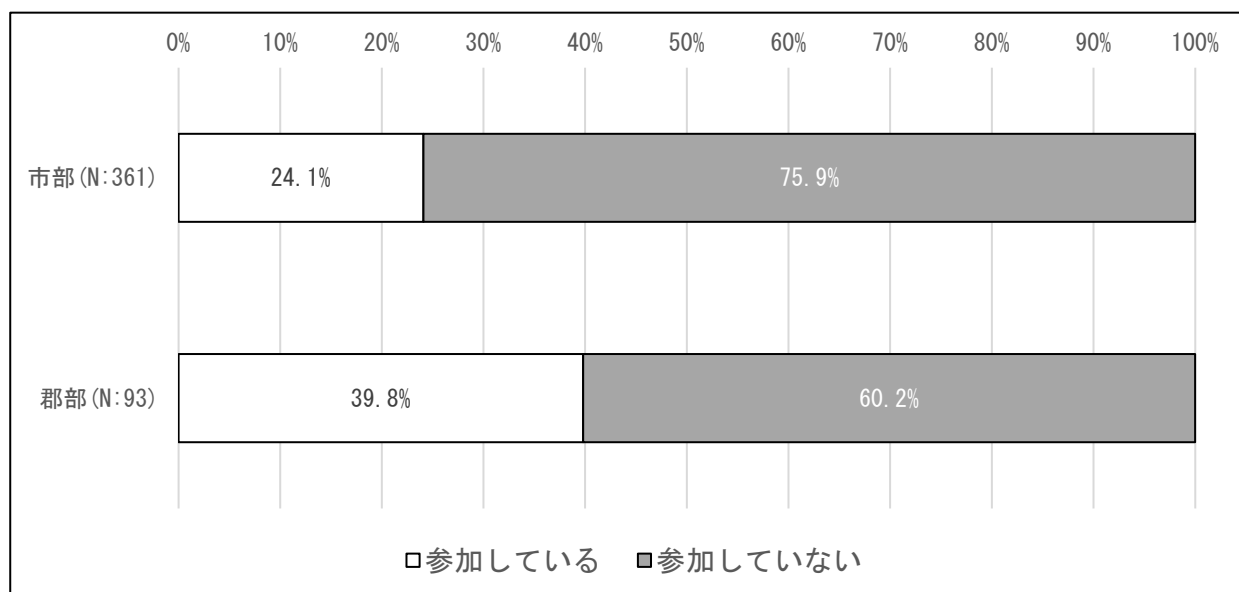
年代が上がるにつれて「参加している」の割合が高くなっており、「70歳以上」で最も高くなっている。逆に、年代が下がるにつれて「参加していない」の割合が高くなっており、「20代」で最も高くなっている。

【地域別】



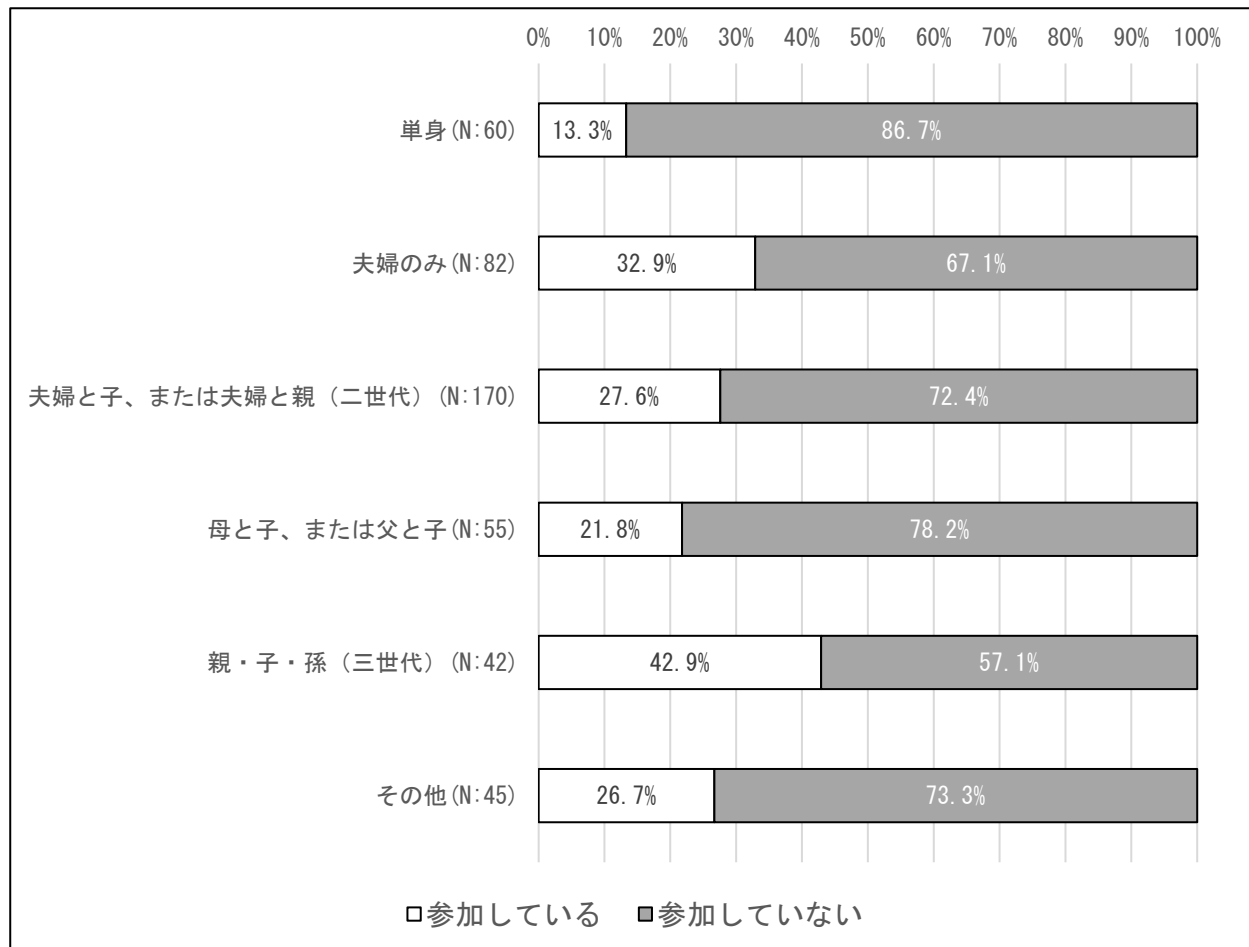
「下北地域」は「参加している」が50%を超えて他地域よりも高くなっている。一方で、「東青地域」は「参加していない」が87.9%と、他地域よりも高くなっている。

【市部・郡部別】



「参加している」の割合は「市部」よりも「郡部」の方が高くなっている。

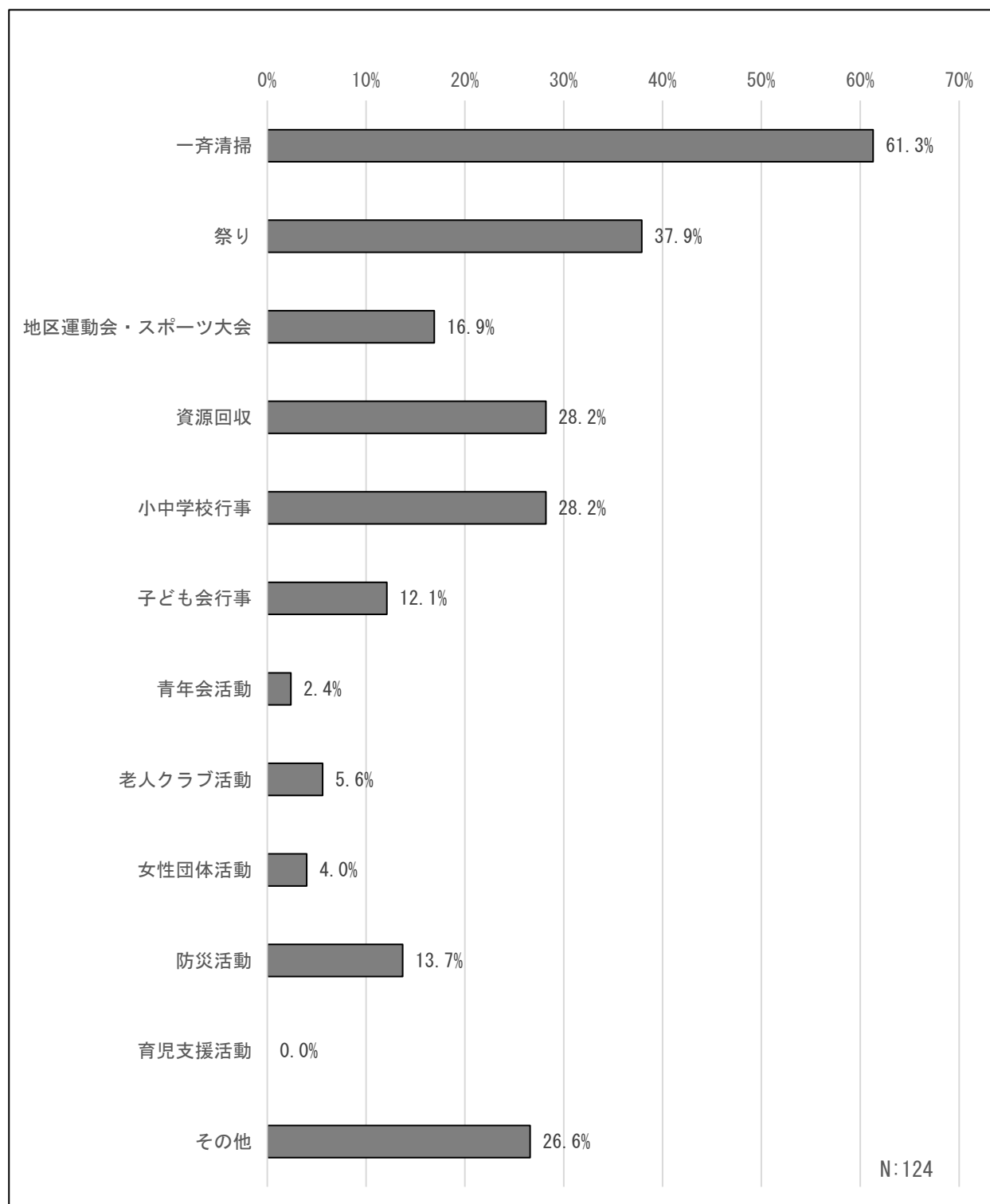
【家族構成別】



「参加している」の割合は「親・子・孫（三世帯）」が最も高く、次いで「夫婦のみ」、「夫婦と子、または夫婦と親（二世帯）」が高くなっている。「単身」は「参加していない」が最も高く 86.7%となっている。

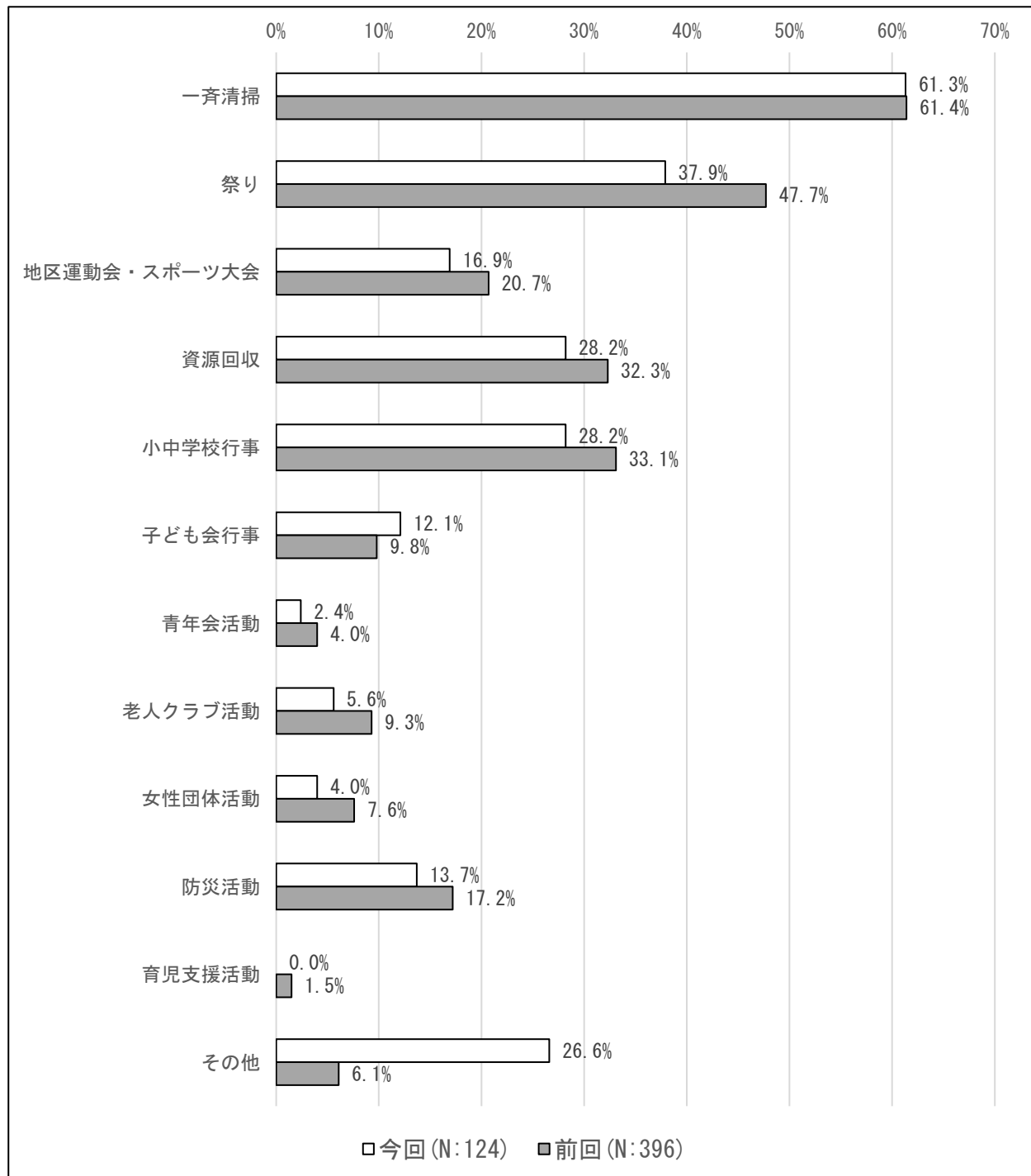
問 6-1 参加している地域活動（あてはまるものすべて）

・参加している地域活動



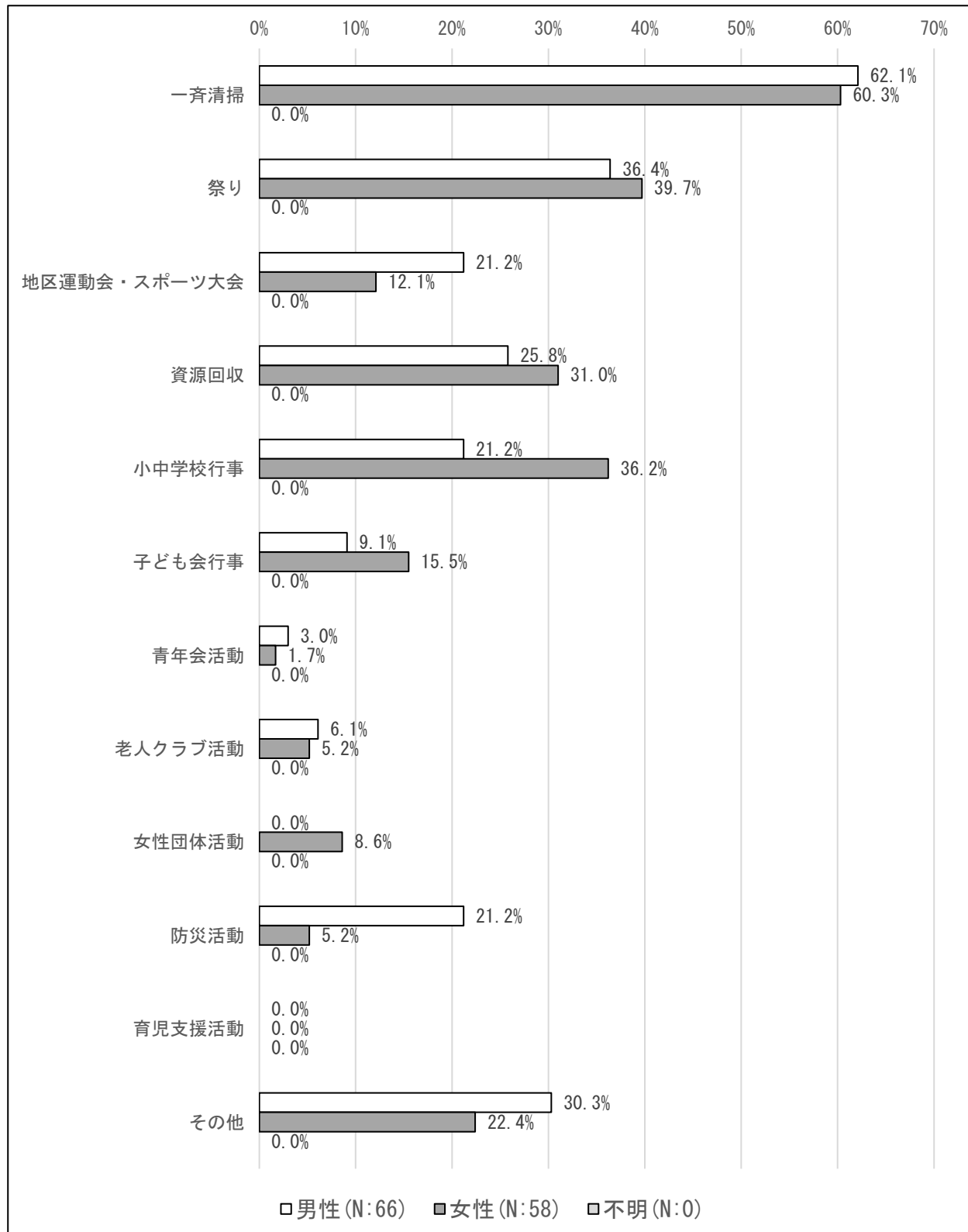
「一斉清掃」が 61.3%、「祭り」が 37.9%、「資源回収」と「小中学校行事」が同じ 28.2%となっている。

【前回との比較】



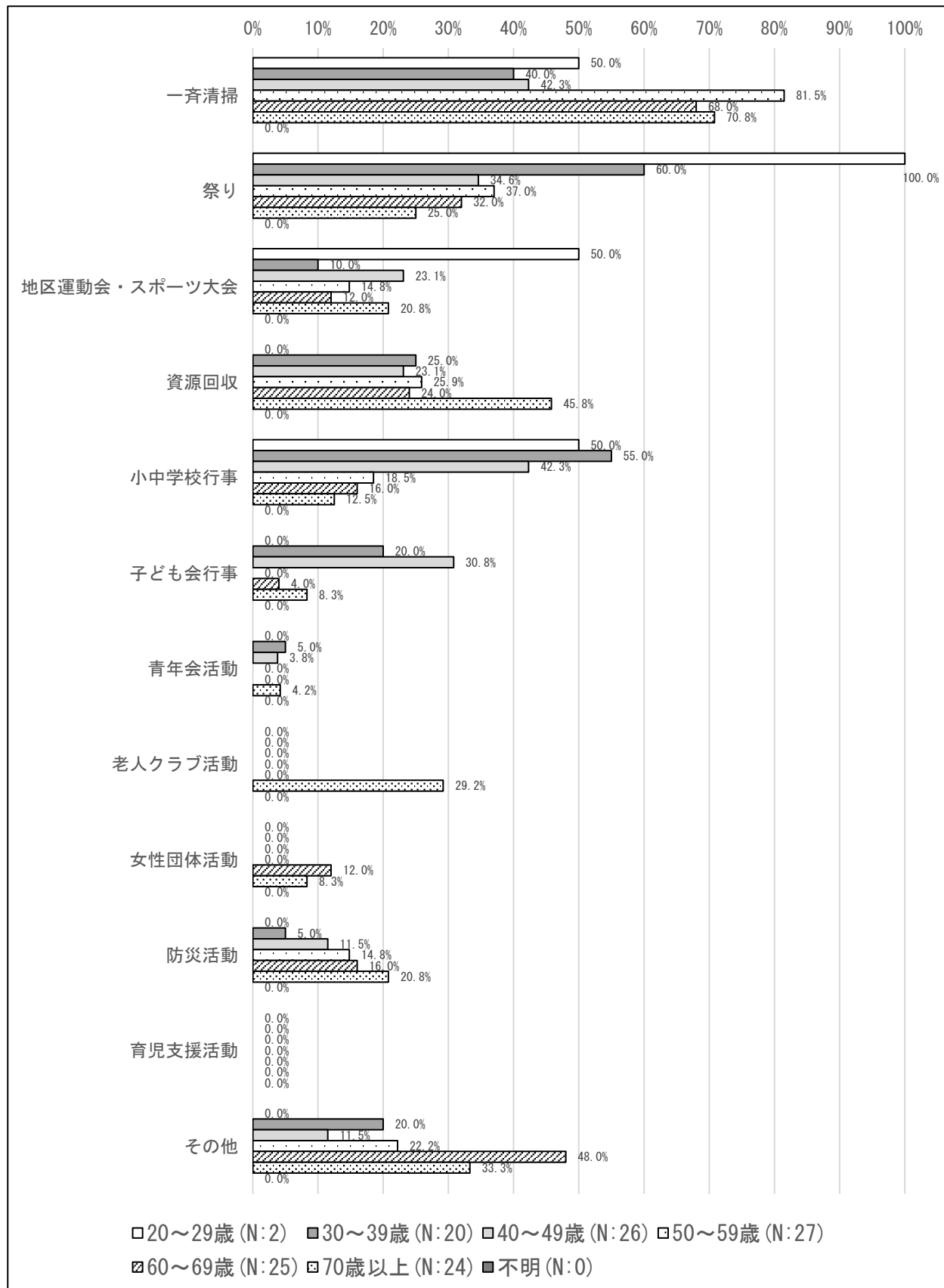
前回と同様に「一斉清掃」が高く、次いで「祭り」、「資源回収」、「小中学校行事」が高くなっている。また前回と比べると「子ども会行事」を除き、すべての割合が低くなっている。

【男女別】



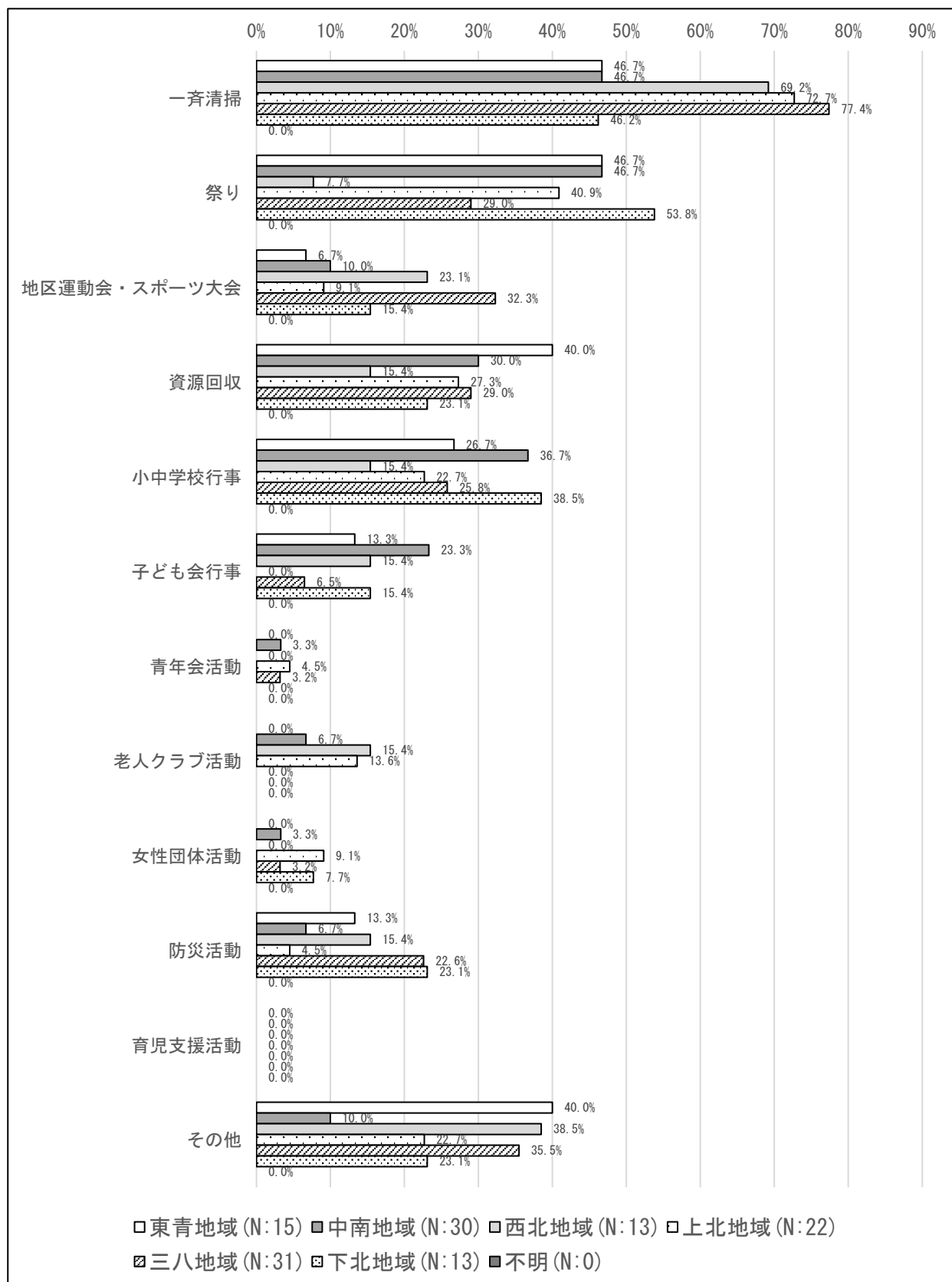
男女ともに、「一斉清掃」、「祭り」の順で高く、次いで、男性は「資源回収」、女性は「小中学校行事」の順となっている。

【年代別】



「20代」、「30代」は「祭り」、「40代」は「一斉清掃」、「小中学校行事」、「50代」以上は「一斉清掃」がそれぞれ最も高くなっている。

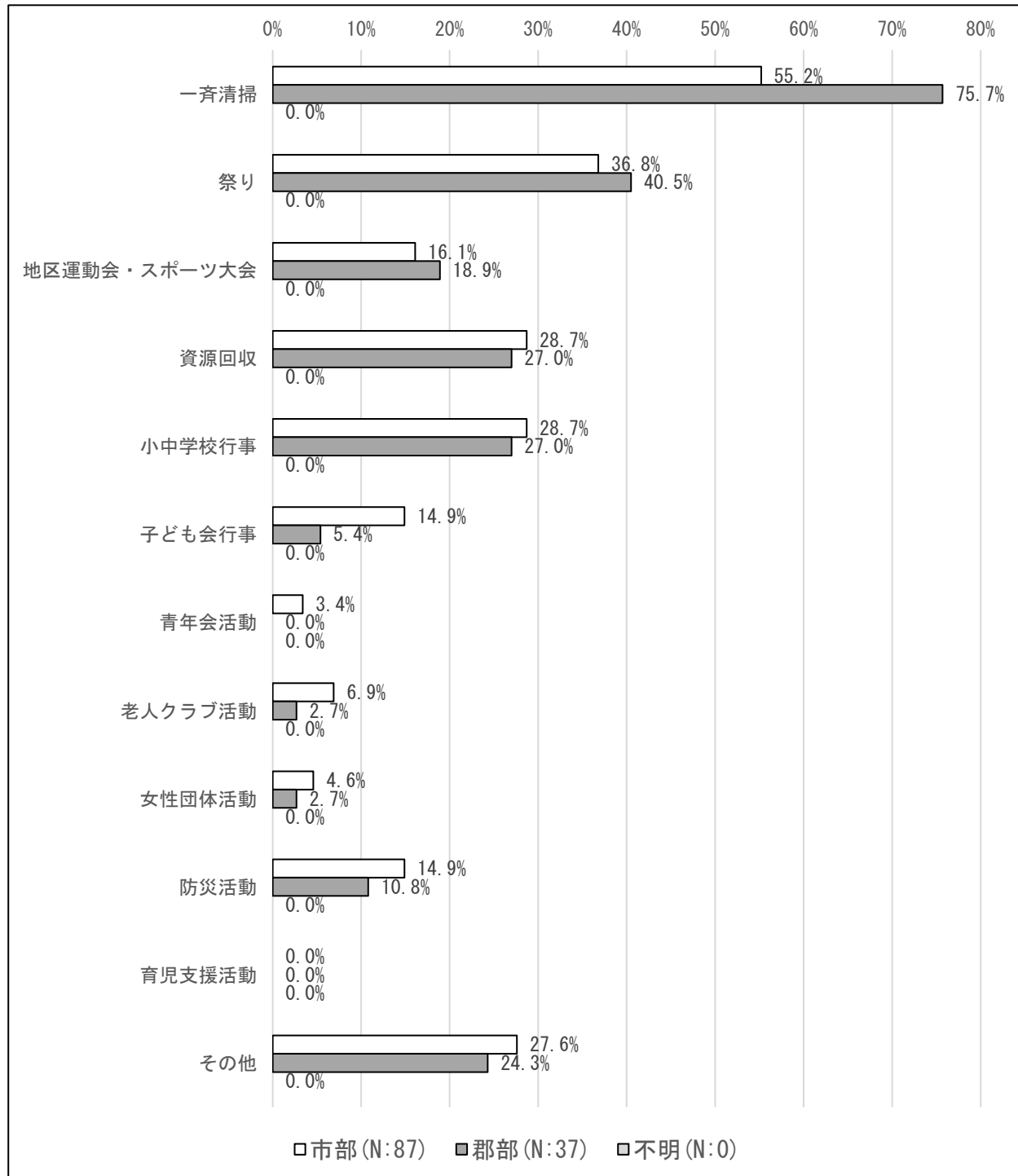
【地域別】



「東青地域」、「中南地域」では、「一斉清掃」、「祭り」が高くなっている。

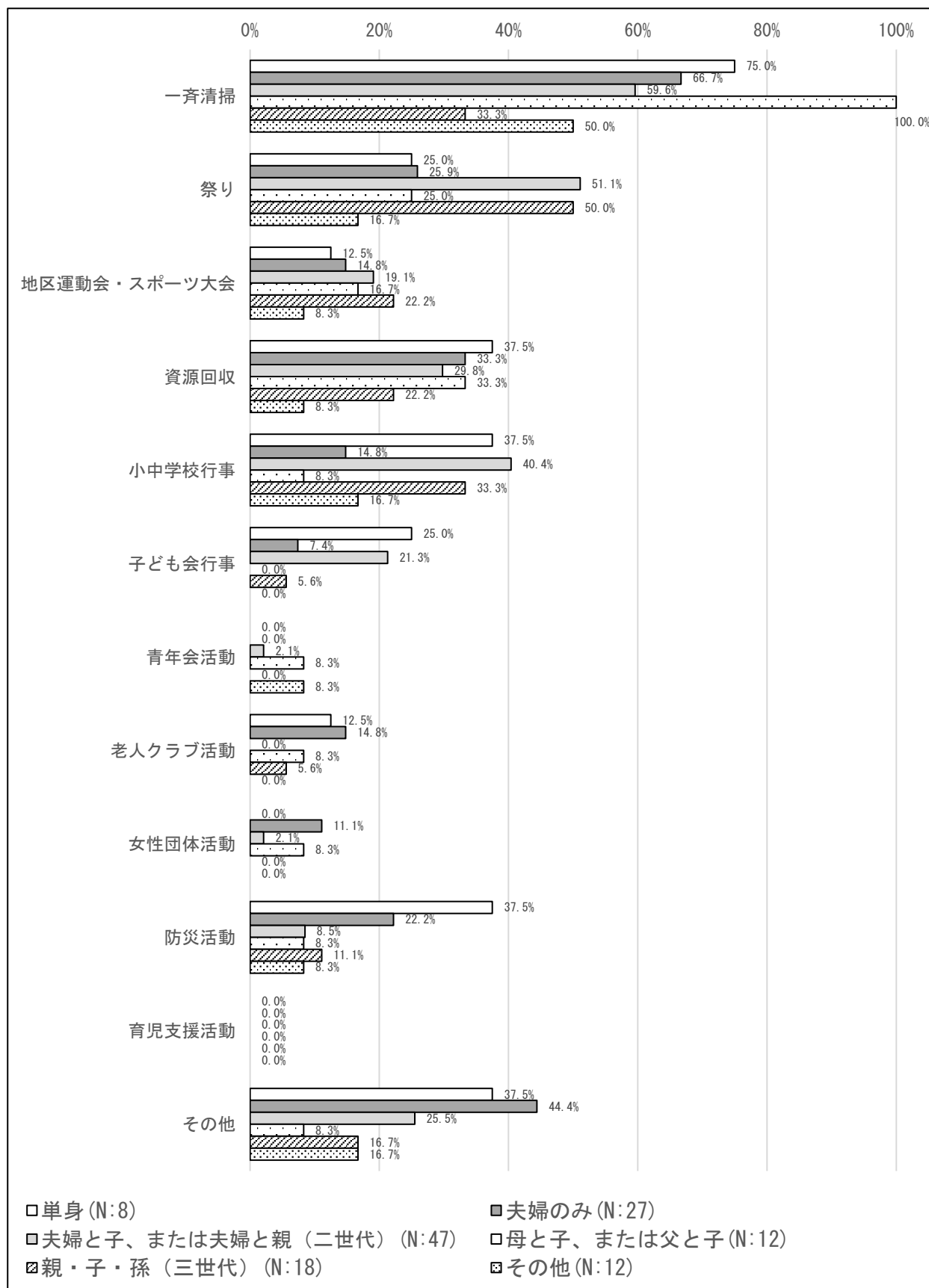
「西北地域」、「上北地域」、「三八地域」では「一斉清掃」が最も高く、「下北地域」では「祭り」が最も高くなっている。

【市部・郡部別】



「市部」、「郡部」とともに、「一斉清掃」、「祭り」の順で割合が高く、次いで「資源回収」、「小中学校行事」の順となっている。

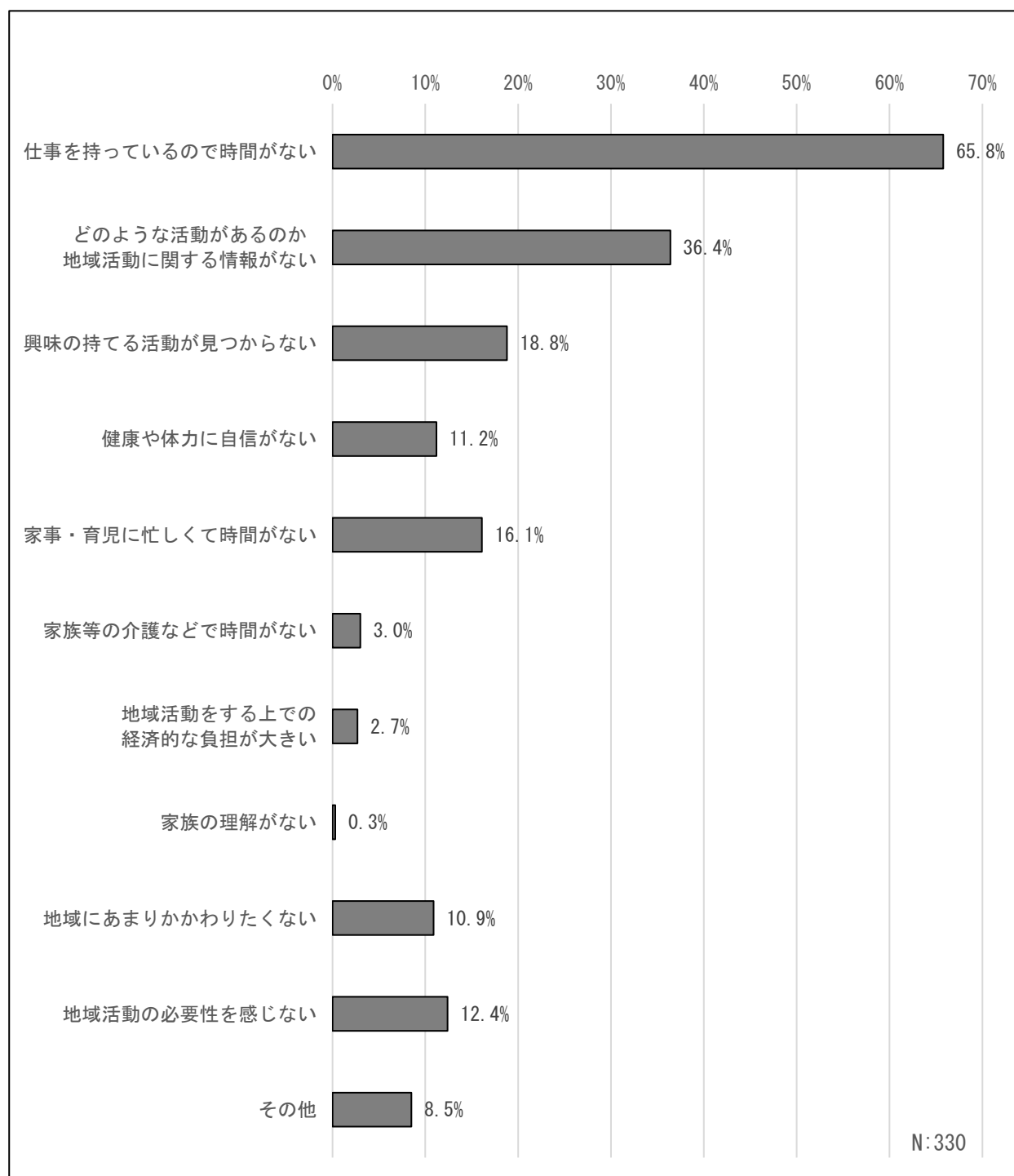
【家族構成別】



「親・子・孫（三世帯）」は「祭り」が最も高く、その他の家族構成では「一斉清掃」が最も高くなっている。

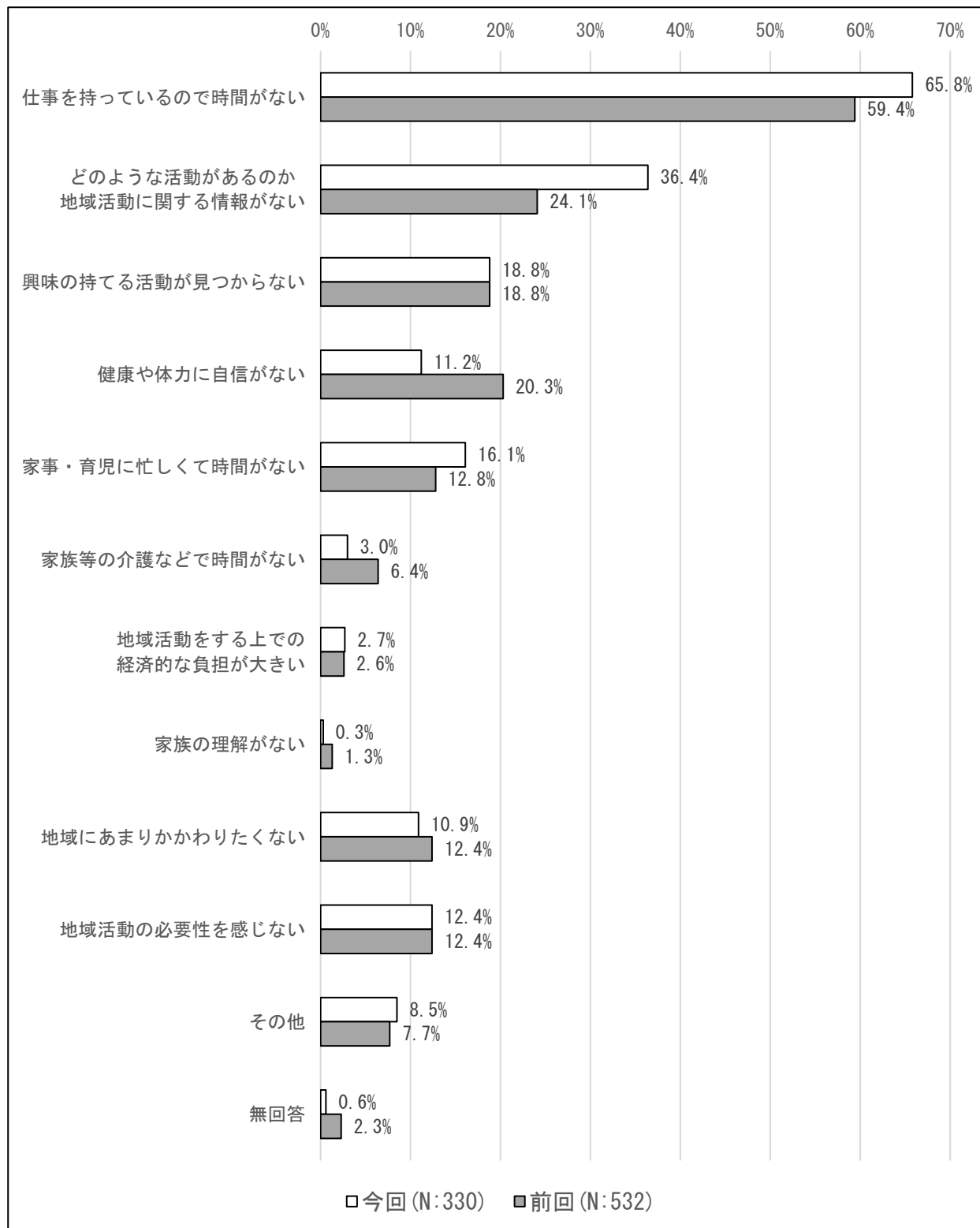
問 6-2 参加していない理由（3 つまで）

・参加していない理由



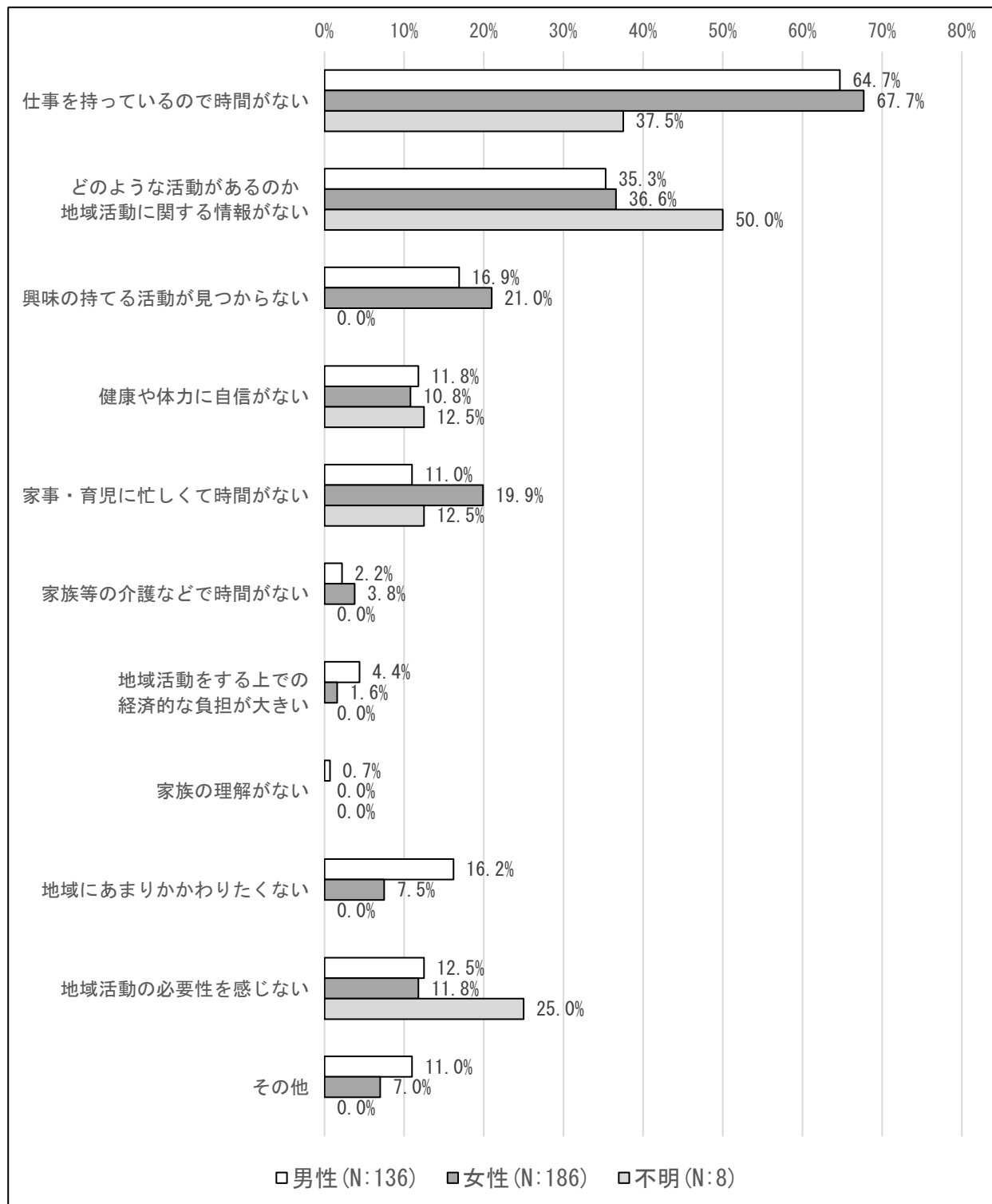
「仕事を持っているので時間がない」が 65.8%、「どのような活動があるのか地域活動に関する情報がない」が 36.4%、「興味を持てる活動が見つからない」が 18.8%の順となっている。

【前回との比較】



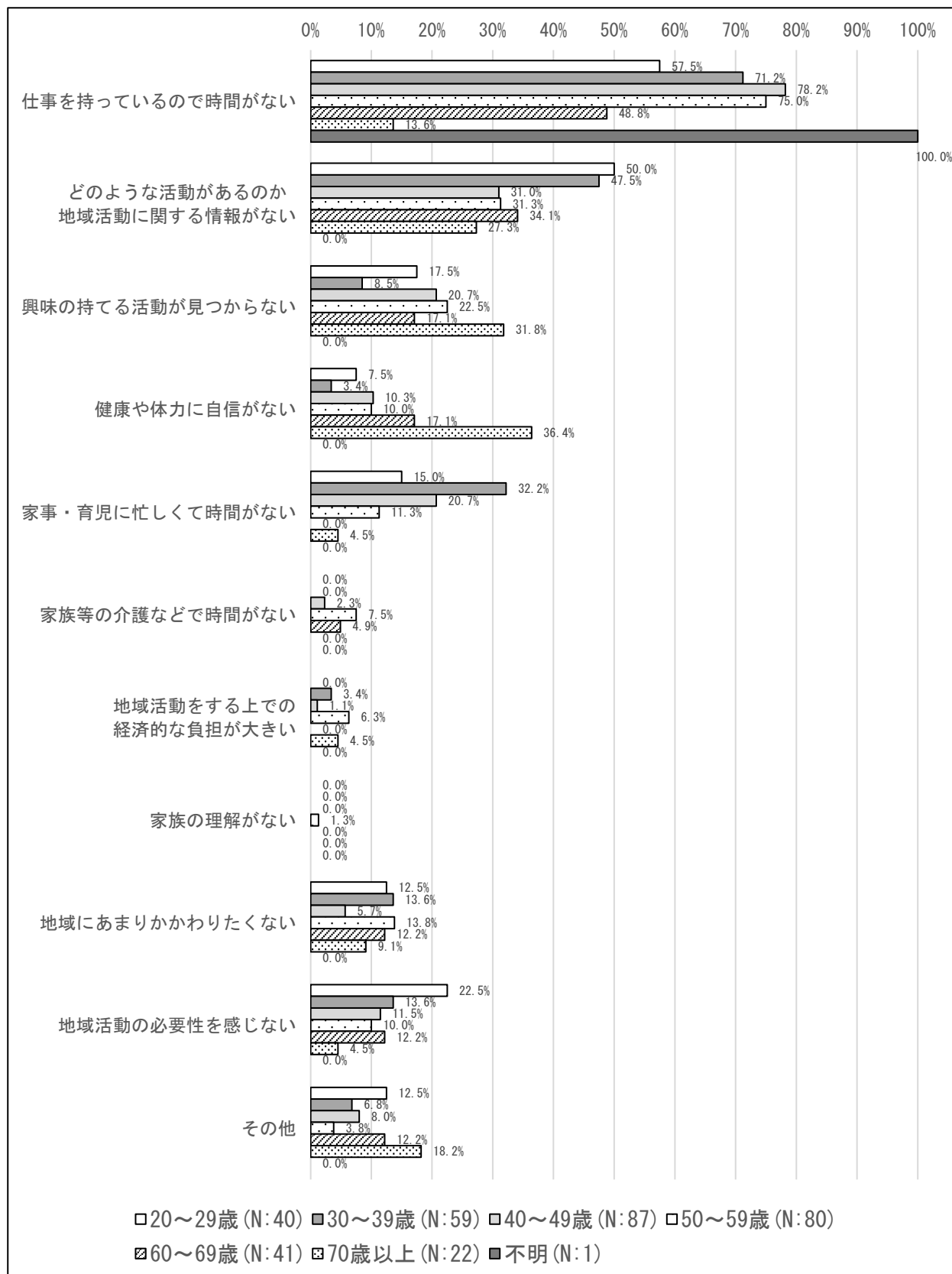
前回と同様に「仕事を持っているので時間がない」が最も高く、次いで「どのような活動があるのか地域活動に関する情報がない」が高くなっている。

【男女別】



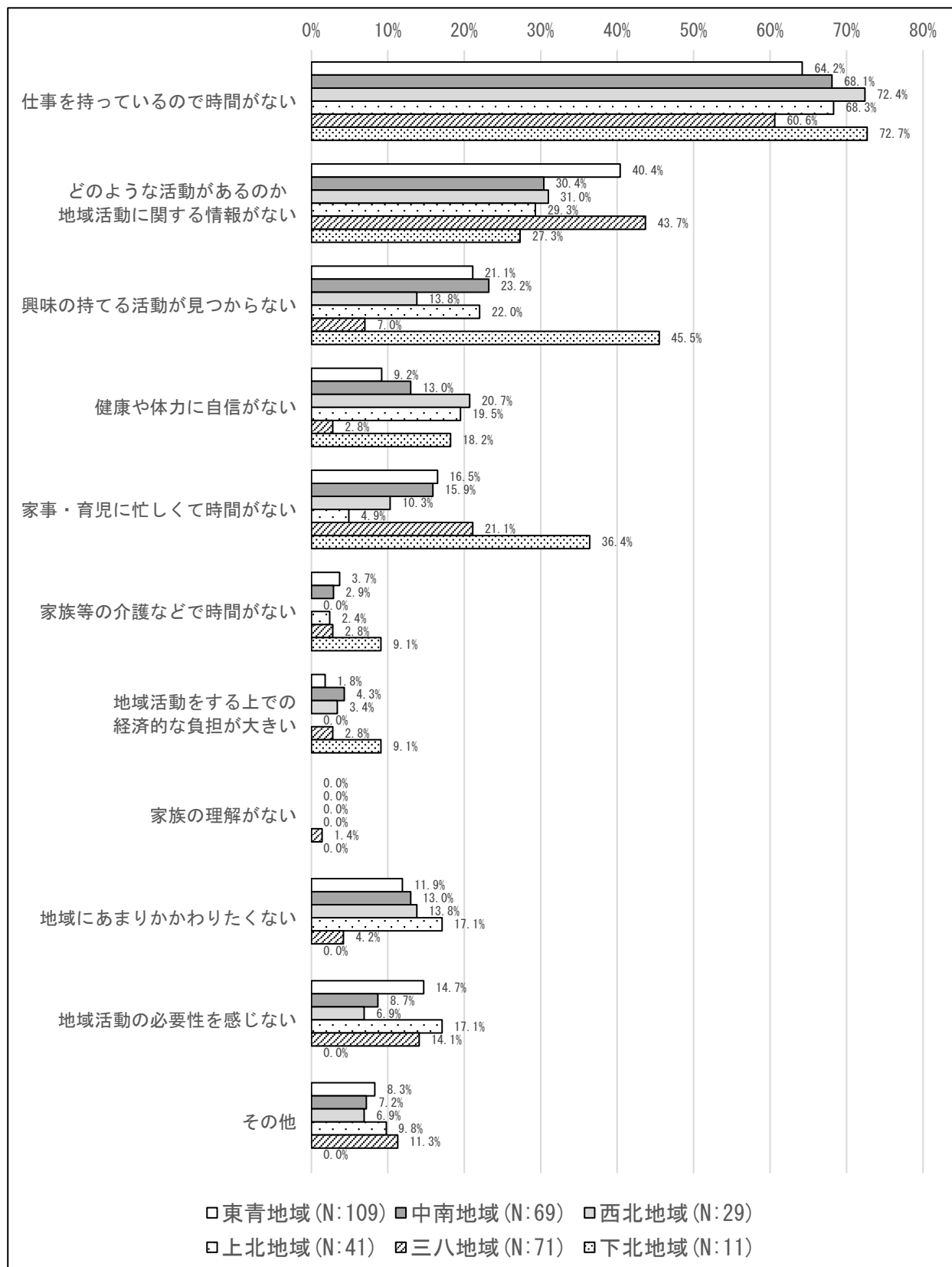
男女ともに「仕事を持っているので時間がない」が最も高く、次いで「どのような活動があるのか地域活動に関する情報がない」、「興味を持てる活動が見つからない」の順となっている。

【年代別】



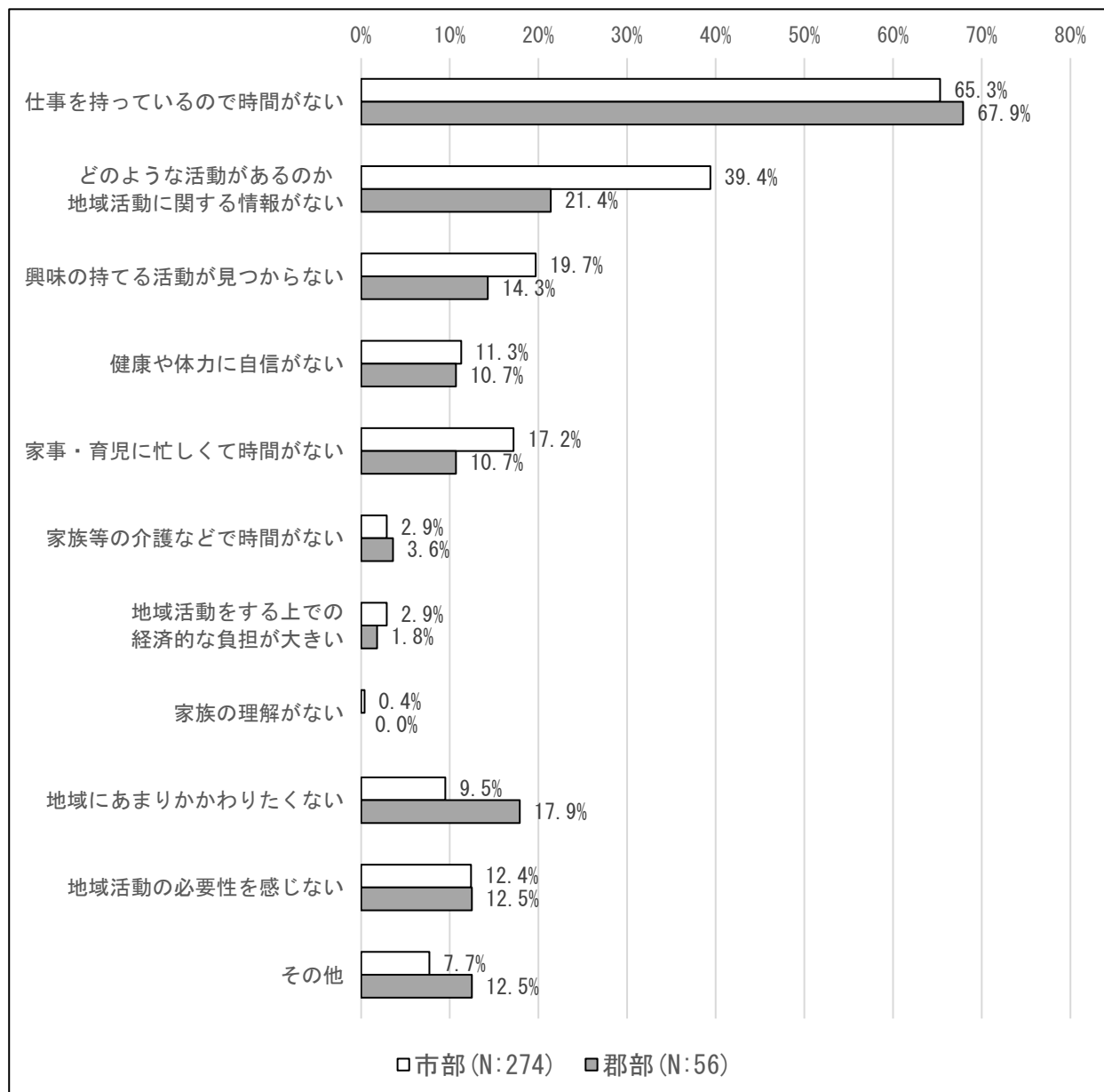
70歳未満は「仕事を持っているので時間がない」が最も高く、次いで「どのような活動があるのか地域活動に関する情報がない」が高い。「70歳以上」は、「健康や体力に自信がない」が最も高く、次いで「興味の持てる活動が見つからない」が高い。「30代」は「家事・育児に忙しくて時間がない」が他年代と比べて高い。

【地域別】



全地域で「仕事を持っているので時間がない」が最も高く、「下北地域」以外の地域では次いで「どのような活動があるのか地域活動に関する情報がない」が高くなっている。「下北地域」は「興味の持てる活動が見つからない」、「家事・育児に忙しくて時間がない」が他地域より高くなっている。

【市部・郡部別】

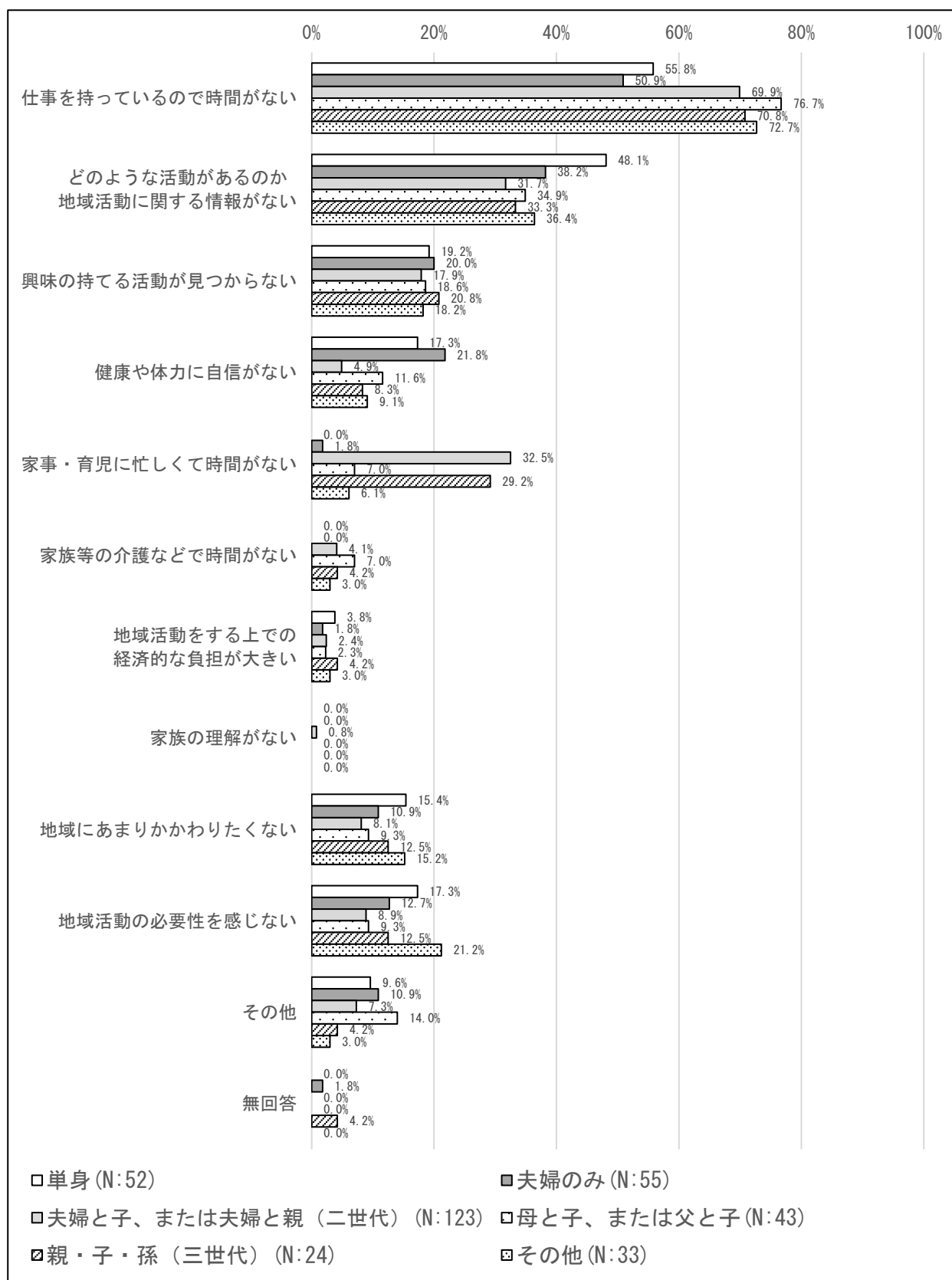


「市部」、「郡部」とともに「仕事を持っているので時間がない」が最も高く、次いで「どのような活動があるのか地域活動に関する情報がない」の順となっている。

「市部」は「郡部」より「どのような活動があるのか地域活動に関する情報がない」の割合が高くなっている。

また、「郡部」は「市部」と比べて「地域にあまりかかわりたくない」の割合が高くなっている。

【家族構成別】

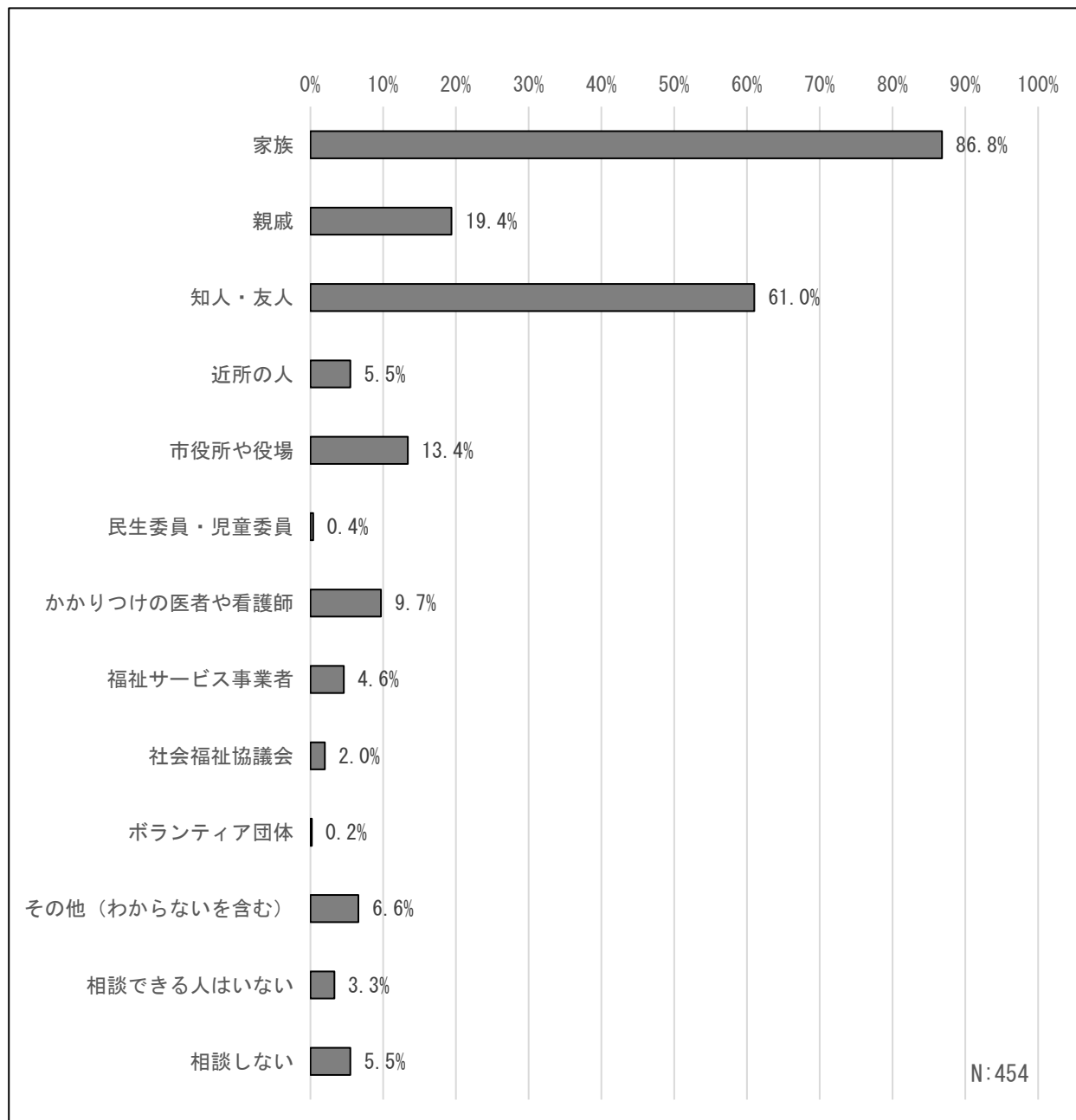


どの世帯構成でも「仕事を持っているので時間がない」が最も高く、次いで「夫婦と子、または夫婦と親（二世帯）」は「家事・育児に忙しくて時間がない」、その他の世帯構成では「どのような活動があるのか地域活動に関する情報がない」の順となっている。

3 地域の支え合いについて

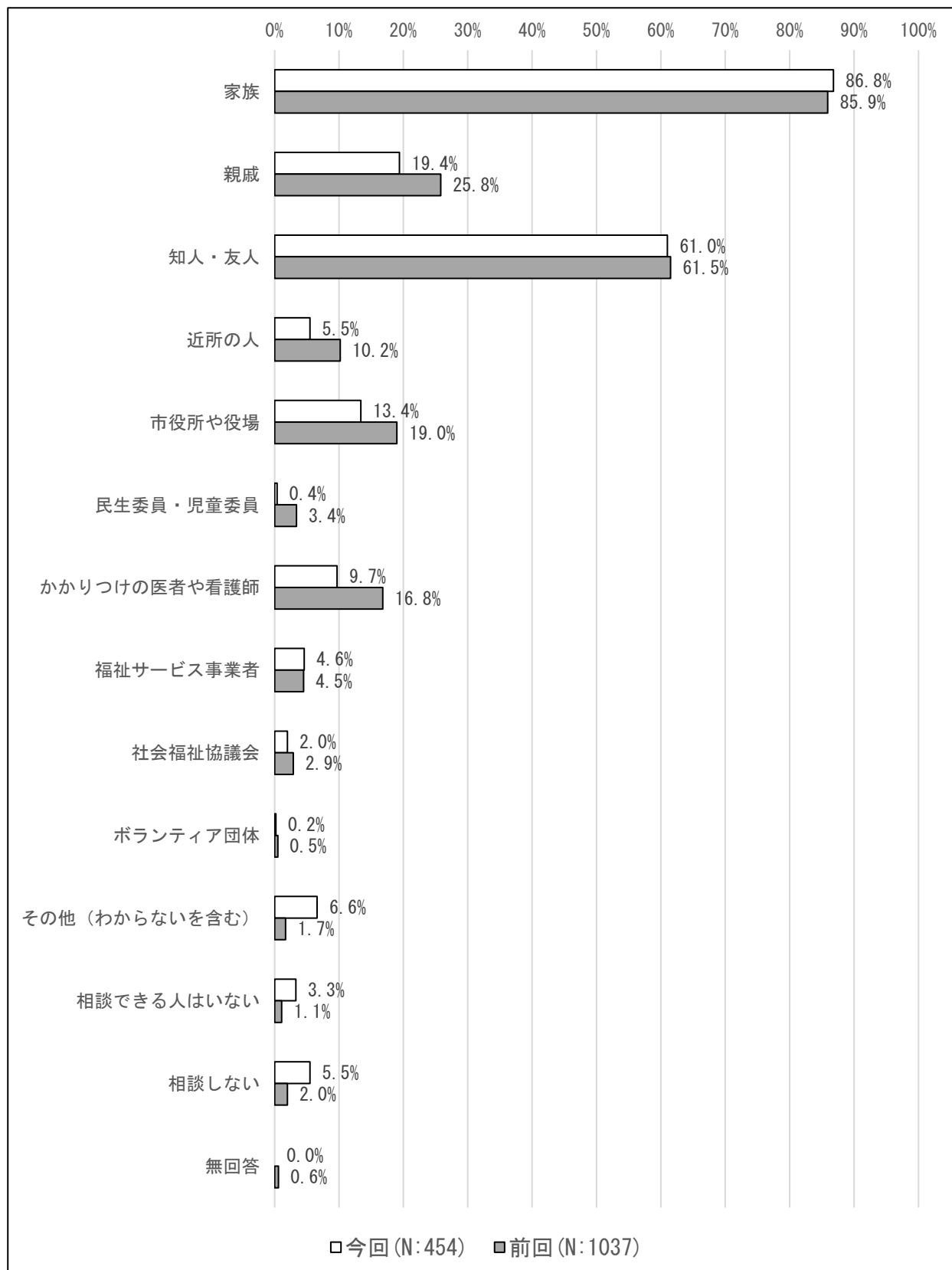
問7 困っていることや不安なことがあるとき、あなたは誰に相談しますか。
(あてはまるものすべて)

・困っている時や不安なときの相談相手



「家族」が86.8%、「知人・友人」が61.0%、「親戚」が19.4%、「市役所や役場」が13.4%となっている。

【前回との比較】



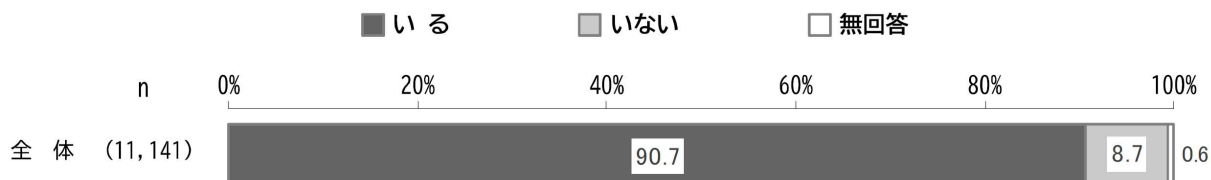
前回と比べて「親戚」、「近所の人」、「市役所や役場」、「かかりつけの医者や看護師」の割合が低くなっている。

参考

「人々のつながりに関する基礎調査（令和５年）」調査結果の概要

令和６年３月 内閣官房孤独・孤立対策担当室

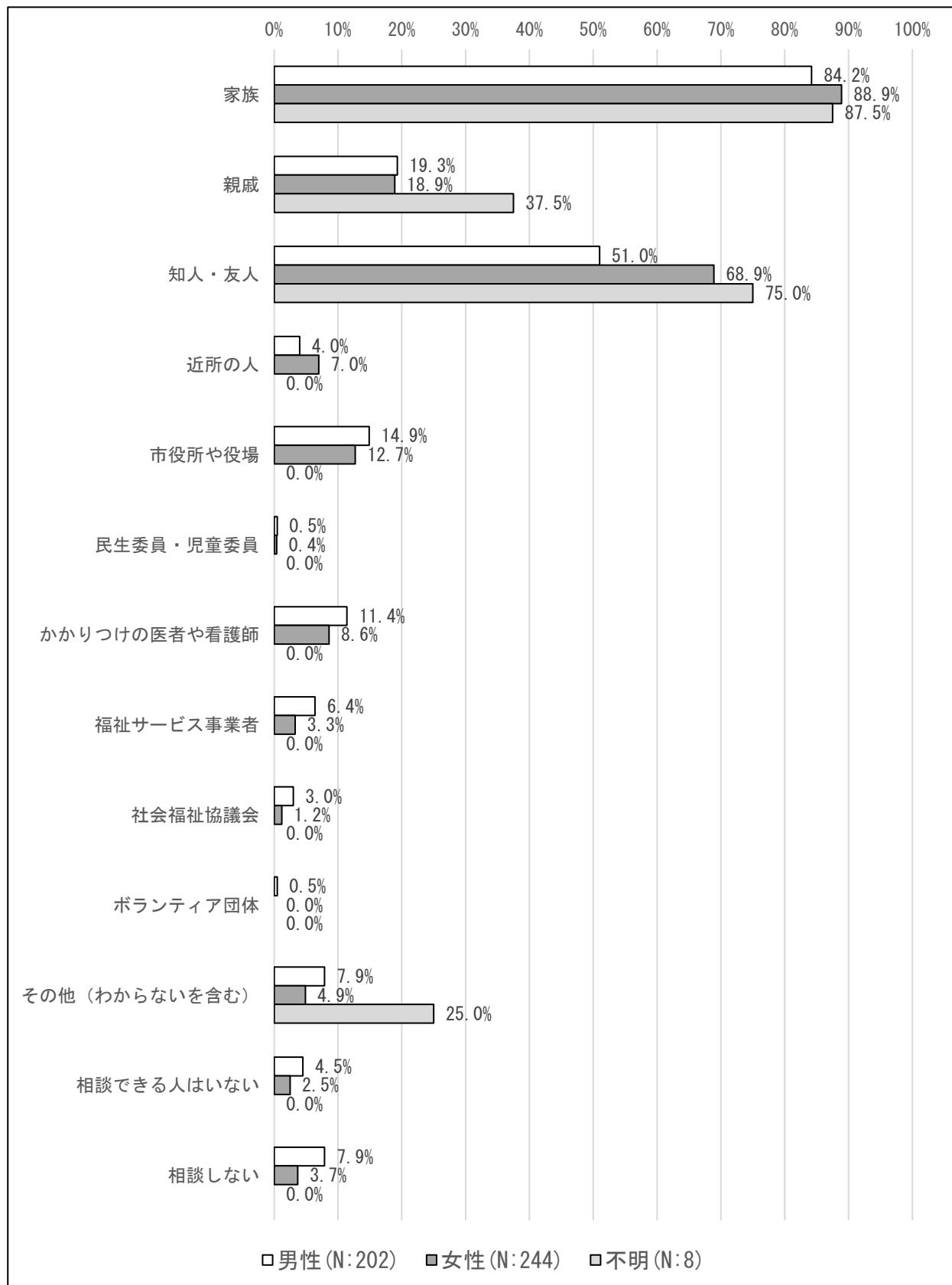
【不安や悩みの相談相手の有無】



【不安や悩みの相談相手の種類】複数回答

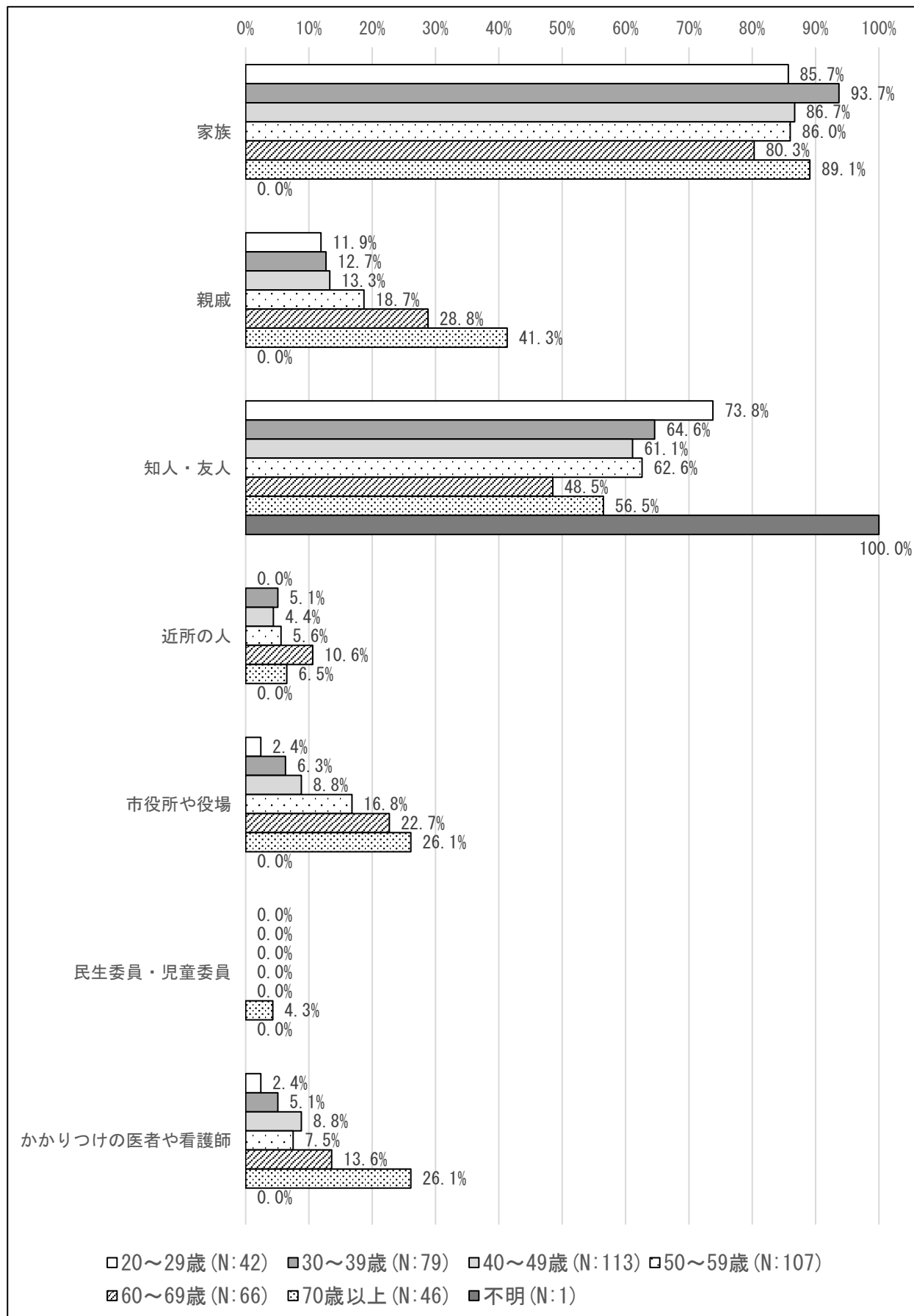
	n	家族・親族	友人・知人	自治会・町内会・近所の人	仕事・学校関係者 (職場の同僚・学校の先生等)	行政機関(国や自治体)	NPO等の民間団体・ボランティア団体	社会福祉協議会	病院・診療所の医師	その他	無回答	(%)
全体	10,107	93.5	59.6	6.2	18.6	4.0	1.0	2.5	14.6	2.2	0.1	

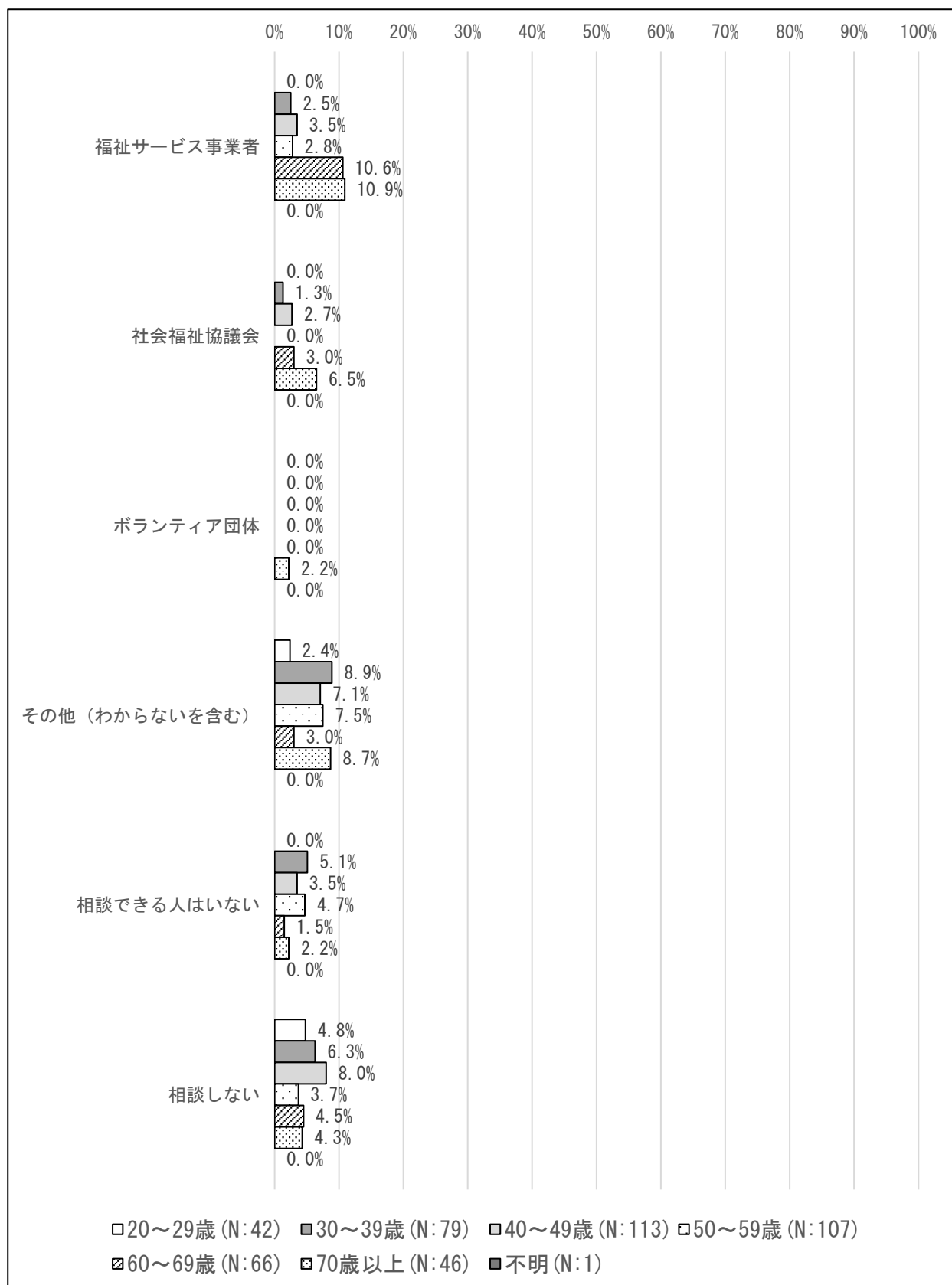
【男女別】



男女ともに「家族」が最も高く、次いで「知人・友人」、「親戚」の順となっている。

【年代別】



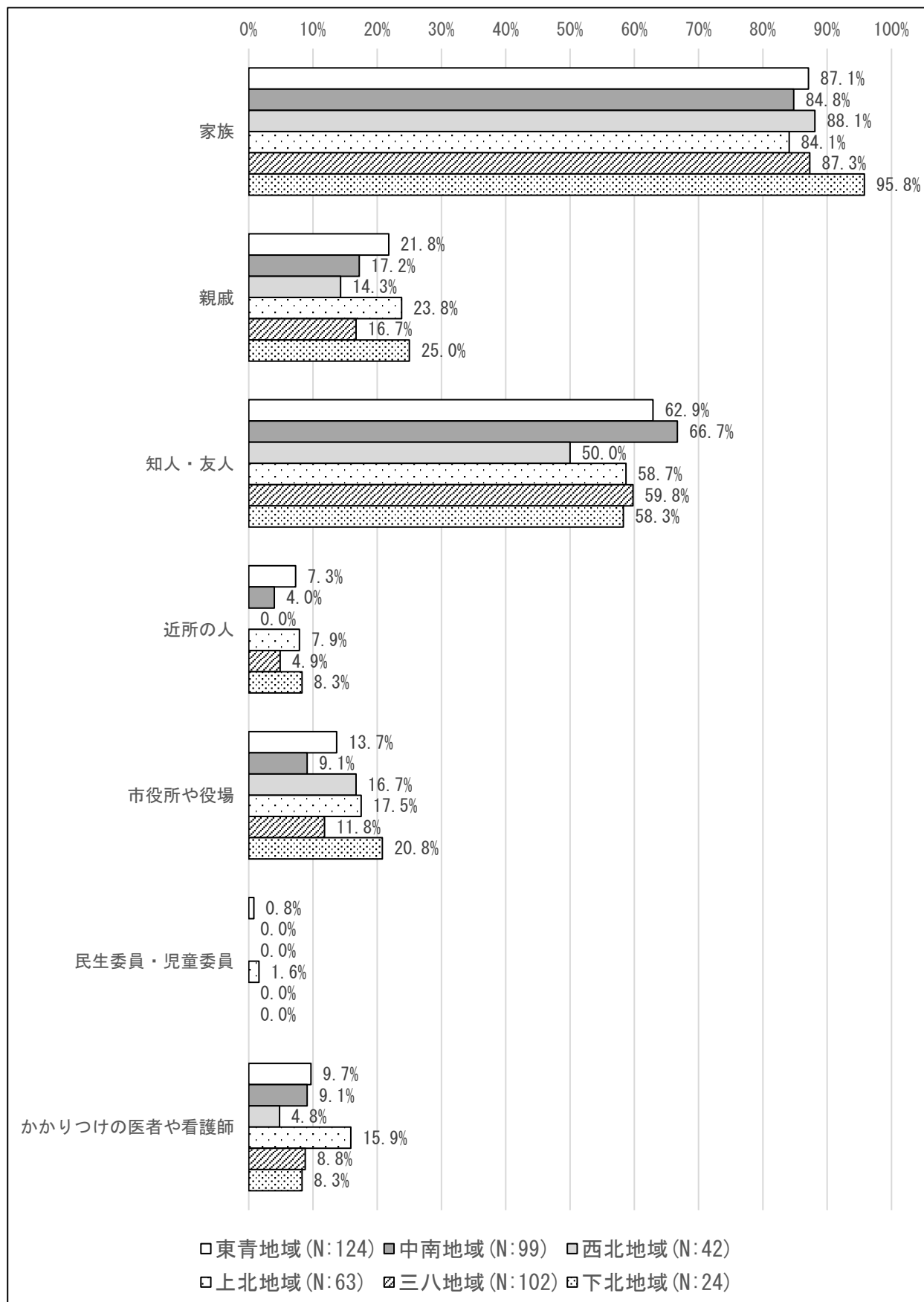


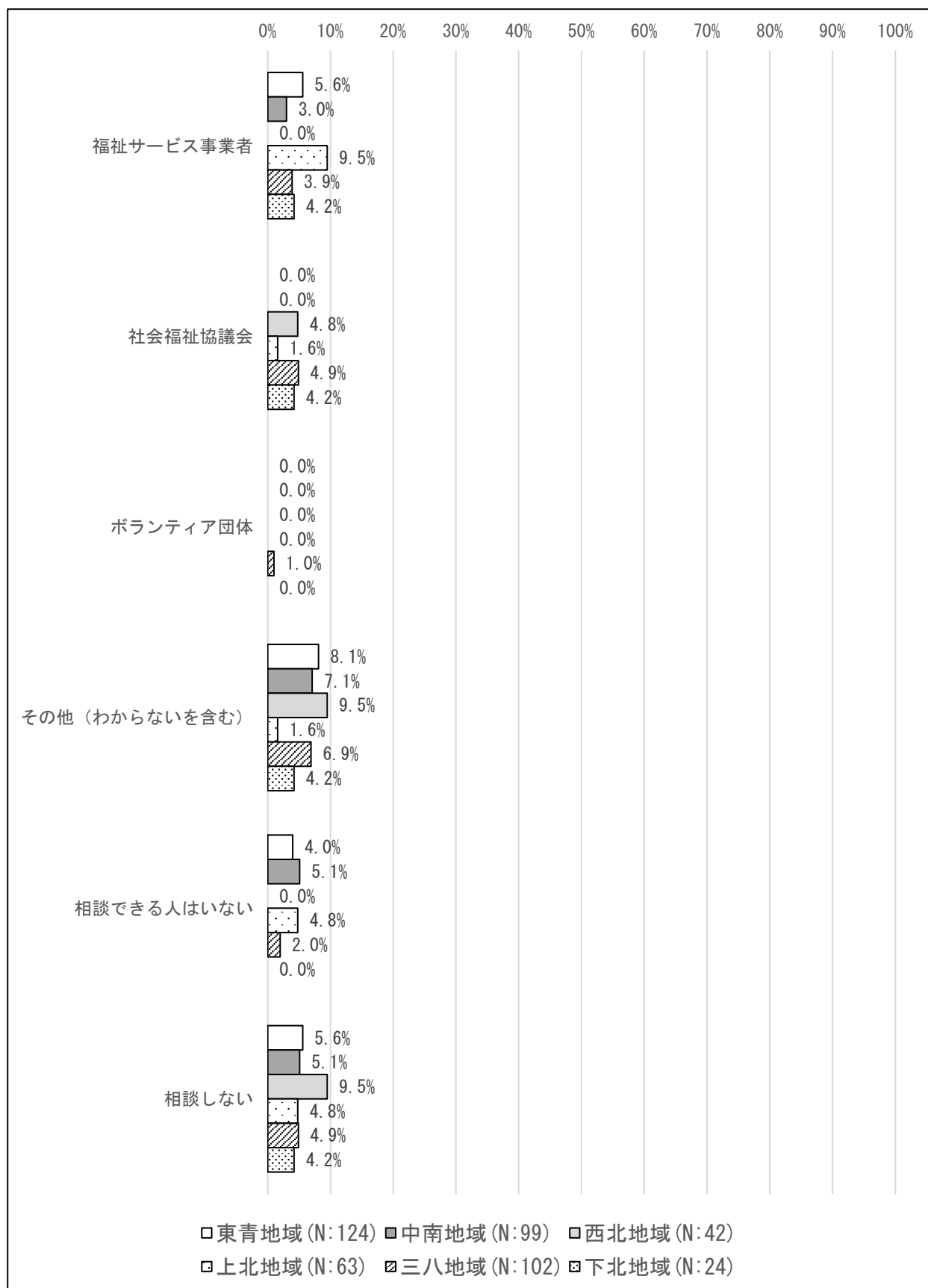
全ての年代で「家族」が最も高く、次いで「知人・友人」の順となっている。

「親戚」、「市役所や役場」は、年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

「60代」以上は「市役所や役場」、「かかりつけの医者や看護師」、「福祉サービス事業者」が他年代より高くなっている。

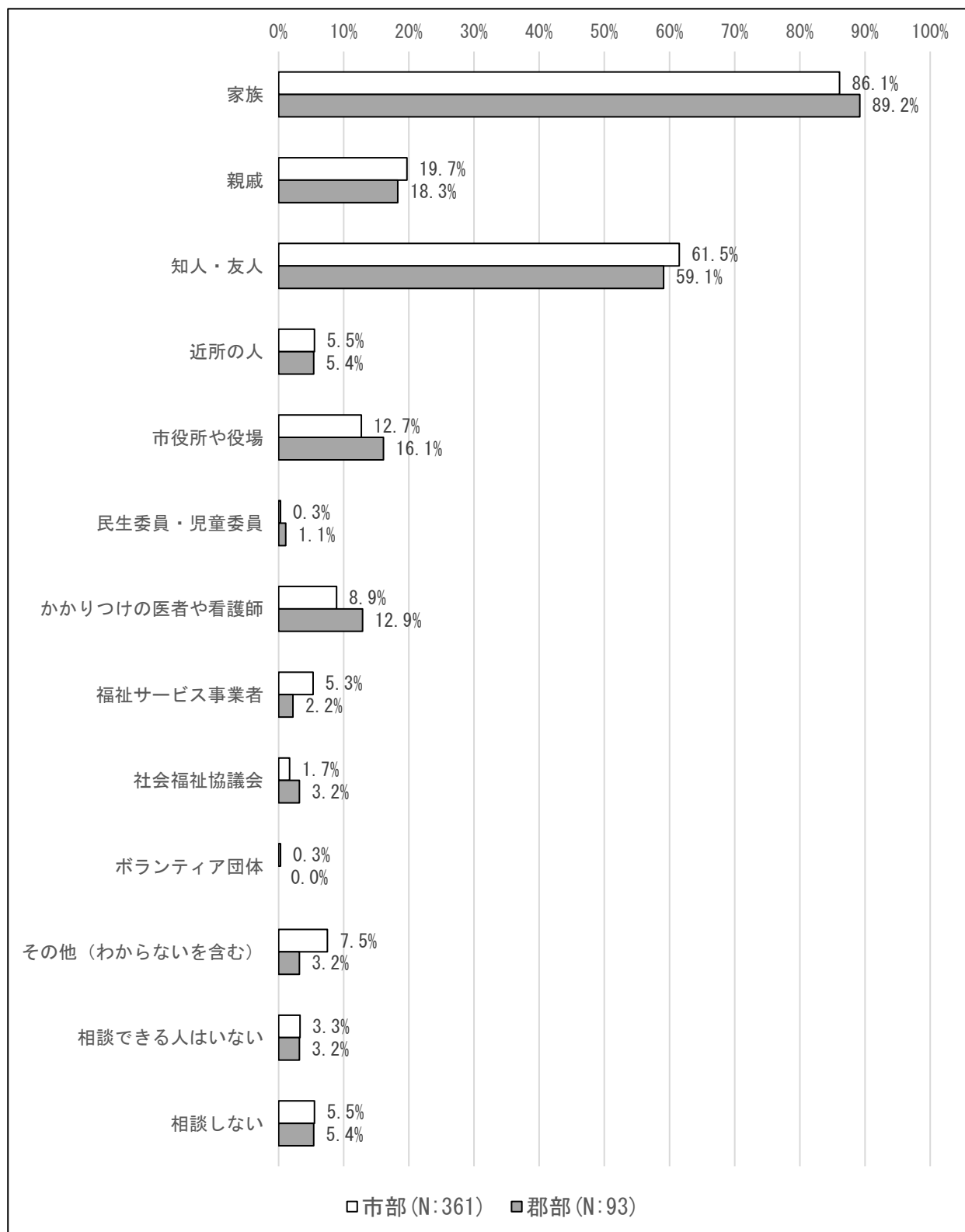
【地域別】





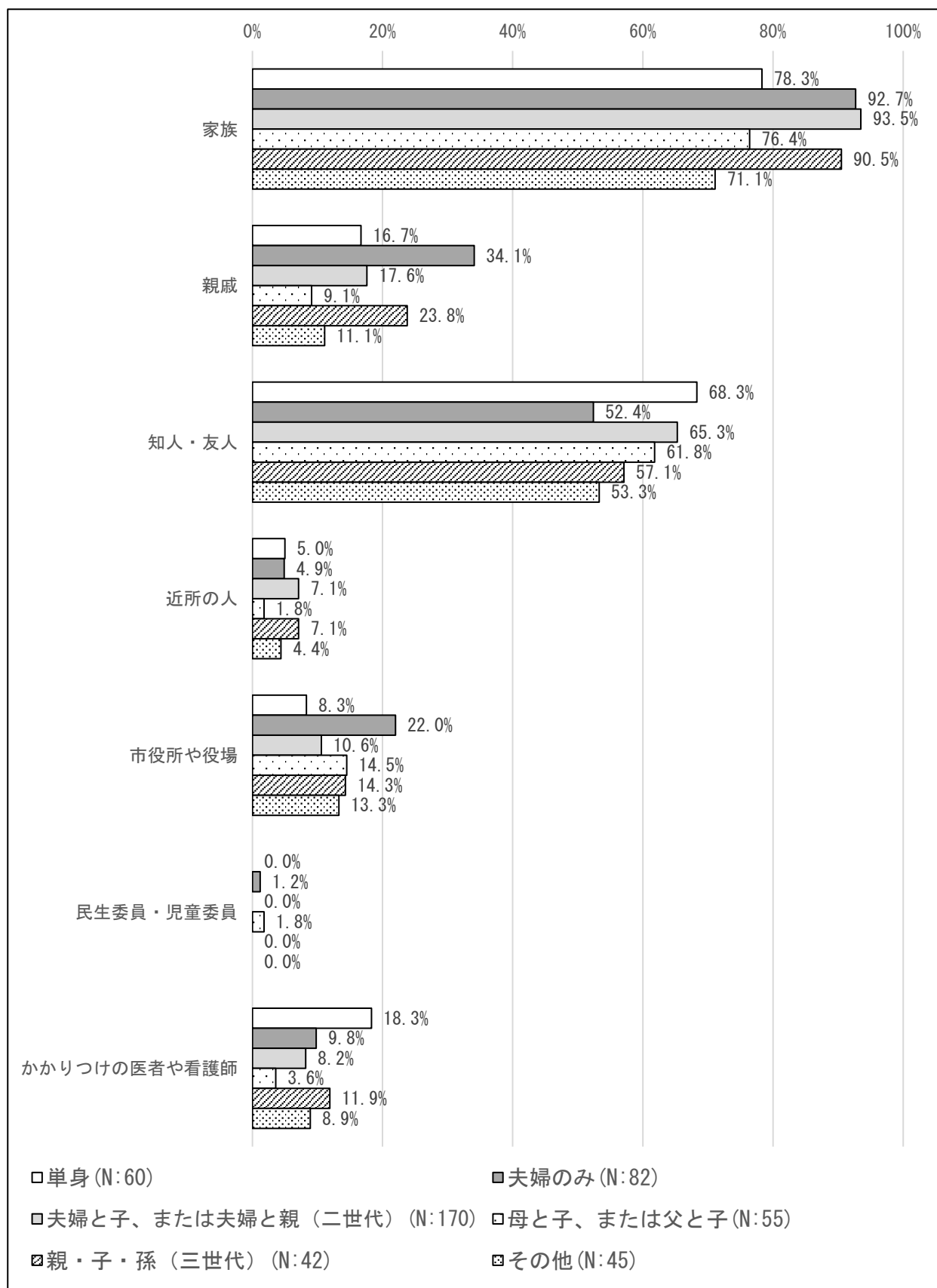
全ての地域で「家族」、「知人・友人」の順に高く、次いで「西北地域」は「市役所や役場」、その他の地域は「親戚」となっている。

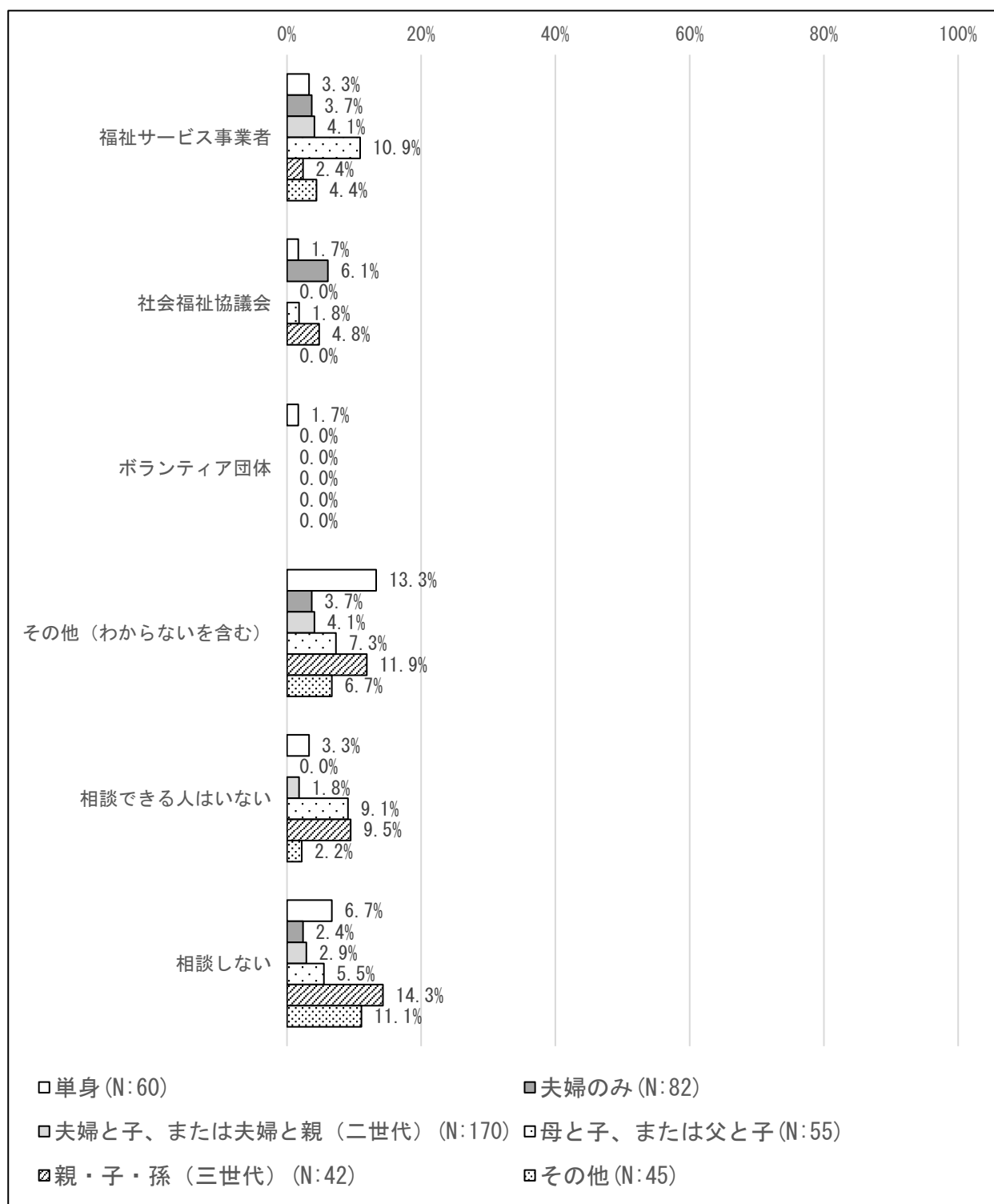
【市部・郡部別】



「市部」、「郡部」ともに「家族」が最も高く、次いで「知人・友人」、「親戚」の順となっている。「市役所や役場」、「かかりつけ医者や看護師」は、「郡部」が「市部」より高くなっている。

【家族構成別】



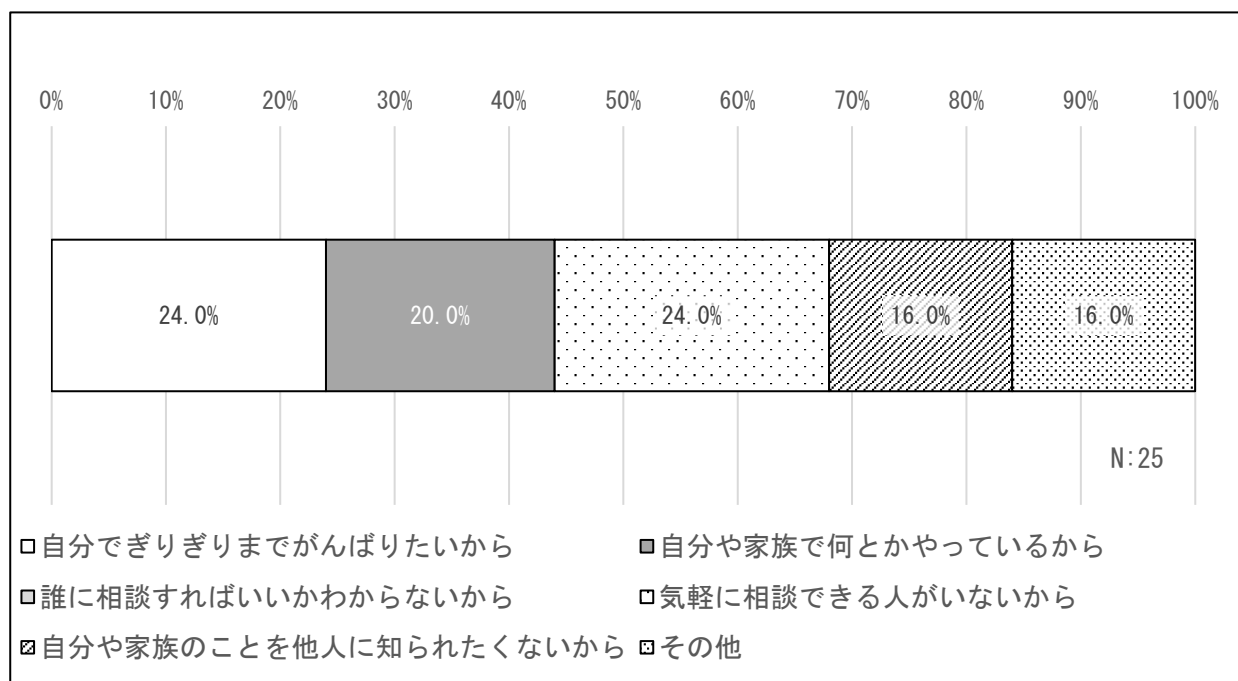


どの家族構成とも「家族」が最も高く、次いで「知人・友人」の順となっている。

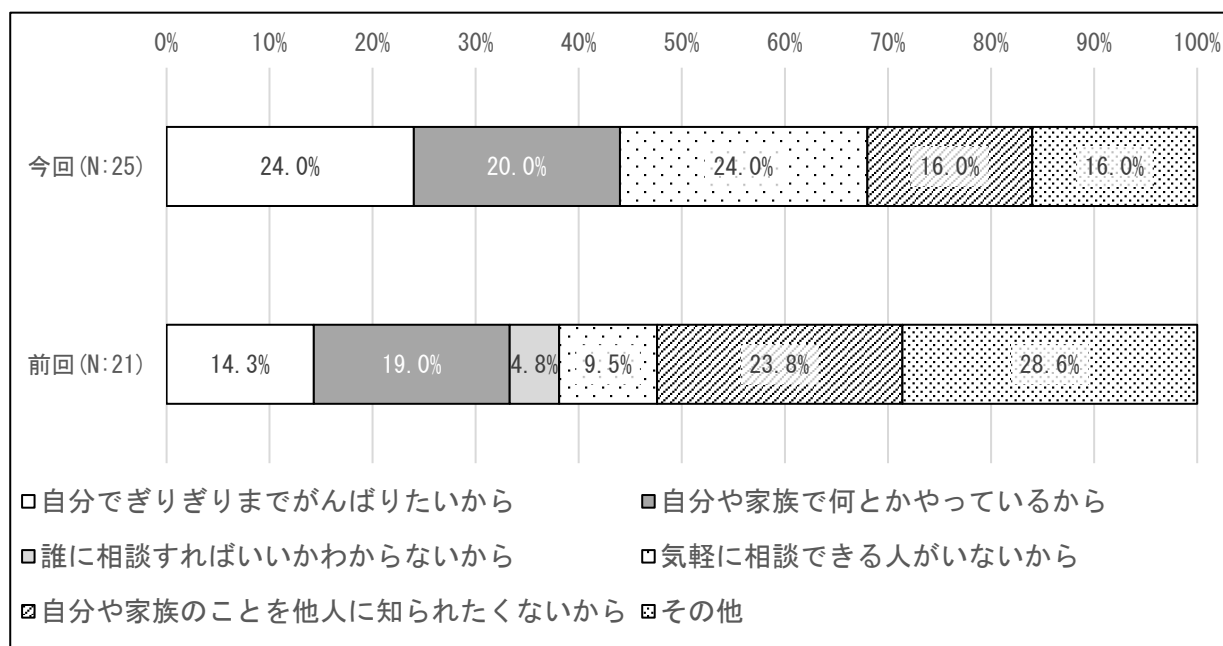
問 7-1 問 7 で「⑬ 相談しない」を選んだ方におうかがいします。
その理由は何ですか。（１つ）

※問 7-1 については、有効回答数が少ないため参考資料として掲載しています。

・困っている時や不安なときに相談しない理由

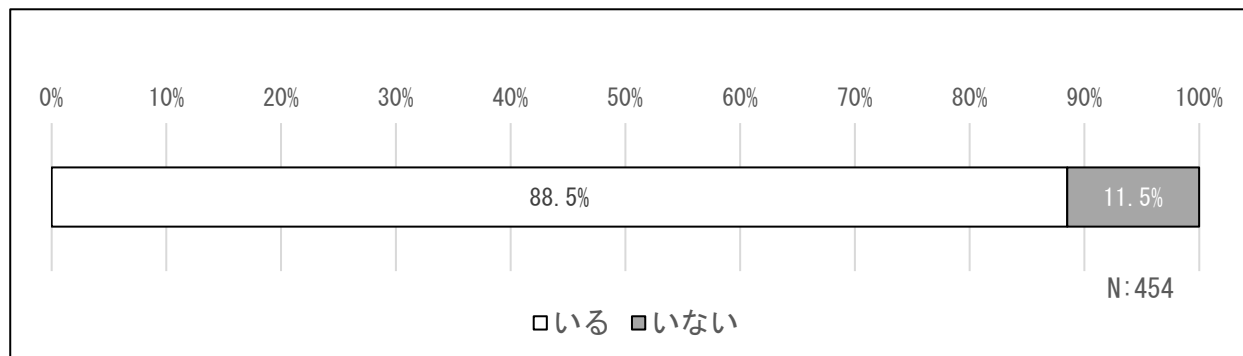


【前回との比較】



問8 あなたには、困った時に頼れる人はいますか。（1つ）

・困っていることや不安なことの相談先

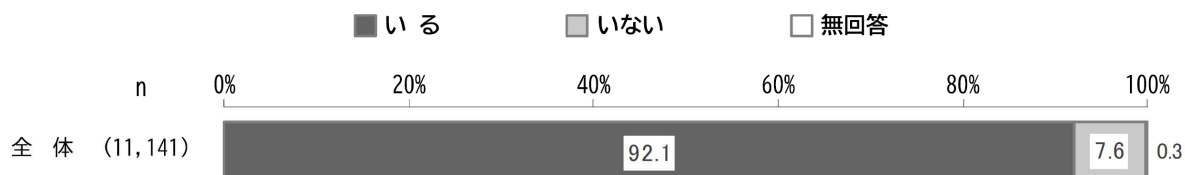


「頼れる人がいる」が88.5%、「頼れる人がいない」が11.5%となっている。

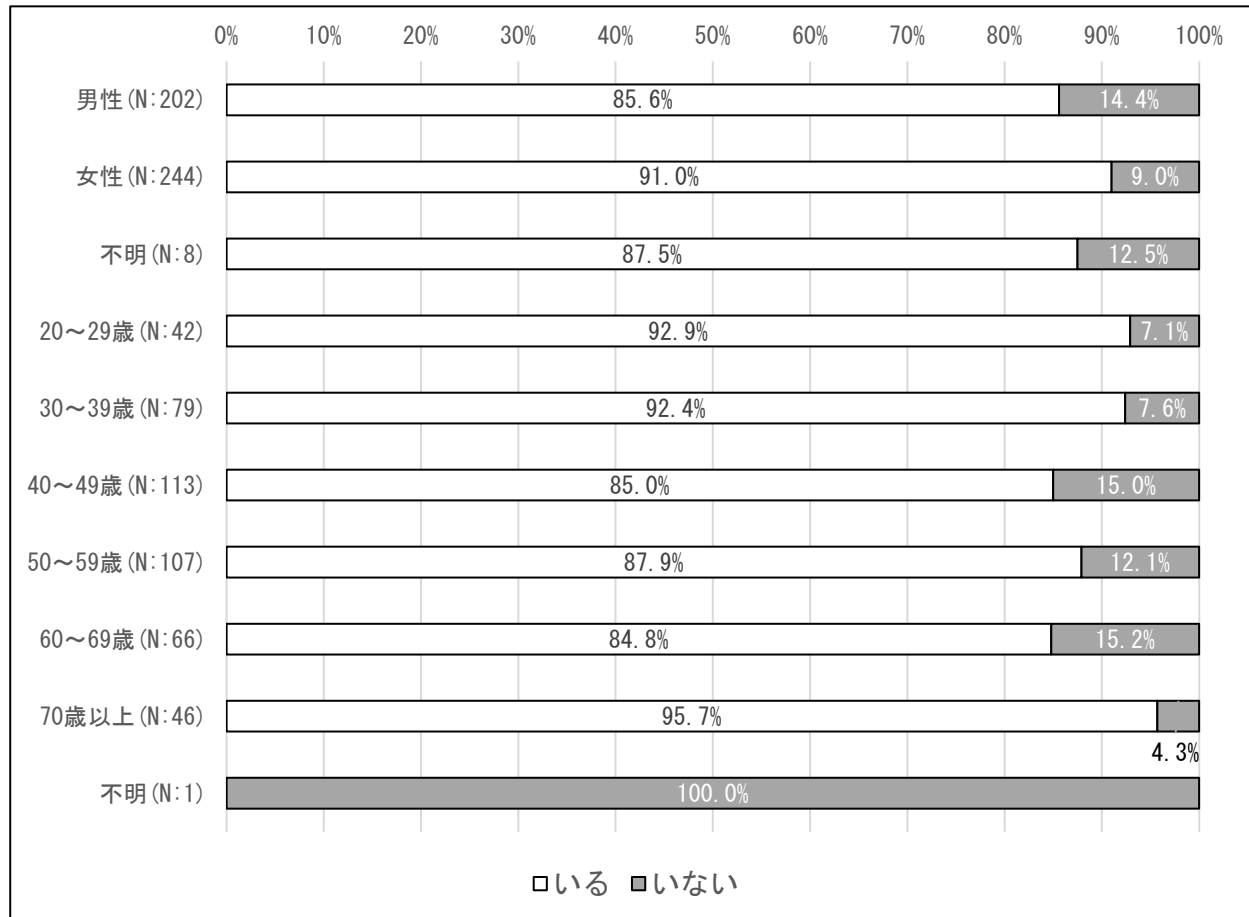
参考

「人々のつながりに関する基礎調査（令和5年）」調査結果の概要
令和6年3月 内閣官房孤独・孤立対策担当室

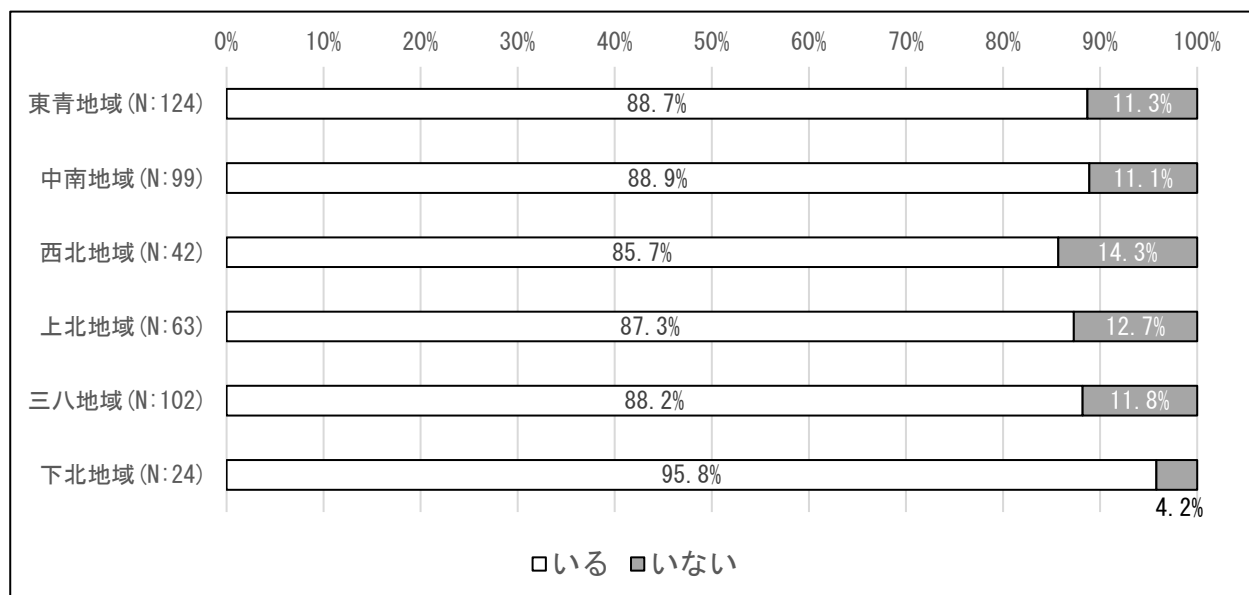
【困った時に頼れる人の有無】



【男女別・年代別】

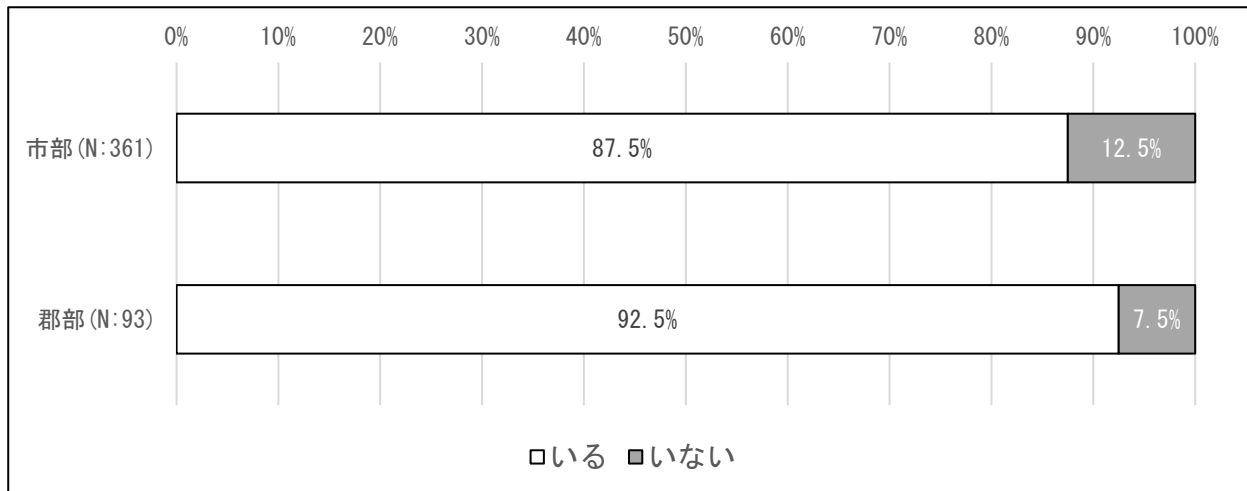


【地域別】



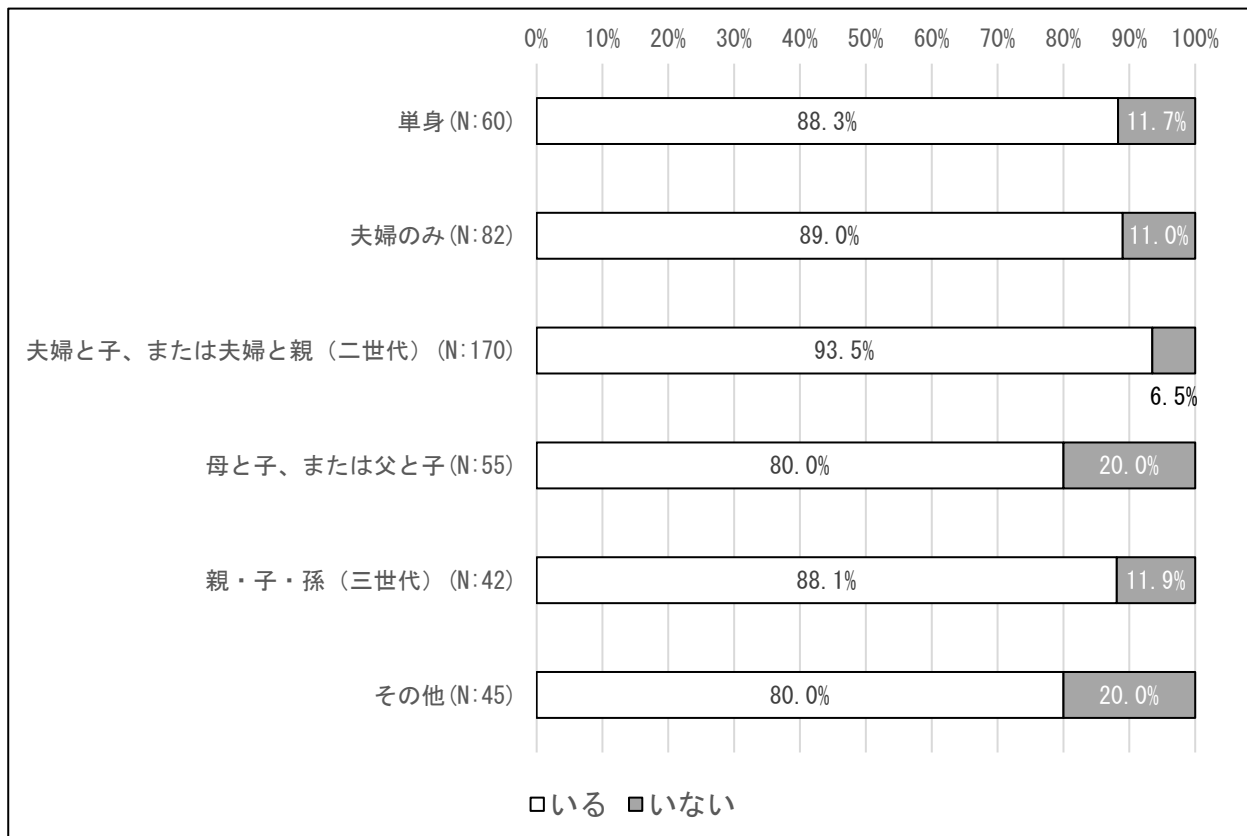
「下北地域」の「頼れる人がいる」の割合が95.8%と高くなっている。

【市部・郡部別】



「市部」と比べて「郡部」の方が「頼れる人がある」の割合が高くなっている。

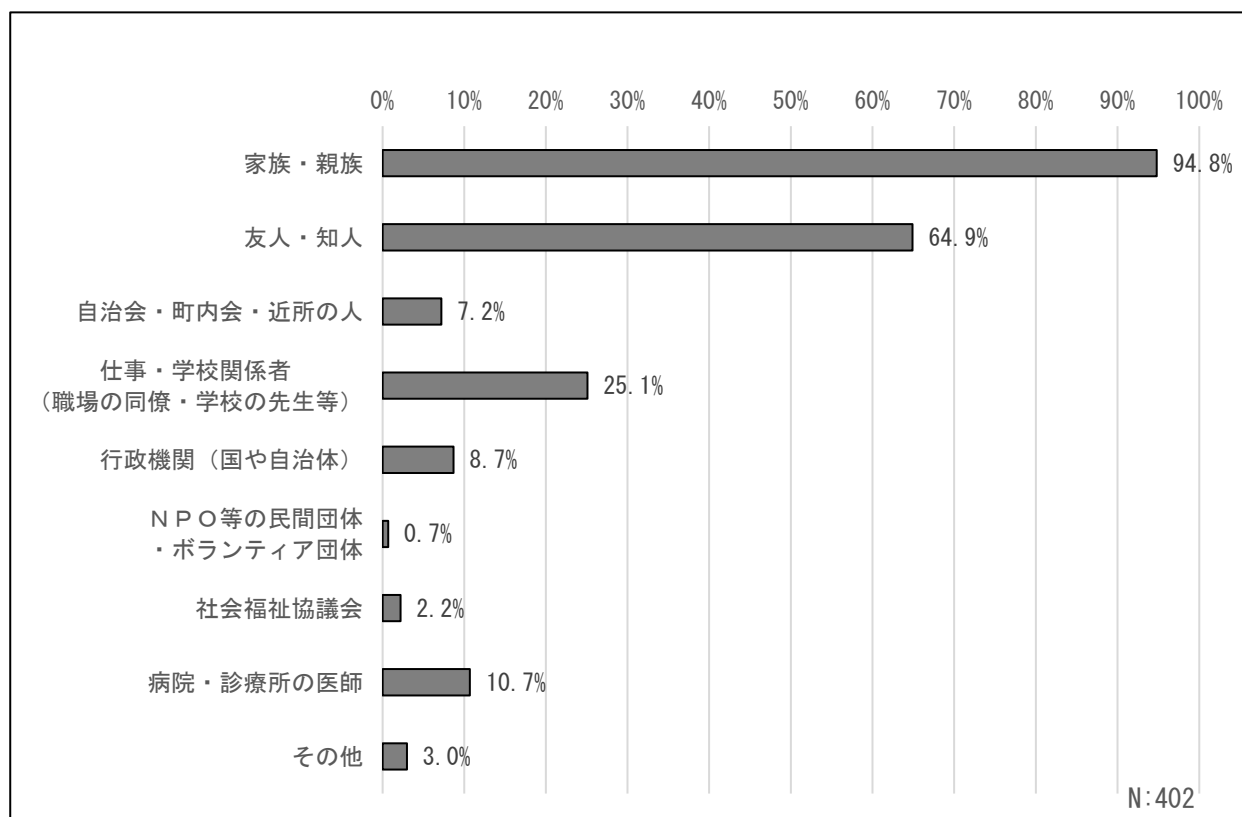
【家族構成別】



「夫婦と子、または夫婦と親（二世帯）」の「頼れる人がある」の割合が 93.5% と高くなっている。

問 8-1 問 8 で「①いる」を選んだ方におうかがいします。
あなたは誰を頼りますか。（あてはまるものすべて）

・頼れる相手



「家族・親族」が 94.8%、「友人・知人」が 64.9%、「仕事・学校関係者」が 25.1%となっている。

参考

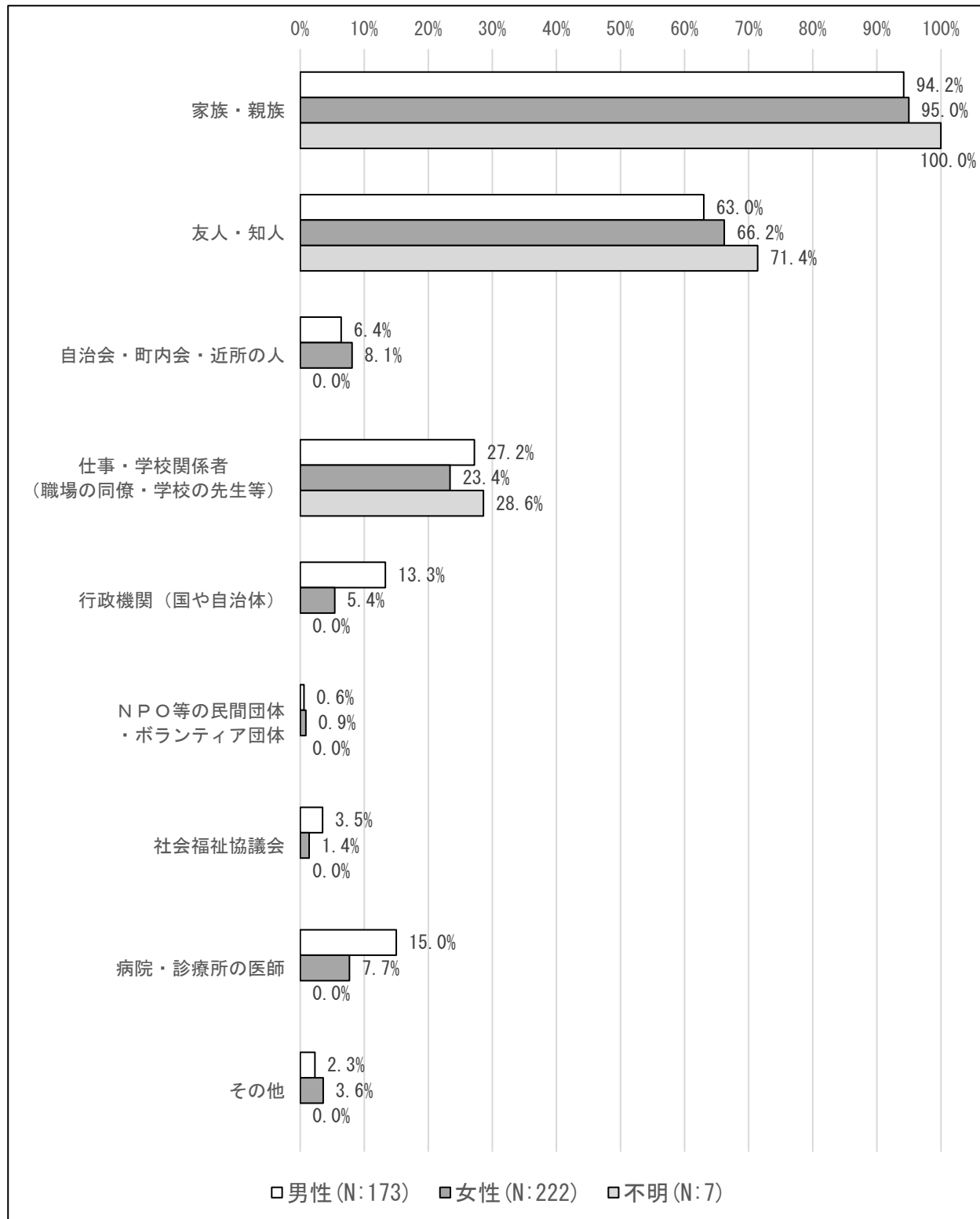
「人々のつながりに関する基礎調査（令和 5 年）」調査結果の概要
令和 6 年 3 月 内閣官房孤独・孤立対策担当室

【困った時に頼れる人の種類】複数回答

		家族・親族	友人・知人	自治会・町内会・近所の人	仕事・学校関係者 (職場の同僚・学校の先生等)	行政機関 (国や自治体)	NPO等の民間団体・ ボランティア団体	社会福祉協議会	病院・診療所の医師	その他	無回答
	n										
全 体	10,261	95.8	55.8	9.7	21.1	5.4	0.9	2.9	17.0	1.9	0.2

(%)

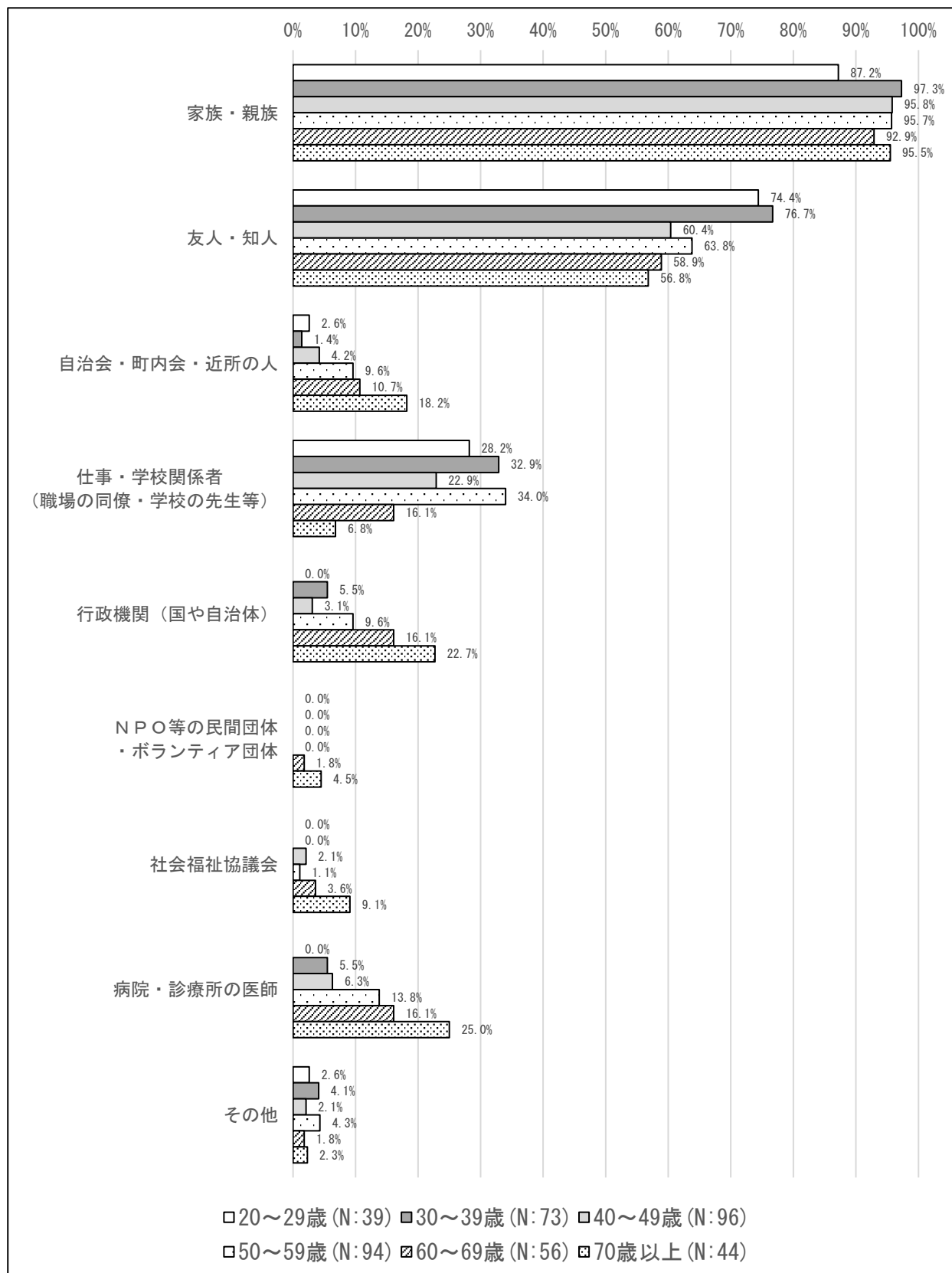
【男女別】



男性、女性ともに「家族・親族」が最も高く、次いで、「友人・知人」、「仕事・学校関係者」の順となっている。

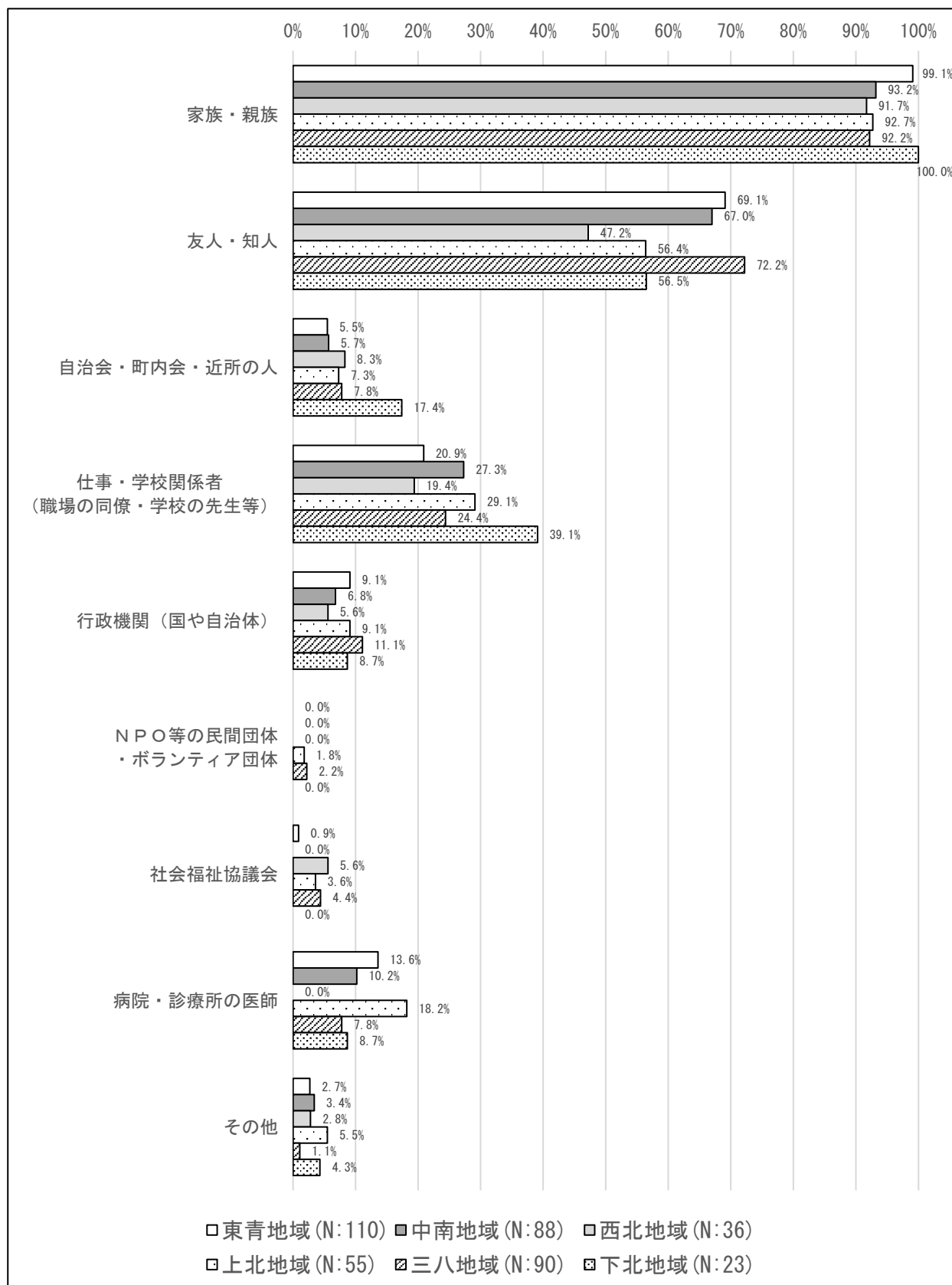
男性は「行政機関」、「病院・診療所の医師」が女性より高くなっている。

【年代別】



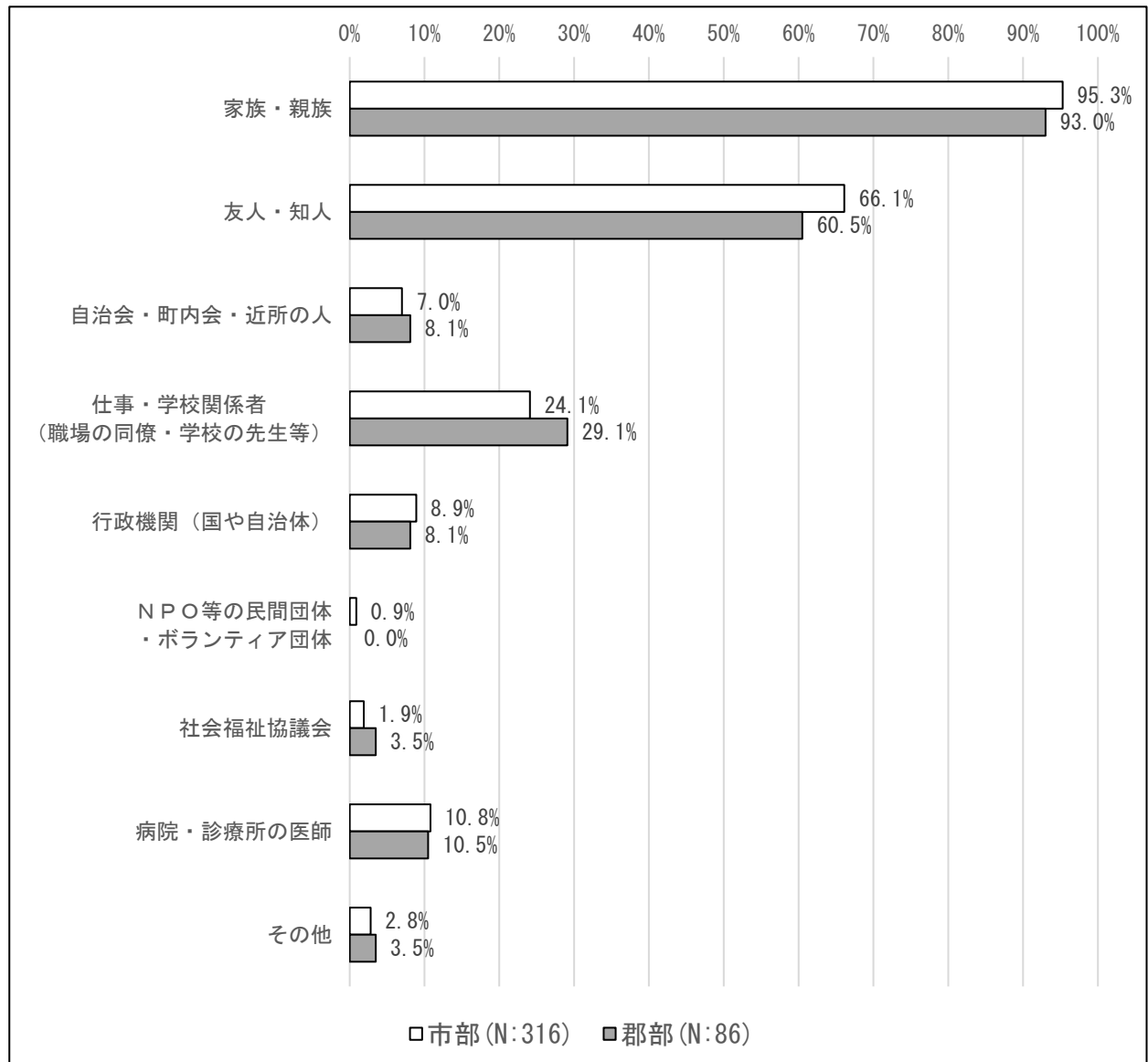
「家族・親族」が最も高く、次いで「知人・友人」の順となっている。年代が上がるにつれて「自治会・町内会・近所の人」、「行政機関」、「病院・診療所の医師」が高くなっている。

【地域別】



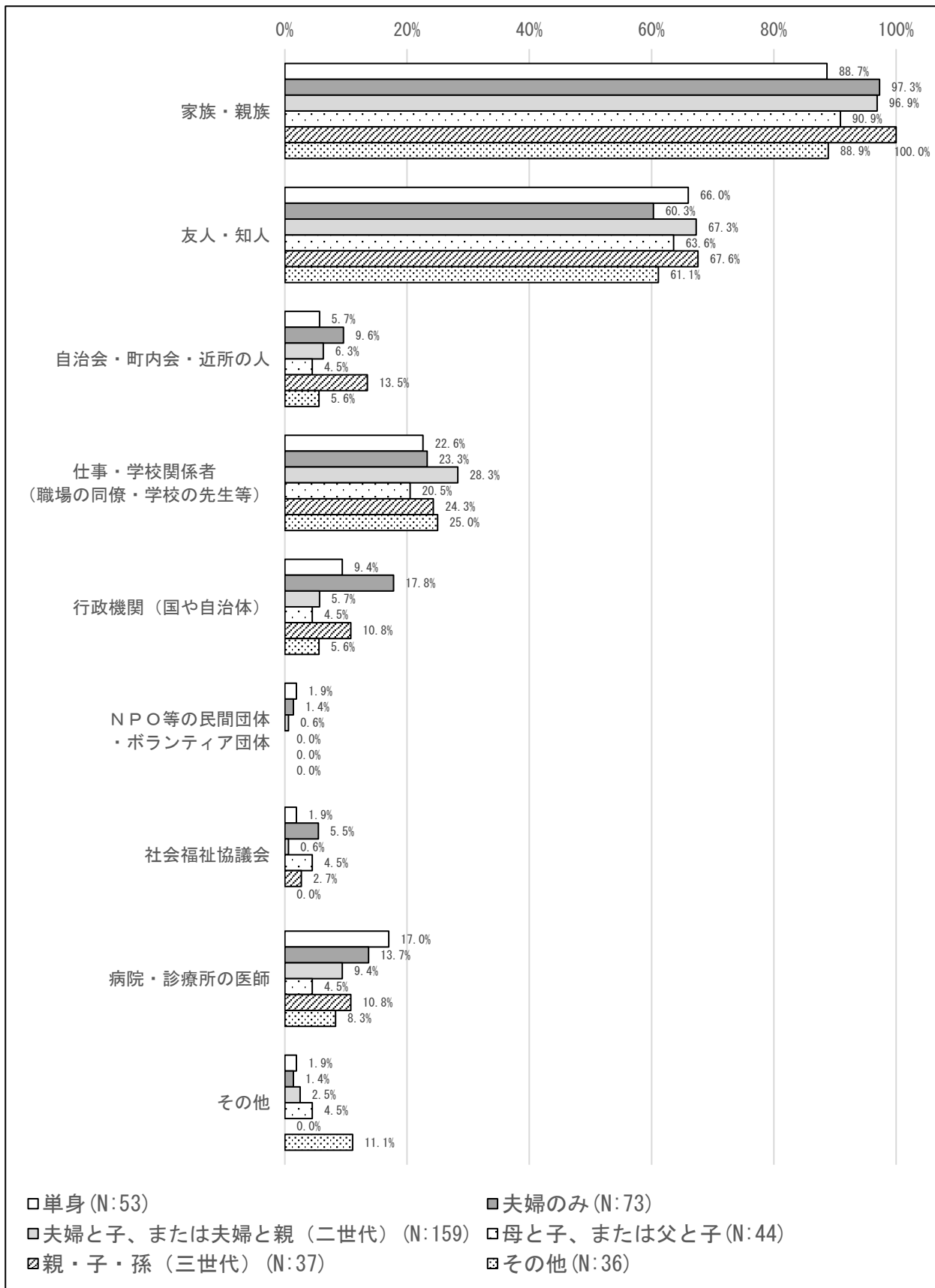
「家族・親族」が最も高くなっている。「東青地域」、「中南地域」、「三八地域」は他地域と比べて「友人・知人」が高くなっている。「下北地域」は「自治会・町内会・近所の人」、「仕事・学校関係者」が他地域と比べて高くなっている。

【市部・郡部別】



「家族・親族」、「友人・知人」、「仕事・学校関係者」の順で高くなっている。

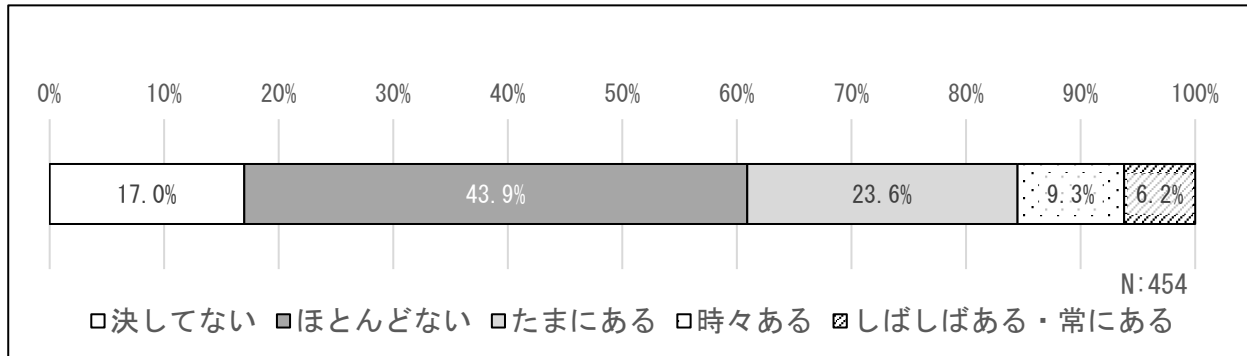
【家族構成別】



どの家族構成とも「家族・親族」が最も高く、次いで「友人・知人」、「仕事・学校関係者（職場の同僚・学校の先生等）」の順で高くなっている。

問9 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。（1つ）

・孤独を感じる



「ほとんどない」が43.9%、「たまにある」が23.6%、「決してない」が17.0%となっている。

「決してない」、「ほとんどない」の合計が60.9%と大きい一方で、「しばしばある・常にある」が6.2%となっている。

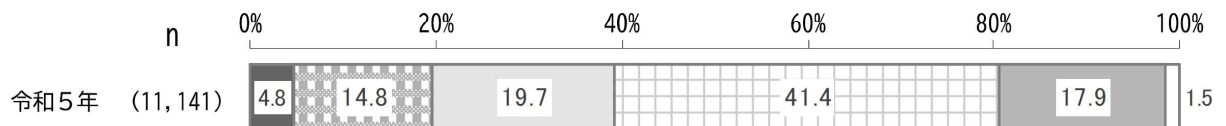
参考

「人々のつながりに関する基礎調査（令和5年）」調査結果の概要

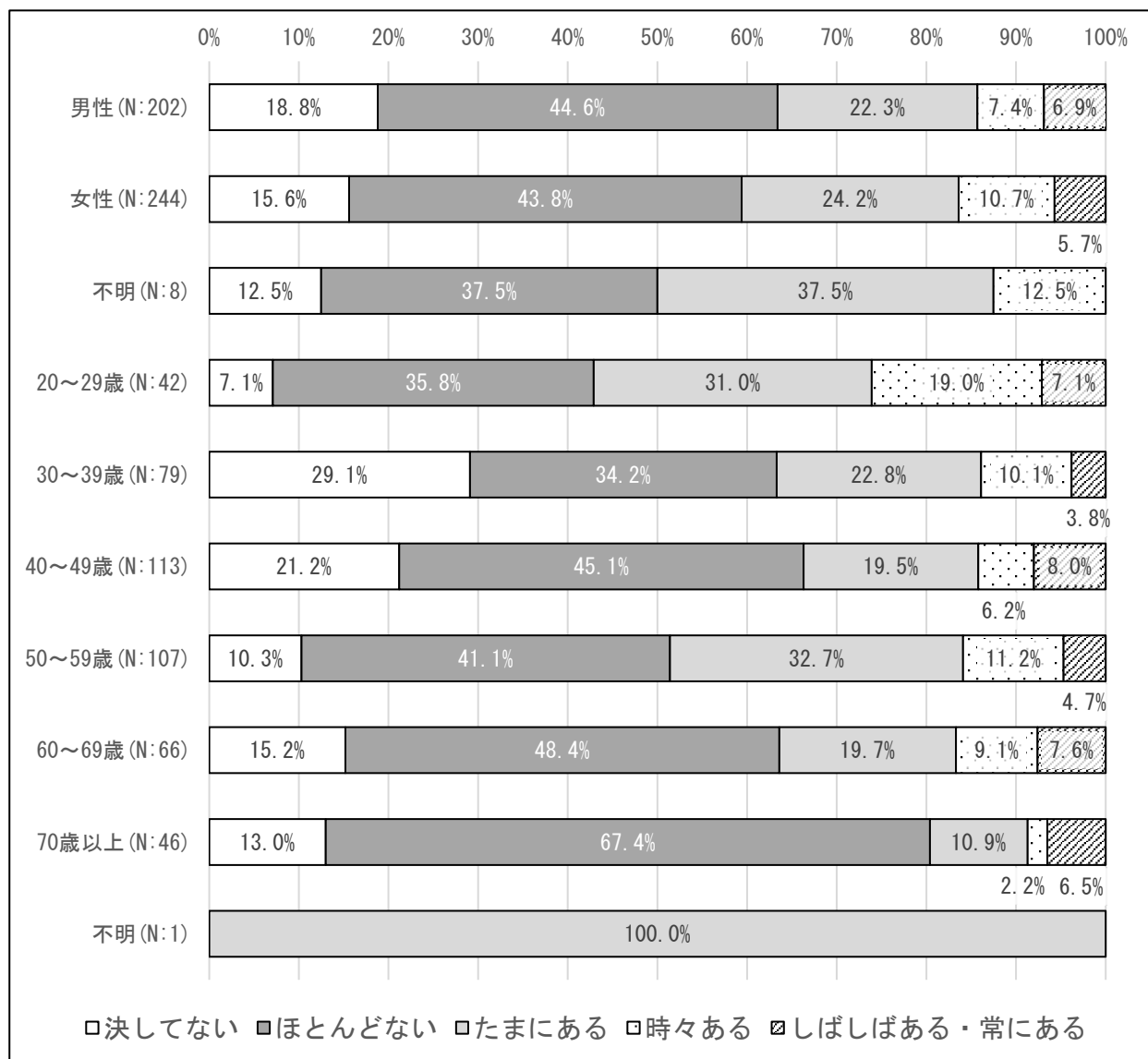
令和6年3月 内閣官房孤独・孤立対策担当室

【孤独の状況（直接質問）】

■しばしばある・常にある ■時々ある ■たまにある ■ほとんどない ■決してない □無回答



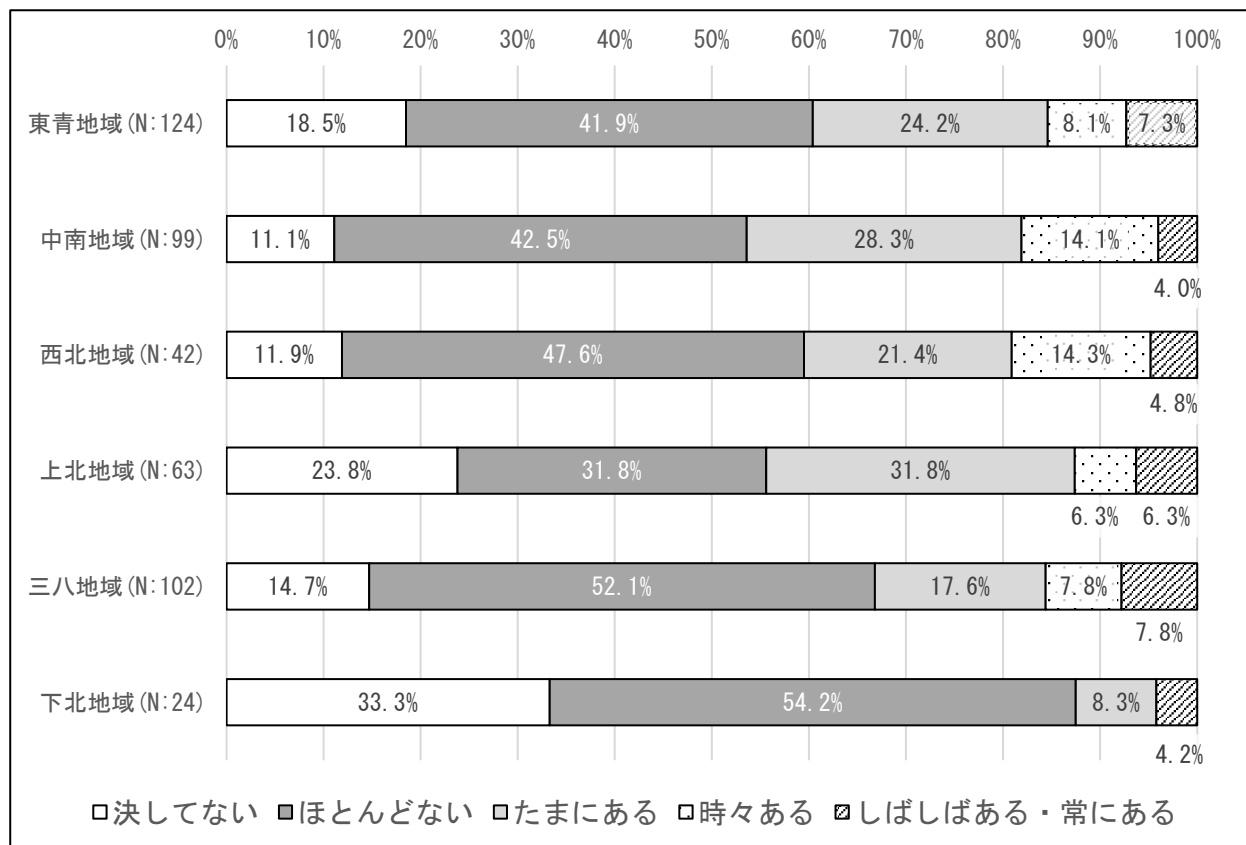
【男女別・年代別】



男女ともに、「ほとんどない」が最も高く、次いで、「たまにある」、「決してない」の順となっている。

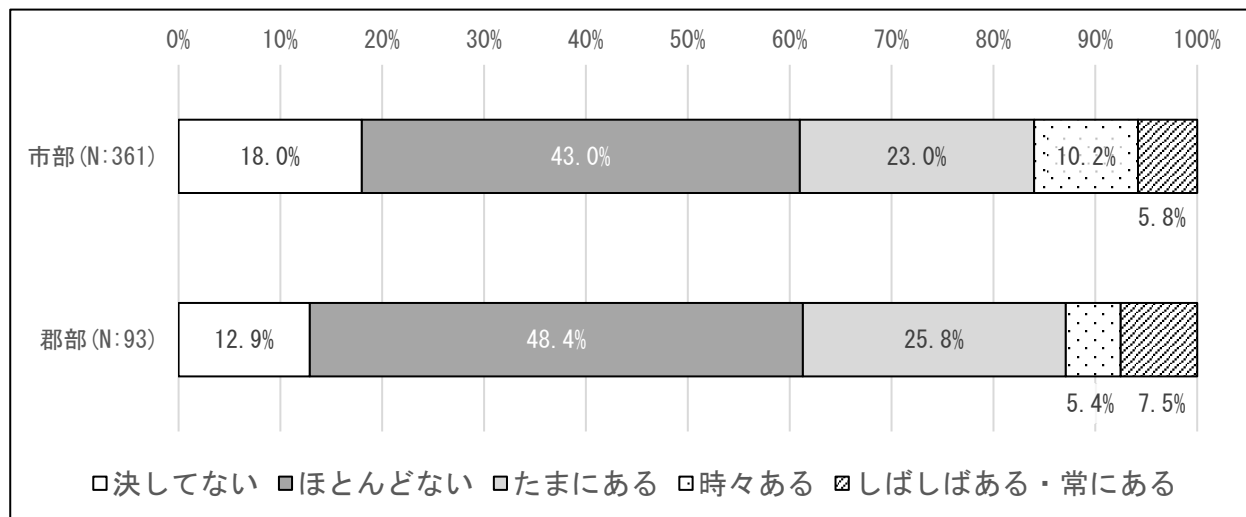
20代は「たまにある」、「時々ある」、「しばしばある・常にある」の合計が57.1%と高くなっている。

【地域別】

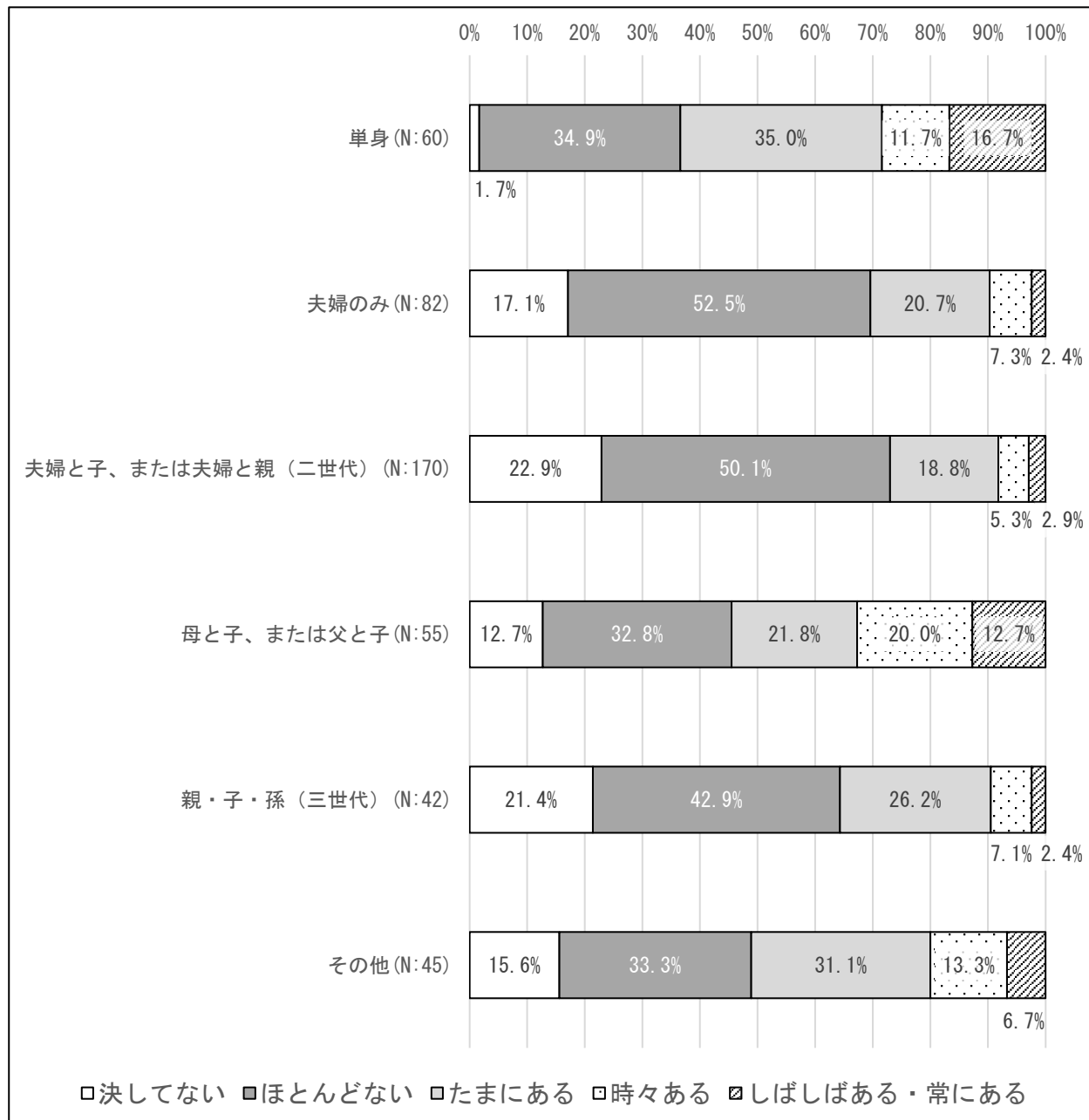


「ほとんどない」、「決してない」の合計を比較すると、「下北地域」が他地域と比べて高くなっている。

【市部・郡部別】



【家族構成別】

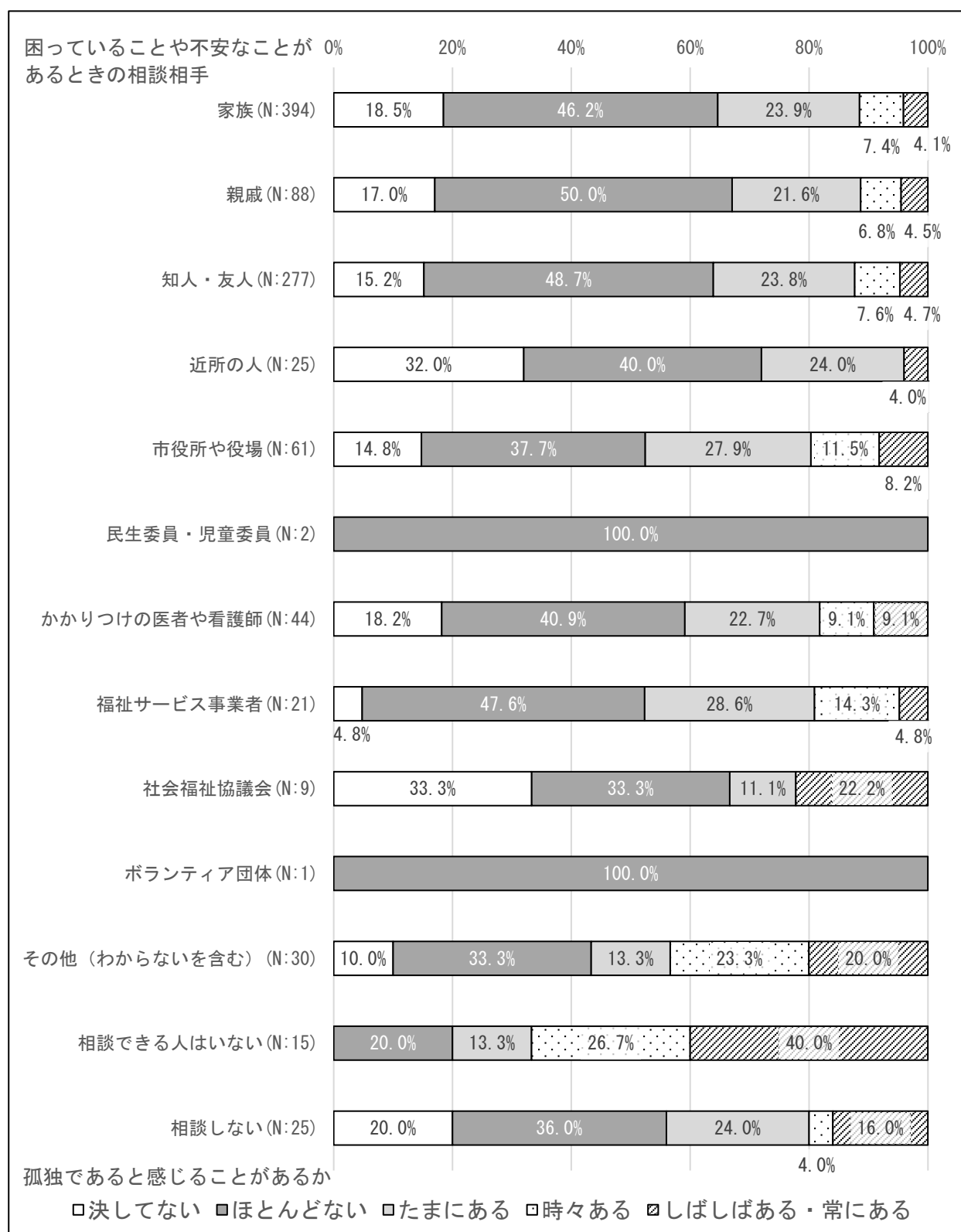


「単身」、「母と子、または父と子」は「時々ある」、「しばしばある・常にある」が他の家族構成と比べて高くなっている。

「夫婦」、「夫婦と子、または夫婦と親 (二世帯)」、「親・子・孫 (三世帯)」は、「ほとんどない」の割合が高い。

問7 困っていることや不安なことがあるときの相談相手

×問9 孤独であると感じることがあるか

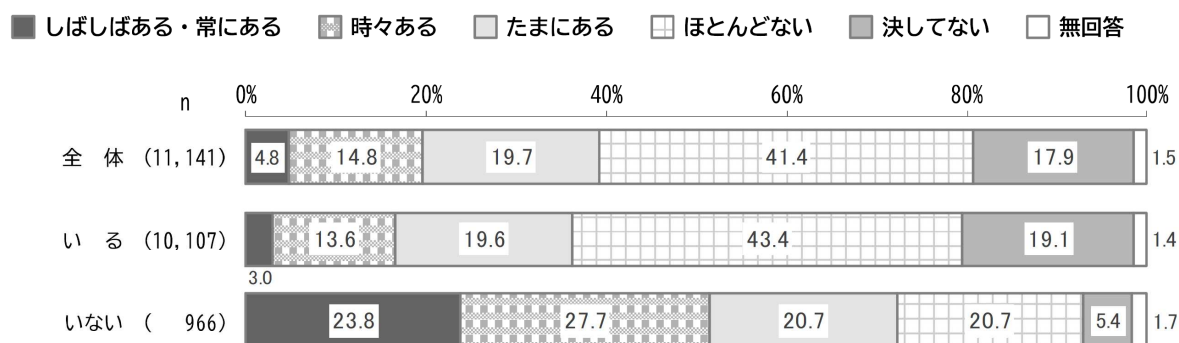


孤独であると感じることが「時々ある」、「しばしばある・常にある」がある方は、「相談できる人はいない」、「その他（わからないを含む）」の割合が高い。

参考

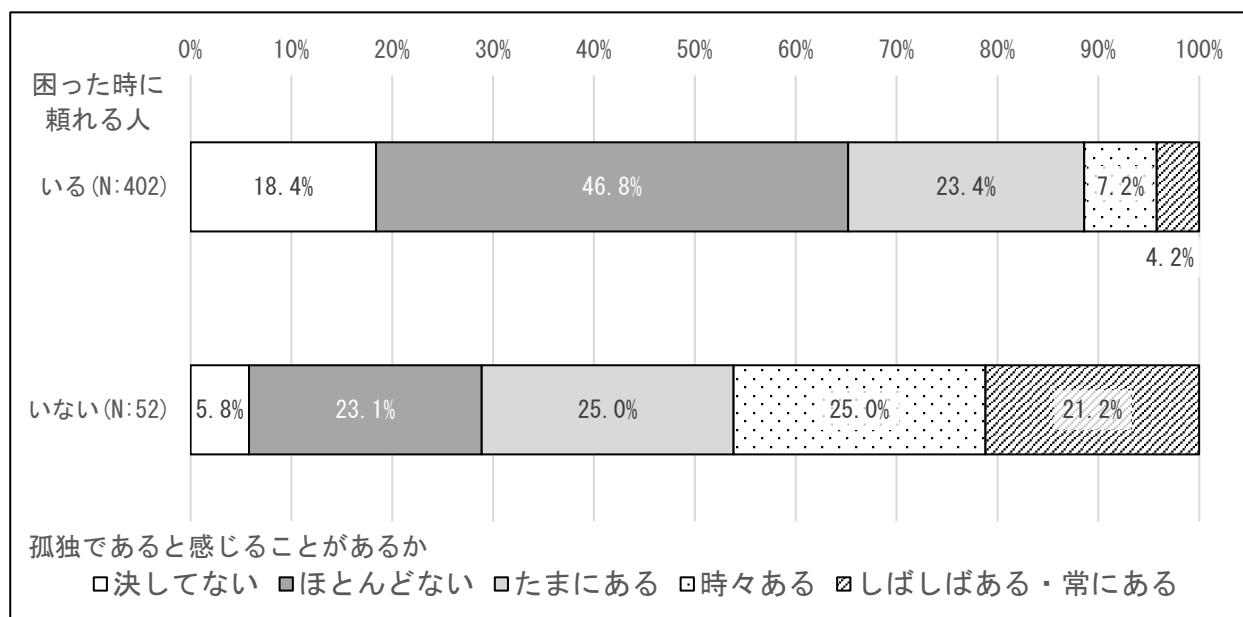
「人々のつながりに関する基礎調査（令和５年）」調査結果の概要
令和６年３月 内閣官房孤独・孤立対策担当室

【不安や悩みの相談相手の有無別孤独感（直接質問）】



問8 困った時に頼れる人（いる・いない）

×問9 孤独であると感じることがあるか

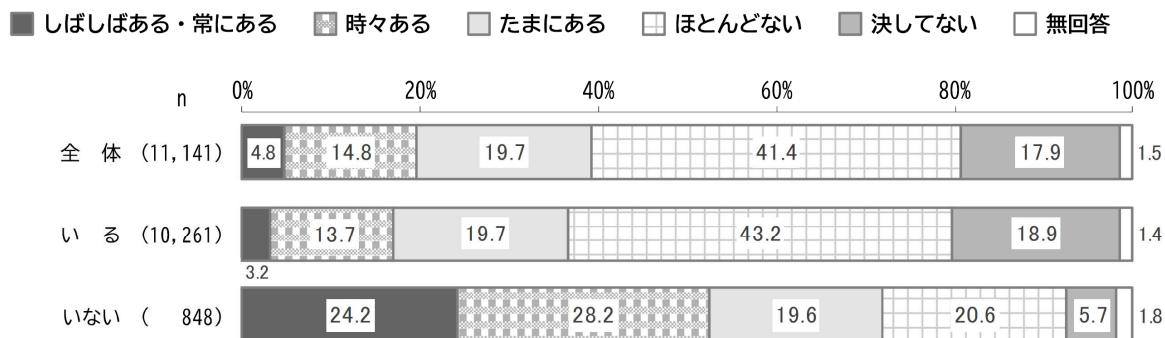


困った時に頼れる人が「いる」の場合、孤独であると感じることが「決してない」、「ほとんどない」が65.2%と高く、頼れる人が「いない」の場合は、「たまにある」、「時々ある」、「しばしばある・常にある」が71.2%と高くなっている。

参考

「人々のつながりに関する基礎調査（令和5年）」調査結果の概要
 令和6年3月 内閣官房孤独・孤立対策担当室

【困った時に頼れる人の有無別孤独感（直接質問）】

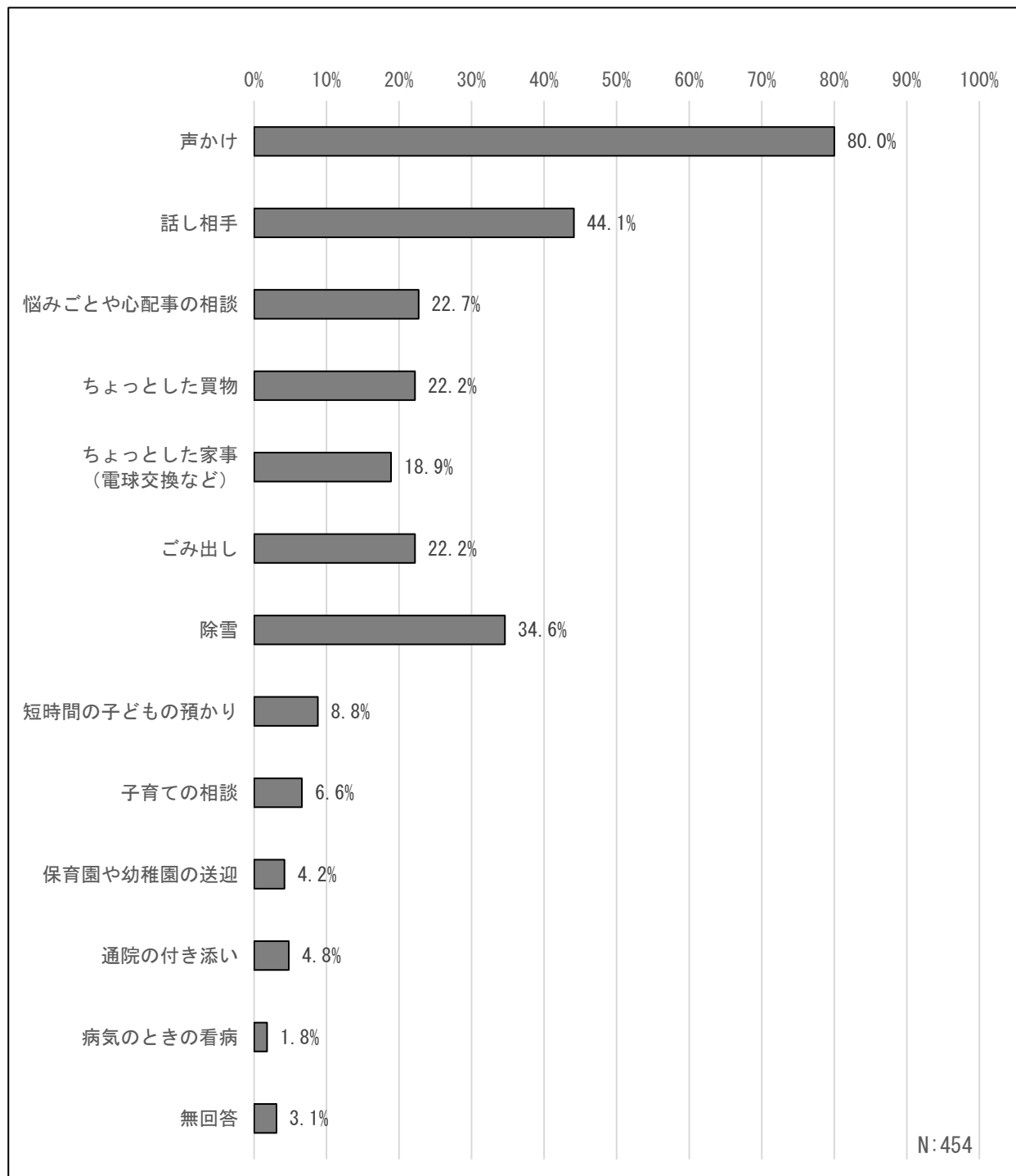


問 10 隣近所で困っている人がいる場合に、

①あなたが手助けできることは何ですか。（できることすべて）

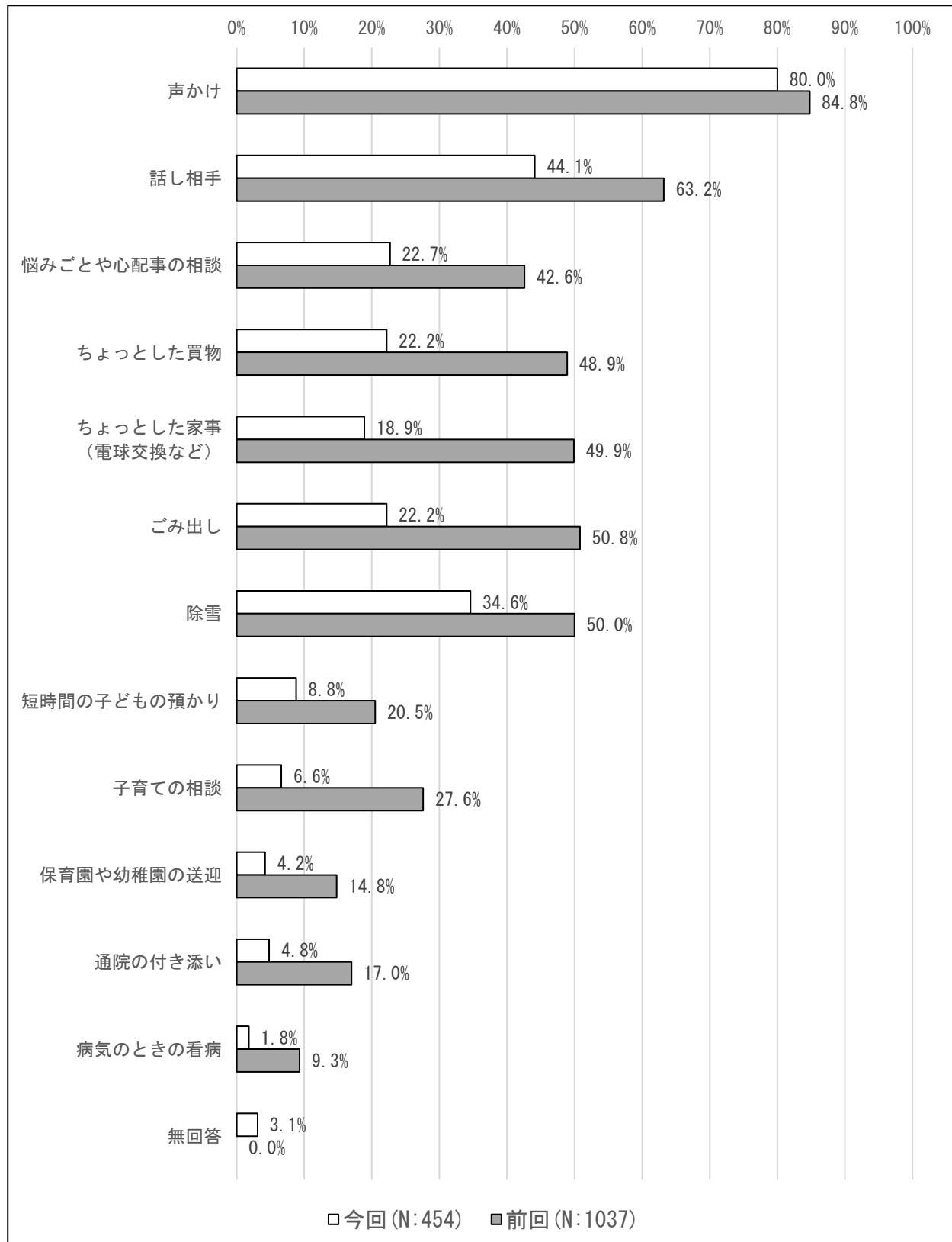
②隣近所の人に手助けしてほしいことは何ですか。（してほしいことすべて）

・ 隣近所で困っている場合（あなたが手助けできること）



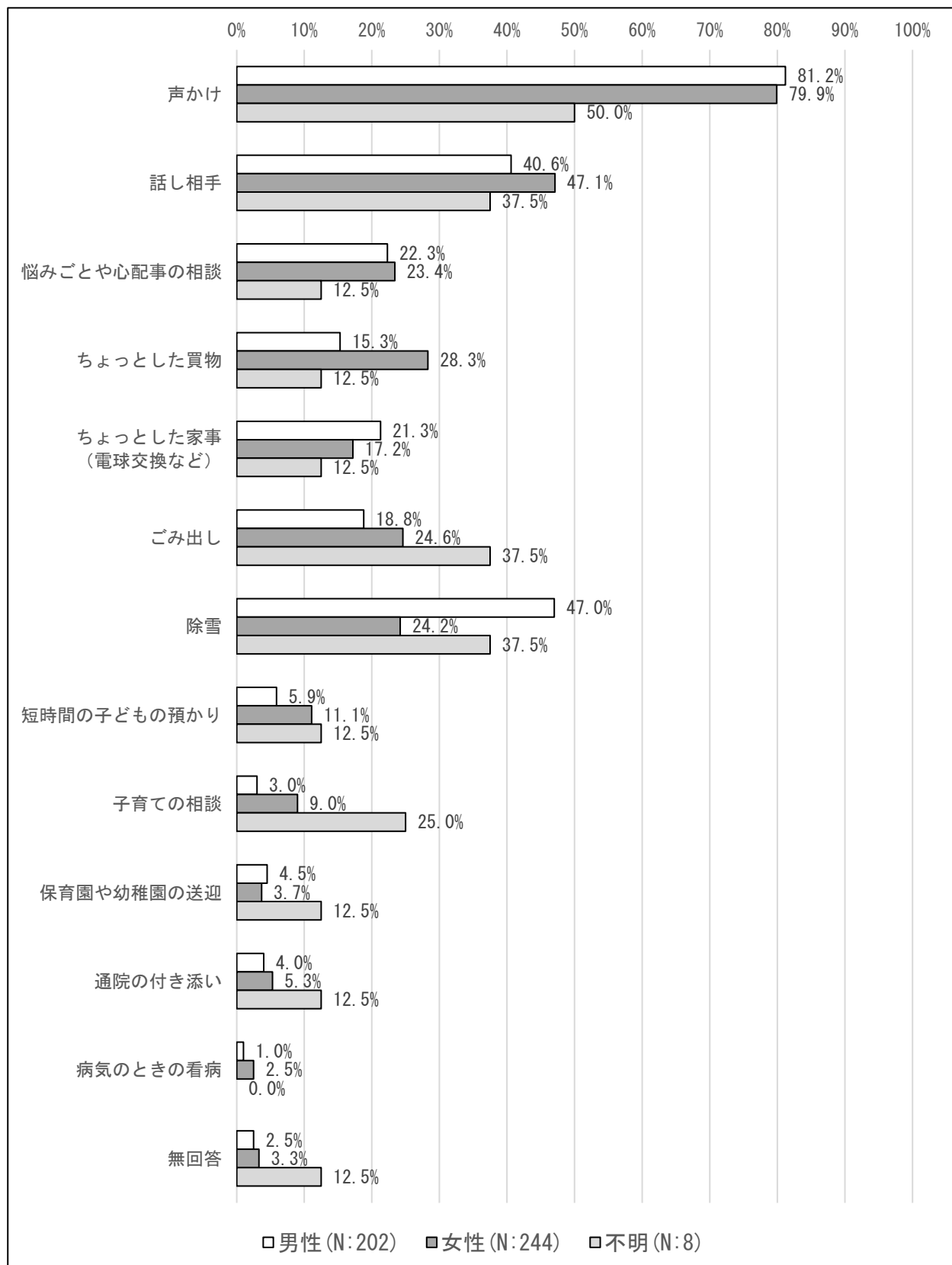
「声かけ」が80.0%、「話し相手」が44.1%、「除雪」が34.6%と高くなっている。

【前回との比較】



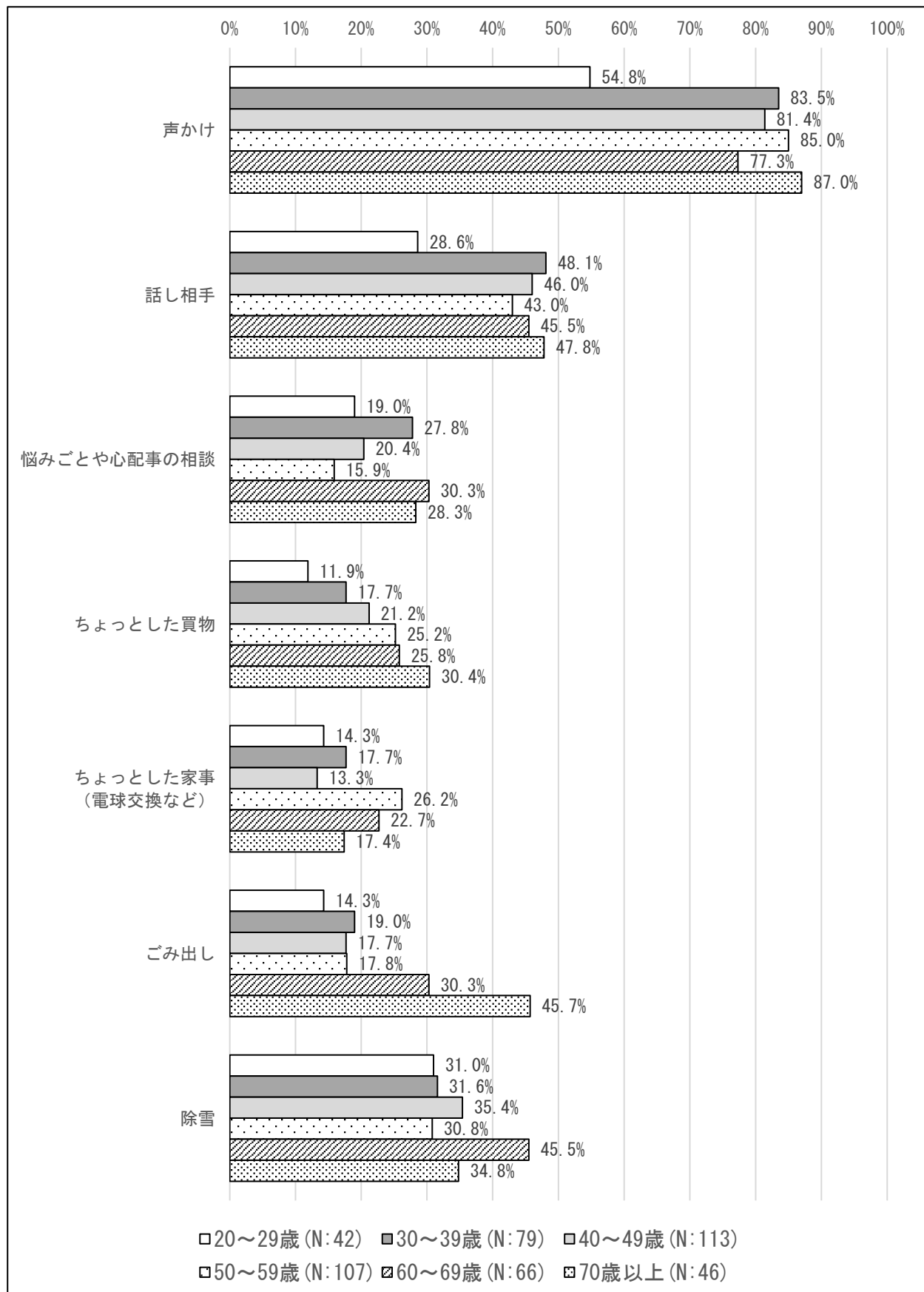
前回と同様に「声かけ」が最も高く、次いで「話し相手」の順となっている。

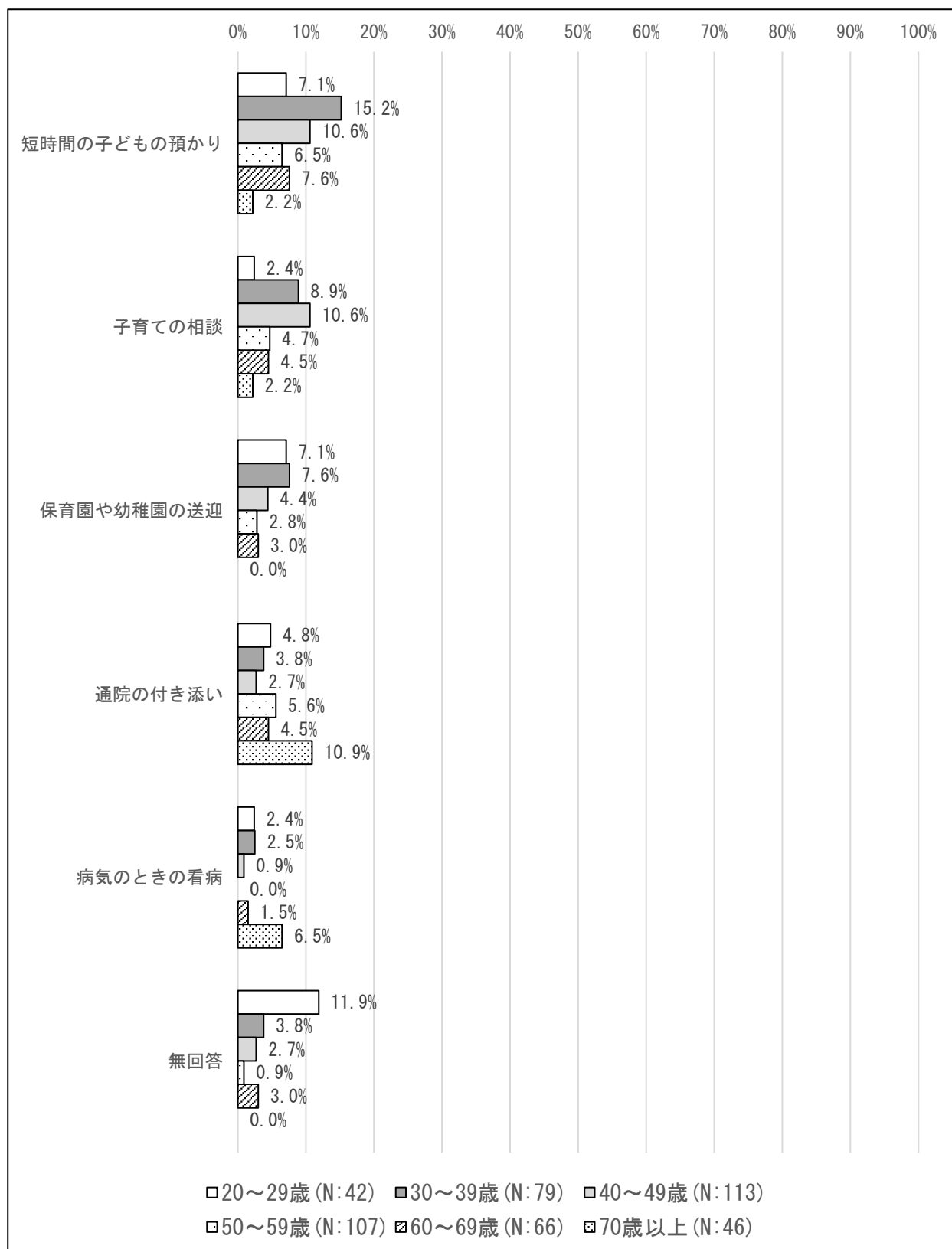
【男女別】（手助けできること）



男女ともに「声かけ」が最も高く、次いで男性は「除雪」、「話し相手」の順となっている。女性は、「話し相手」、「ちょっとした買物」の順となっている。

【年代別】（手助けできること）

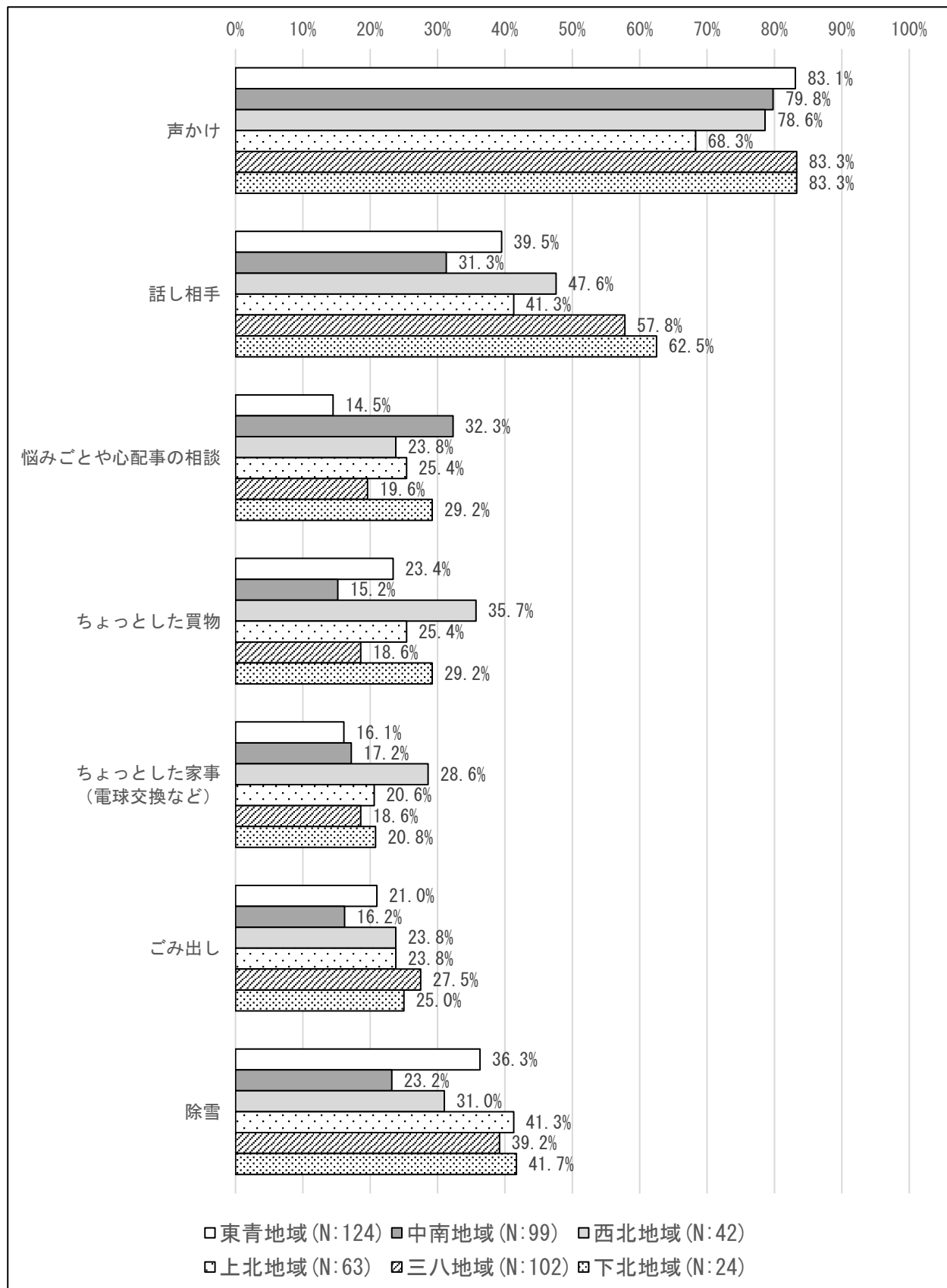


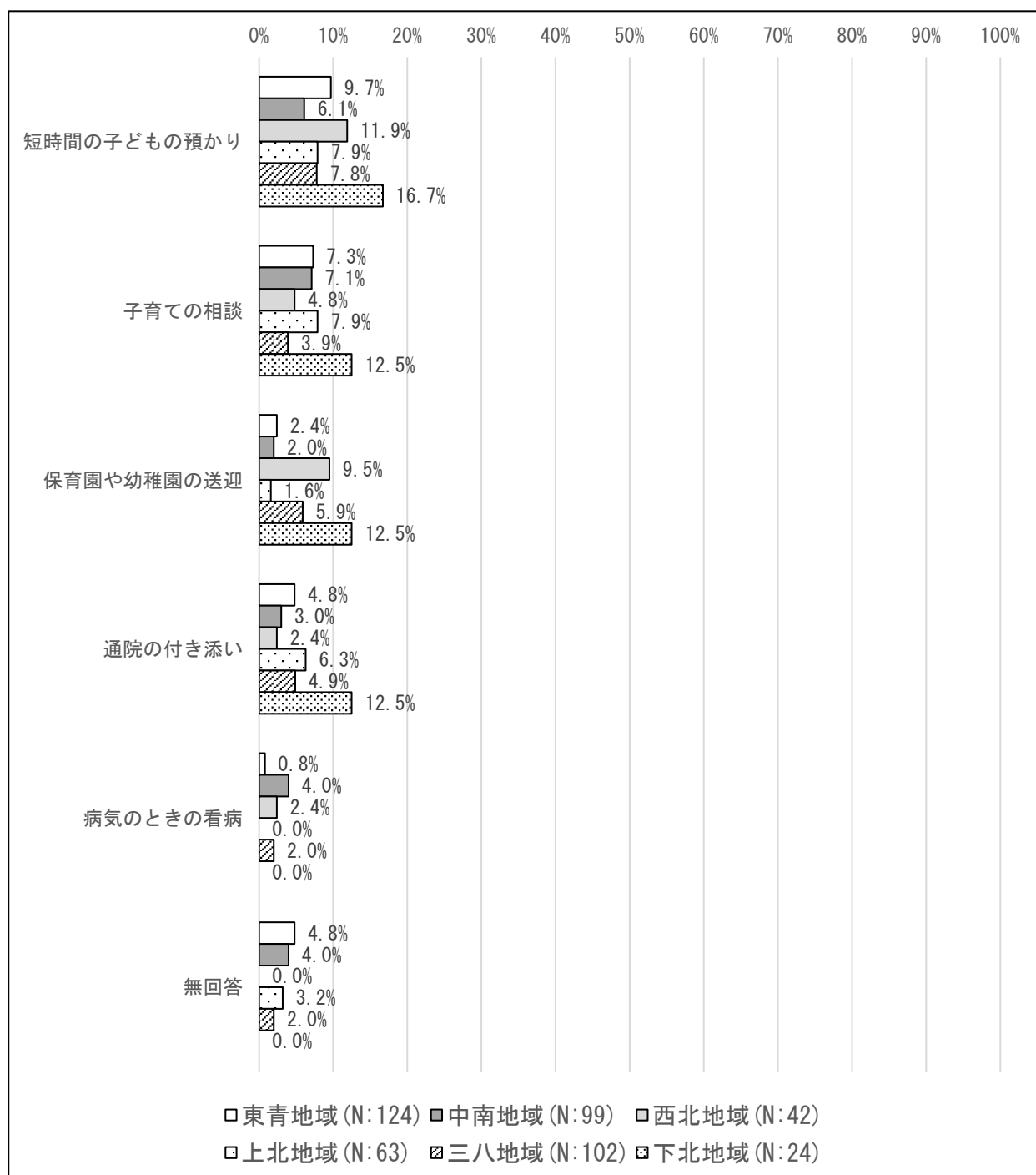


「声かけ」が最も高く、「20代」以外は次いで「話し相手」となっており、「20代」は次いで「除雪」、「話し相手」の順となっている。

「60代」は「除雪」、「70歳以上」は「ごみ出し」が他年代と比べて高くなっている。また、「30代」及び「40代」は「短時間の子どもの預かり」、「子育ての相談」が他年代と比べて高くなっている。

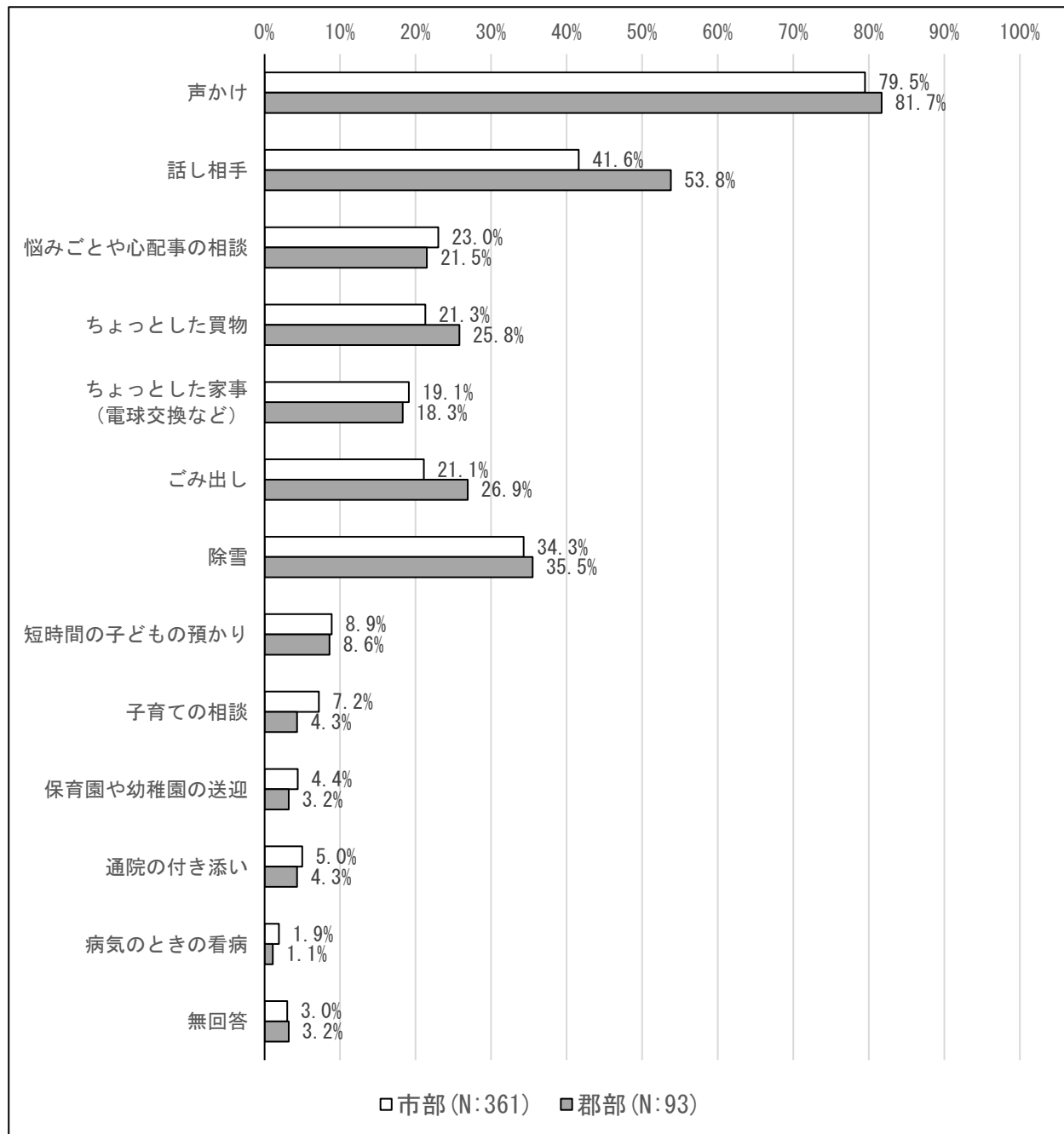
【地域別】（手助けできること）





どの地域でも「声かけ」が最も高い。

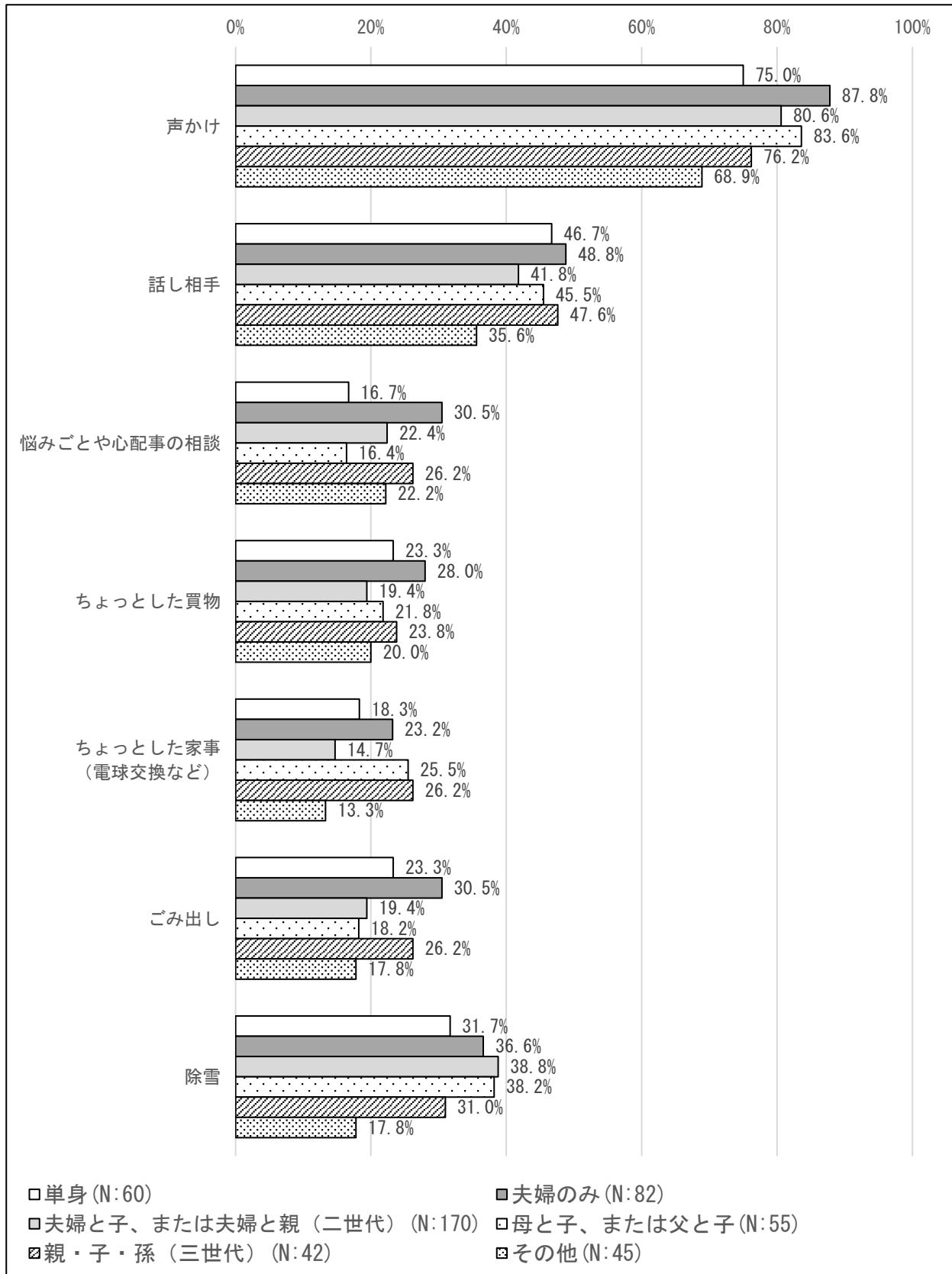
【市部・郡部別】（手助けできること）

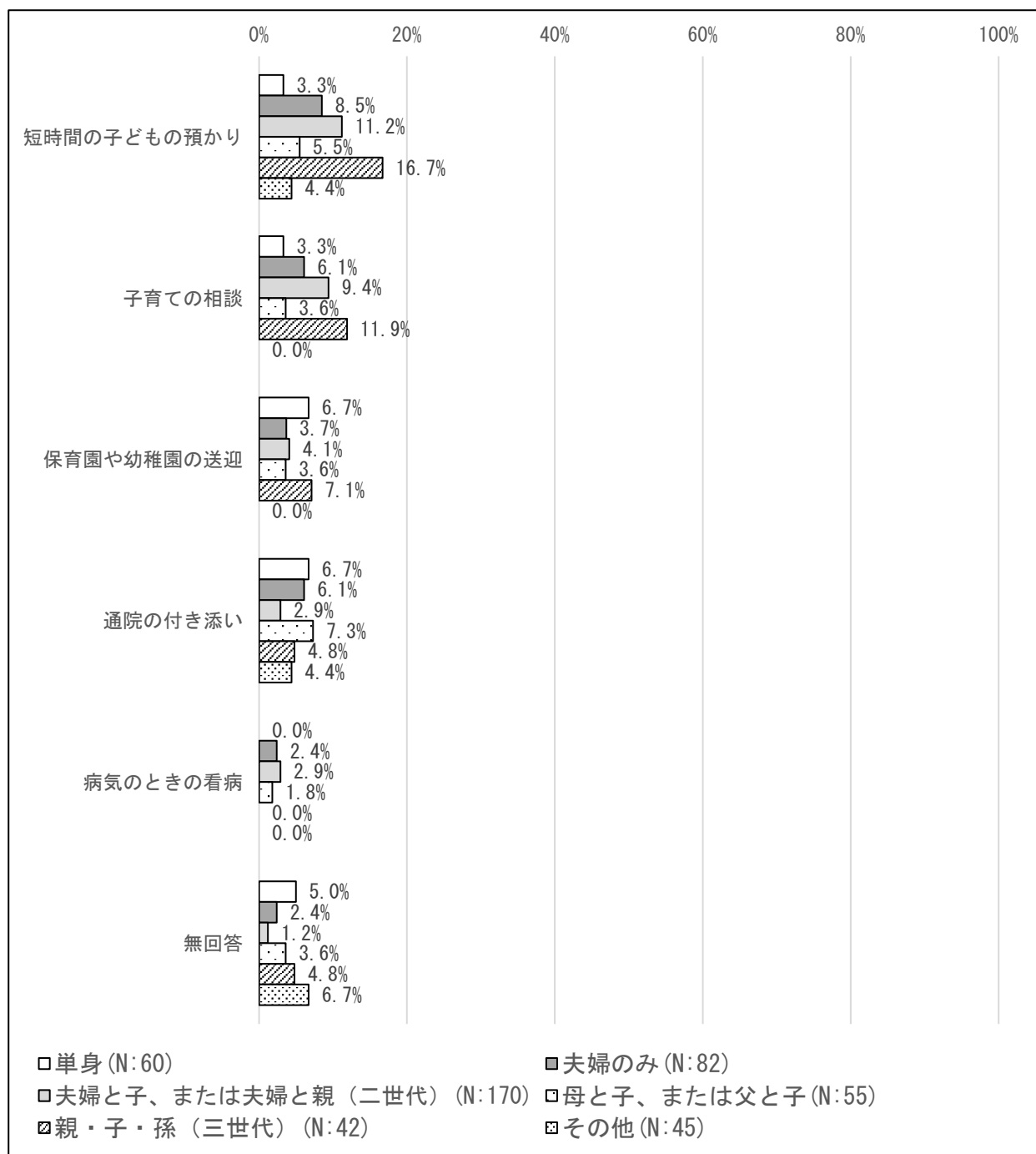


「市部」、「郡部」とともに「声かけ」が最も高く、次いで「話し相手」、「除雪」の順となっている。

「郡部」は、「話し相手」、「ちょっとした買物」、「ごみ出し」、「除雪」が「市部」と比べて高くなっている。

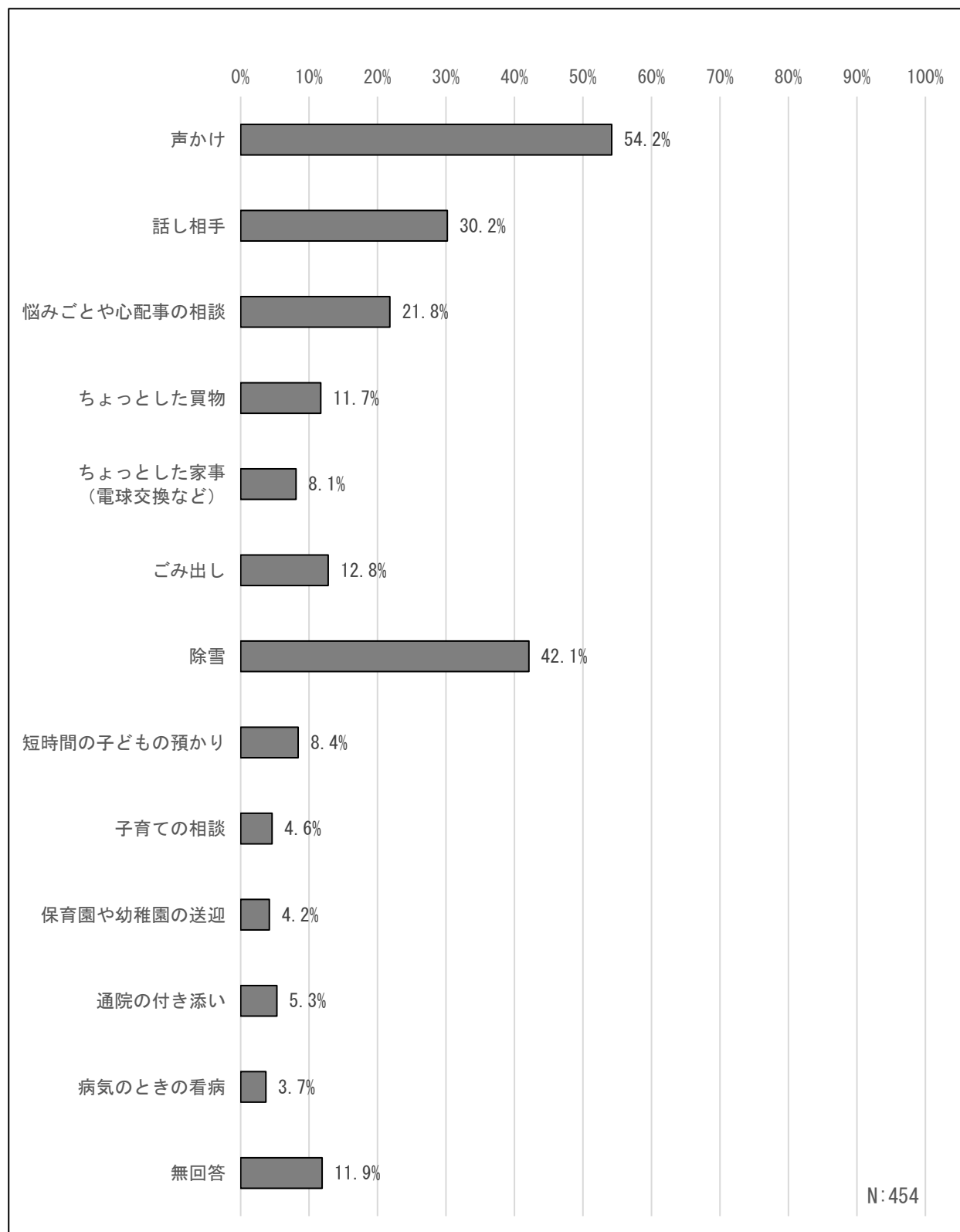
【家族構成別】（手助けできること）





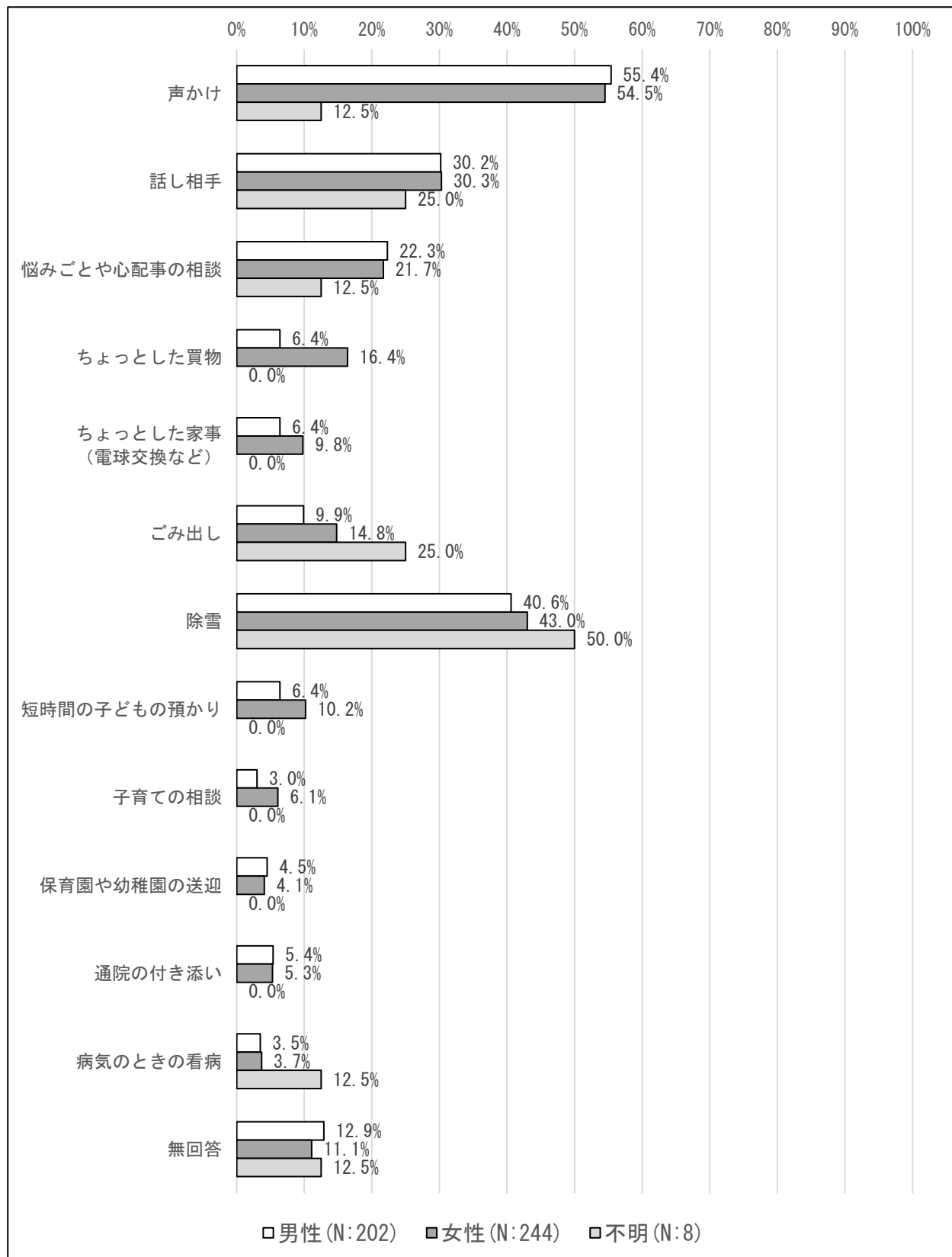
どの家族構成とも「声かけ」が最も高く、次いで「話し相手」となっている。

・ 隣近所で困っている場合（隣近所の人に手助けしてほしいこと）



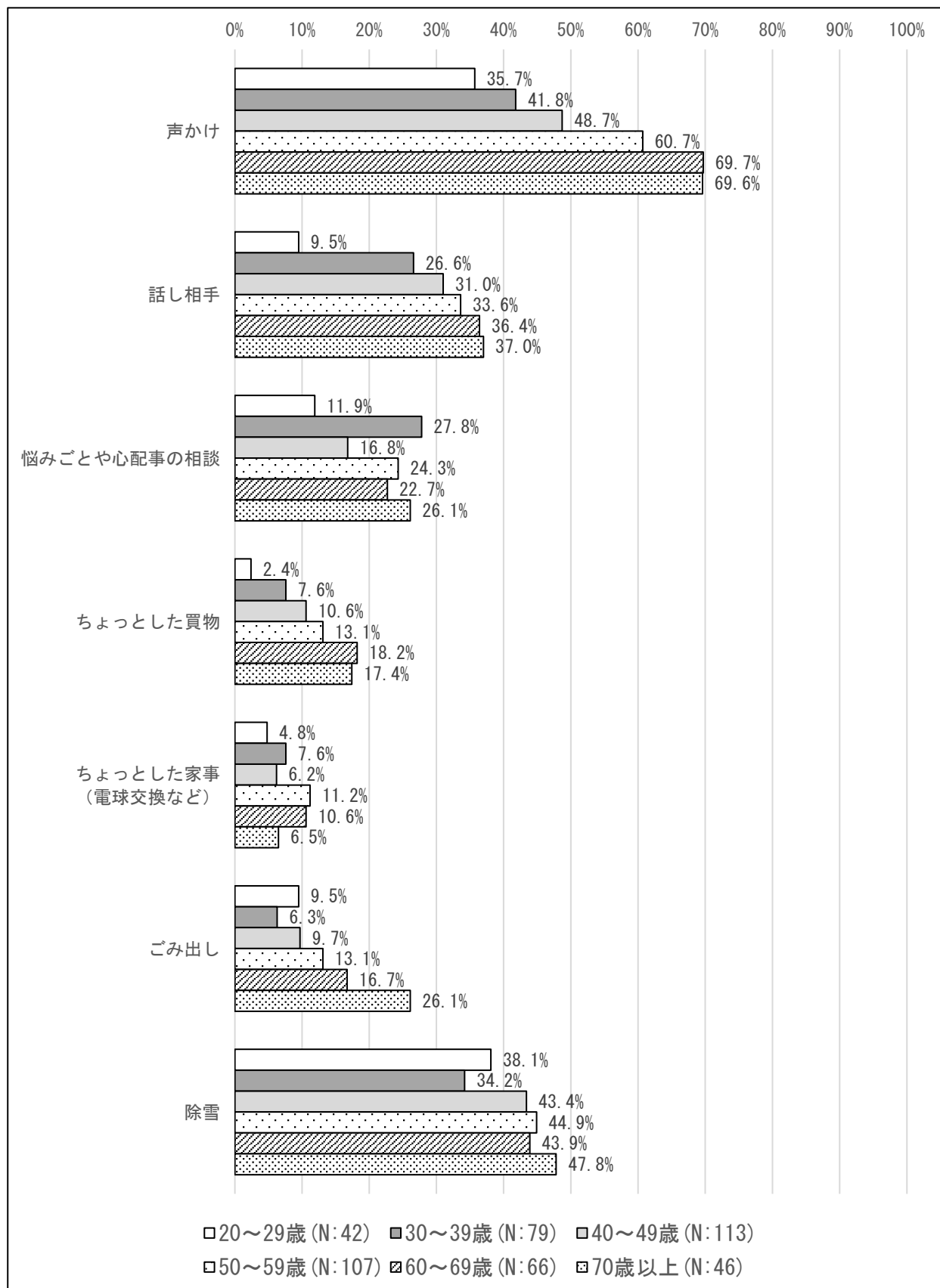
「声かけ」が 54.2% と最も高く、次いで「除雪」、「話し相手」の順となっている。

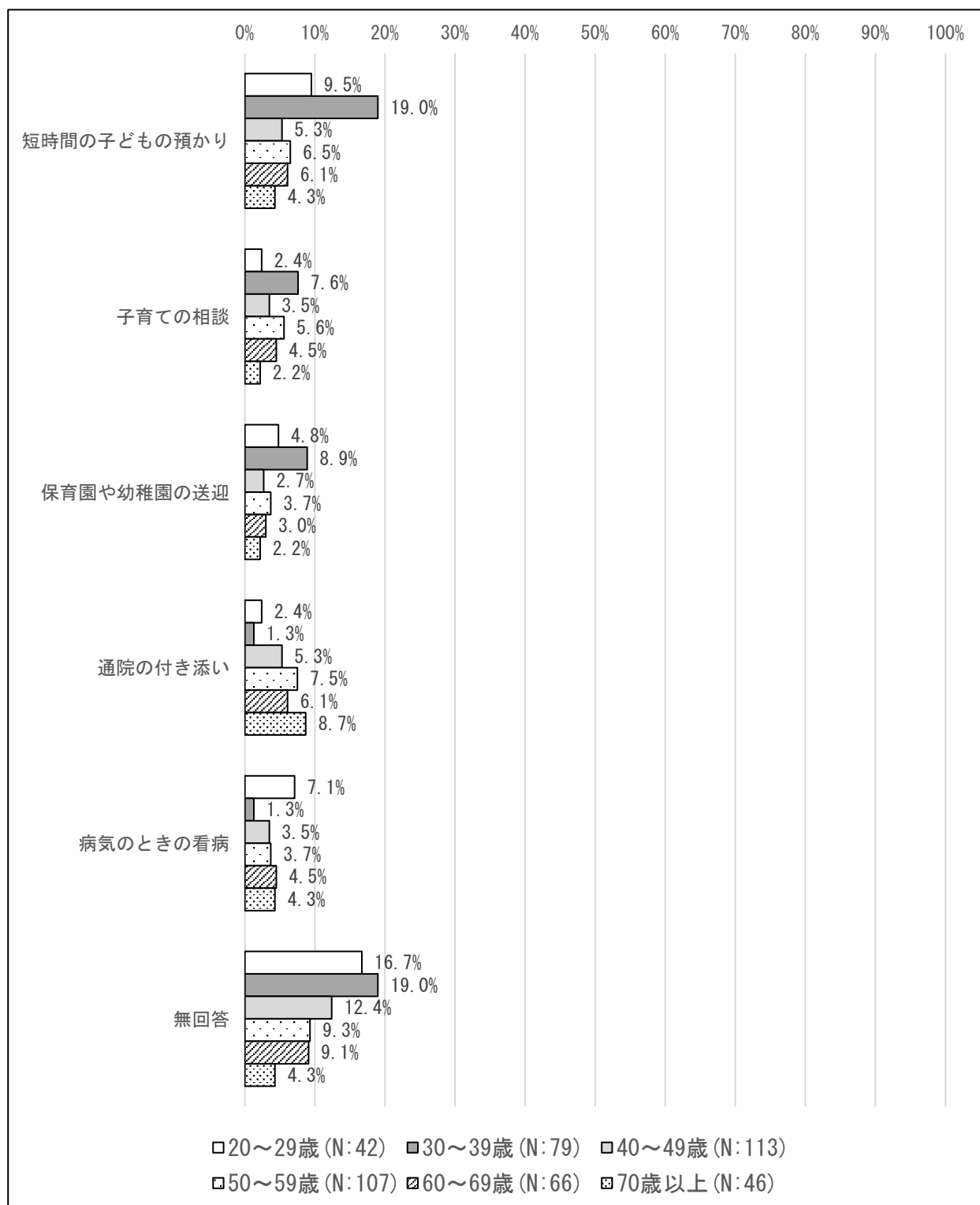
【男女別】（隣近所の人に手助けしてほしいこと）



男女ともに「声かけ」が最も高く、次いで「除雪」、「話し相手」となっている。

【年代別】（隣近所の人に手助けしてほしいこと）



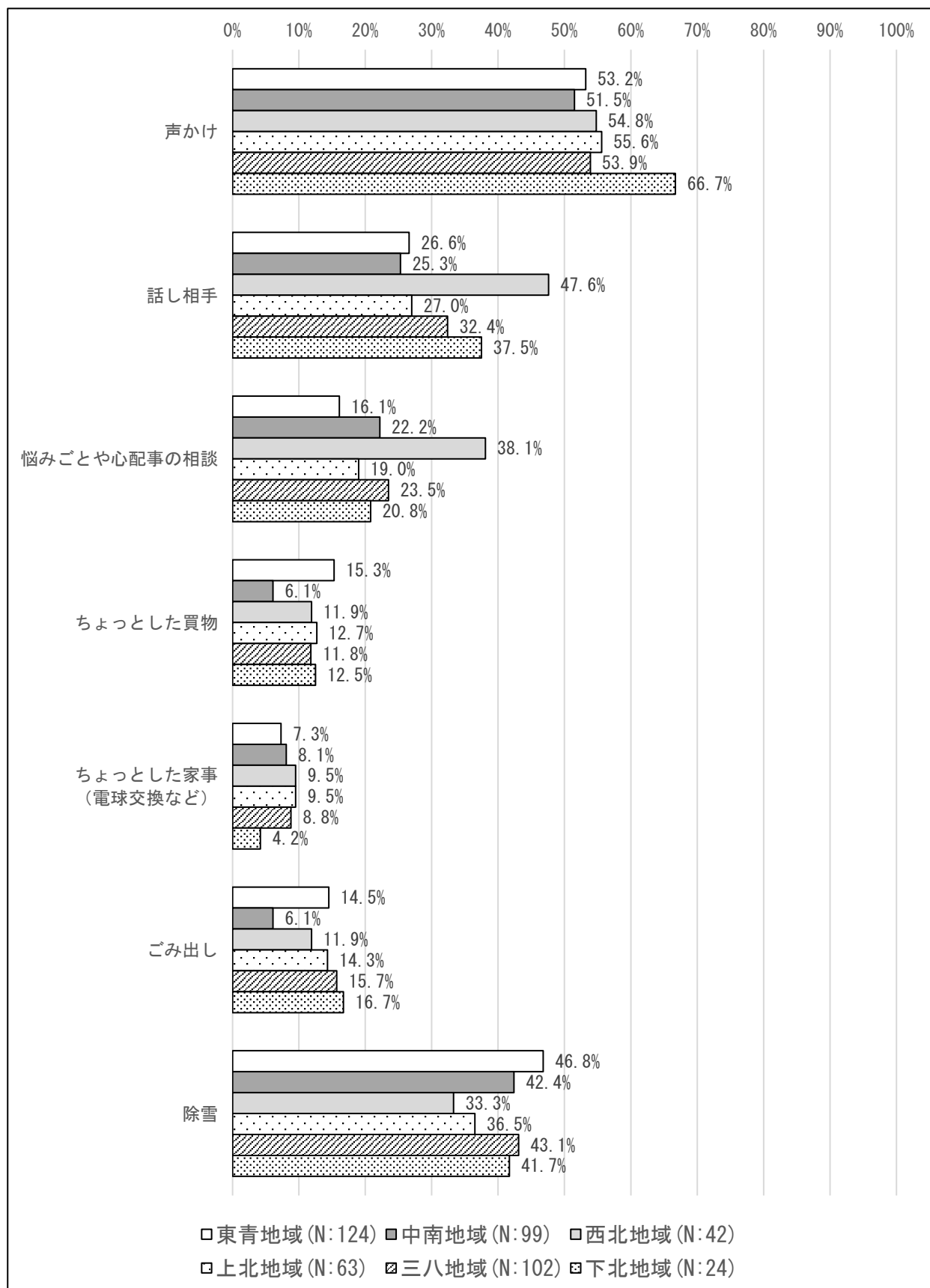


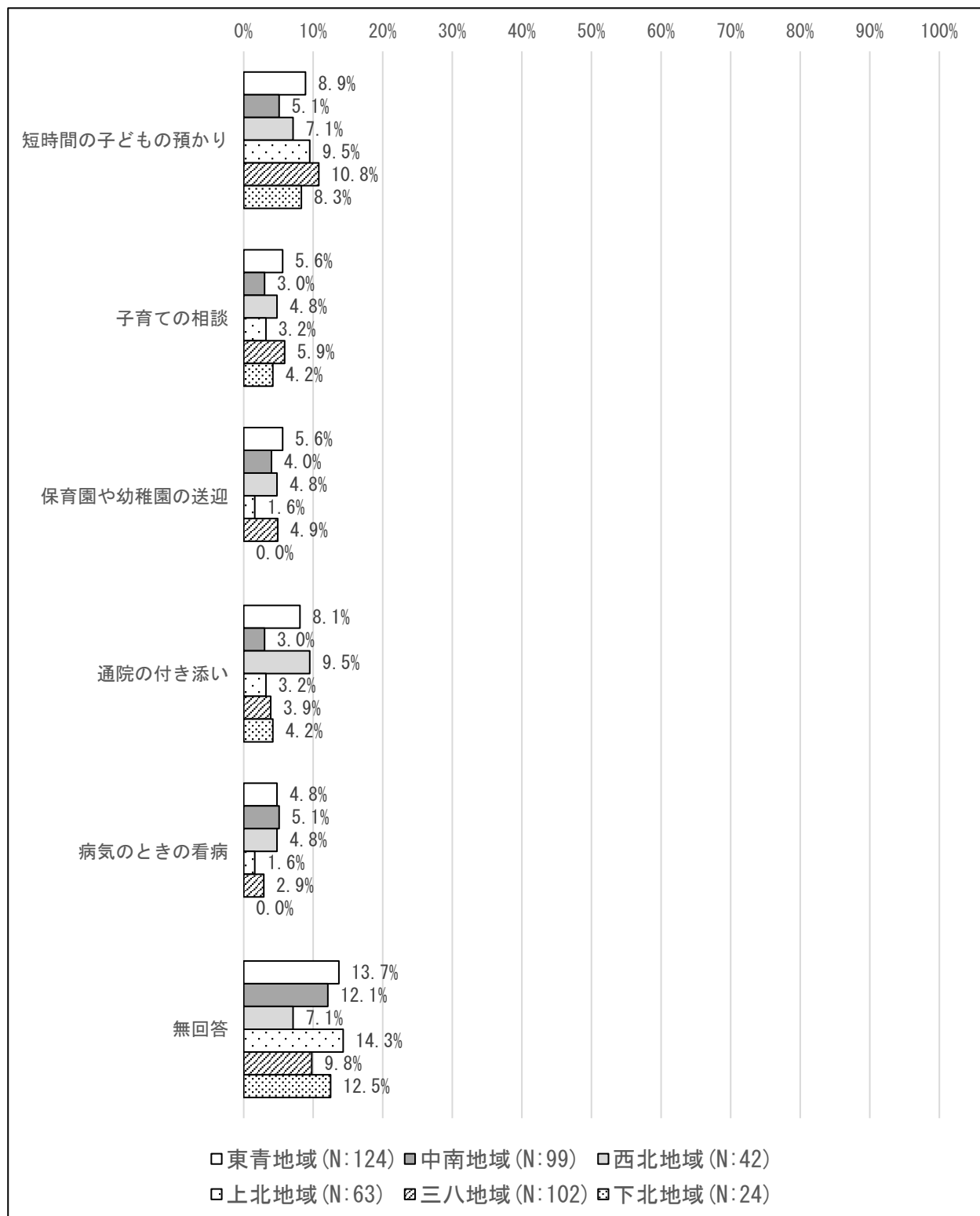
「20代」は、「除雪」の割合が最も高く、次いで「声かけ」の順となっている。

「30代」は、「声かけ」の割合が最も高く、次いで「除雪」、「悩みごとや心配事の相談」、「話し相手」の順となっている。更に「短時間の子どもの預かり」、「子育ての相談」、「保育園や幼稚園の送迎」が他世代と比べて高くなっている。

「50代」以上は、「声かけ」、「話し相手」が他世代と比べて高くなっている。

【地域別】（隣近所の人に手助けしてほしいこと）



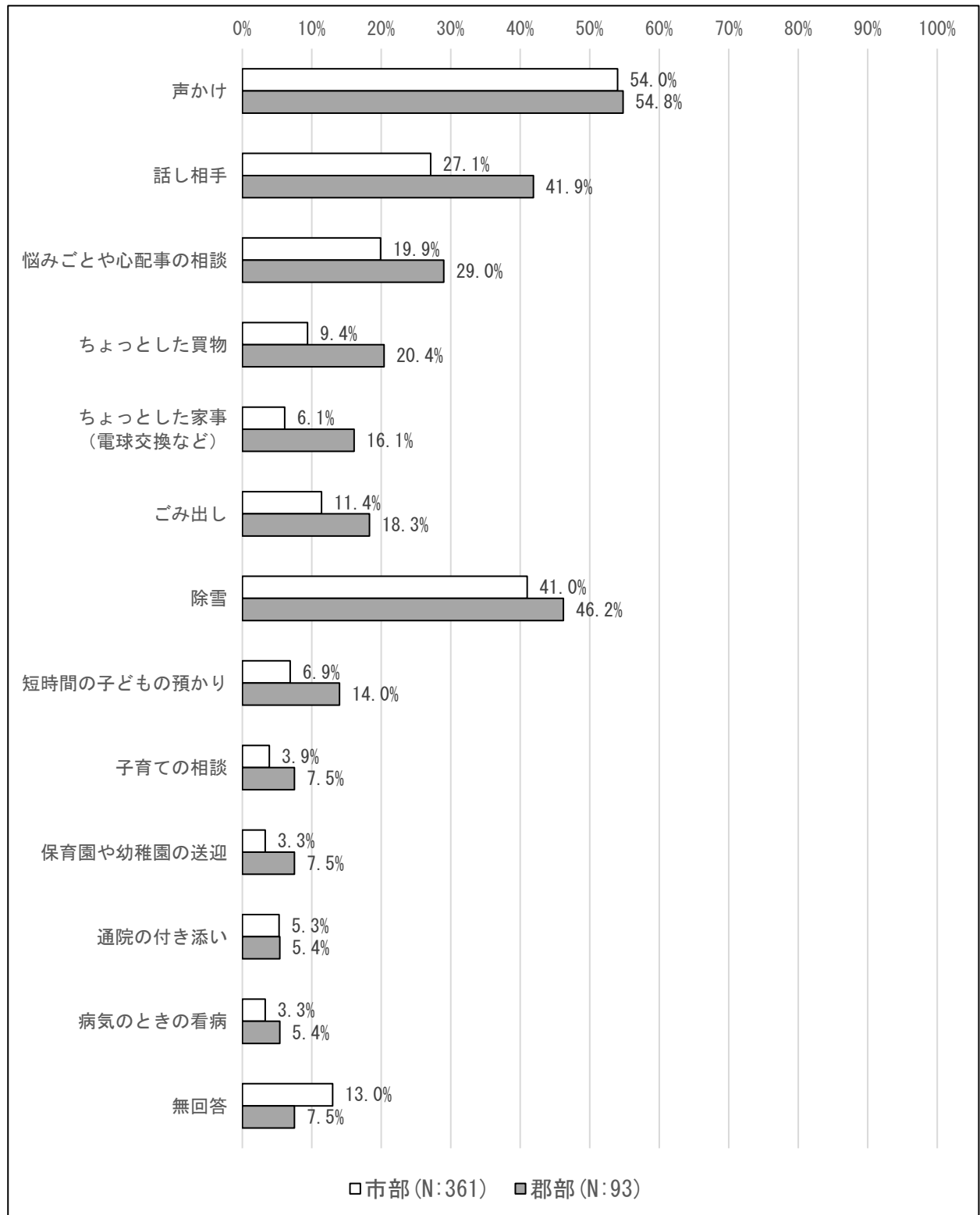


各地域とも「声かけ」が最も高い。

「東青地域」は、「除雪」が他地域と比べて高くなっている。

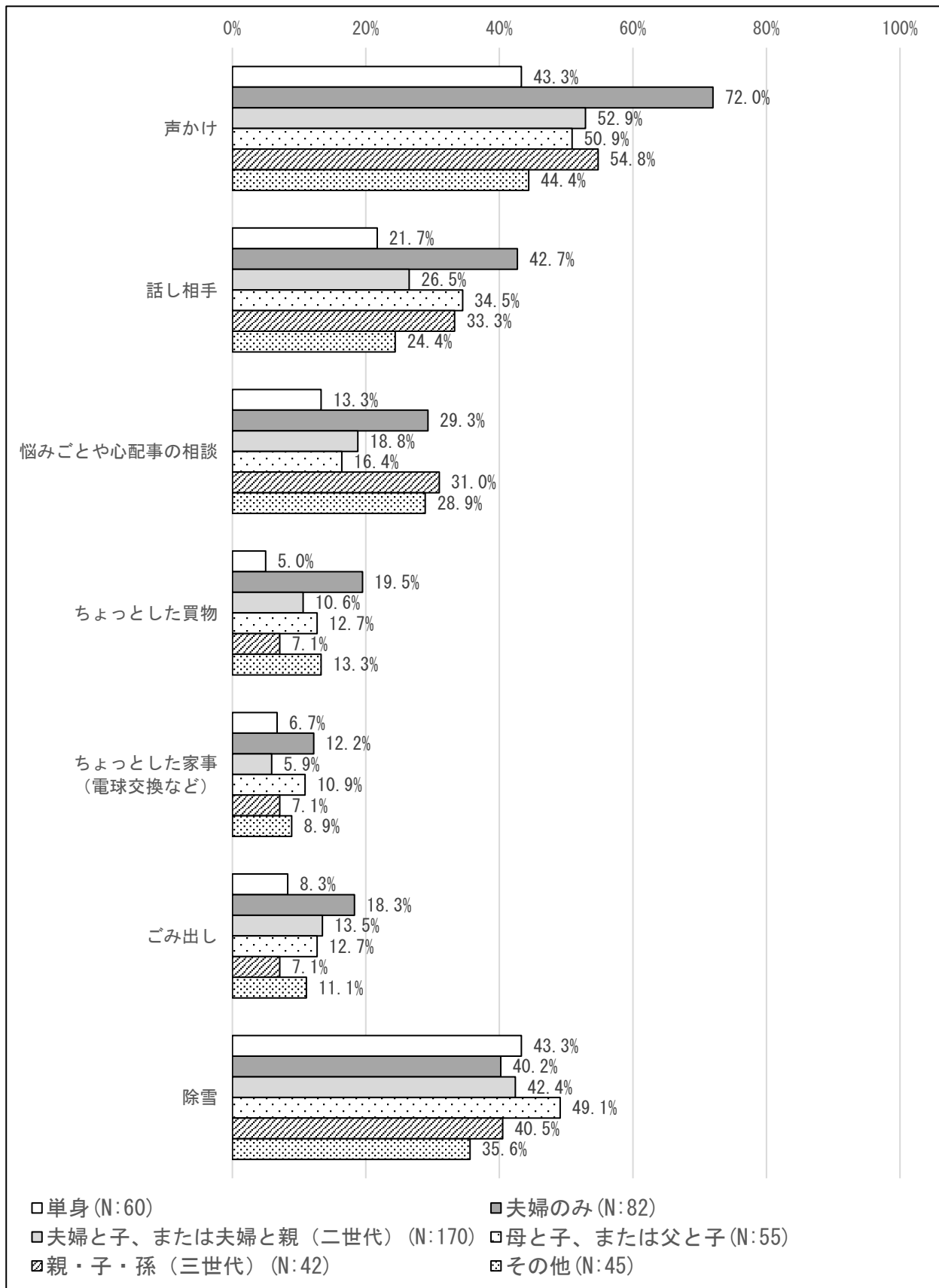
「西北地域」は、「話し相手」、「悩みごとや心配事の相談」が他地域と比べて高くなっている。

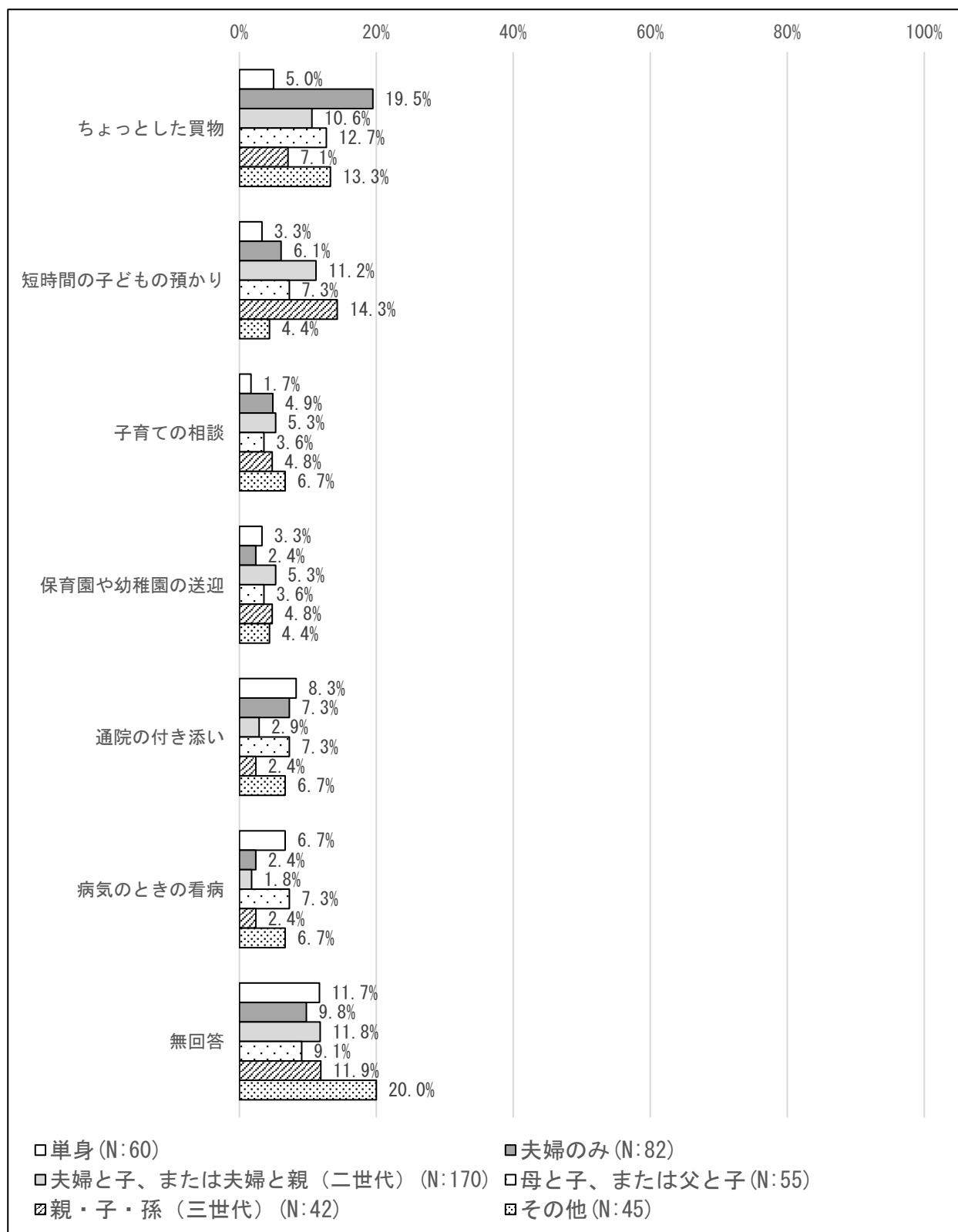
【市部・郡部別】（隣近所の人に手助けしてほしいこと）



「声かけ」が最も高く、次いで「除雪」、「話し相手」の順となっている。
「郡部」は、全てにおいて「市部」より高くなっている。

【家族構成別】（隣近所の人に手助けしてほしいこと）

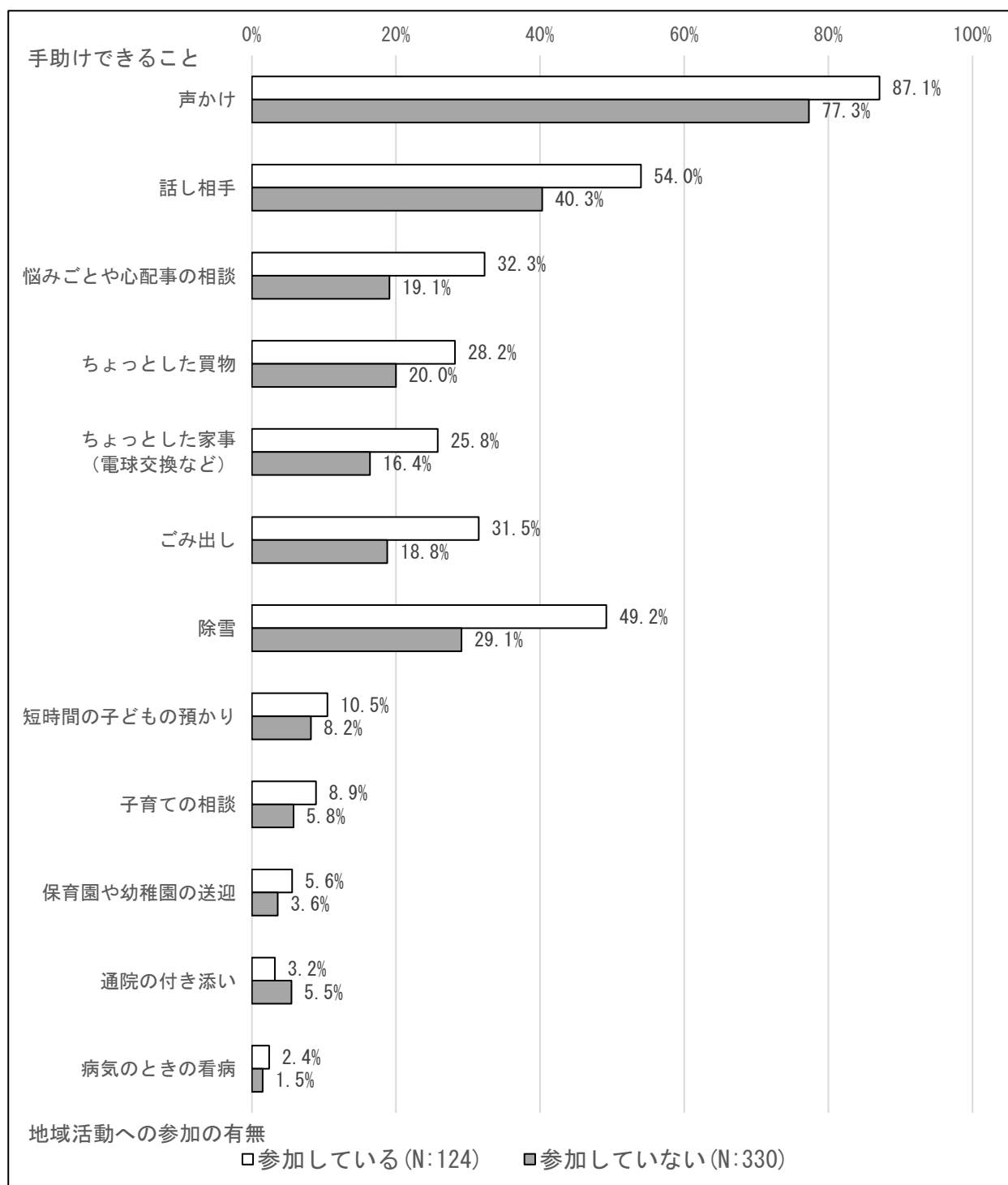




全ての世帯構成にて「声かけ」が最も高くなっている。「夫婦のみ」は「声かけ」、「話し相手」の割合が他の世帯構成と比べて高くなっている。

問 10 隣近所で困っている人がいる場合に①手助けできること

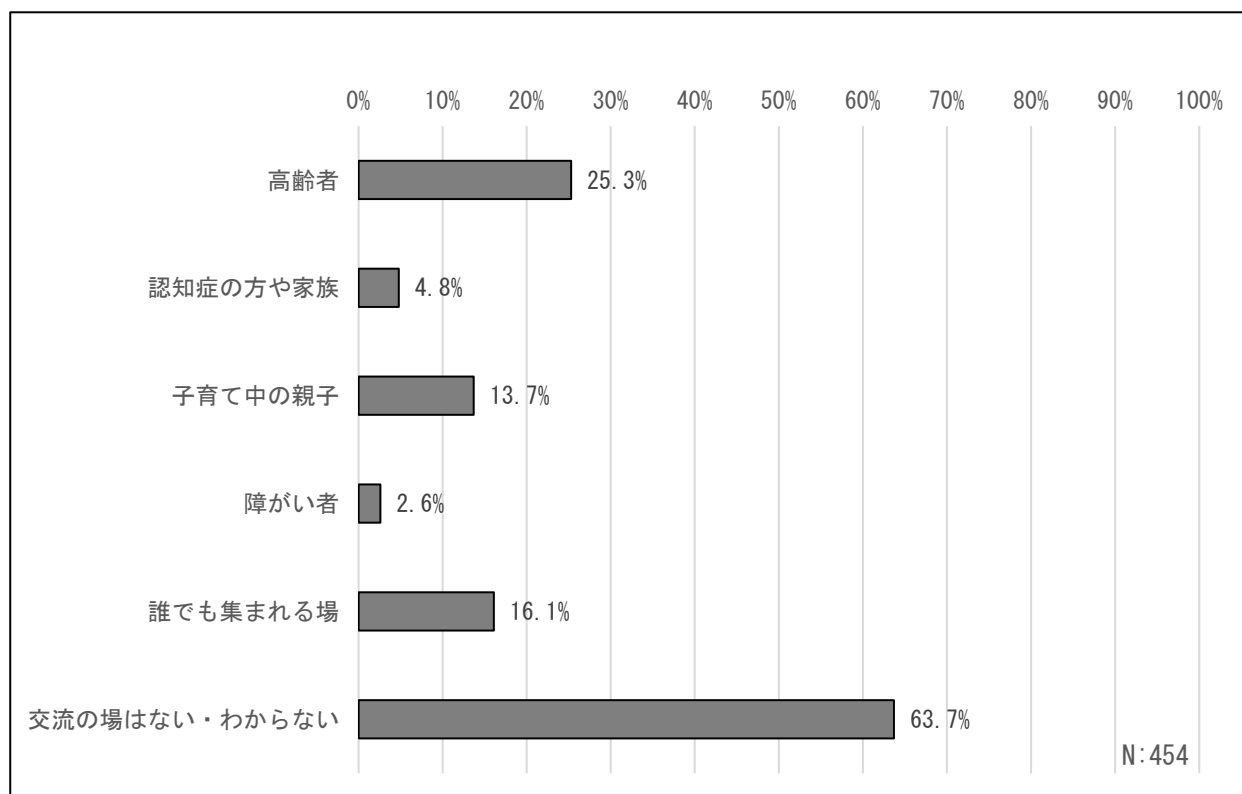
×問 6 地域活動への参加の有無



全体的に地域活動に「参加している」方が「参加していない」より割合が高くなっているが、地域活動へ参加していない方も「声かけ」、「話し相手」、「除雪」等の手助けができると回答している。

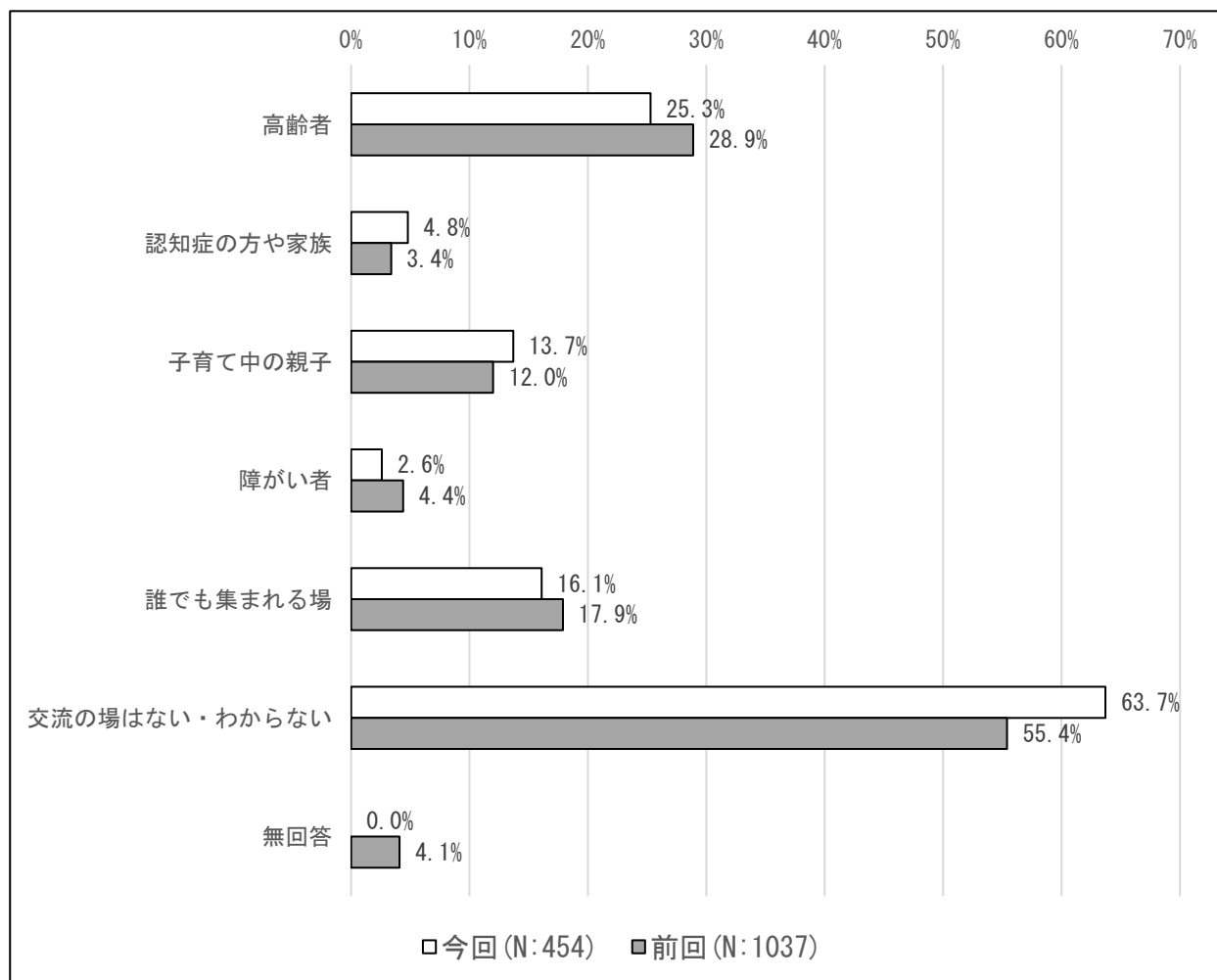
問 11 お住まいの地域に、次のような交流の場がありますか。（あてはまるものすべて）

・ 地域の交流の場



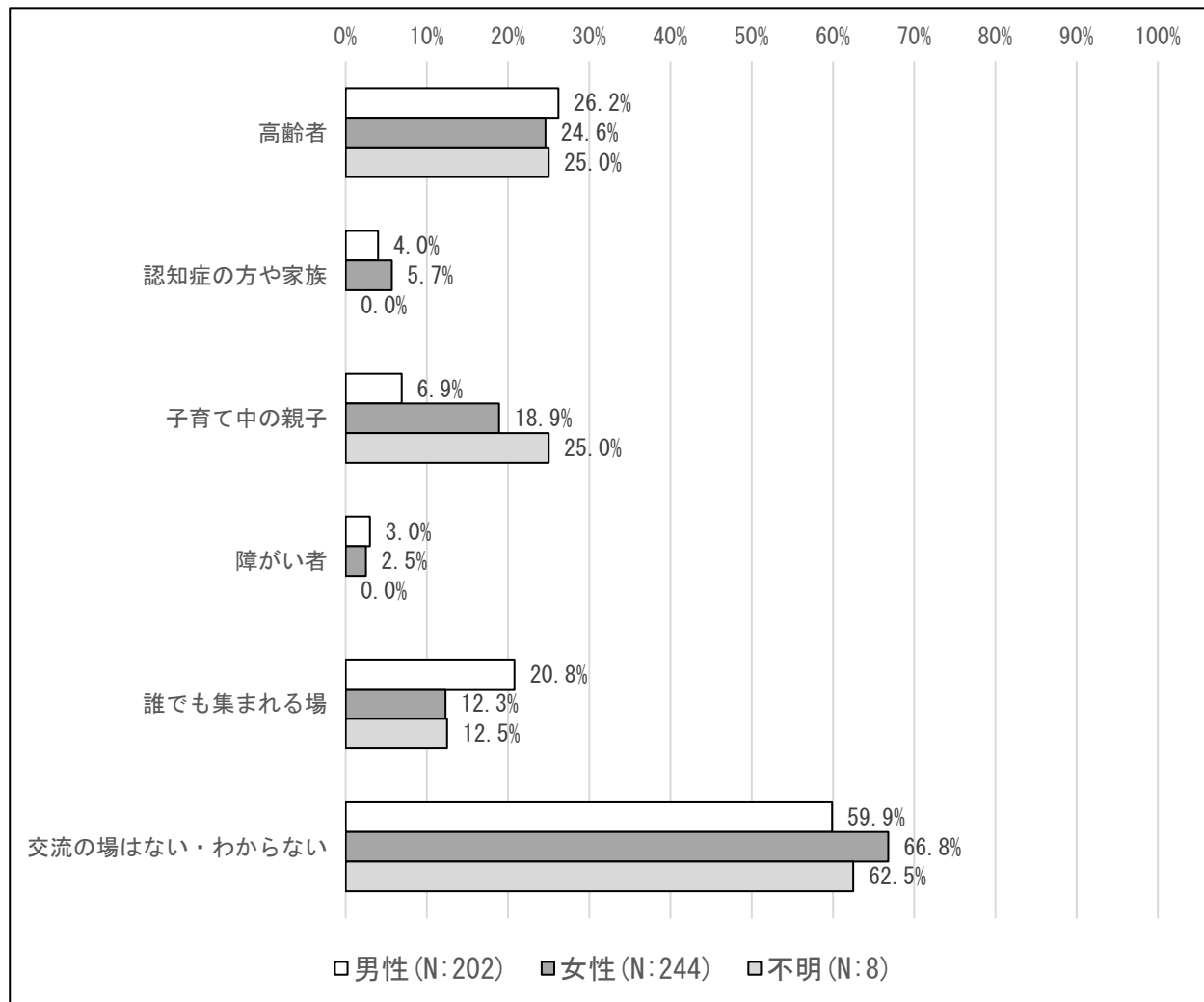
「交流の場はない・わからない」が 63.7%、「高齢者」が 25.3%、「誰でも集まれる場」が 16.1%、「子育て中の親子」が 13.7%となっている。

【前回との比較】



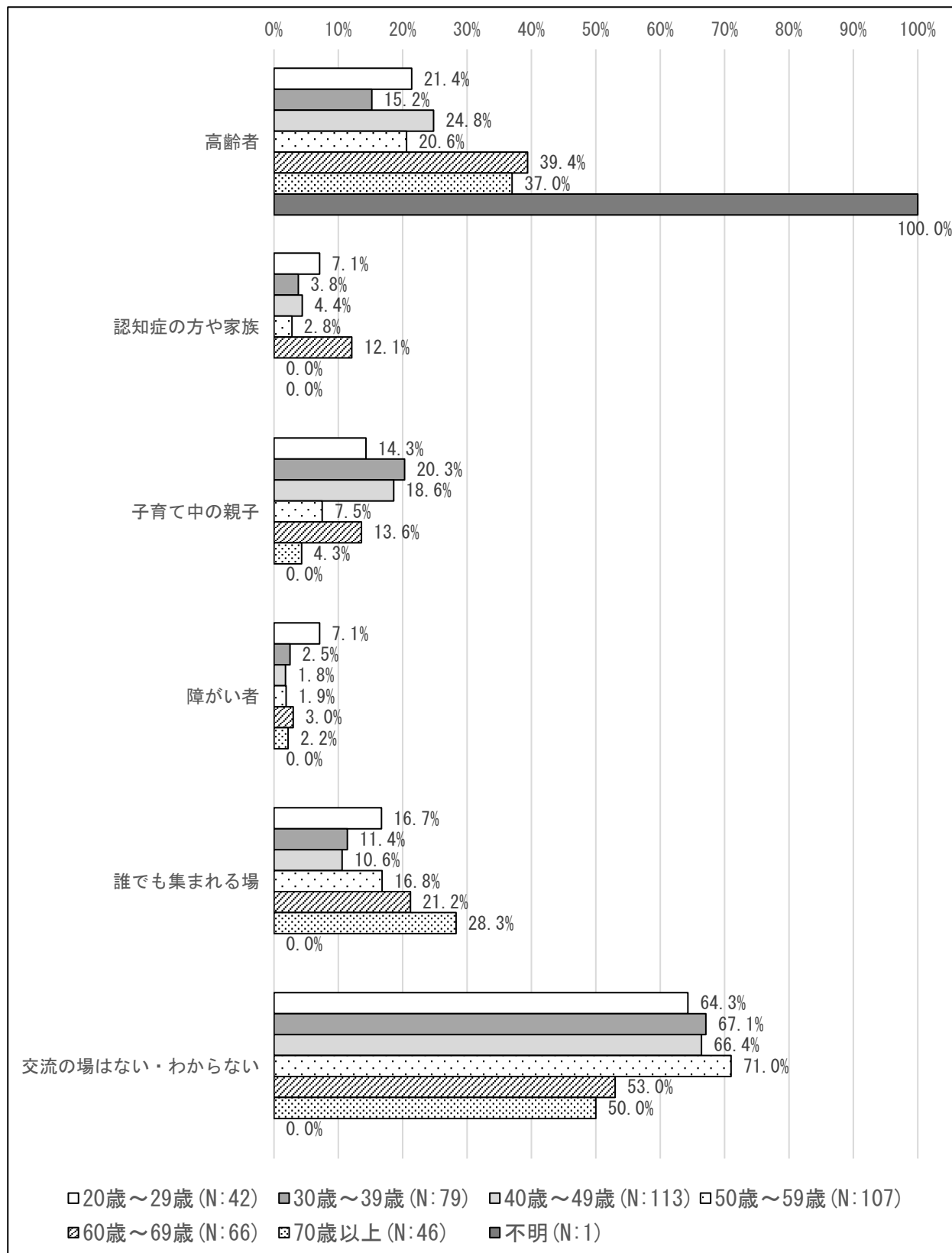
前回と比べて「交流の場はない・わからない」の割合が高く、次いで「高齢者」となっている。

【男女別】



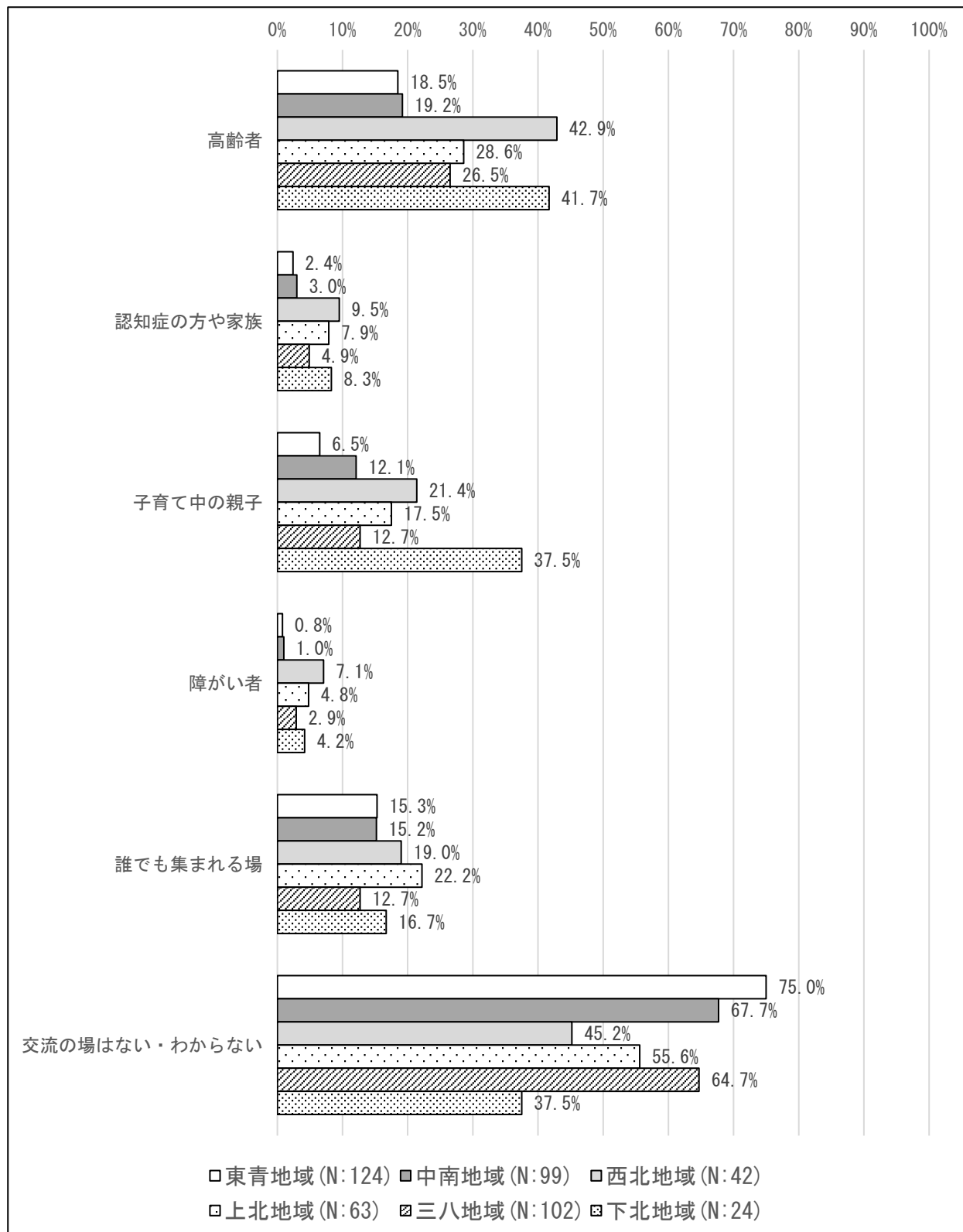
男女ともに「交流の場はない・わからない」が最も高く、次いで「高齢者」となっている。

【年代別】



全ての年代で「交流の場はない・わからない」の割合が高く、次いで「30代」は「子育て中の親子」、
「30代」以外は「高齢者」の順となっている。

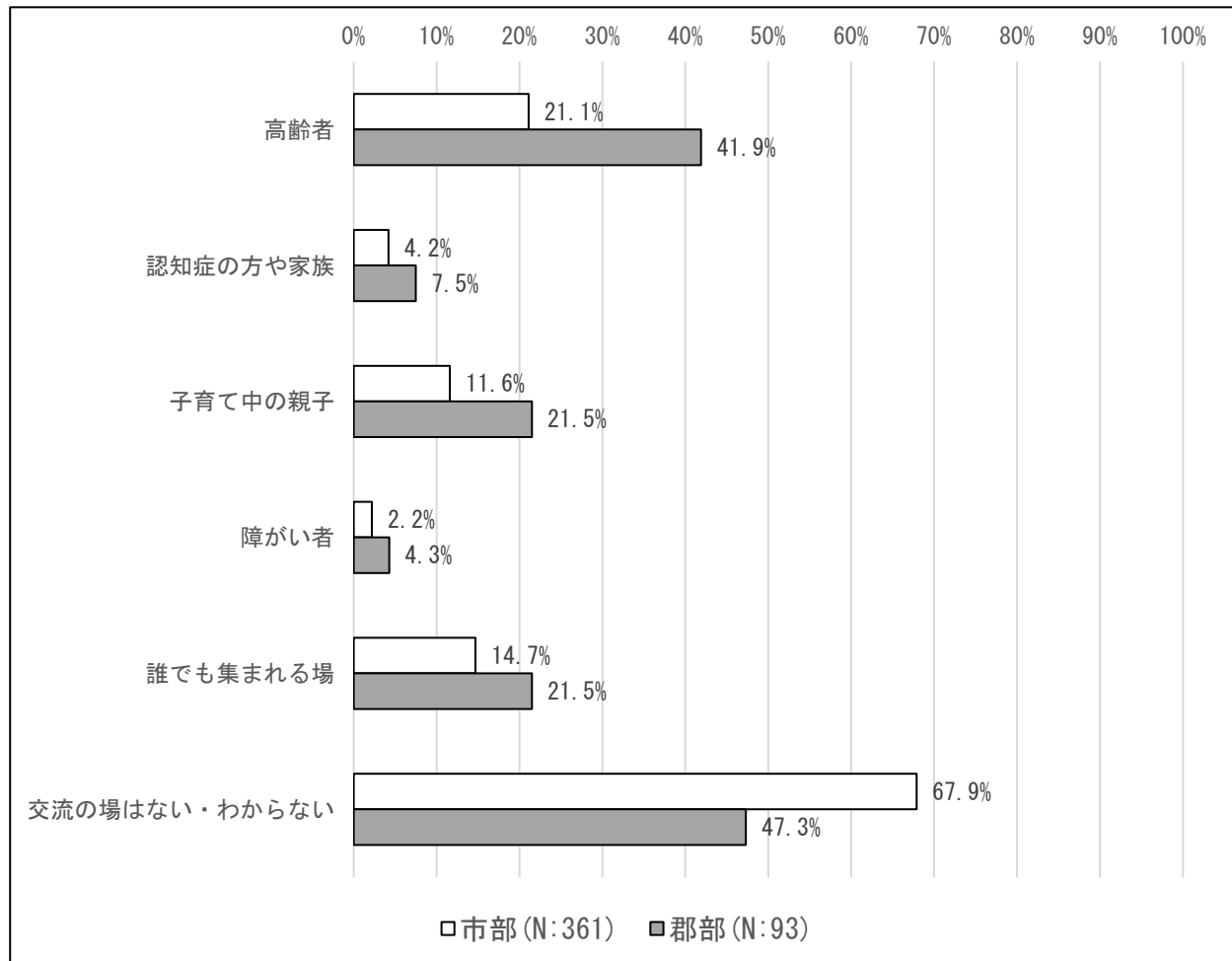
【地域別】



「西北地域」、「下北地域」は「高齢者」、「子育て中の親子」が他地域と比べて大きくなっている。

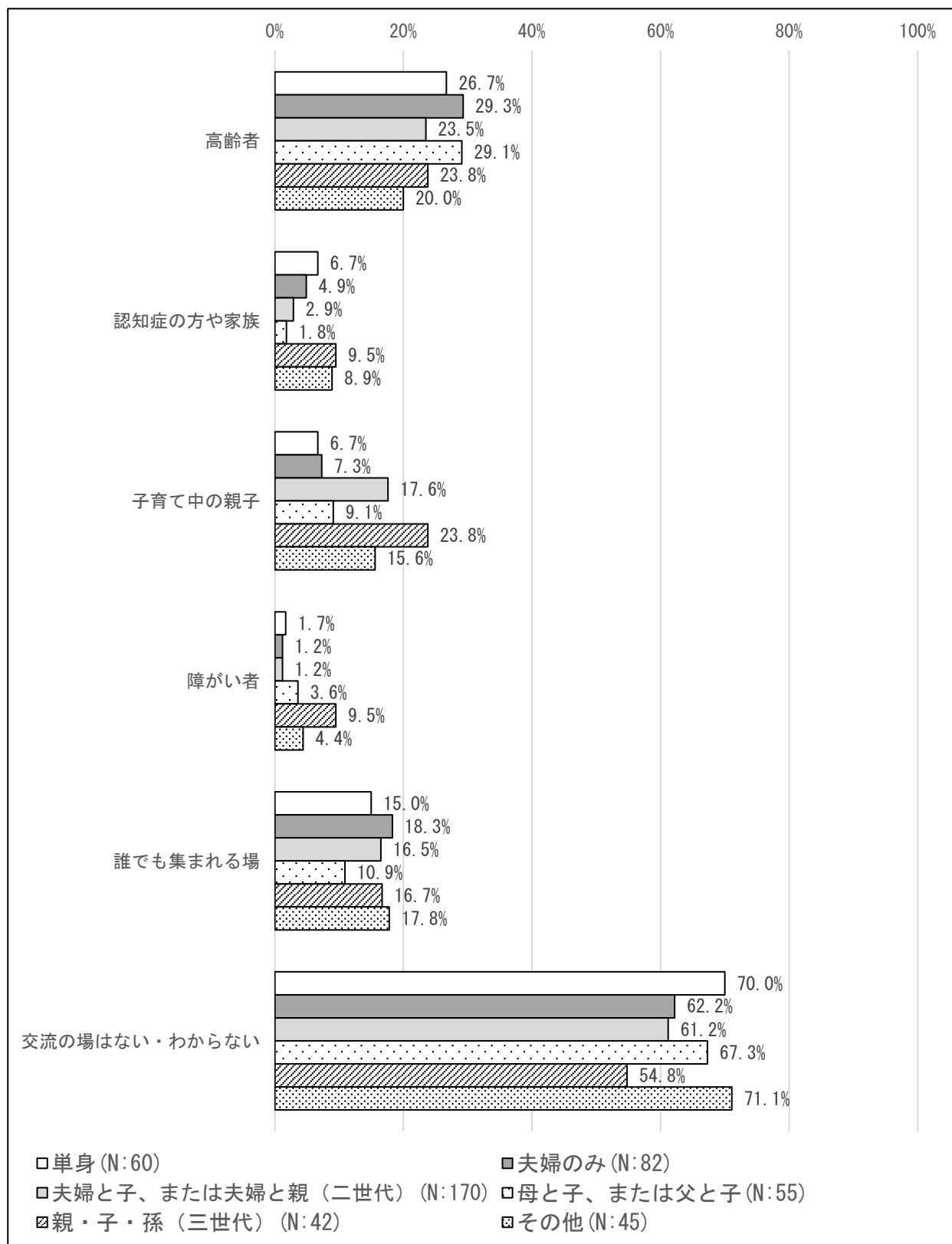
「東青地域」、「中南地域」、「三八地域」は「交流の場はない・わからない」が他地域と比べて高くなっている。

【市部・郡部別】



「市部」は「郡部」よりも「交流の場はない・わからない」が高くなっている。

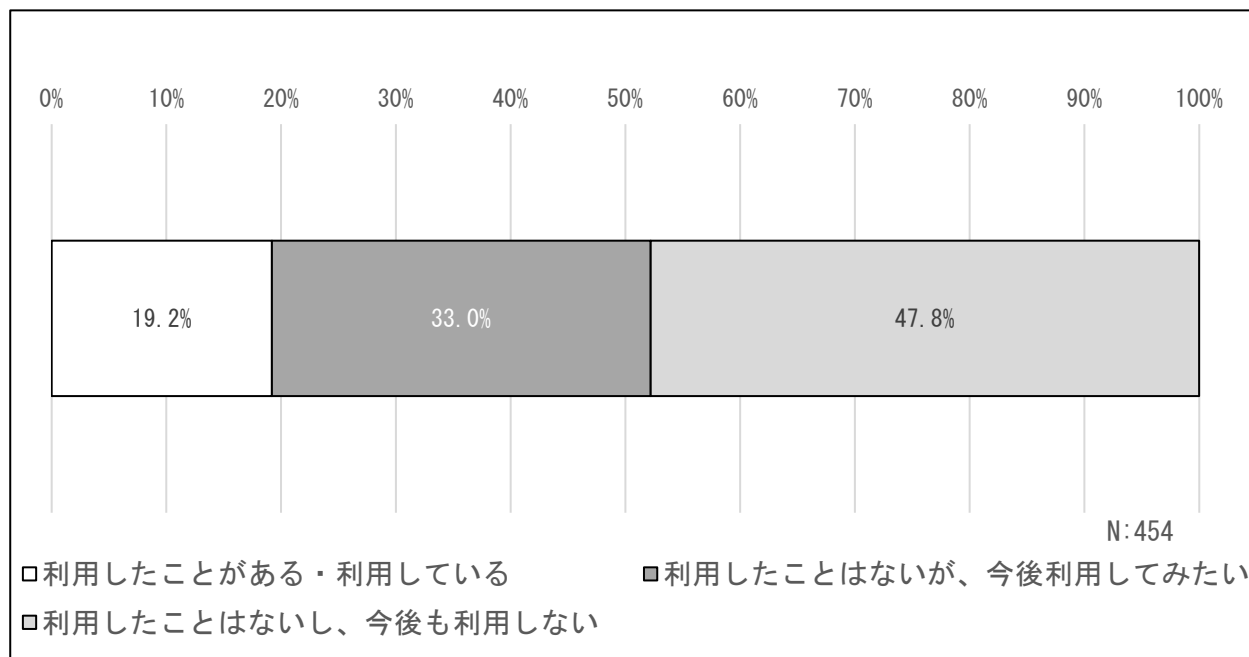
【家族構成別】



どの家族構成とも「交流の場はない・わからない」の割合が高く、次いで「高齢者」が高くなっている。「夫婦と子、または夫婦と親（二世帯）」、「親・子・孫（三世帯）」は「子育て中の親子」の割合が高くなっている。

問 11-1 地域の交流の場を利用したことがありますか。（１つ）

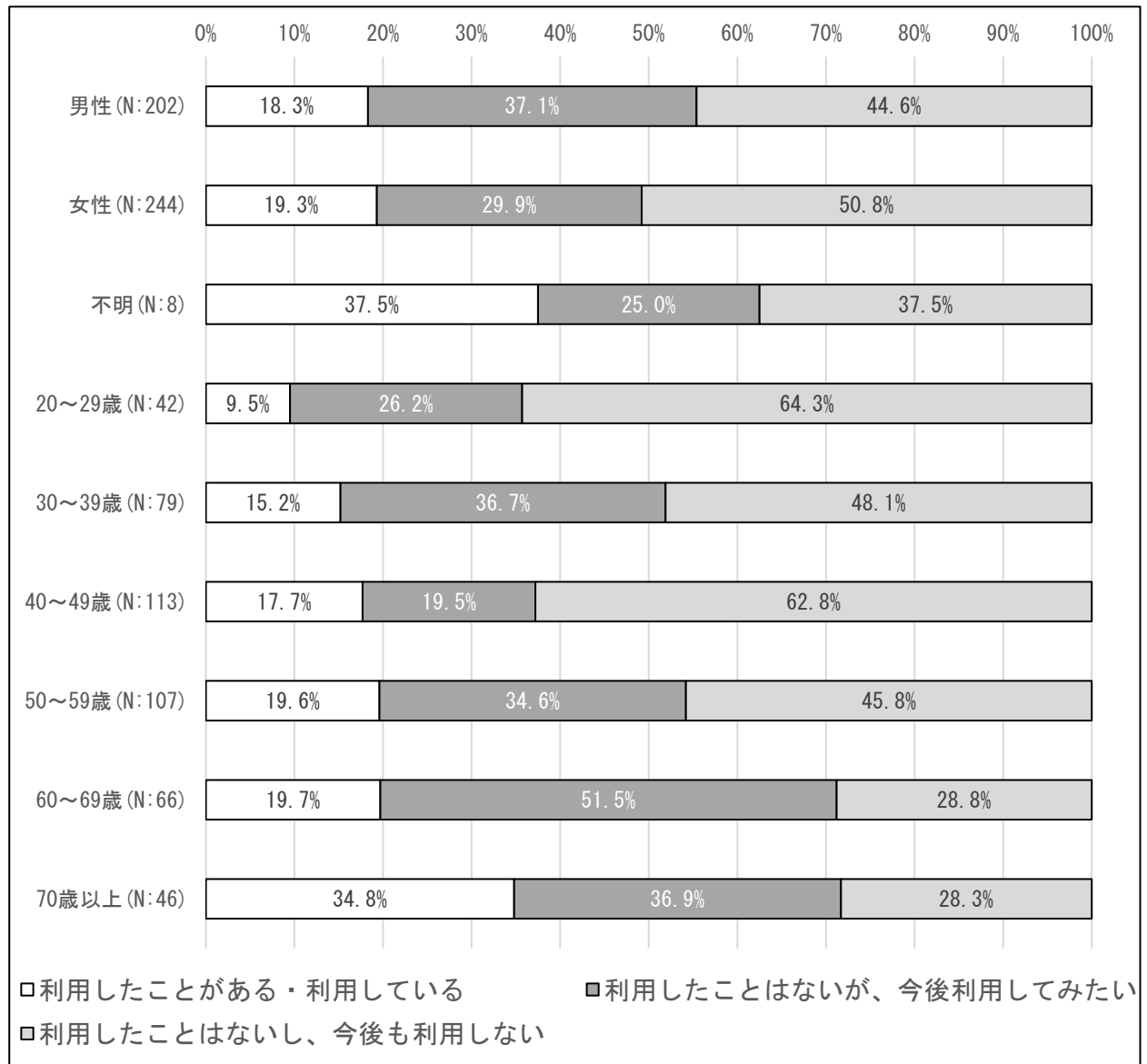
・地域の交流の場を利用



「利用したことはないし、今後も利用しない」が最も高くなっている。

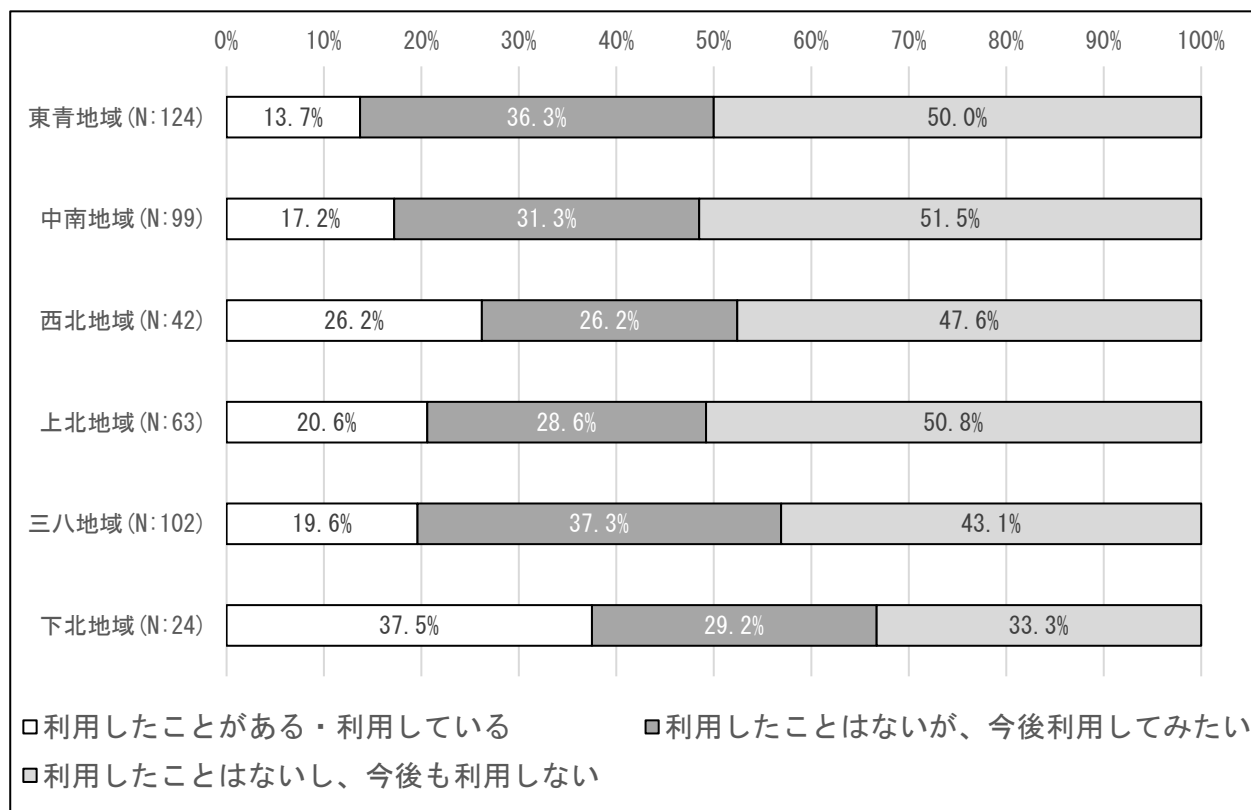
「利用したことがある・利用している」、「利用したことはないが、今後利用してみたい」を合わせると 52.2%と過半数を超えている。

【男女別・年代別】



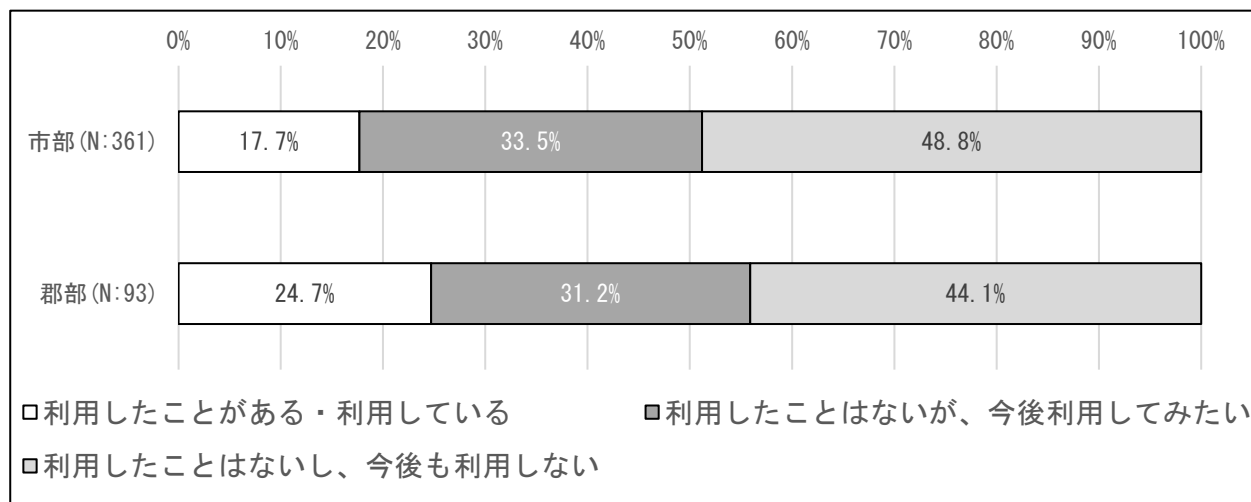
若い世代ほど「利用したことはないし、今後も利用しない」が高くなっている。

【地域別】



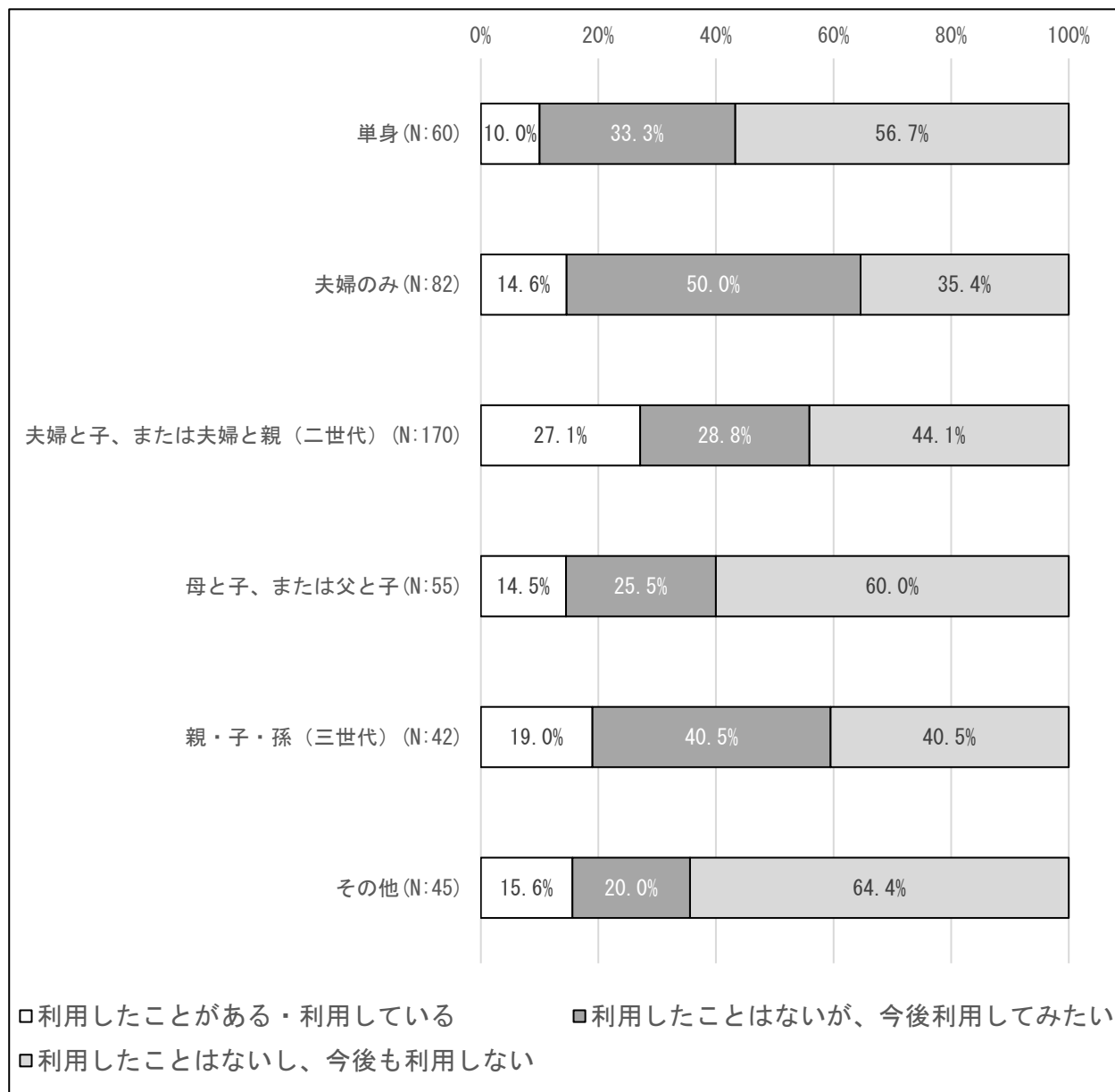
「下北地域」の「利用したことがある・利用している」が他地域と比べて高くなっている。

【市部・郡部別】



「郡部」は「市部」と比べて「利用したことがある・利用している」が高くなっている。

【家族構成別】



「夫婦と子、または夫婦と親（二世帯）」は「利用したことがある・利用している」が27.1%と他の家族構成と比べて高い。

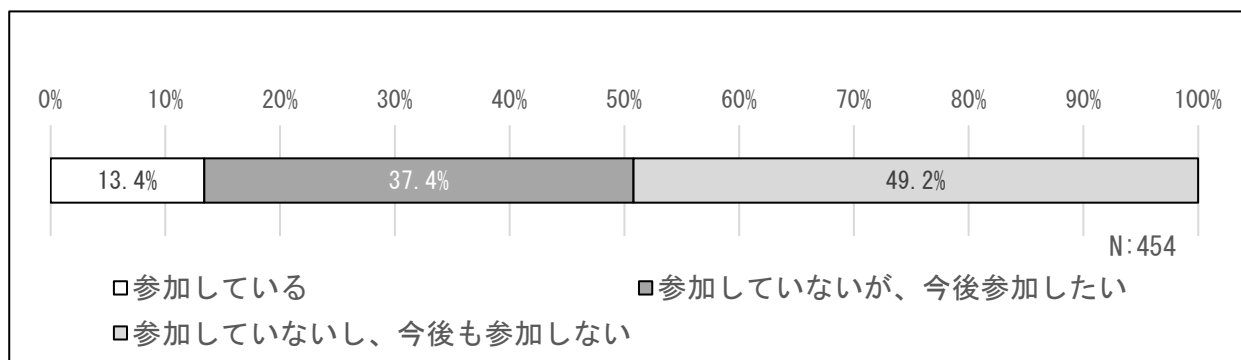
「利用したことはないが、今後利用してみたい」は「夫婦のみ」が最も高く、次いで「親・子・孫（三世帯）」が高くなっている。

「利用したことはないし、今後も利用しない」は「母と子、または父と子」が最も高く、次いで「単身」が高くなっている。

4 ボランティア活動について

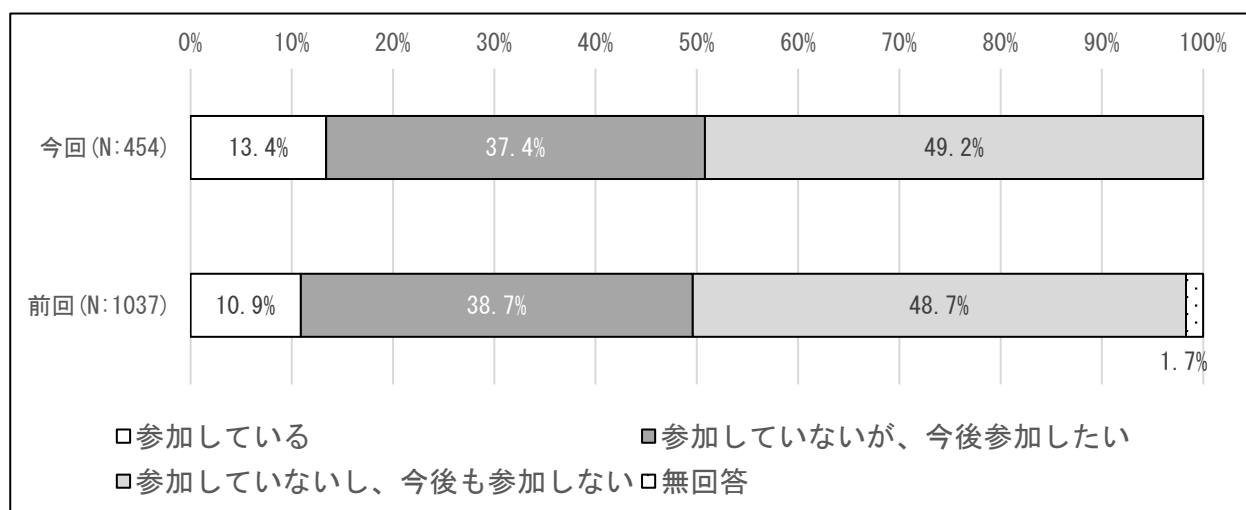
問 12 ボランティアへ参加していますか。（1つ）

・ボランティアへの参加

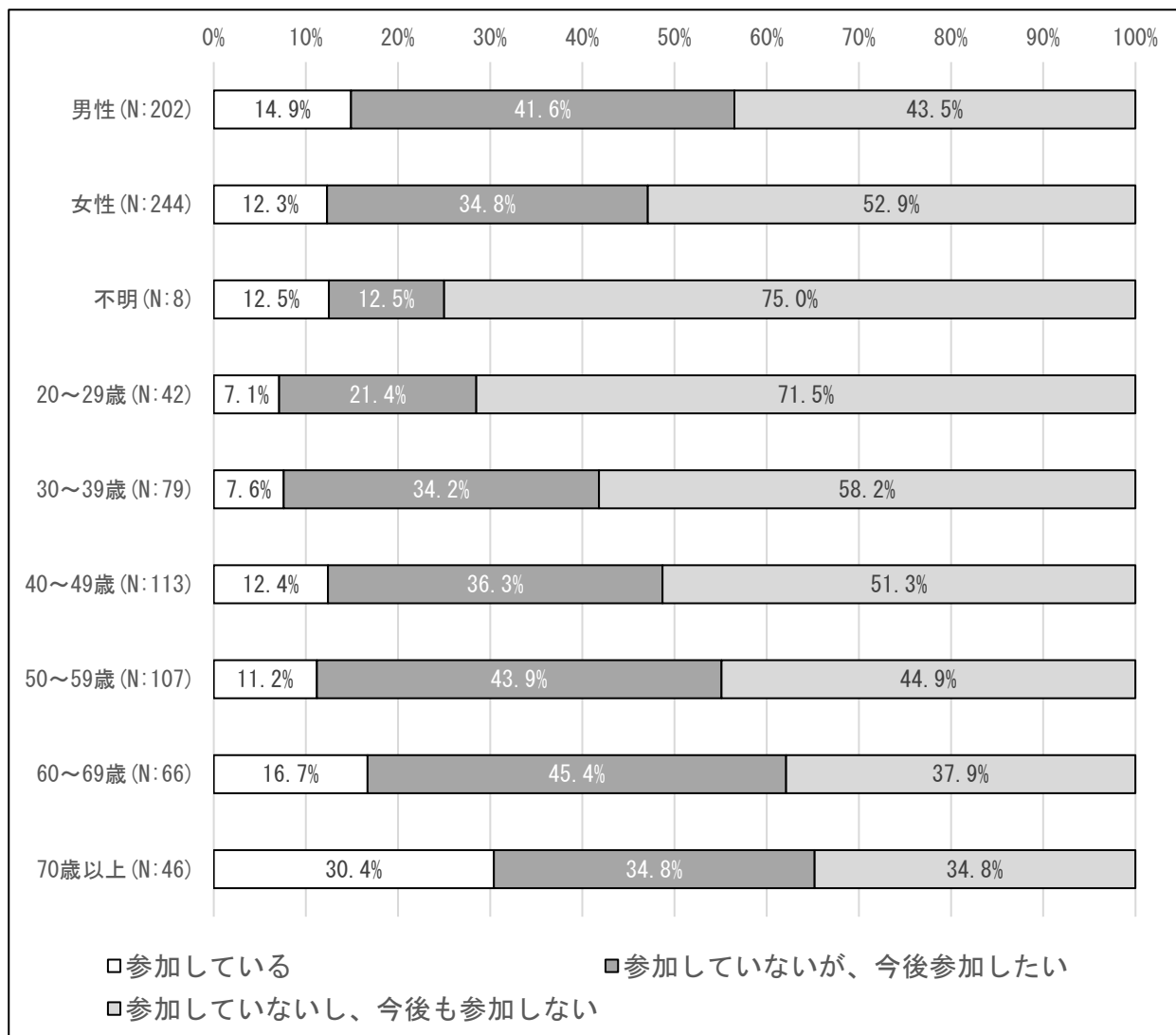


「参加している」が13.4%、「参加していないが、今後参加したい」が37.4%、「参加していないし、今後も参加しない」が49.2%となっている。

【前回との比較】

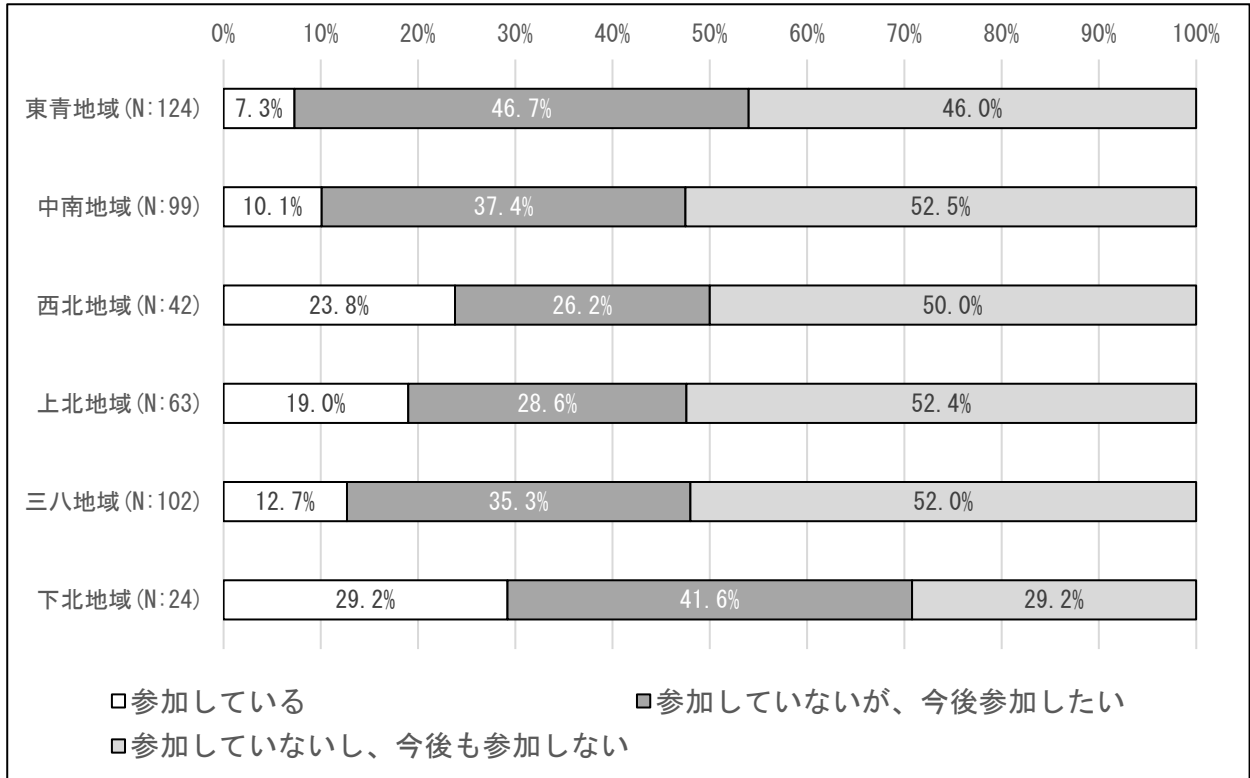


【男女別・年代別】



年代別では、年代が上がるにつれて「参加している」、「参加していないが、今後参加したい」の割合が増えている。

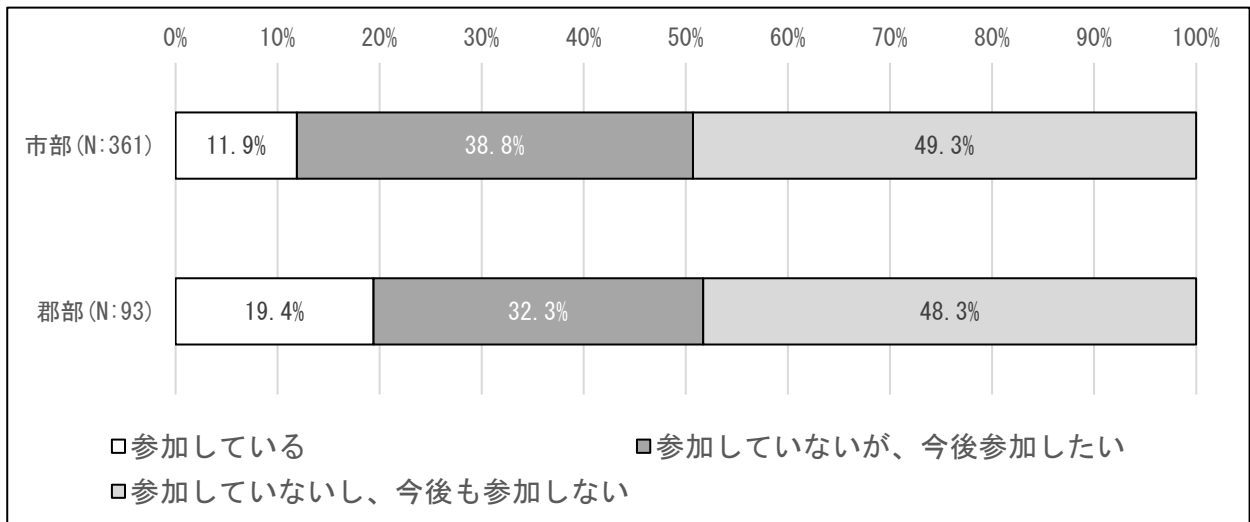
【地域別】



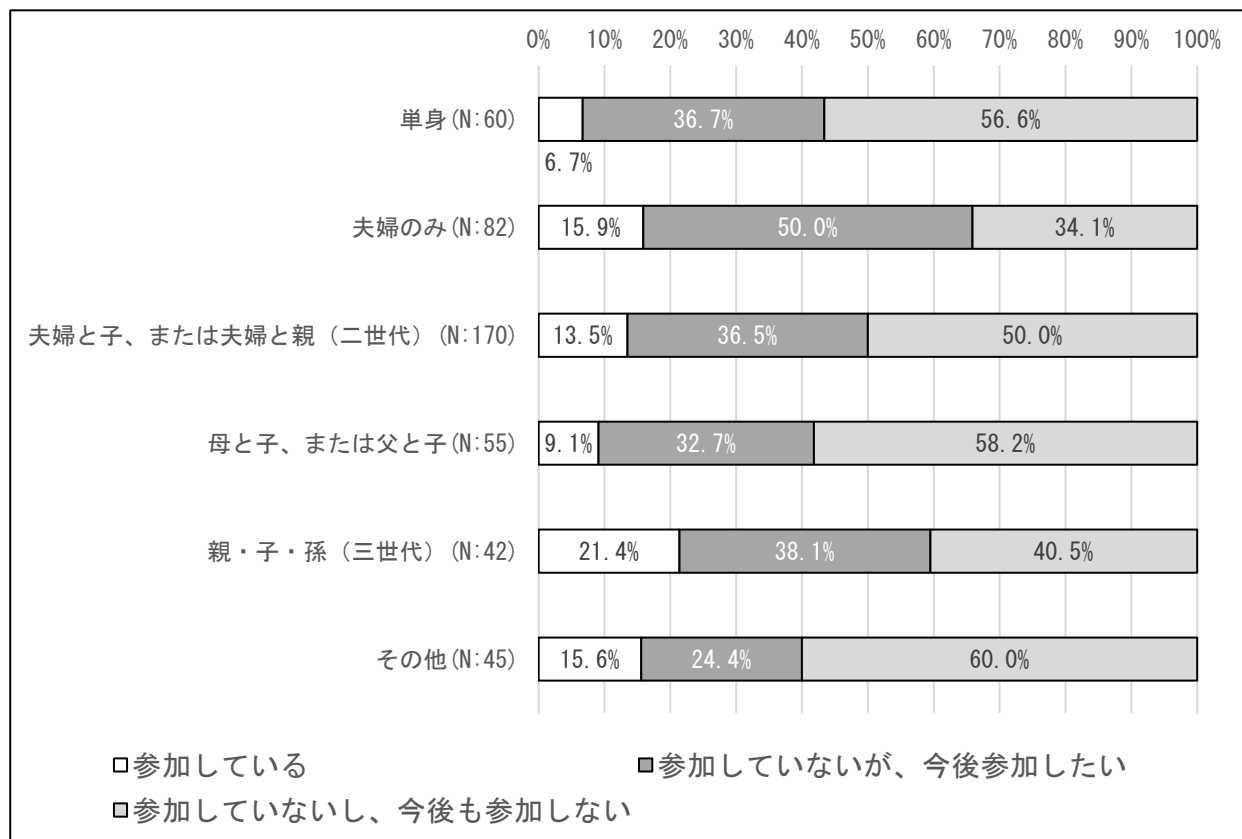
「東青地域」、「中南地域」、「西北地域」、「上北地域」、「三八地域」は約 50%が「参加していないし、今後も参加しない」と回答している。

一方で「下北地域」では「参加している」、「参加していないが、今後参加したい」の合計が 70.8%と高い。

【市部・郡部別】



【家族構成別】



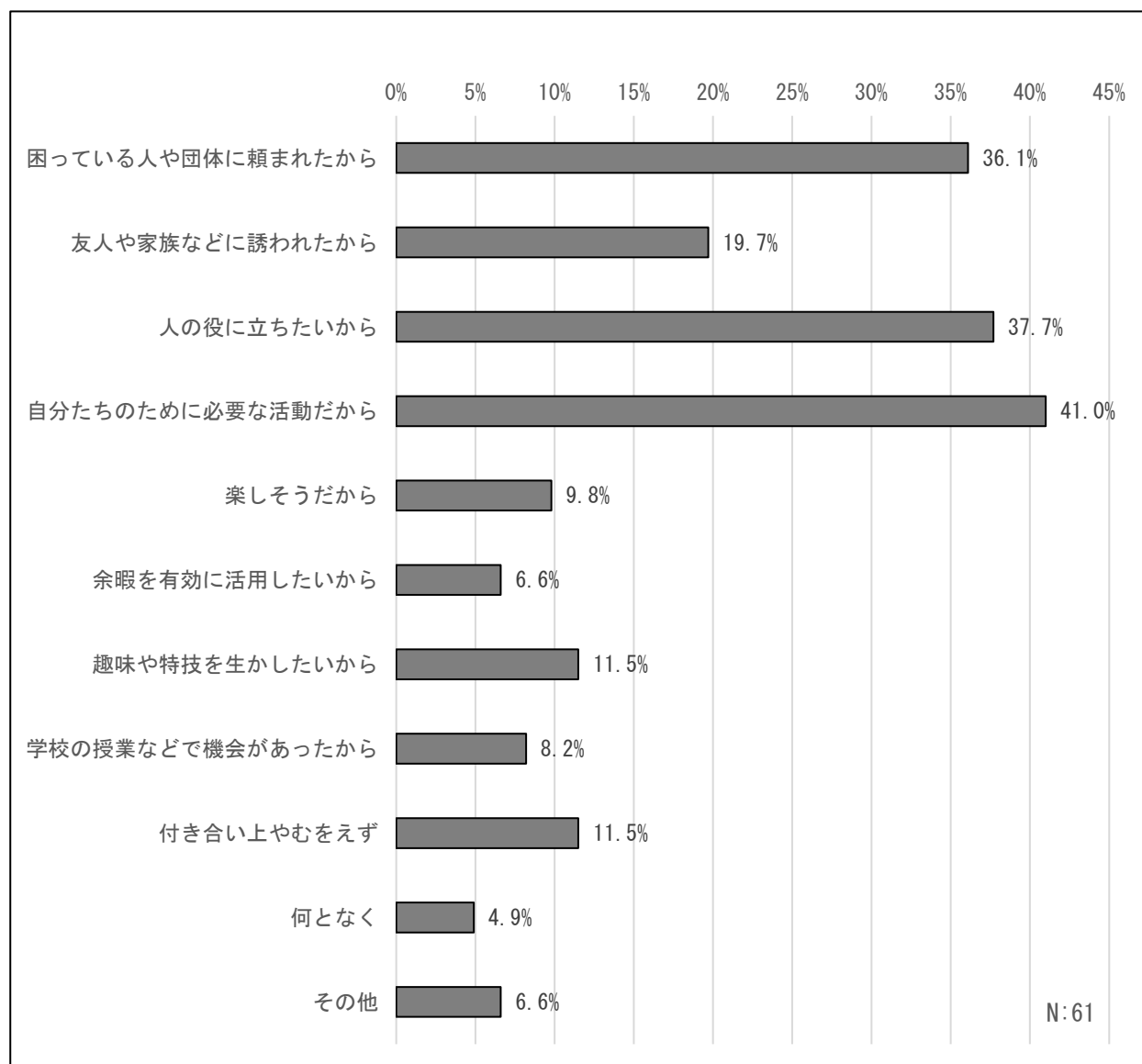
「参加している」、「参加していないが、参加したい」の合計と「参加していないし、今後も参加しない」を比較すると、「夫婦のみ」、「親・子・孫（三世帯）」の「参加している・参加したい」割合が高くなっている。

その一方で、「単身」、「母と子、または父と子」は「参加していないし、今後も参加しない」の割合が高い。

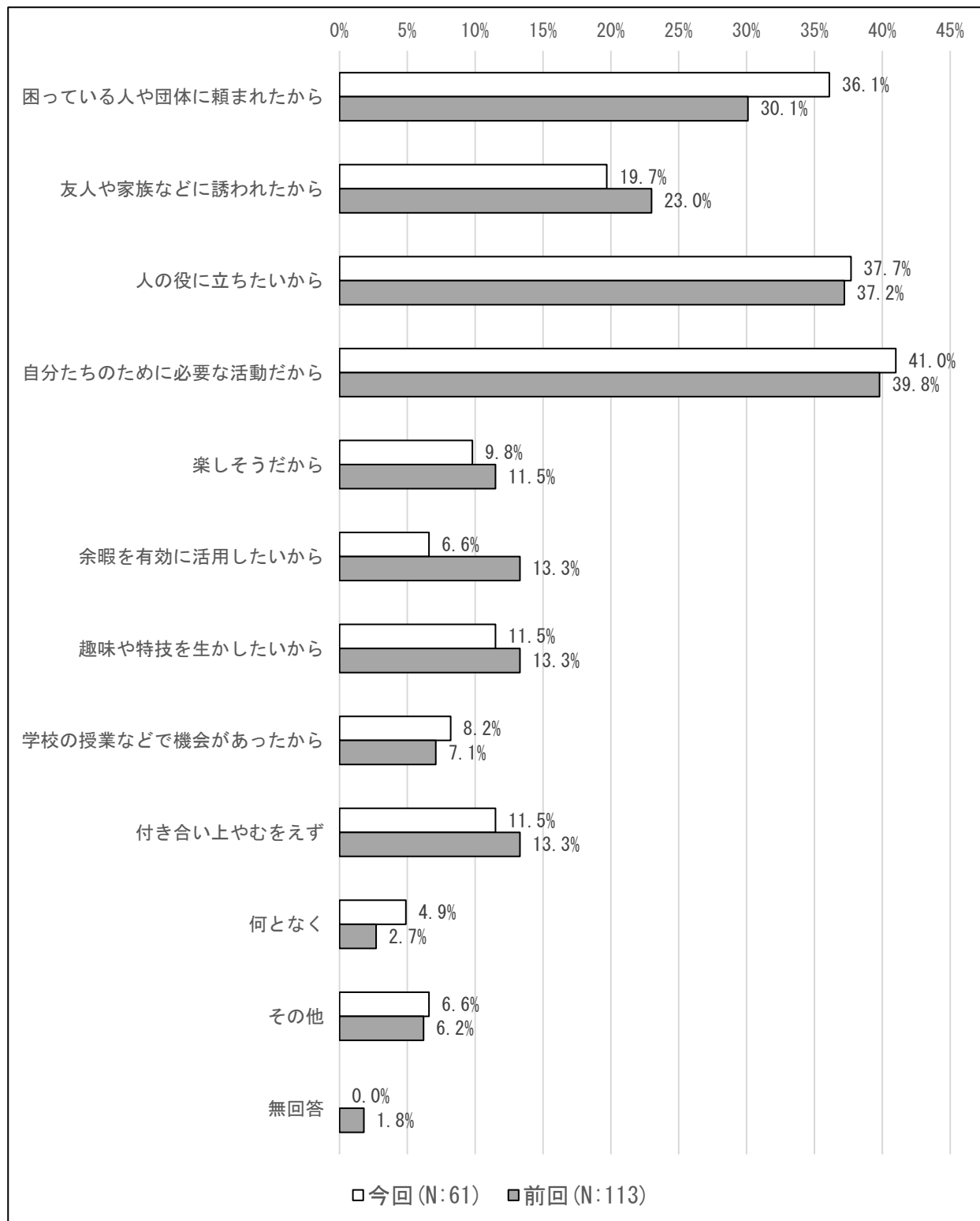
問 12-1 問 12 で「① 参加している」を選んだ方にお聞きします。参加したきっかけは何ですか。
(3つまで)

※問 12-1 については、有効回答が少ないため参考資料として掲載しています。

・ ボランティアへの参加

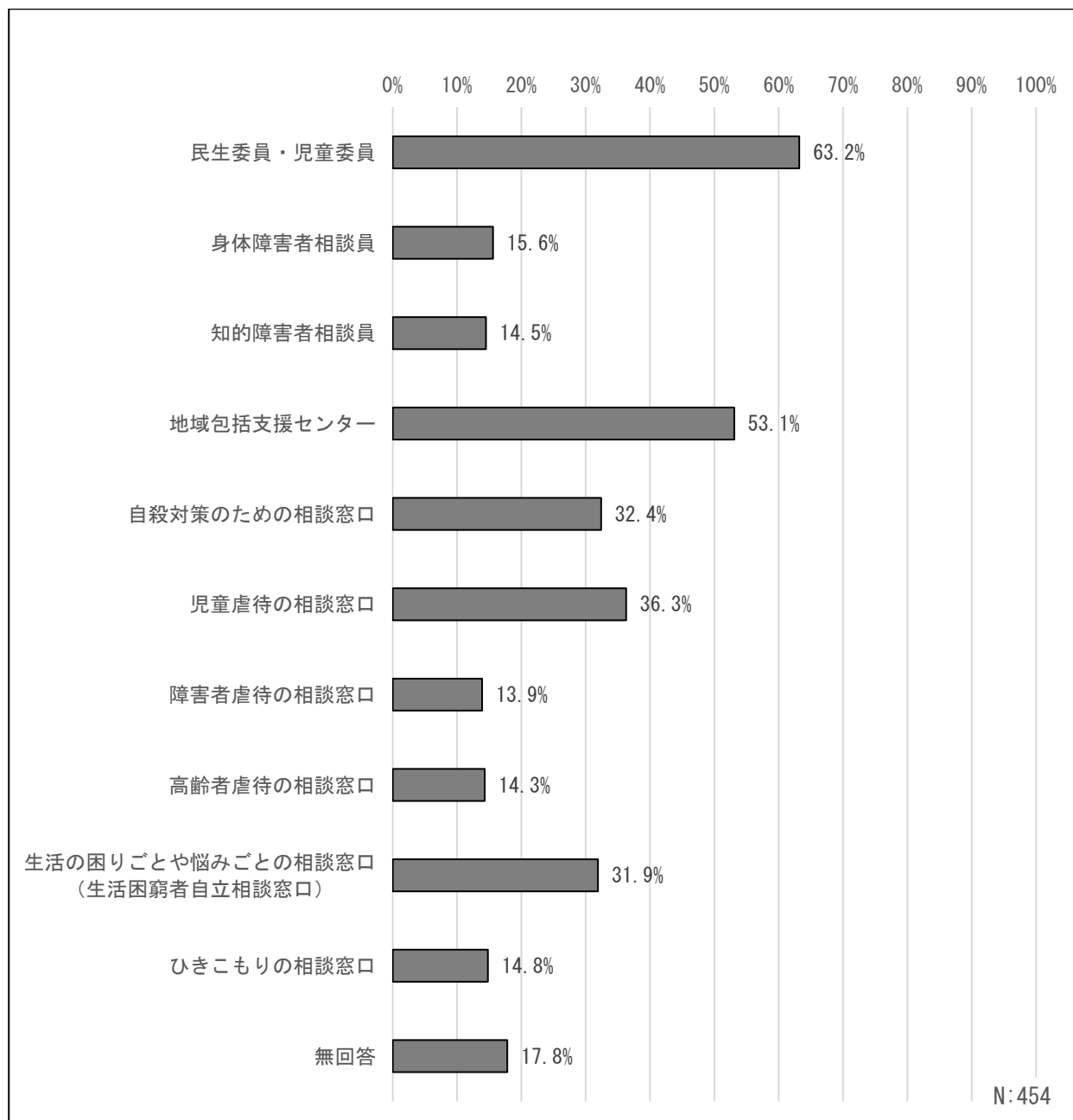


【前回との比較】



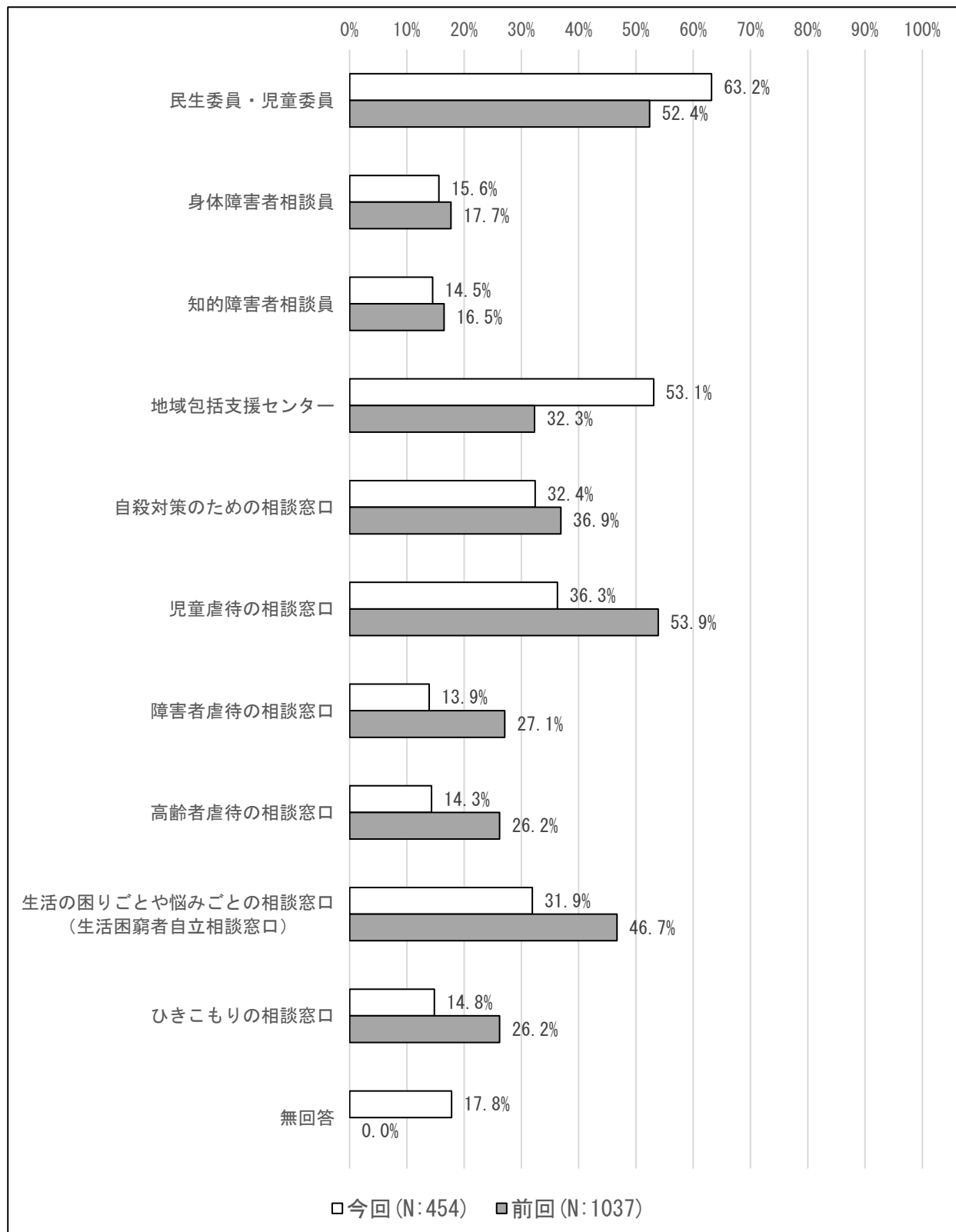
5 様々な相談窓口について

問 13 次の相談窓口を知っていますか。（知っているものすべて）



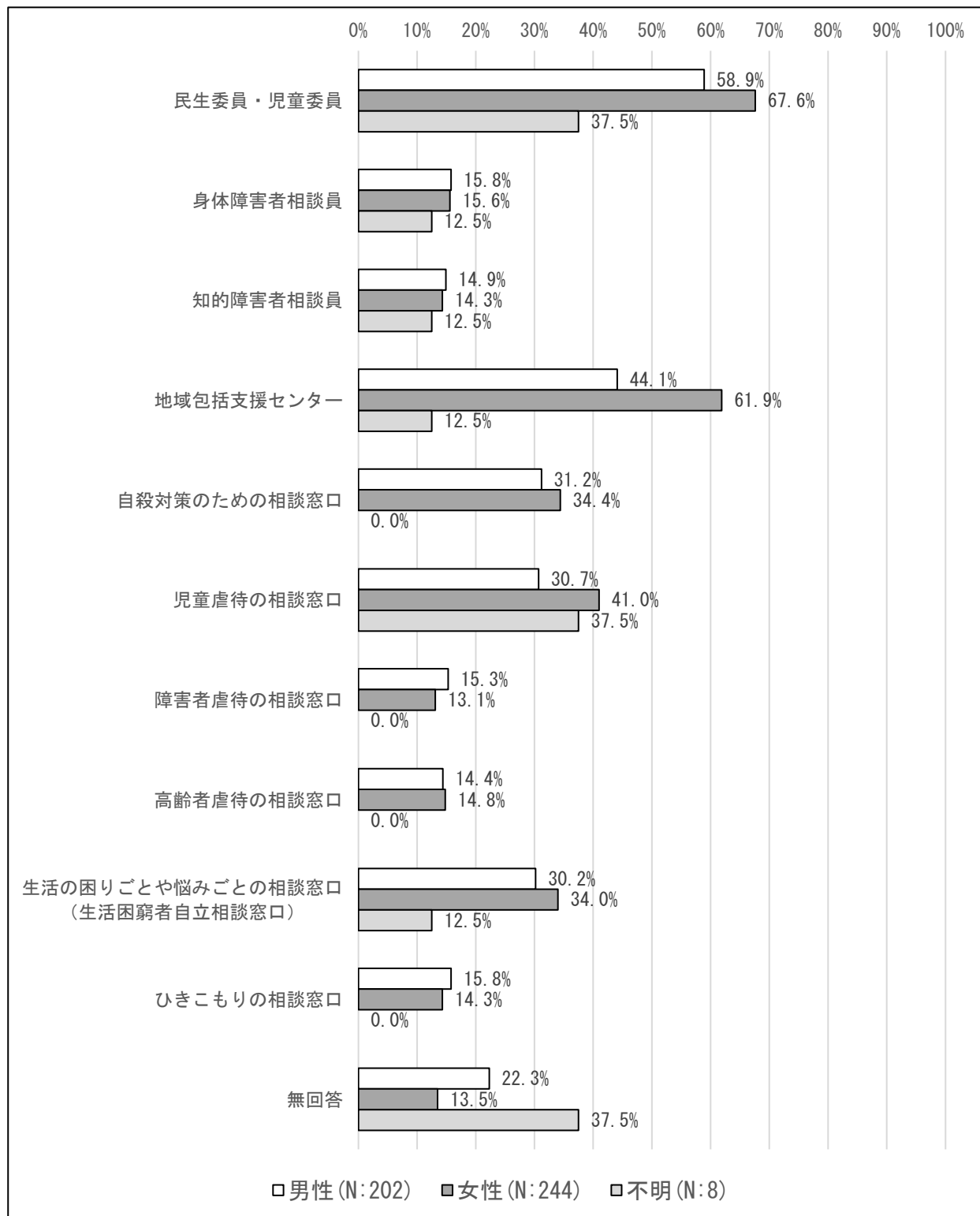
「民生委員・児童委員」が 63.2%と最も高く、次いで「地域包括支援センター」、「児童虐待の相談窓口」の順となっている。

【前回との比較】



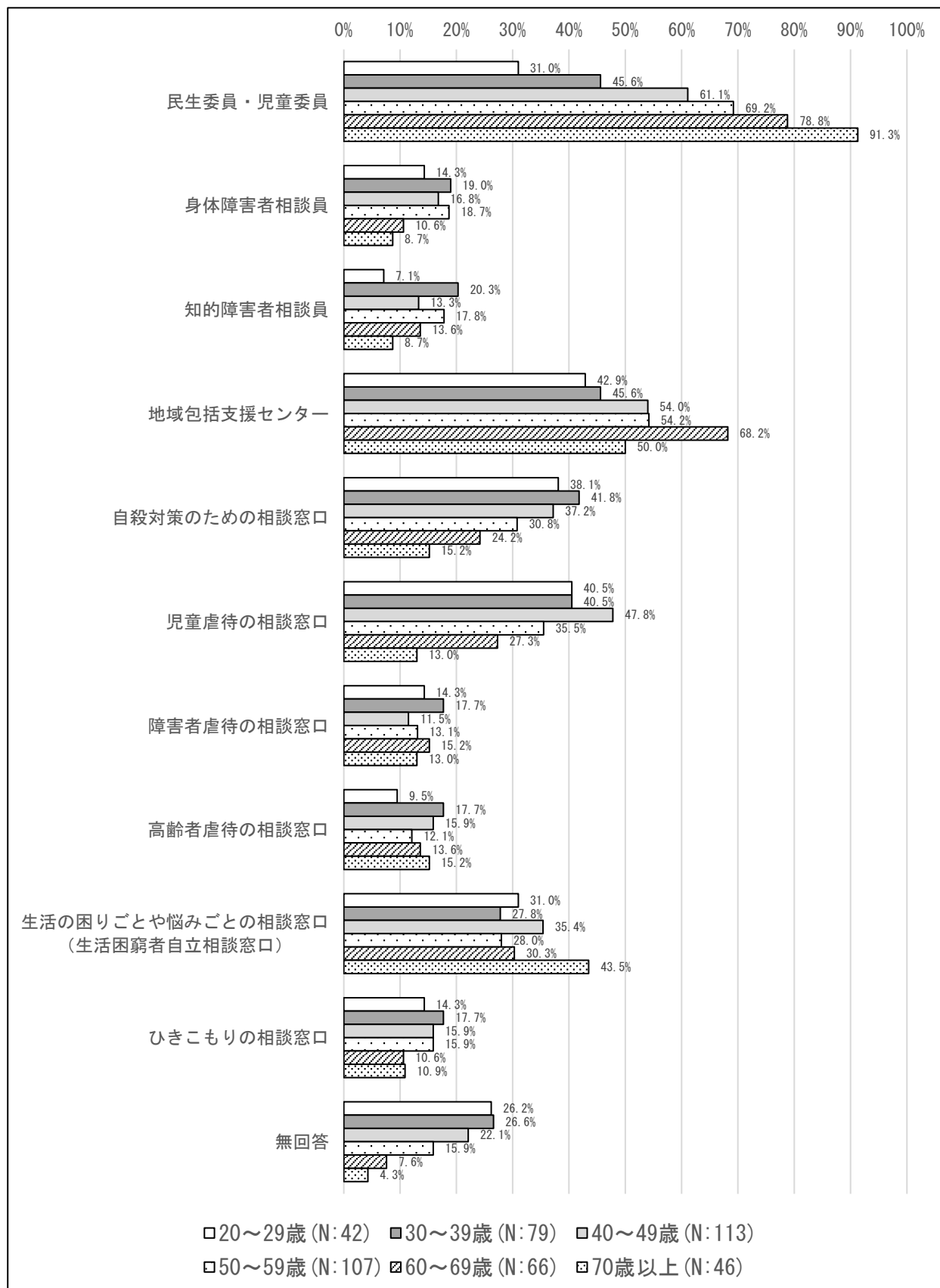
前回より「民生委員・児童委員」、「地域包括支援センター」の割合が高くなっている。その一方で、「児童虐待の相談窓口」、「生活の困りごとや悩みごとの相談窓口（生活困窮者自立相談窓口）」の割合が低くなっている。

【男女別】



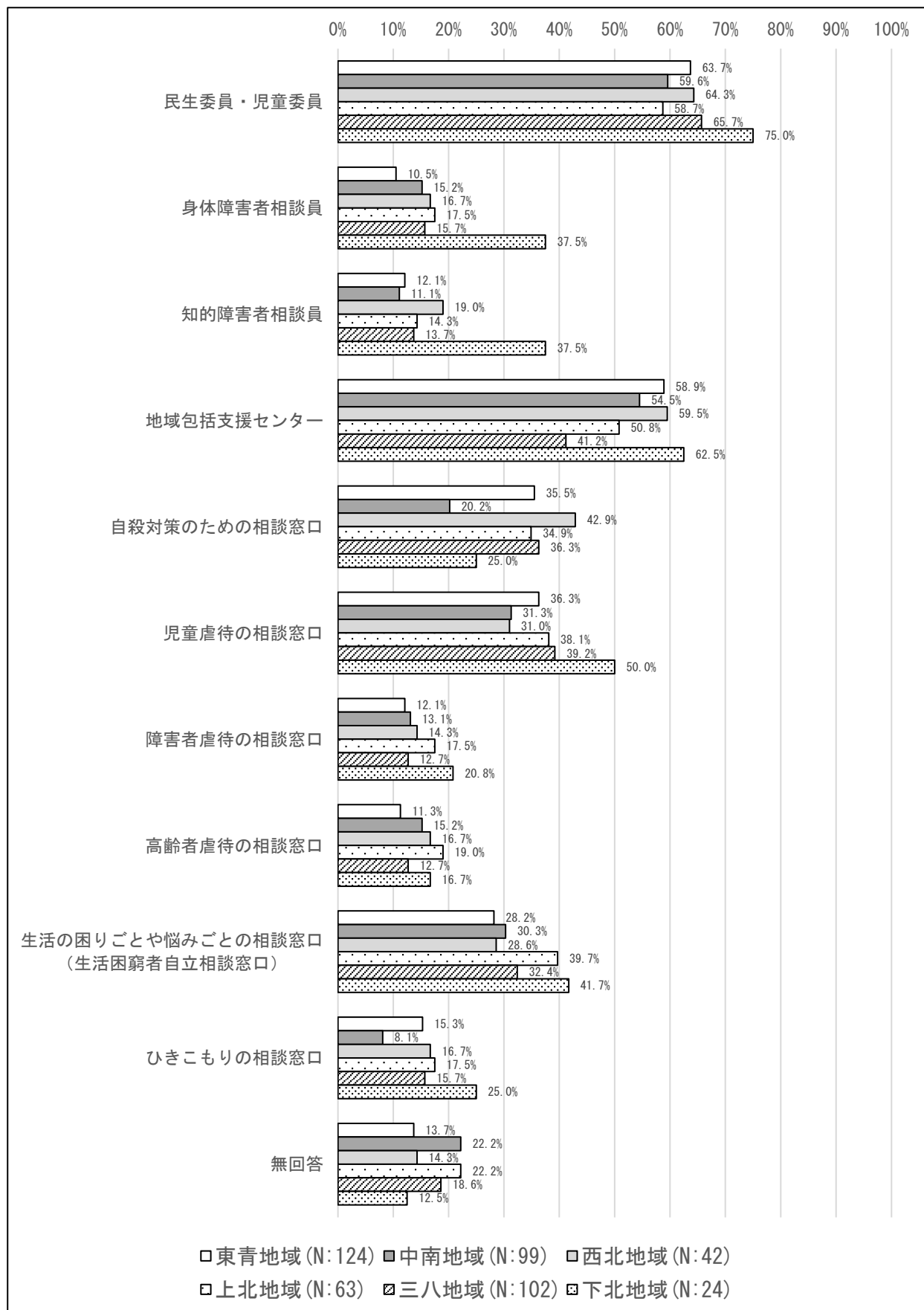
男女ともに「民生委員・児童委員」、「地域包括支援センター」の順となっており、次いで男性は「自殺対策のための相談窓口」、「児童虐待の相談窓口」、女性は「児童虐待の相談窓口」の順となっている。

【年代別】



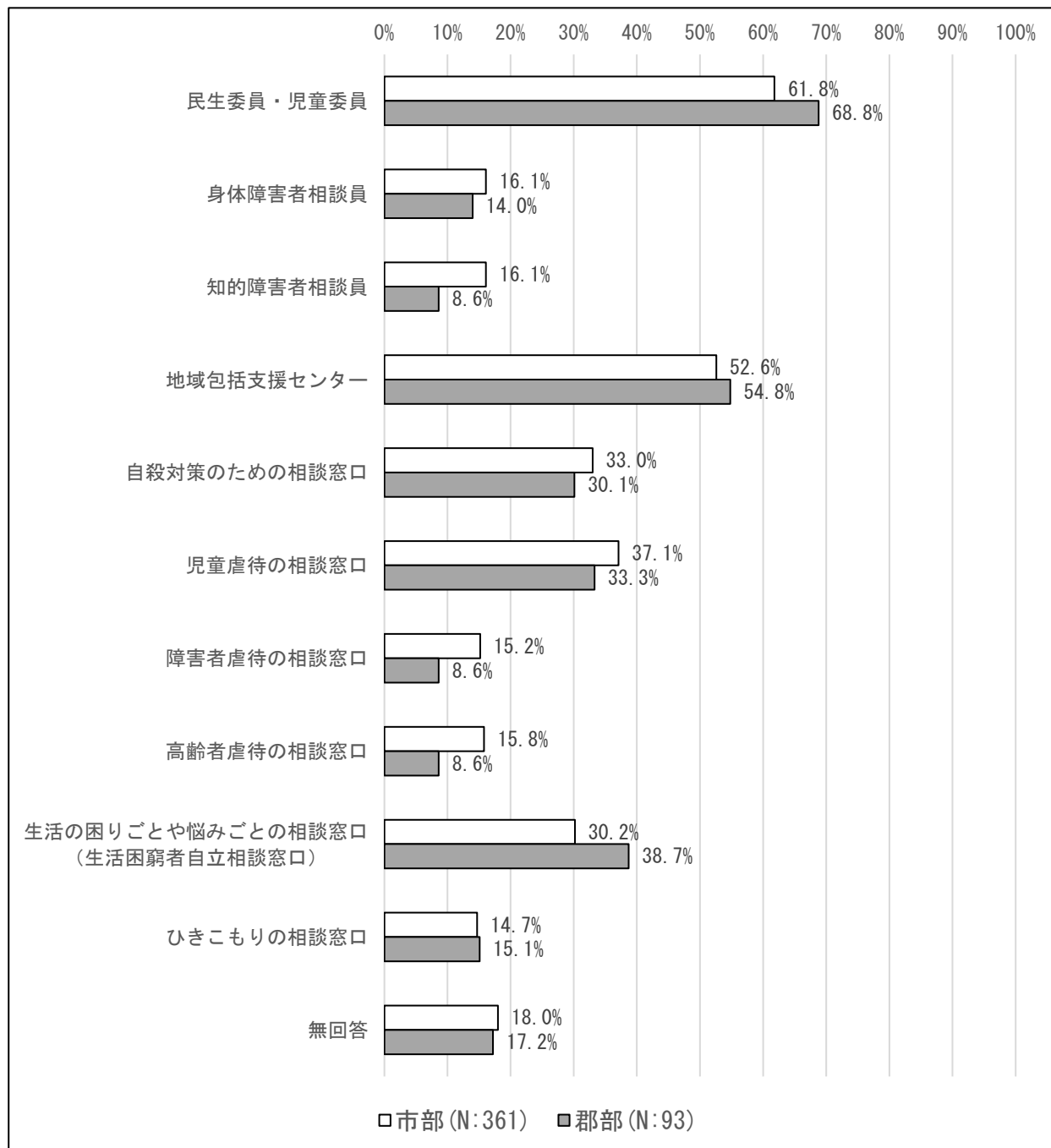
各年代とも「民生委員・児童委員」、「地域包括支援センター」の順に高くなっており、「民生委員・児童委員」、「地域包括支援センター」ともに年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

【地域別】



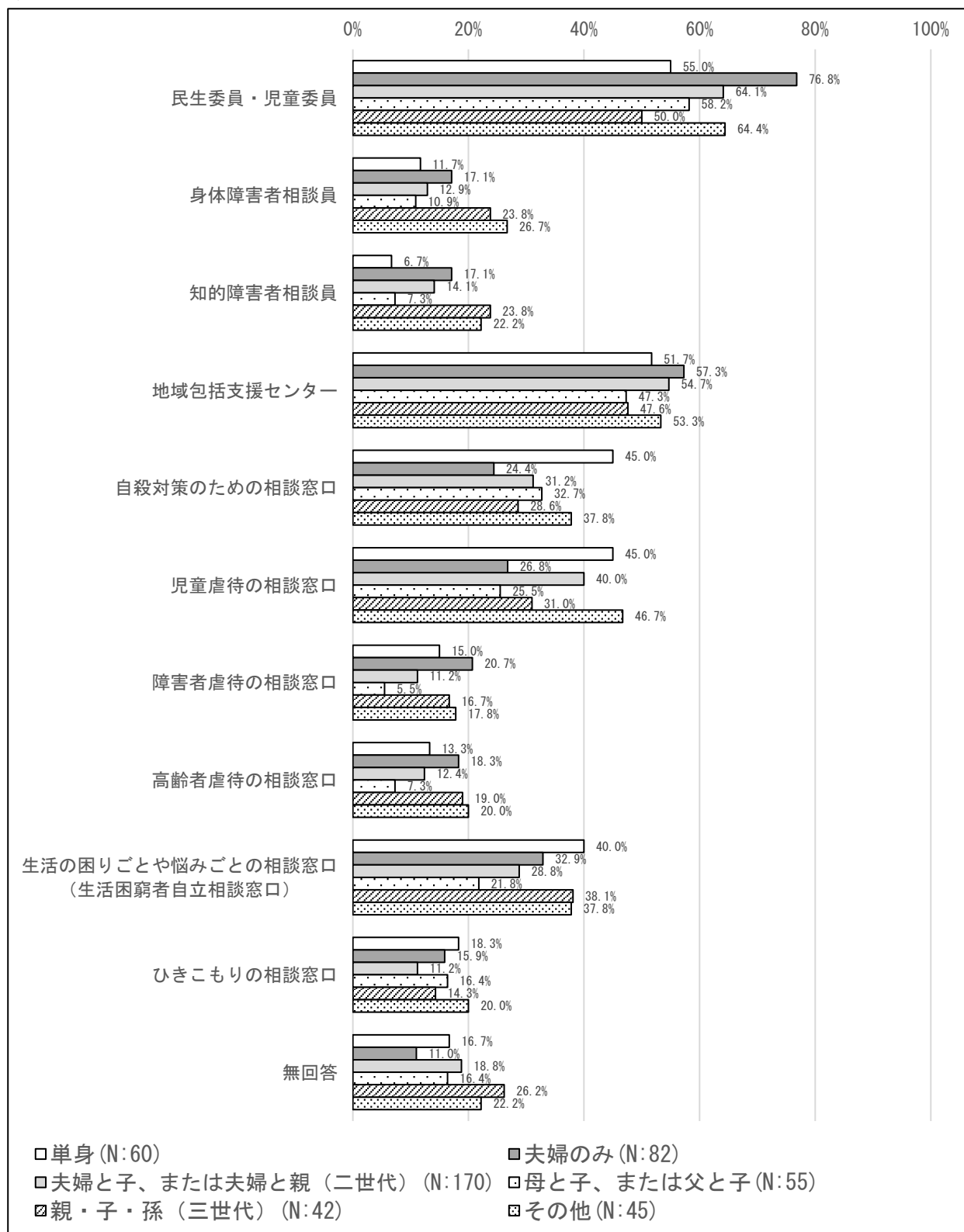
全ての地域において「民生委員・児童委員」、「地域包括支援センター」の割合が高くなっている。

【市部・郡部別】



「市部」、「郡部」とも「民生委員・児童委員」、「地域包括支援センター」の割合が高くなっている。

【家族構成別】



全ての世帯構成において「民生委員・児童委員」、「地域包括支援センター」の割合が高くなっている。

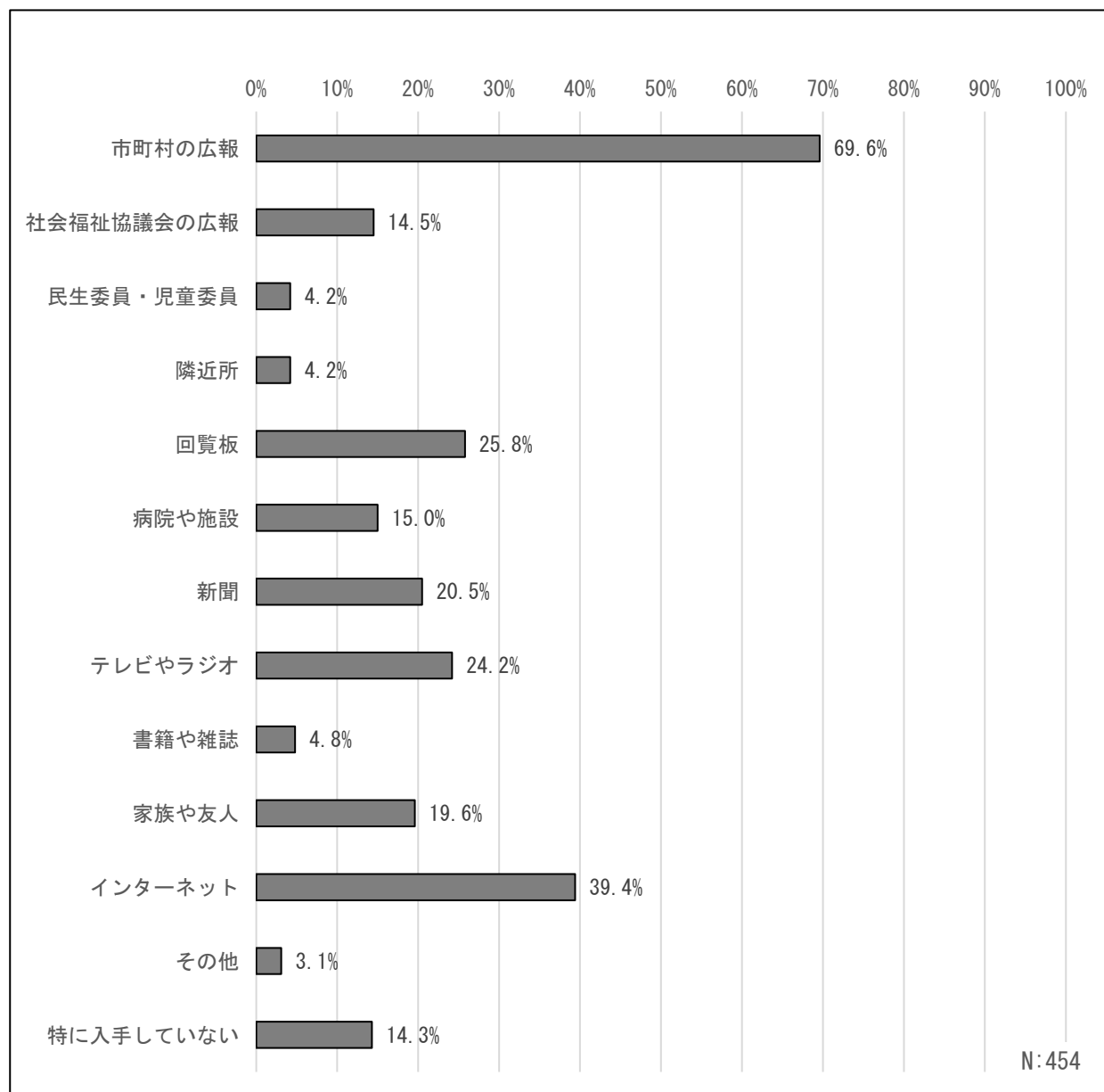
「民生委員・児童委員」については特に「夫婦のみ」の割合が高い。

「単身」は「自殺対策のための相談窓口」、「児童虐待の相談窓口」、「生活の困りごとや悩みごとの相談窓口（生活困窮者自立相談窓口）」の割合が高くなっている。

6 福祉に関する情報と今後の地域福祉のあり方について

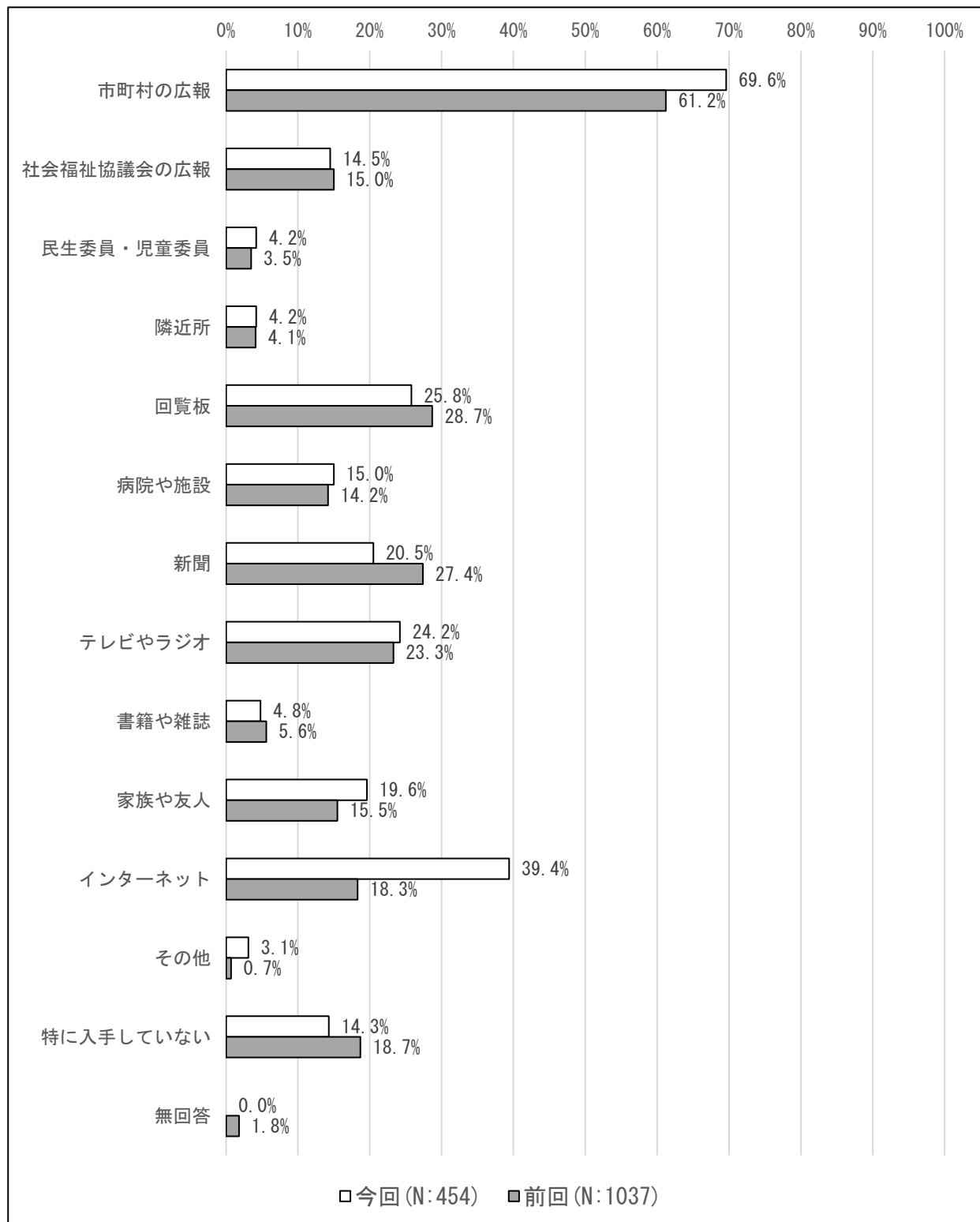
問 14 あなたは、福祉に関する情報を何から入手していますか。（あてはまるものすべて選択）

・福祉に関する情報の入手方法



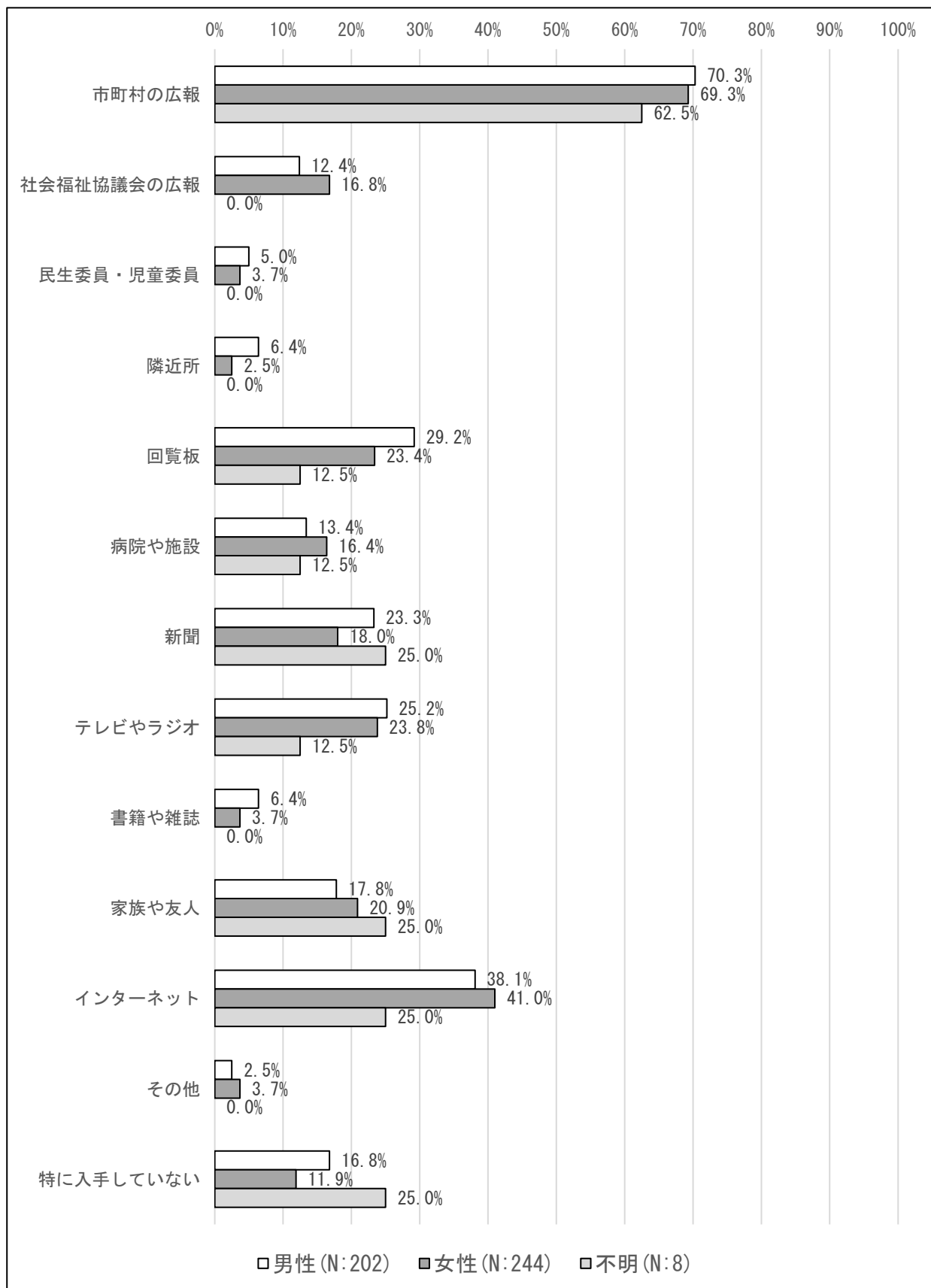
「市町村の広報」が 69.6%、「インターネット」が 39.4%、「回覧板」が 25.8%となっている。

【前回との比較】



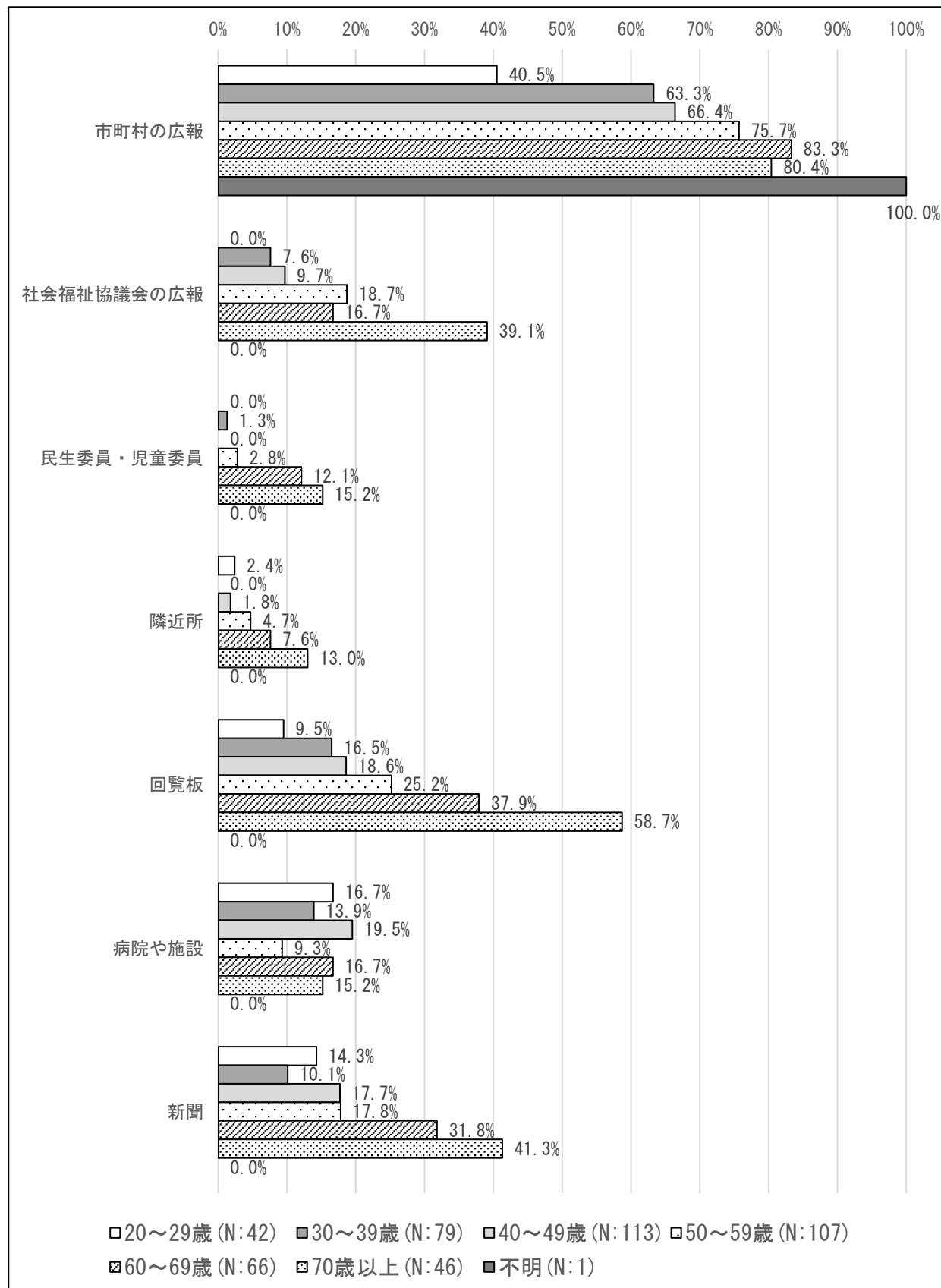
前回と比較し、「インターネット」の割合が2倍以上高くなっており、次いで「市町村の広報」も高くなっている。「新聞」、「回覧板」は、前回よりも割合が低くなっている。

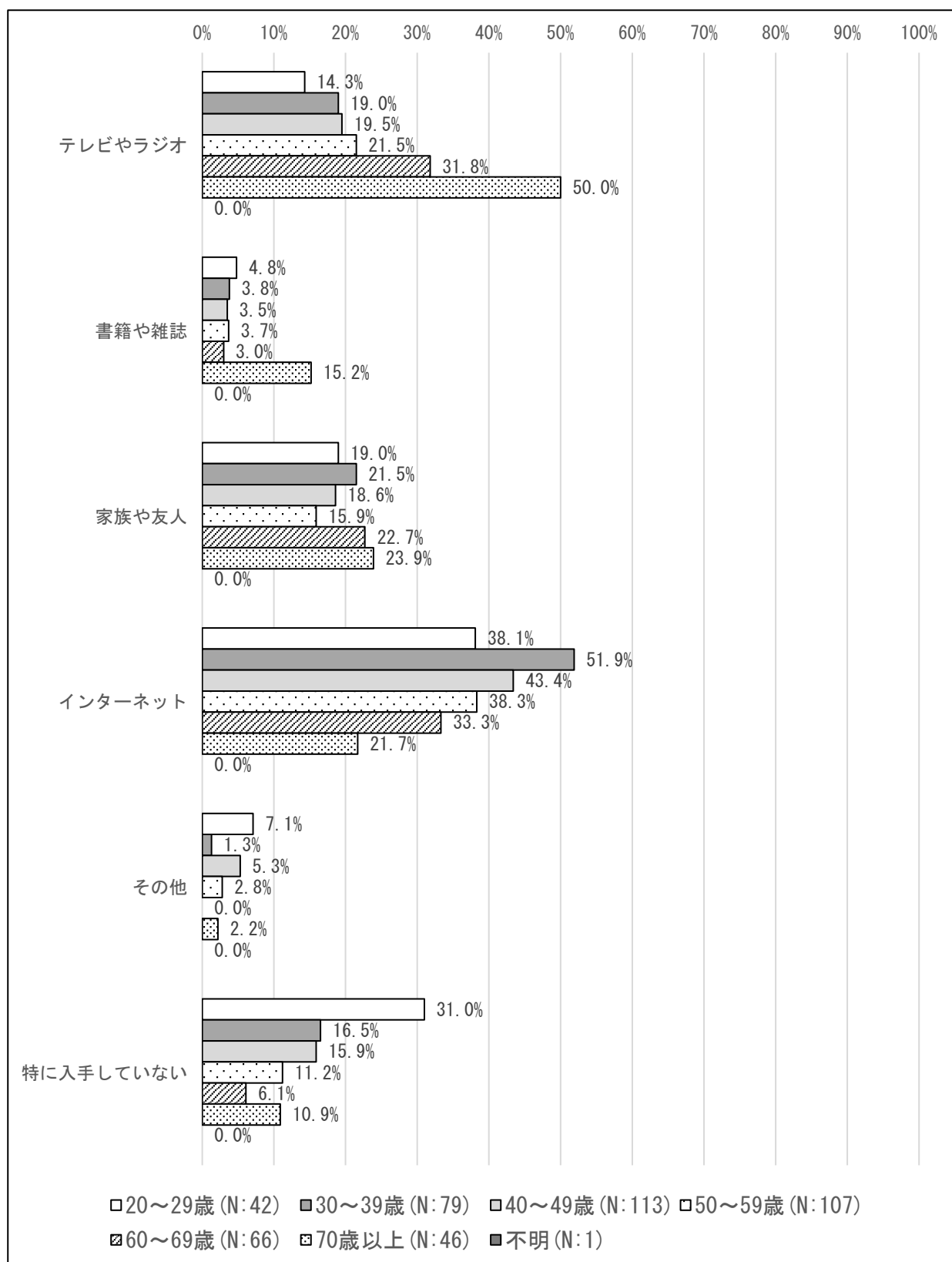
【男女別】



男女ともに「市町村の広報」が最も高く、次いで「インターネット」、「男性」は「回覧板」、「テレビやラジオ」、「女性」は「テレビやラジオ」、「回覧板」の順となっている。

【年代別】

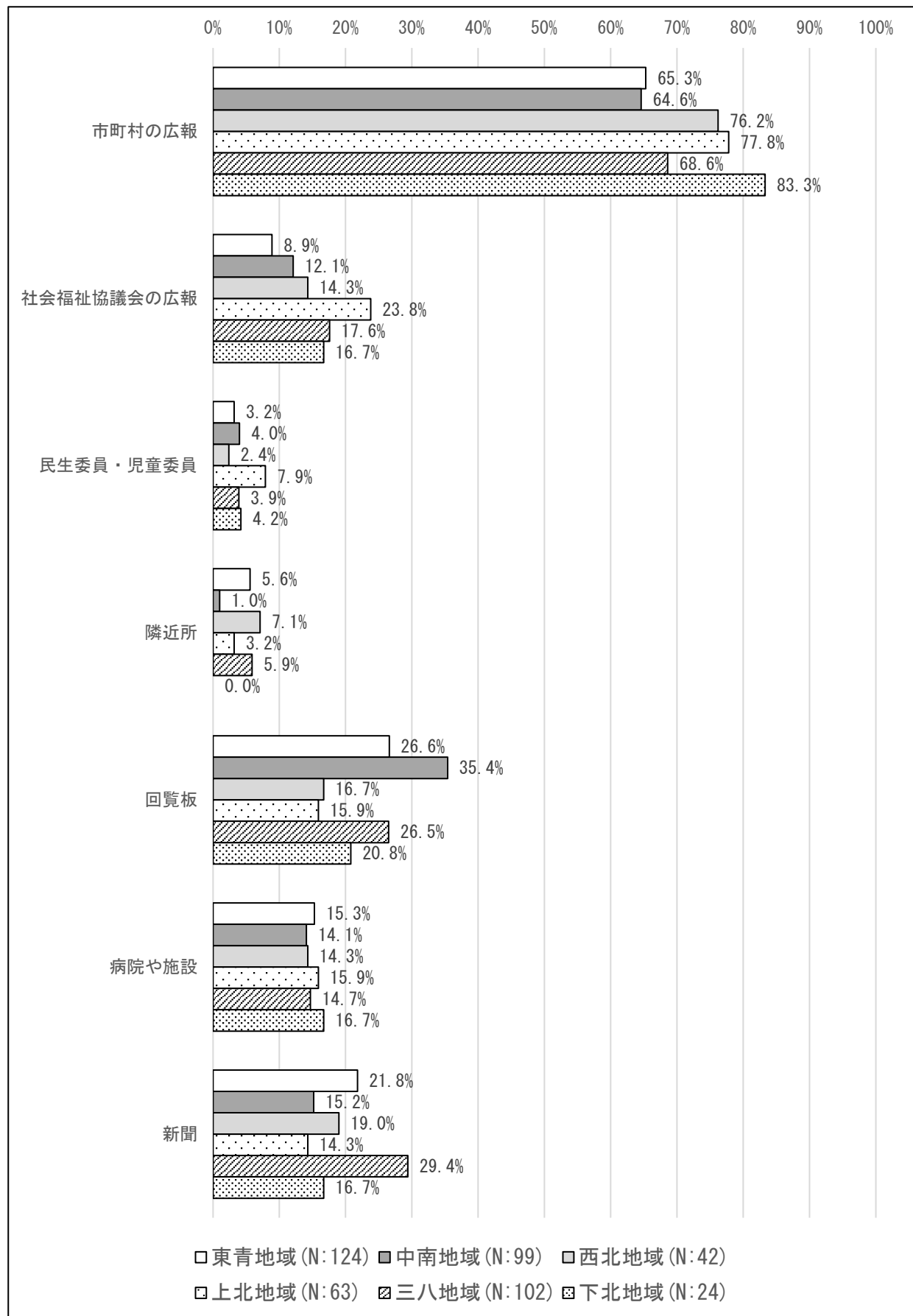


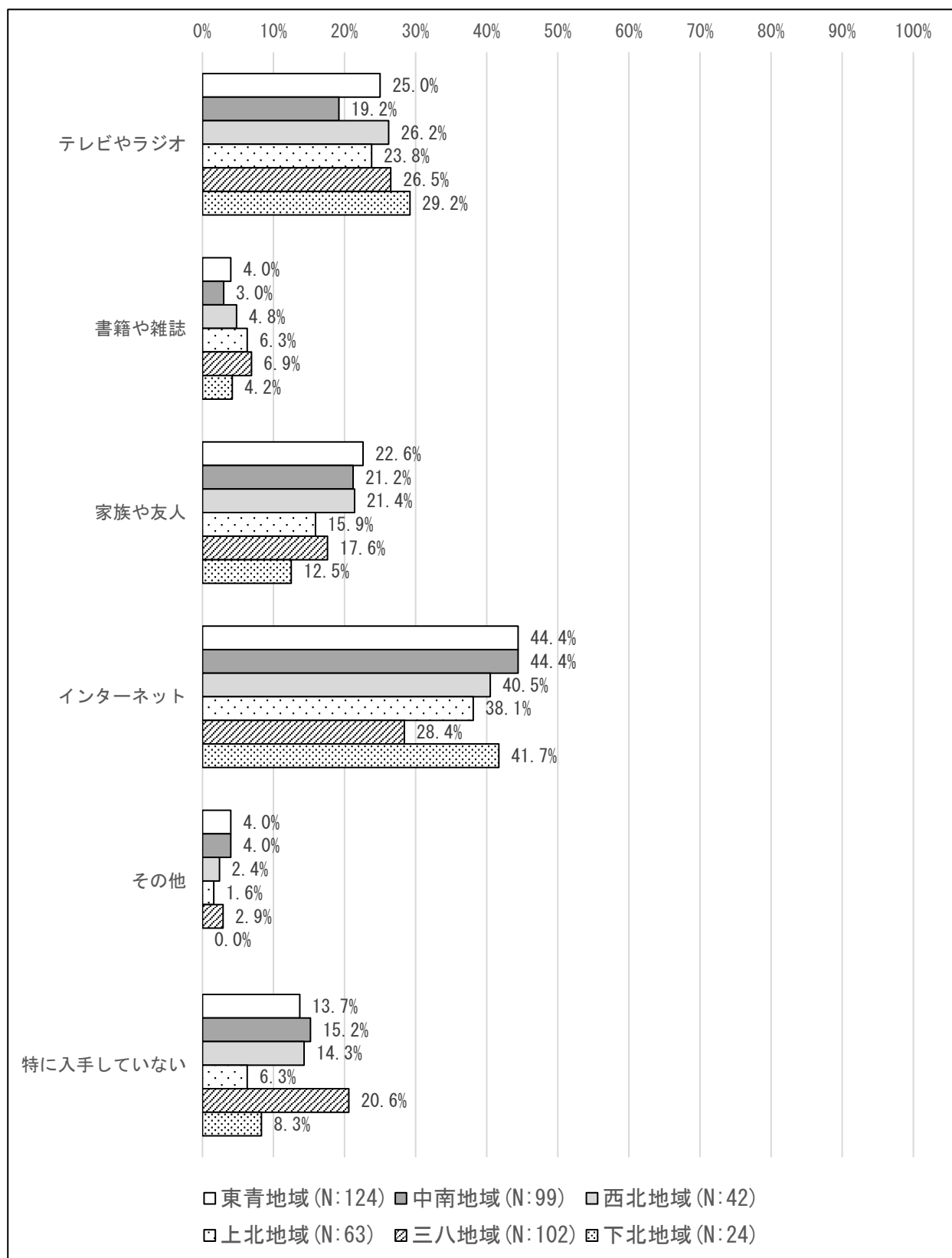


全ての年代で「市町村の広報」が最も高くなっている。次いで「50代」以下は「インターネット」が高く、「60代」は「回覧版」、「インターネット」の順で高く、「70歳以上」「回覧版」、「テレビやラジオ」の順で高くなっている。また、「70歳以上」は「社会福祉協議会の広報」も高い。

「特に入手していない」は、年代が下がるにつれて高くなっている。

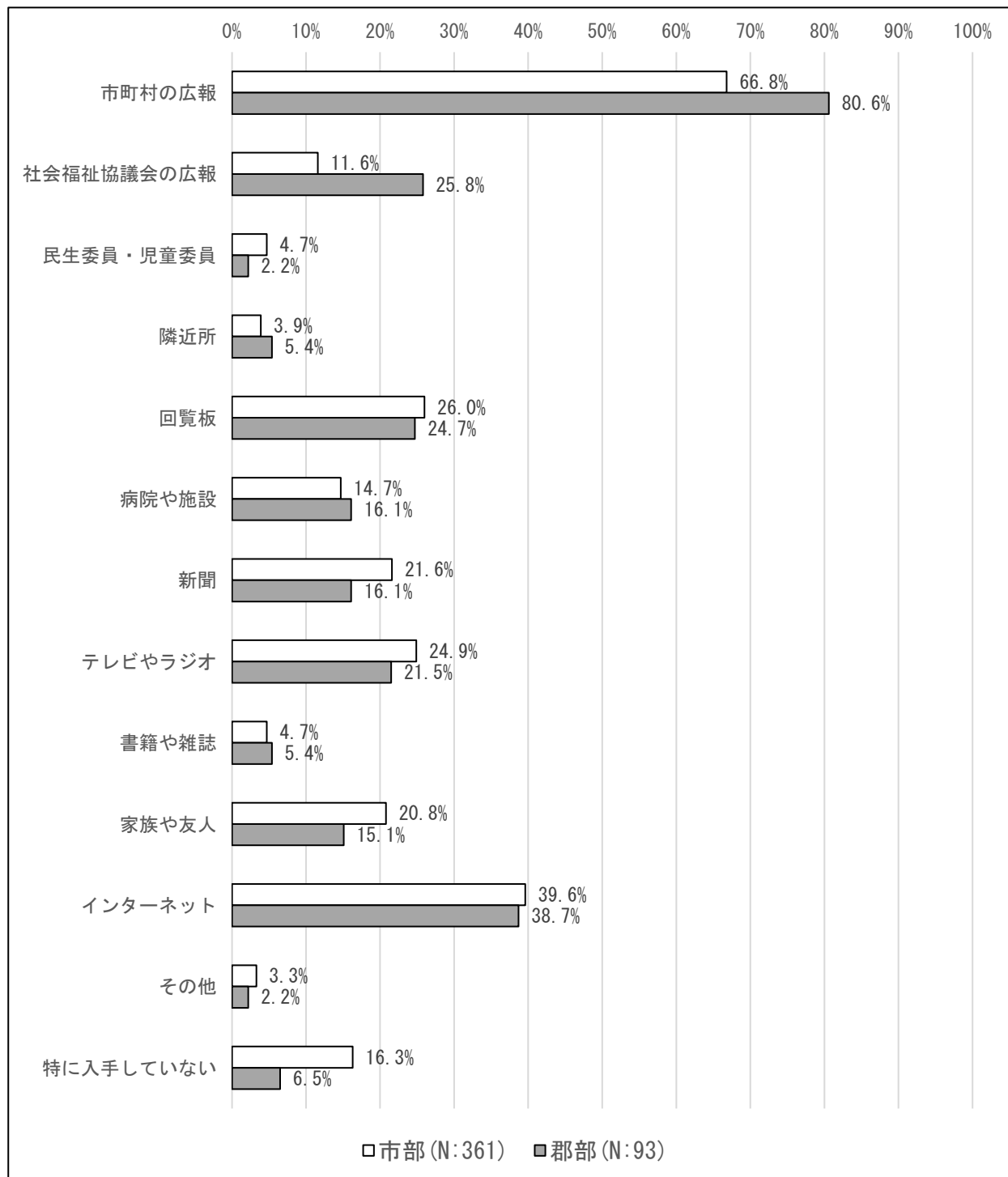
【地域別】





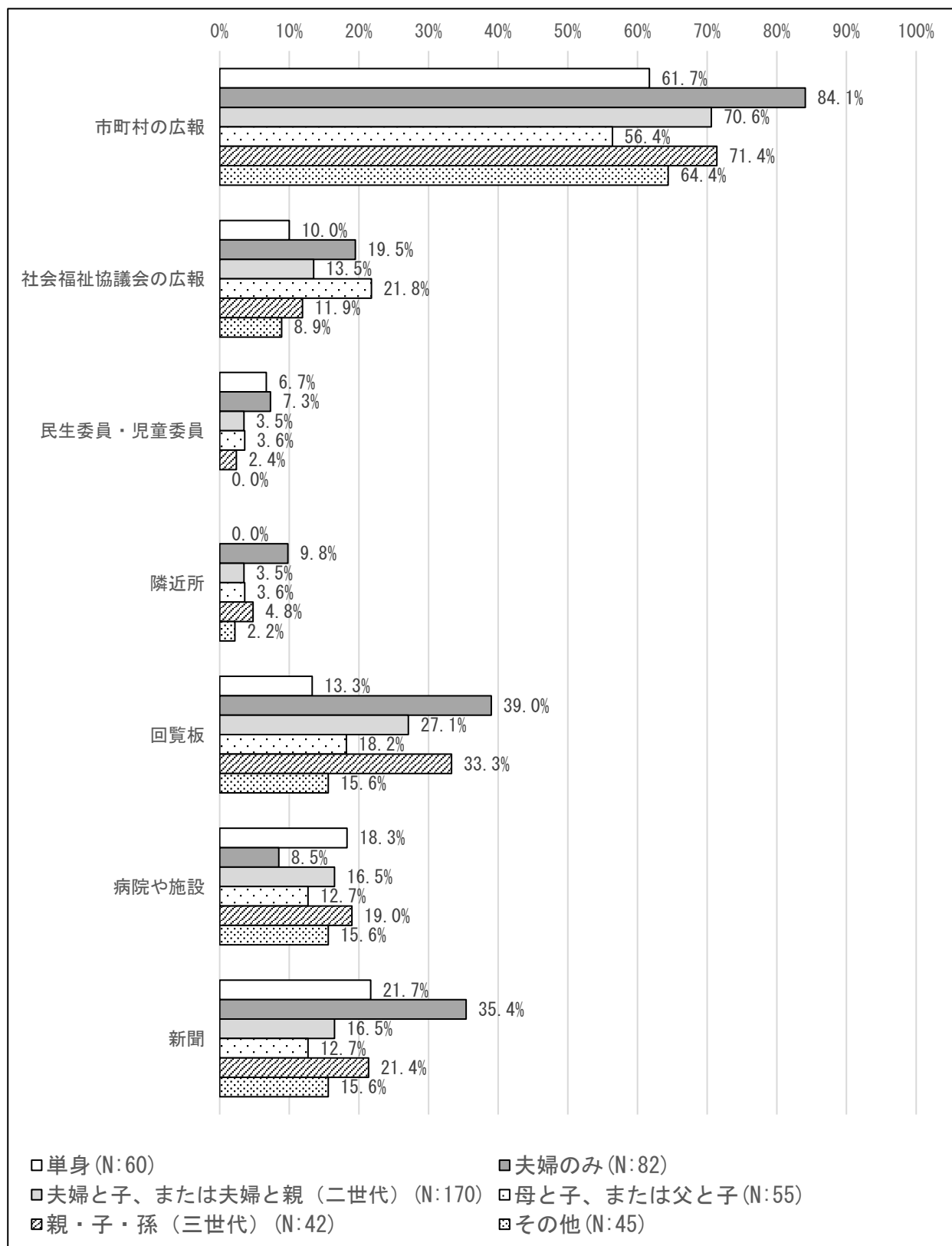
全ての地域で「市町村の広報」が最も高く、次いで「三戸地域」を除く地域では「インターネット」が高く、「三戸地域」では「新聞」が高くなっている。

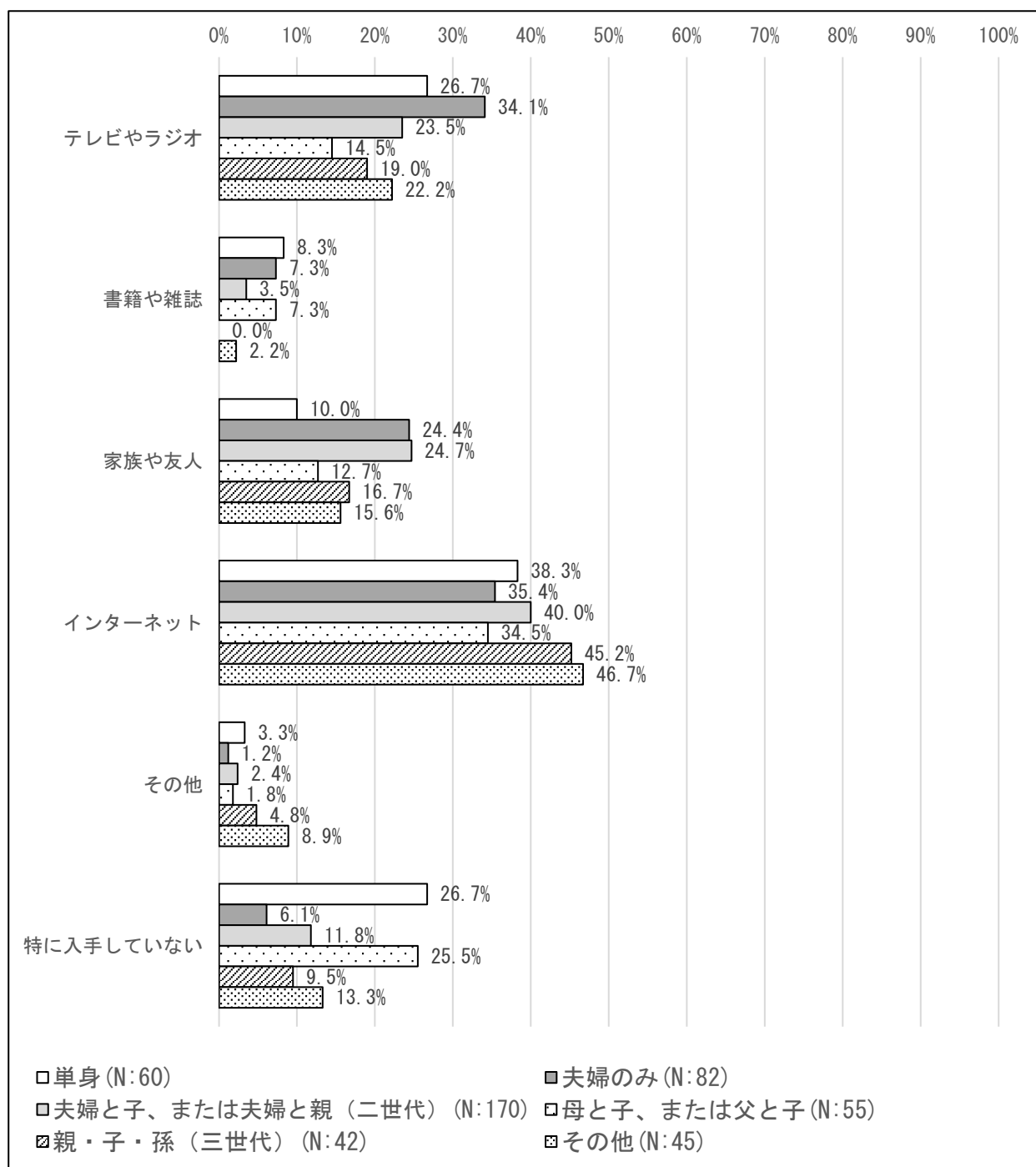
【市部・郡部別】



「市部」、「郡部」とともに「市町村の広報」、「インターネット」の順に高く、次いで「市部」は「回覧板」、「テレビやラジオ」、「郡部」は「社会福祉協議会の広報」、「回覧板」の順となっている。「社会福祉協議会の広報」は、「郡部」が「市部」と比べて高くなっている。

【家族構成別】

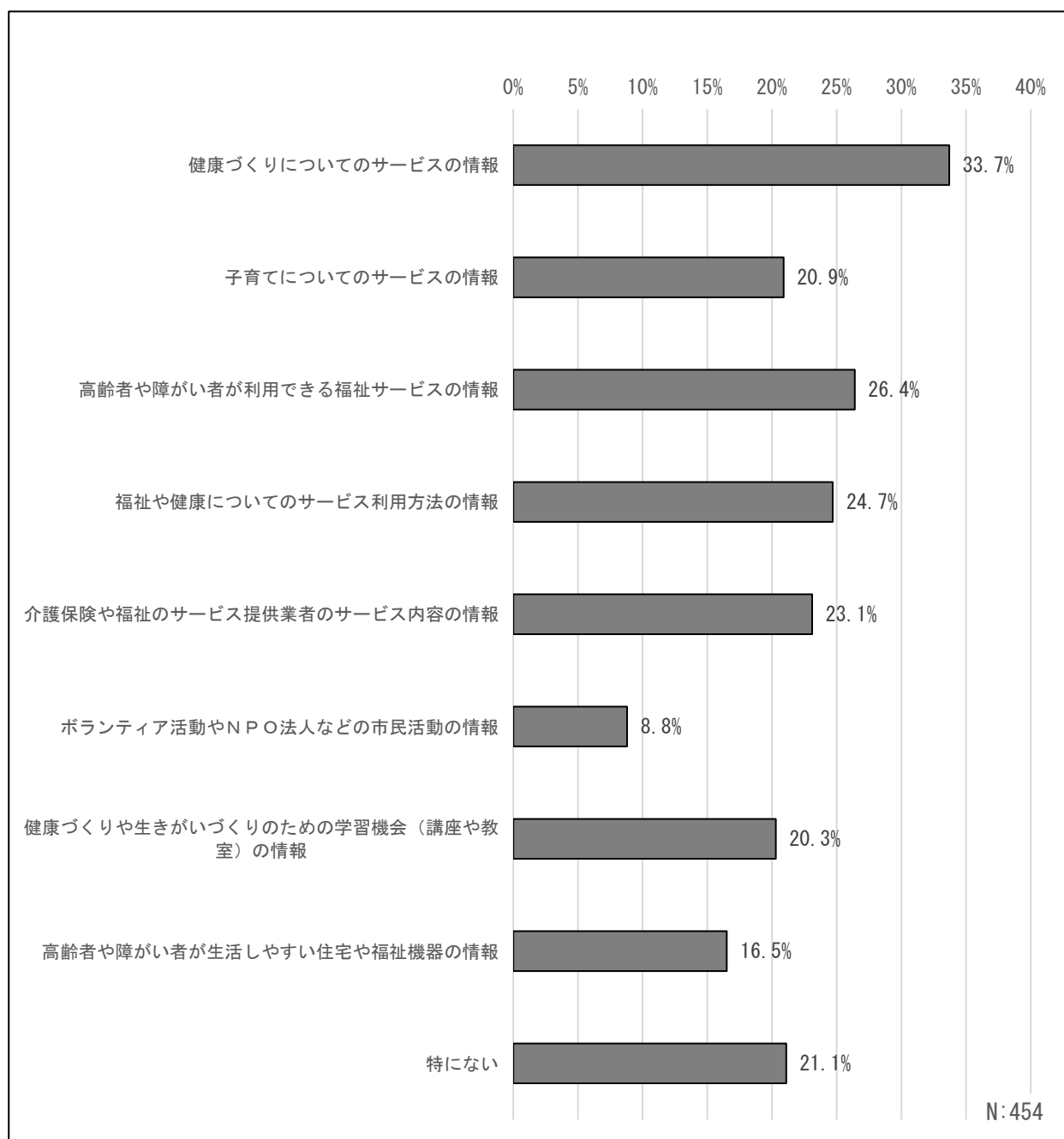




全ての世帯構成にて「市町村の広報」が高く、次いで「夫婦のみ」は「回覧板」、その他は「インターネット」の順となっている。

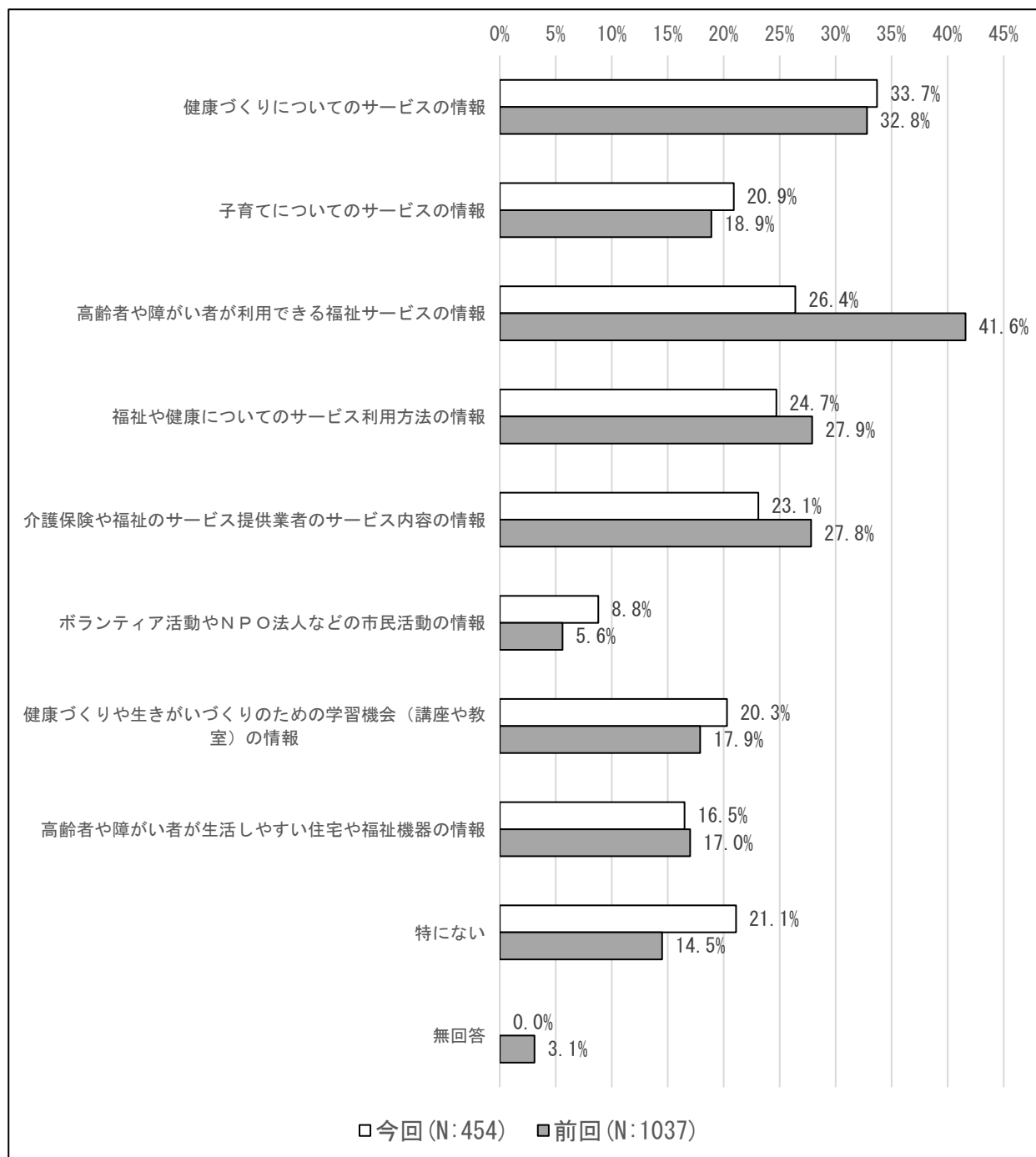
問 15 あなたは、福祉や健康についてどのような情報を知りたいですか。（3つまで選択）

・福祉や健康についての情報



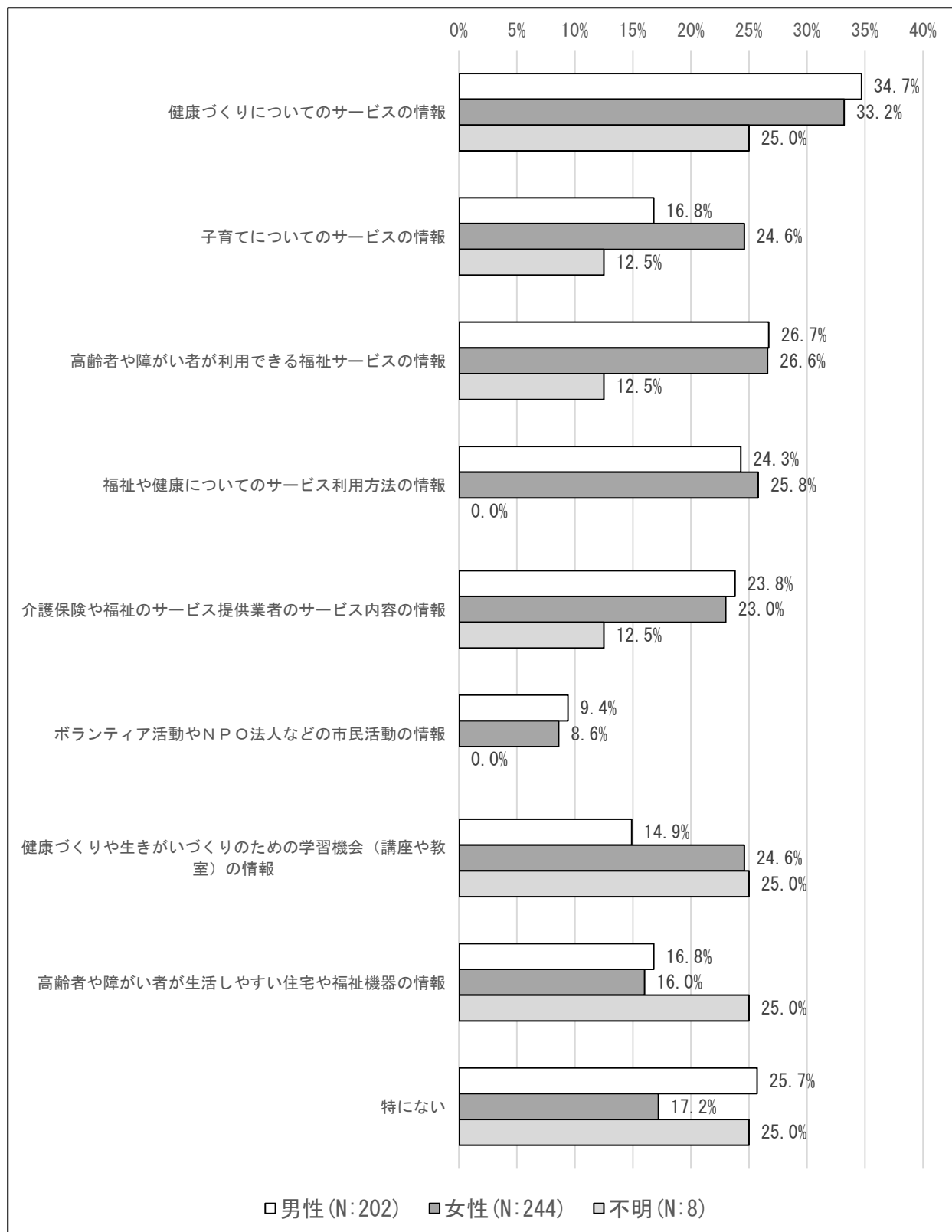
「健康づくりについてのサービスの情報」が 33.7%、「高齢者や障がい者が利用できる福祉サービスの情報」が 26.4%、「福祉や健康についてのサービス利用方法の情報」が 24.7%、「介護保険や福祉のサービス提供者のサービス内容の情報」が 23.1%となっている。

【前回との比較】



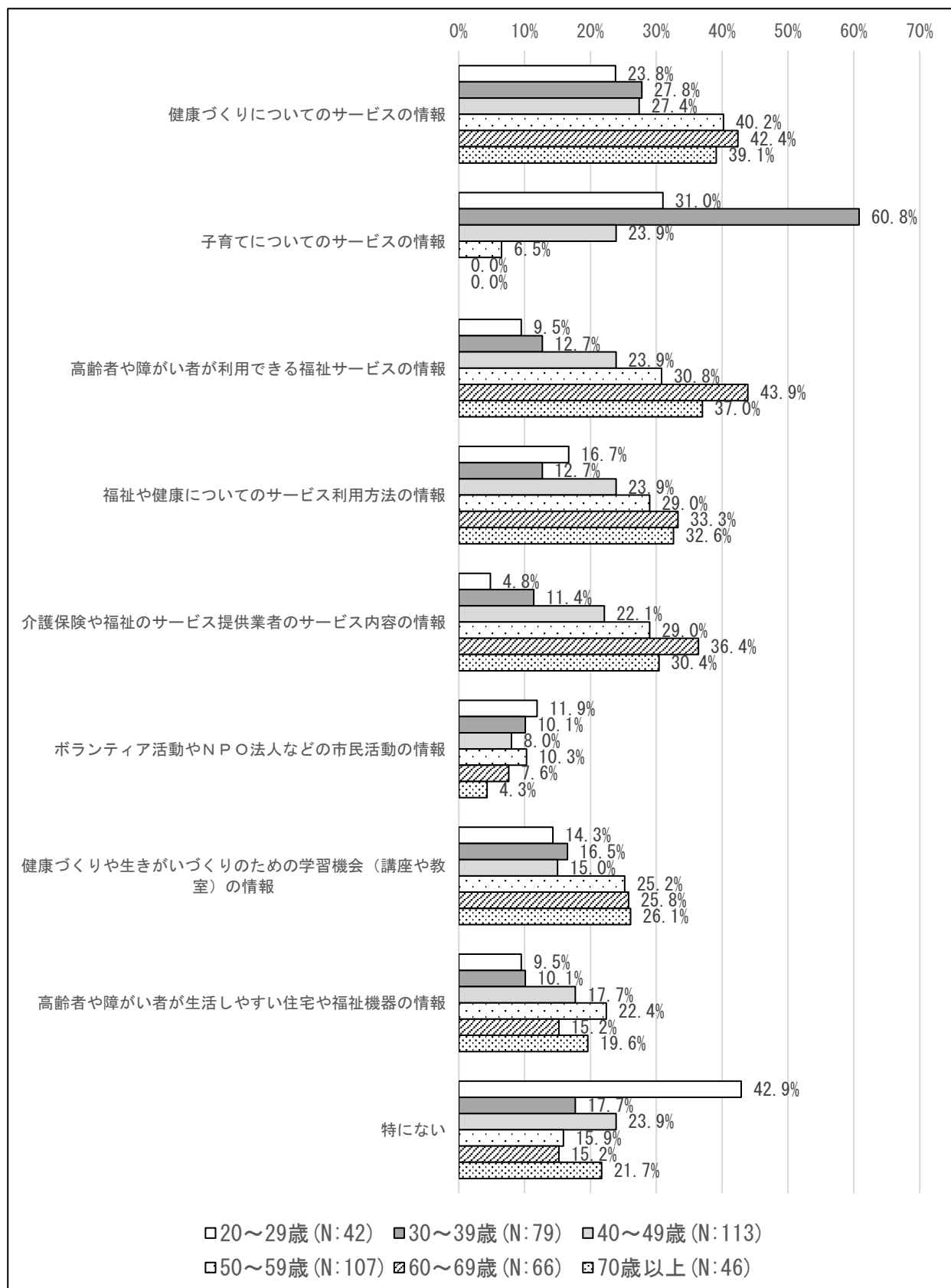
前回より「高齢者や障がい者が利用できる福祉サービスの情報」の割合が低くなっている。

【男女別】



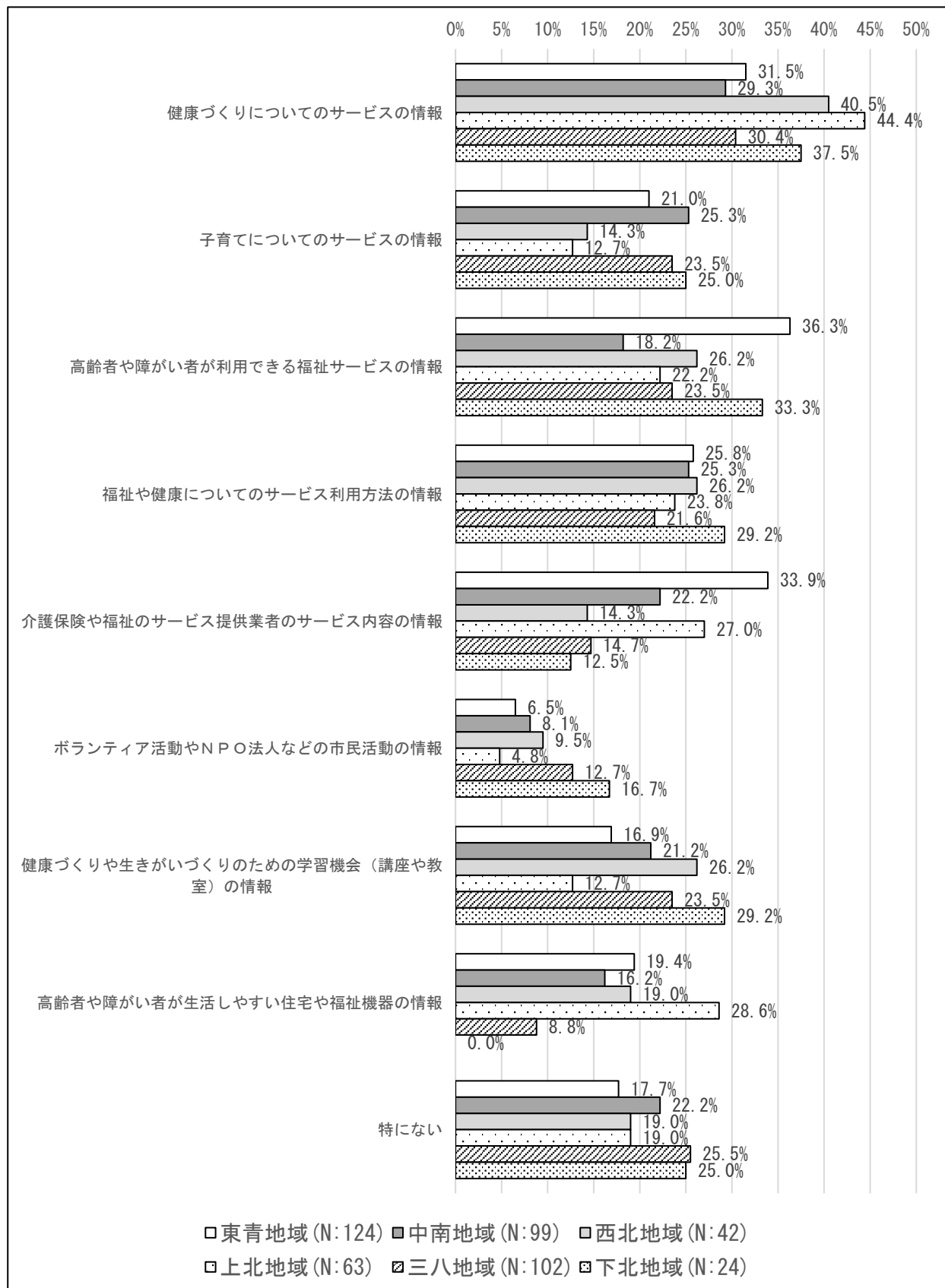
男女ともに同様の傾向にあるが、「女性」は「子育てについてのサービスの情報」、「健康づくりや生きがいづくりのための学習機会（講座や教室）の情報」の割合が「男性」と比べて高く、「男性」は「特にない」の割合が高い。

【年代別】



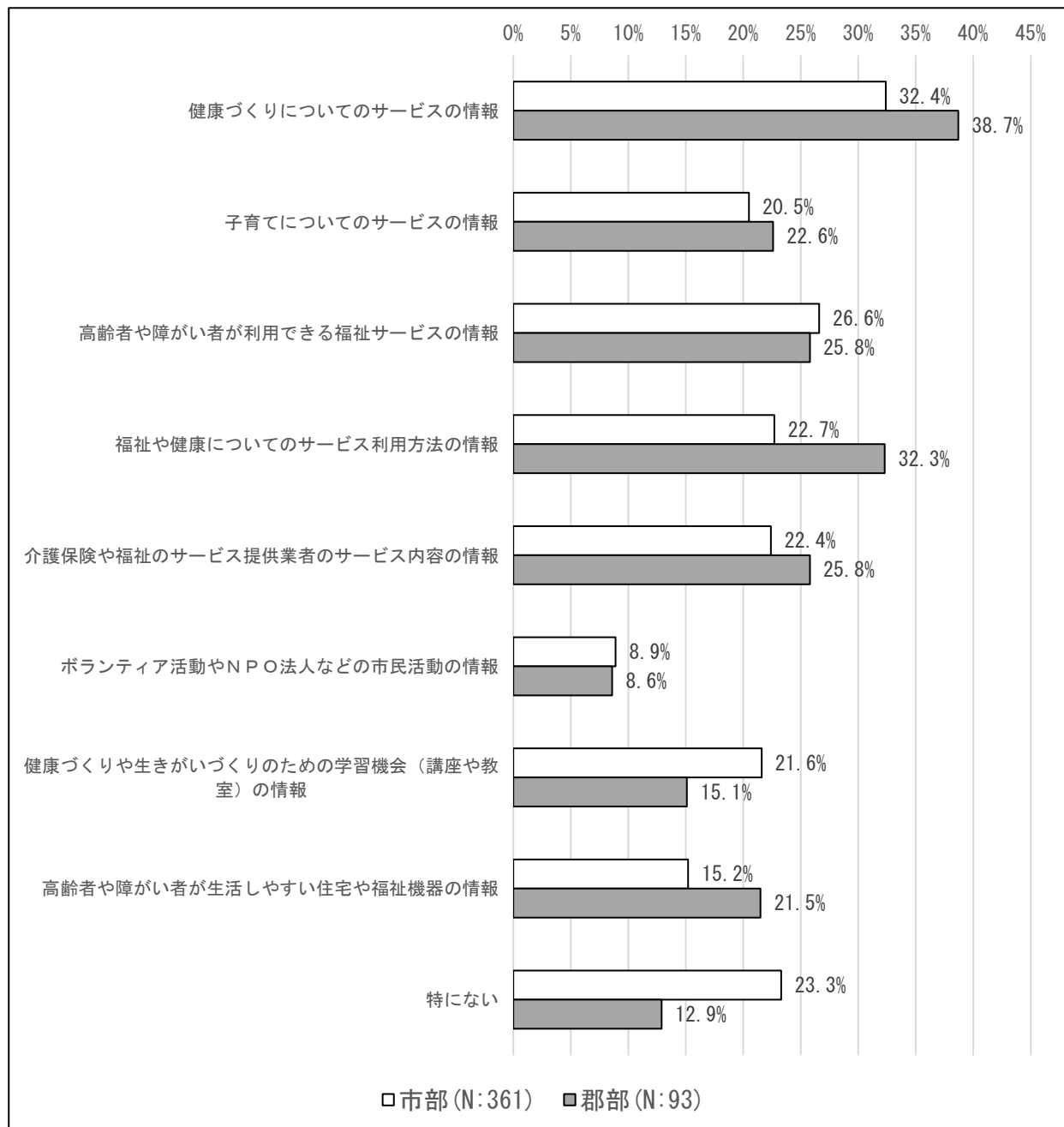
「20代」は「特にない」、「30代」は「子育てについてのサービスの情報」、「50代」は「健康づくりについてのサービスの情報」、「60代」以上は「健康づくりについてのサービスの情報」、「高齢者や障がい者が利用できる福祉サービスの情報」がそれぞれ高くなっている。

【地域別】



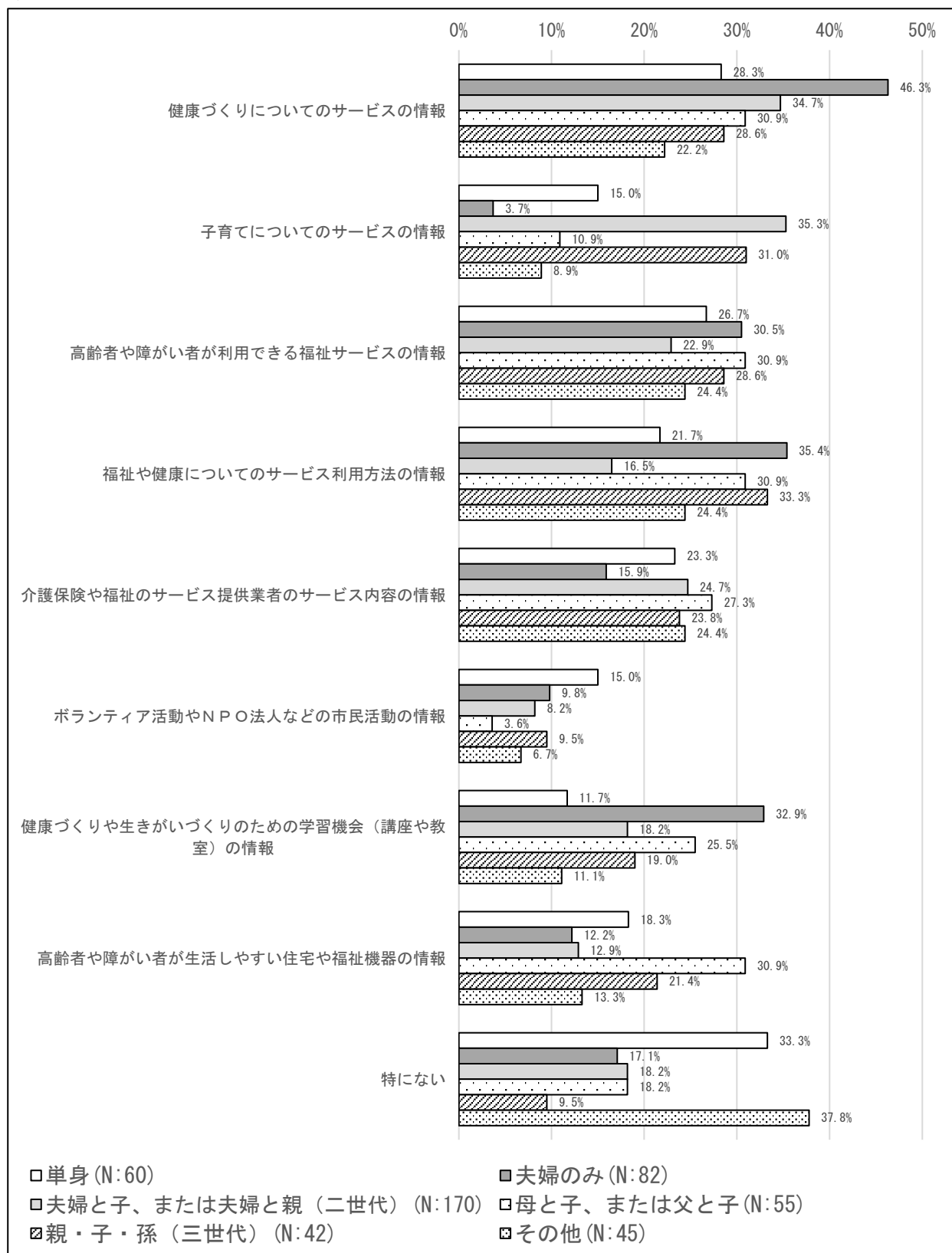
全ての地域において「健康づくりについてのサービスの情報」が最も高い。

【市部・郡部別】



「市部」、「郡部」ともに「健康づくりについてのサービスの情報」が高く、次いで「市部」は「高齢者や障がい者が利用できる福祉サービスの情報」、「郡部」は「福祉や健康についてのサービス利用方法の情報」となっている。

【家族構成別】



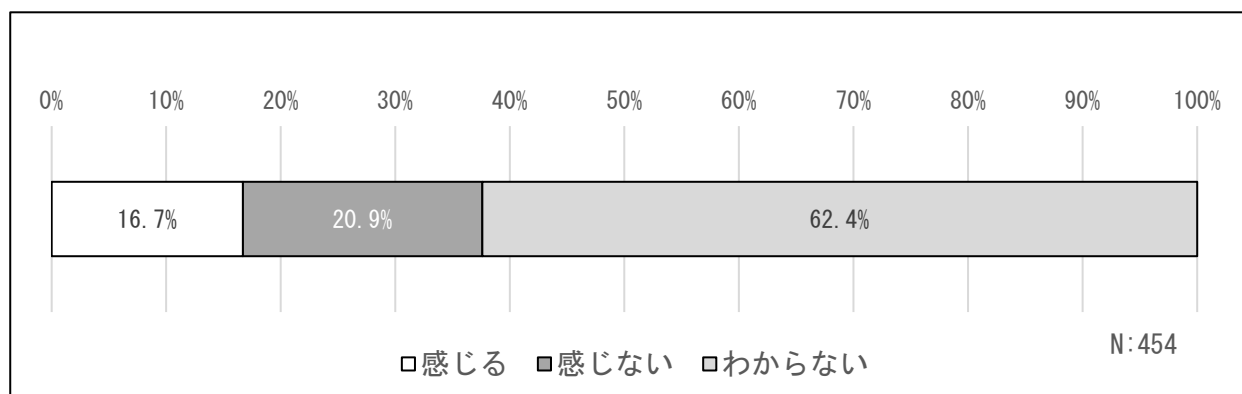
「夫婦のみ」は「健康づくりについてのサービスの情報」の割合が高くなっている。

「夫婦と子、または夫婦と親（二世帯）」は「健康づくりについてのサービスの情報」、「子育てについてのサービスの情報」の割合が高くなっている。

「単身」は「特になし」の割合が高くなっている。

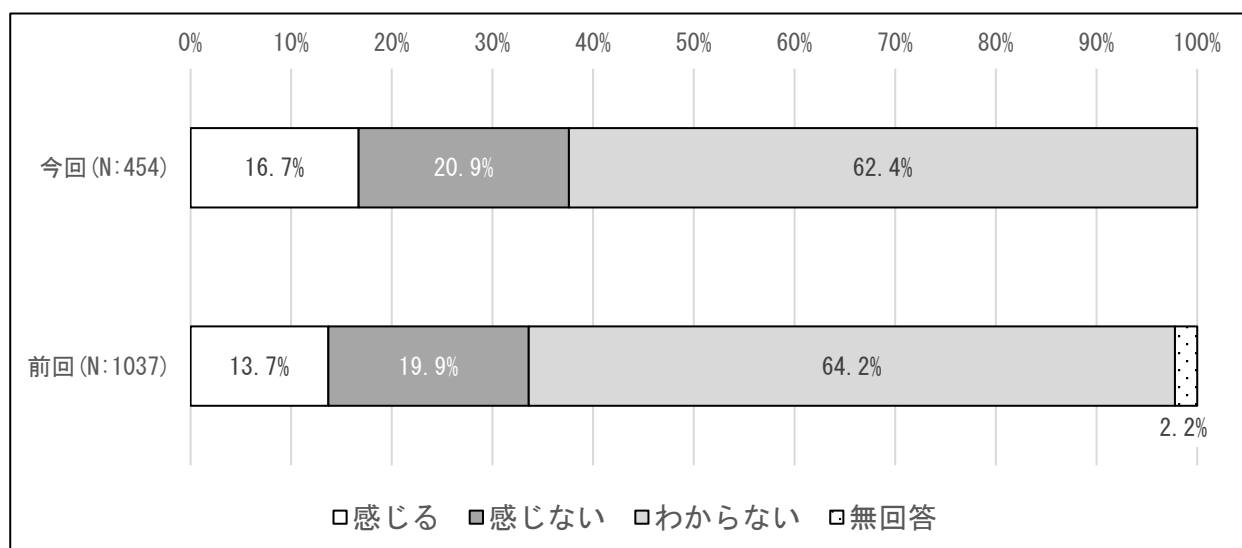
問 16 お住まいの地域では、必要な時に適切な福祉サービスを受けられる体制が整っていると感じますか。（1つ選択）

・必要な時に適切な福祉サービスを受けられる体制

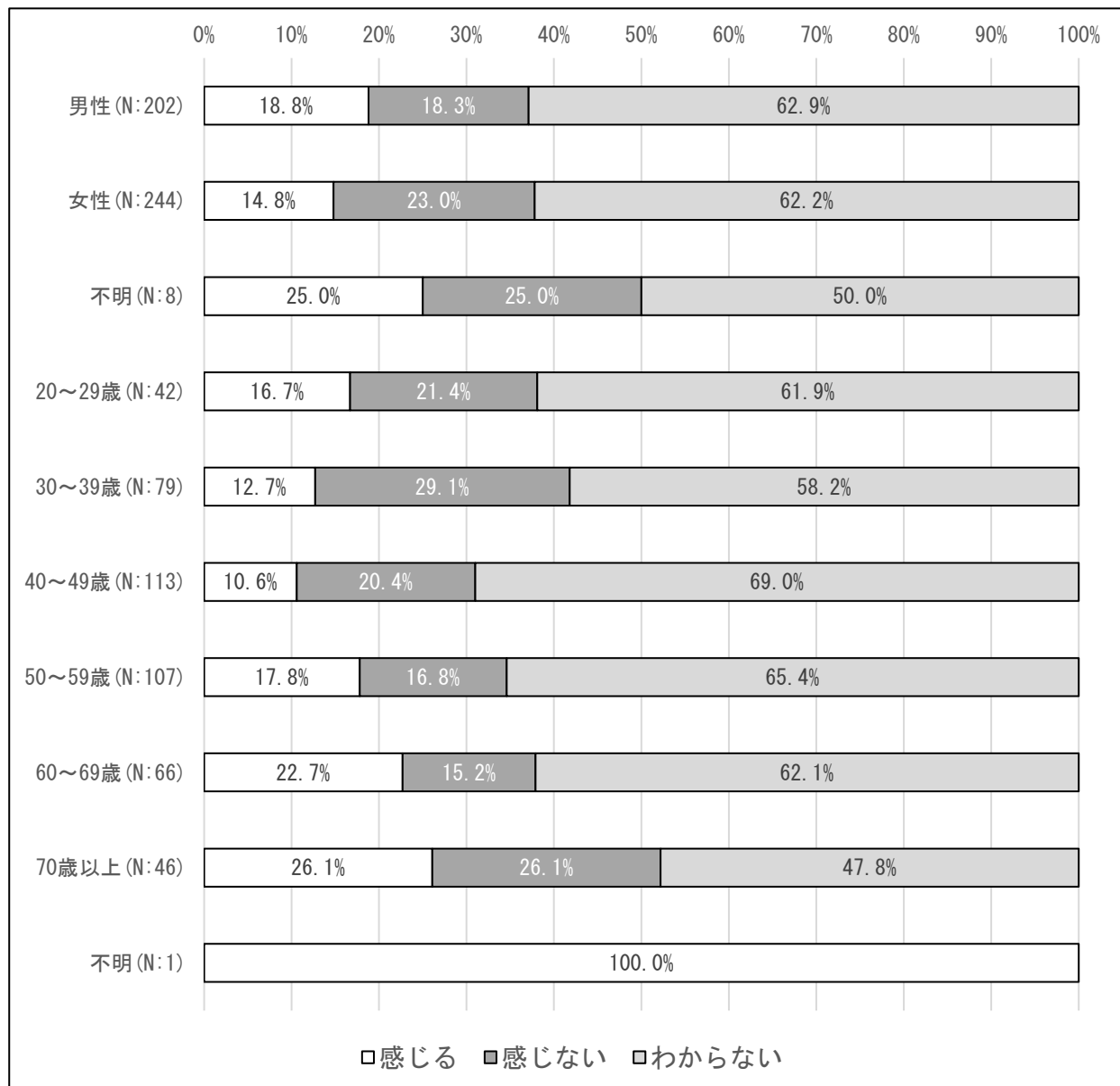


「感じる」が16.7%、「感じない」が20.9%、「わからない」が62.4%となっている。

【前回との比較】



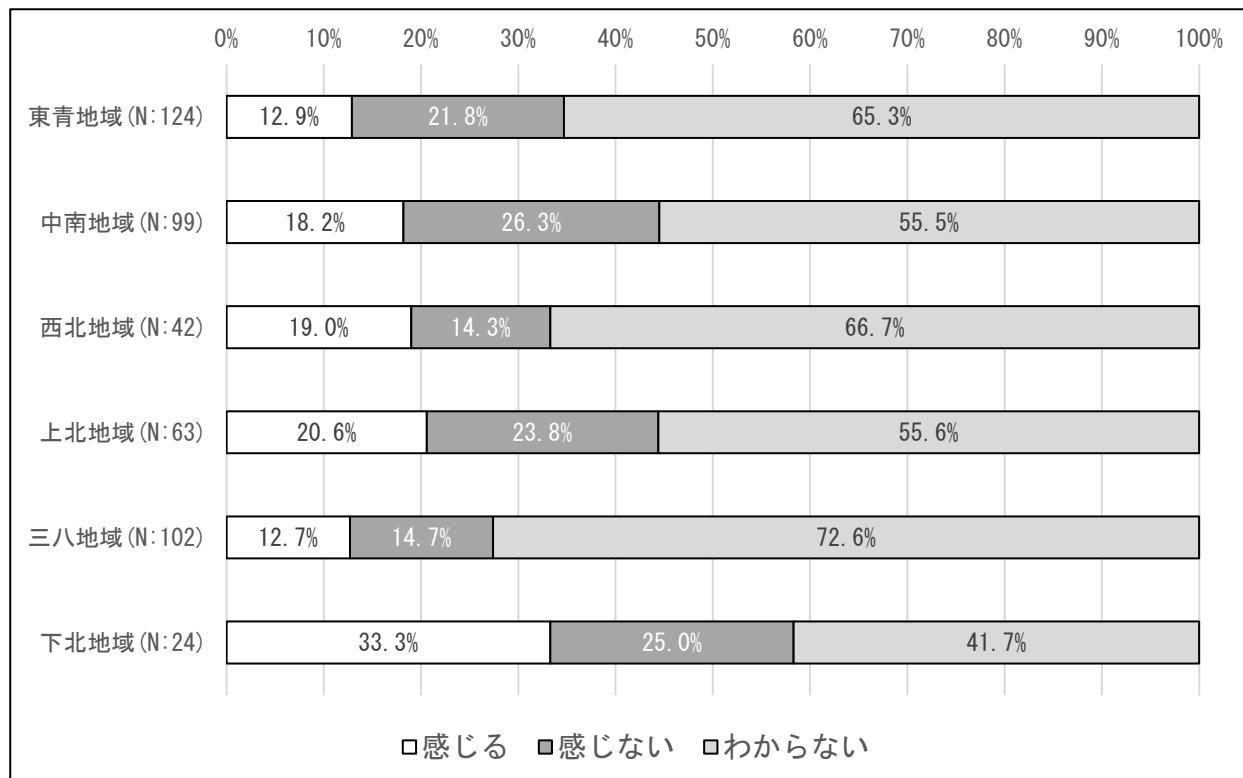
【男女別・年代別】



「40代」以下は「感じない」が「感じる」より、「60代」以上は「感じる」が「感じない」より高くなっている。

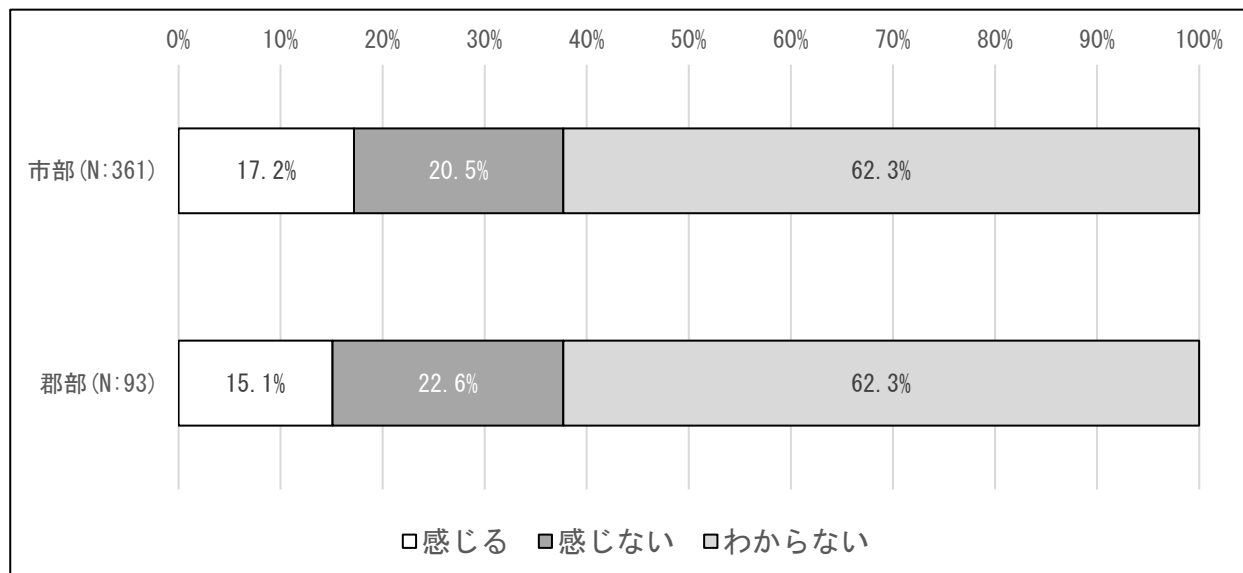
「40代」は体制が整っていると「感じる」割合が10.6%と最も低く、50代以上は年代が上がるにつれて「感じる」割合が増えている。

【地域別】

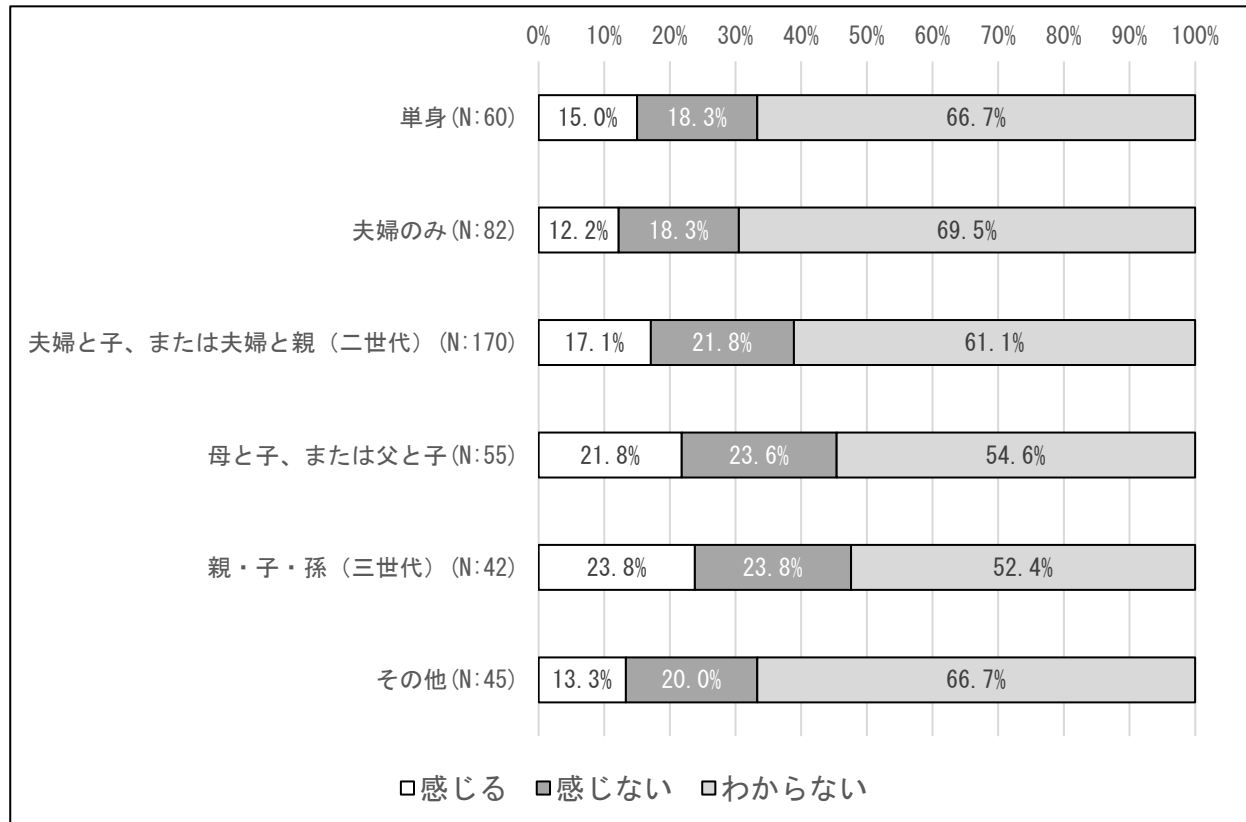


「東青地域」、「三八地域」は「感じる」の割合が他地域と比べて低くなっている。

【市部・郡部別】



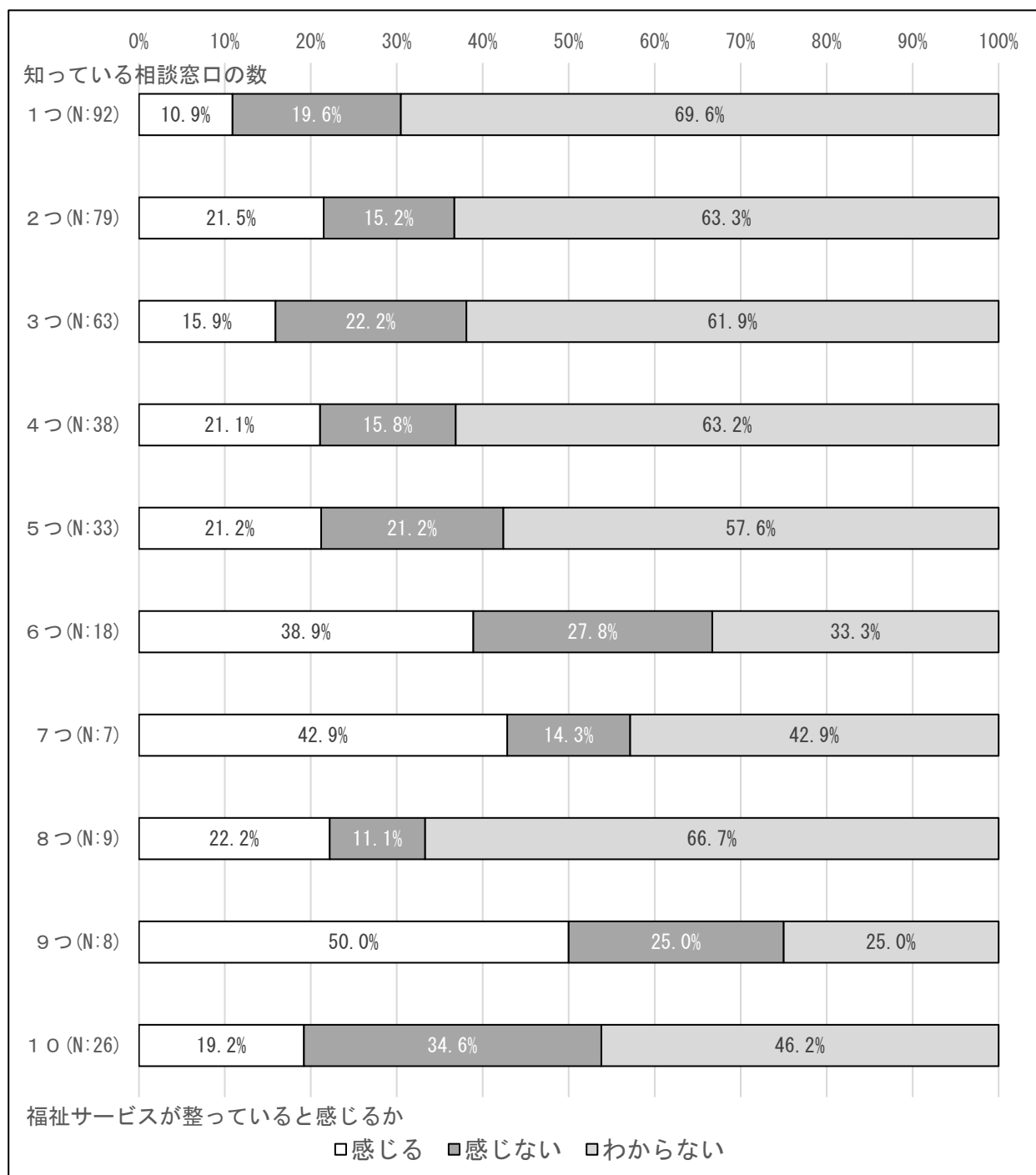
【家族構成別】



「親・子・孫（三世帯）」、「母と子、または父と子」は「感じる」の割合が他の家族構成と比べると高くなっている。

問 13 知っている相談窓口の数

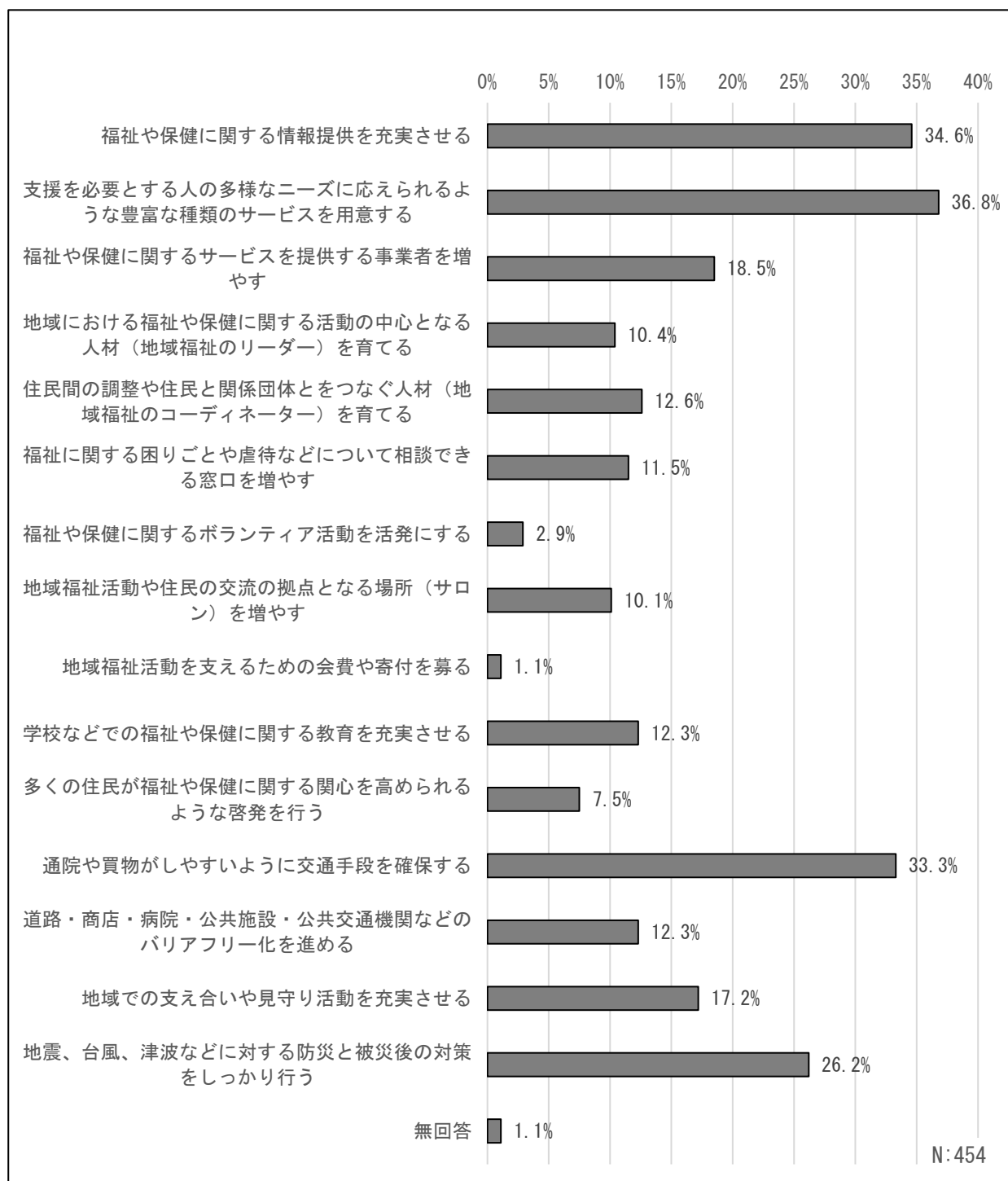
×問 16 福祉サービスが整っていると感じるか



知っている相談窓口の数が多いほど、福祉サービスが整っていると感じる傾向にある。

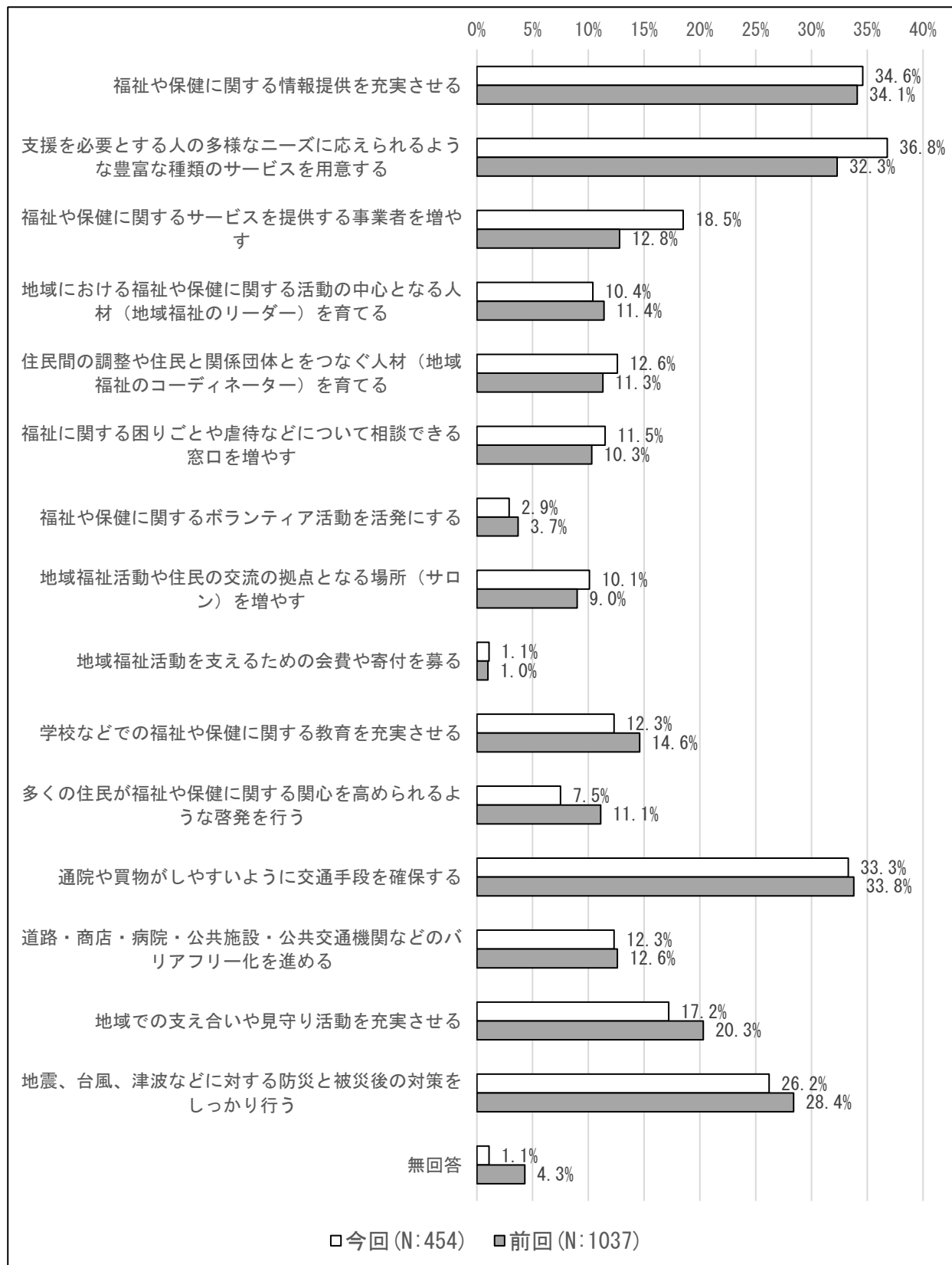
問 17 誰もが住み慣れた地域で安心して生活していくために、どのようなことが必要だと思いますか。
(3つまで選択)

・ 安心な生活に必要なこと



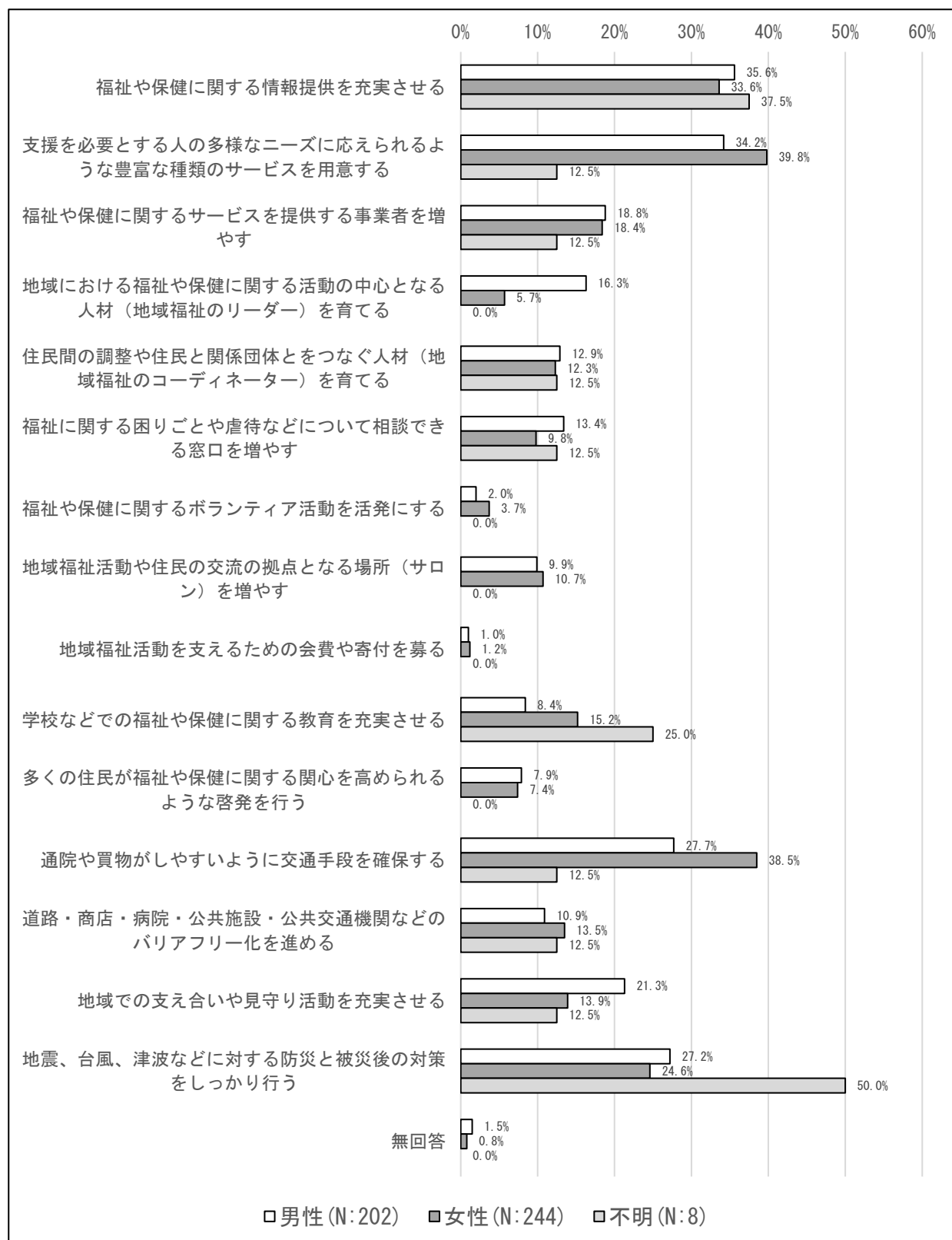
「支援を必要とする人の多様なニーズに応えられるような豊富な種類のサービスを用意する」が36.8%、「福祉や保健に関する情報提供を充実させる」が34.6%、「通院や買物がしやすいように交通手段を確保する」が33.3%、「地震、台風、津波などに対する防災と被災後の対策をしっかりと行う」が26.2%となっている。

【前回との比較】



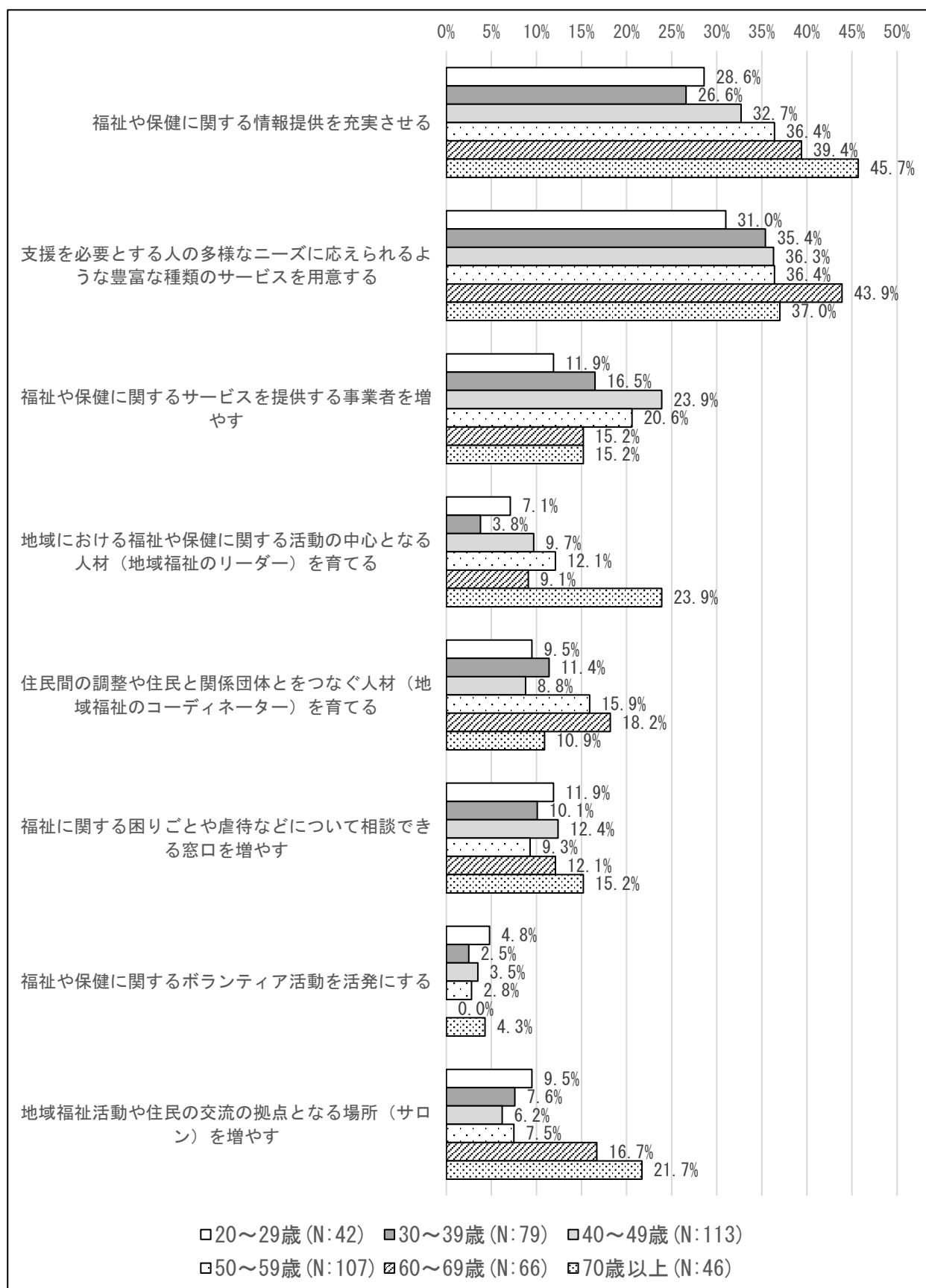
前回より「支援を必要とする人の多様なニーズに応えられるような豊富な種類のサービスを用意する」、「福祉や保健に関するサービスを提供する事業者を増やす」の割合が高くなっている。

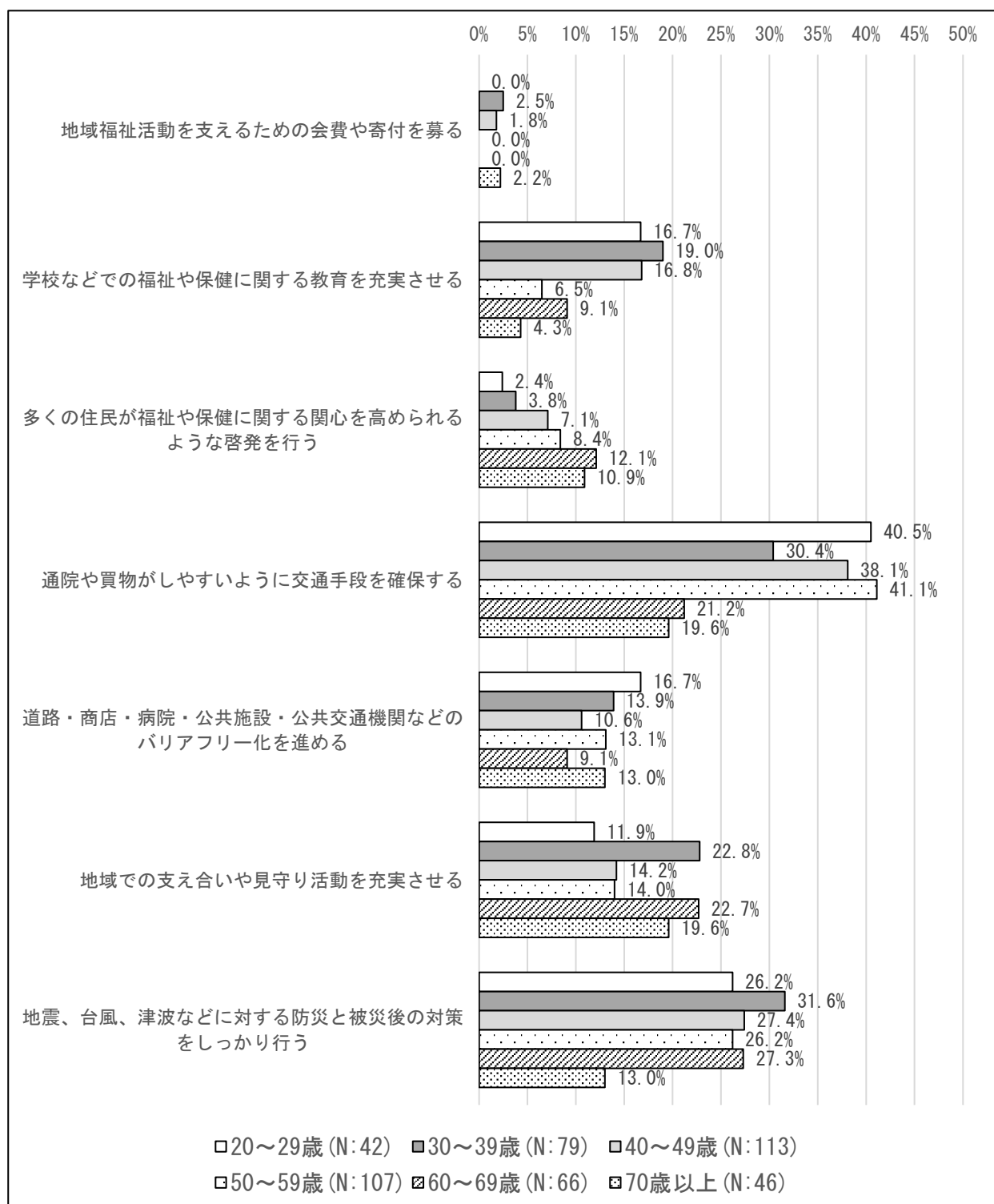
【男女別】



男性は、「福祉や保健に関する情報提供を充実させる」が最も高く、次いで「支援を必要とする人の多様なニーズに応えられるような豊富な種類のサービスを用意する」、「通院や買物がしやすいように交通手段を確保する」の順となっている。女性は、「支援を必要とする人の多様なニーズに応えられるような豊富な種類のサービスを用意する」が最も大きく、次いで「通院や買物がしやすいように交通手段を確保する」、「福祉や保健に関する情報提供を充実させる」の順となっている。

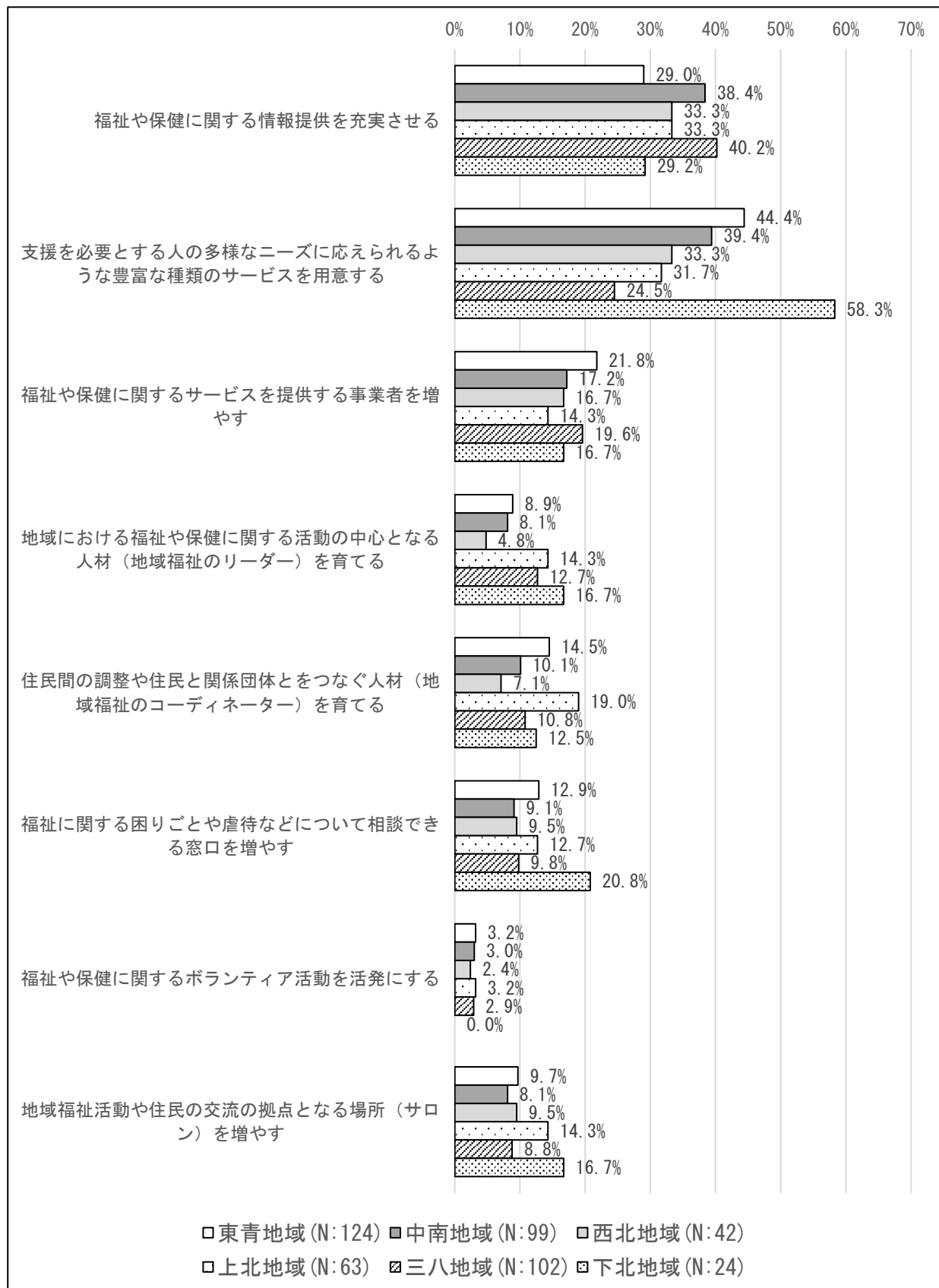
【年代別】

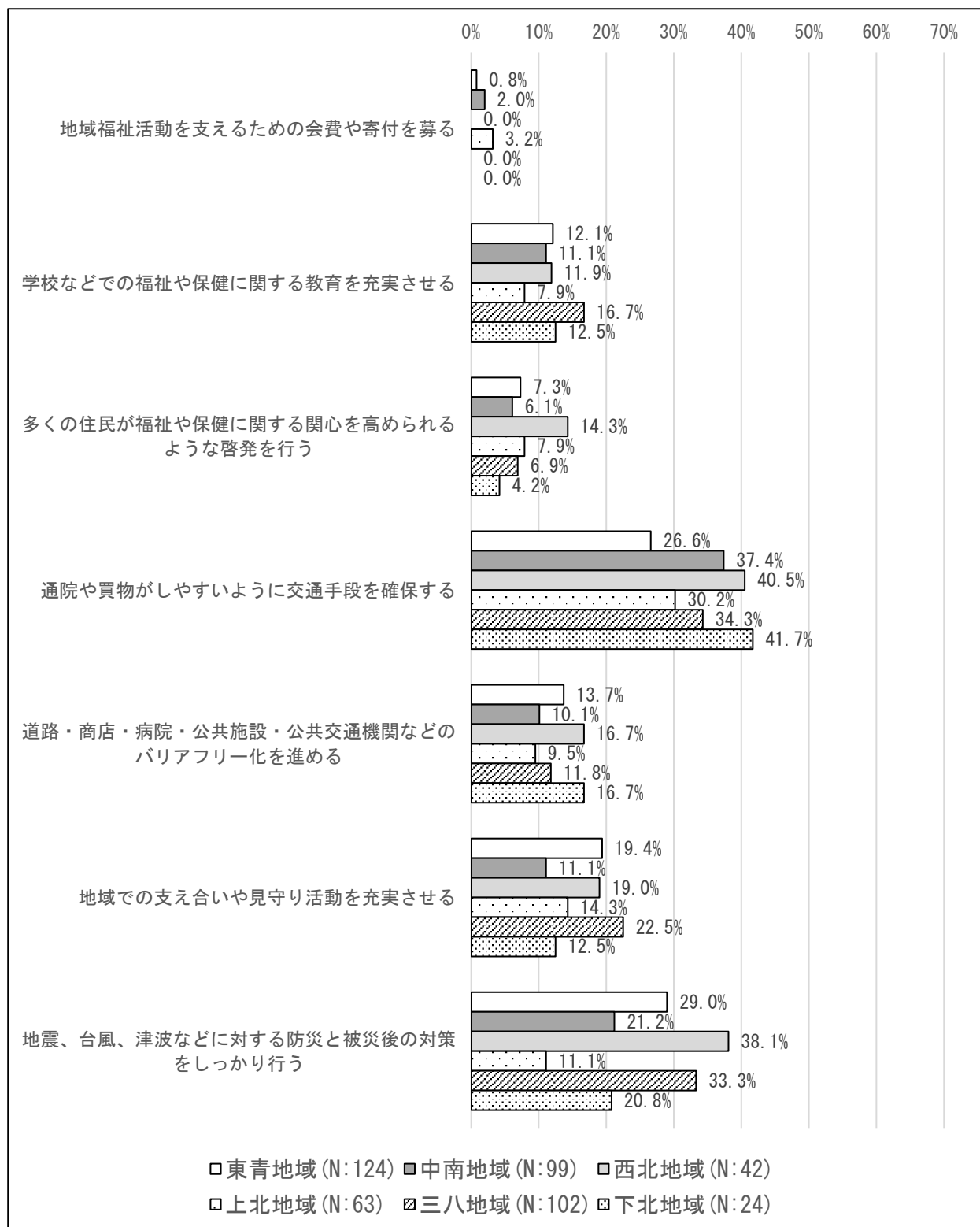




「20代」、「40代」、「50代」は「通院や買物がしやすいように交通手段を確保する」、「30代」、「60代」は「支援を必要とする人の多様なニーズに応えられるような豊富な種類のサービスを用意する」、「70代」以上は「福祉や保健に関する情報提供を充実させる」がそれぞれ最も高くなっている。

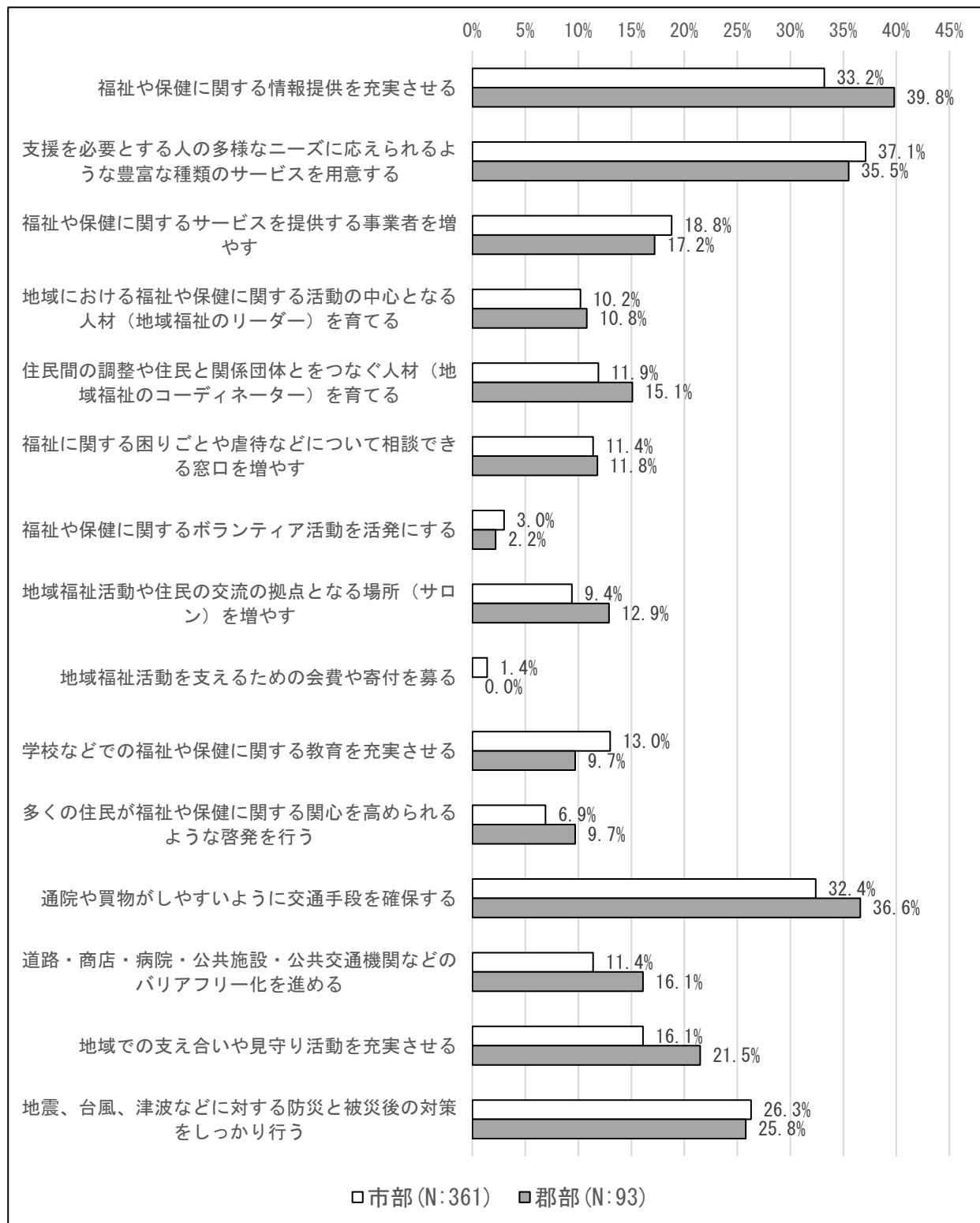
【地域別】





「東青地域」、「中南地域」、「下北地域」は「支援を必要とする人の多様なニーズに応えられるような豊富な種類のサービスを用意する」が最も大きく、「西北地域」は「通院や買物がしやすいように交通手段を確保する」が最も高くなっている。「上北地域」、「三八地域」は「福祉や保健に関する情報提供を充実させる」が最も高くなっている。

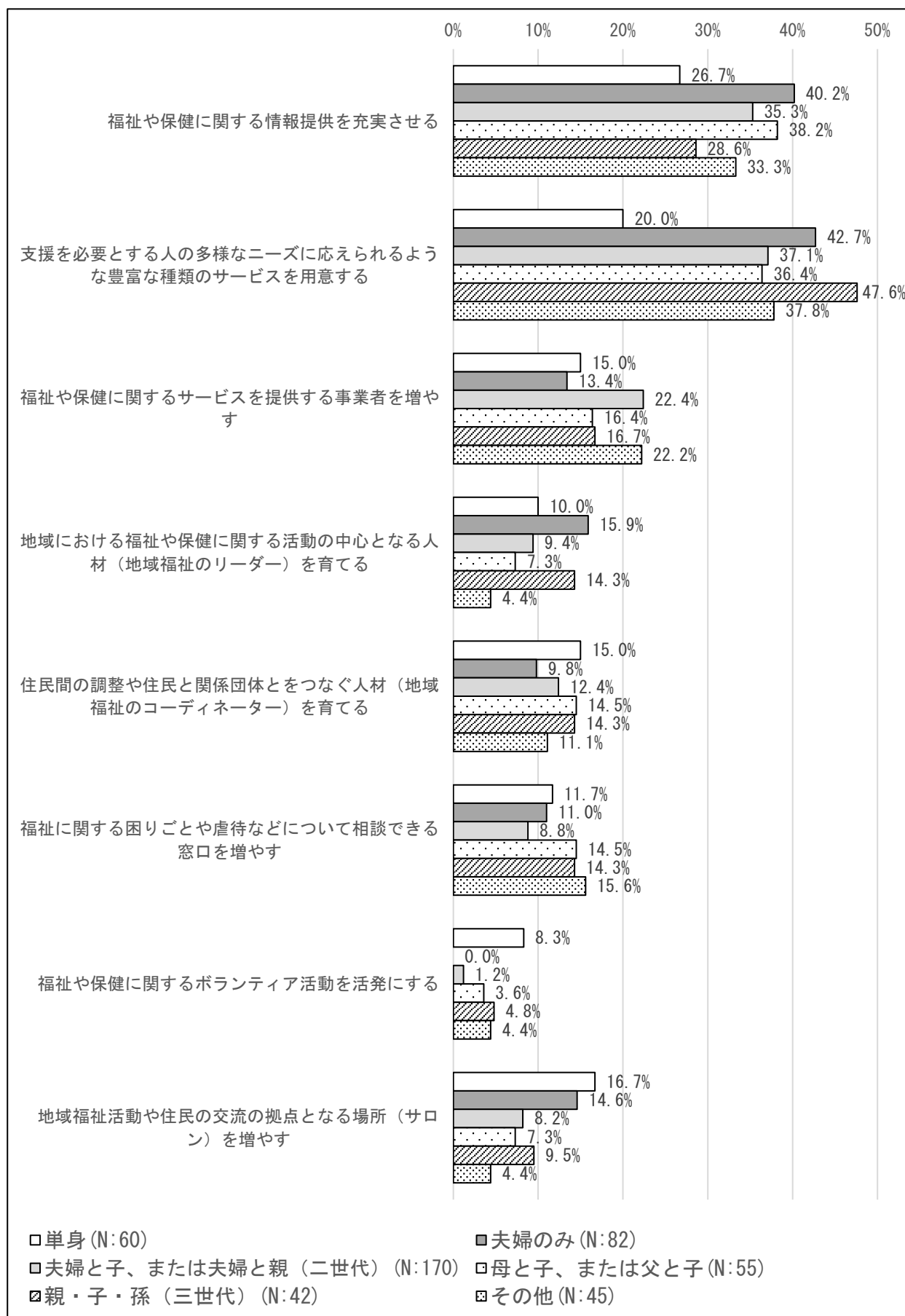
【市部・郡部別】

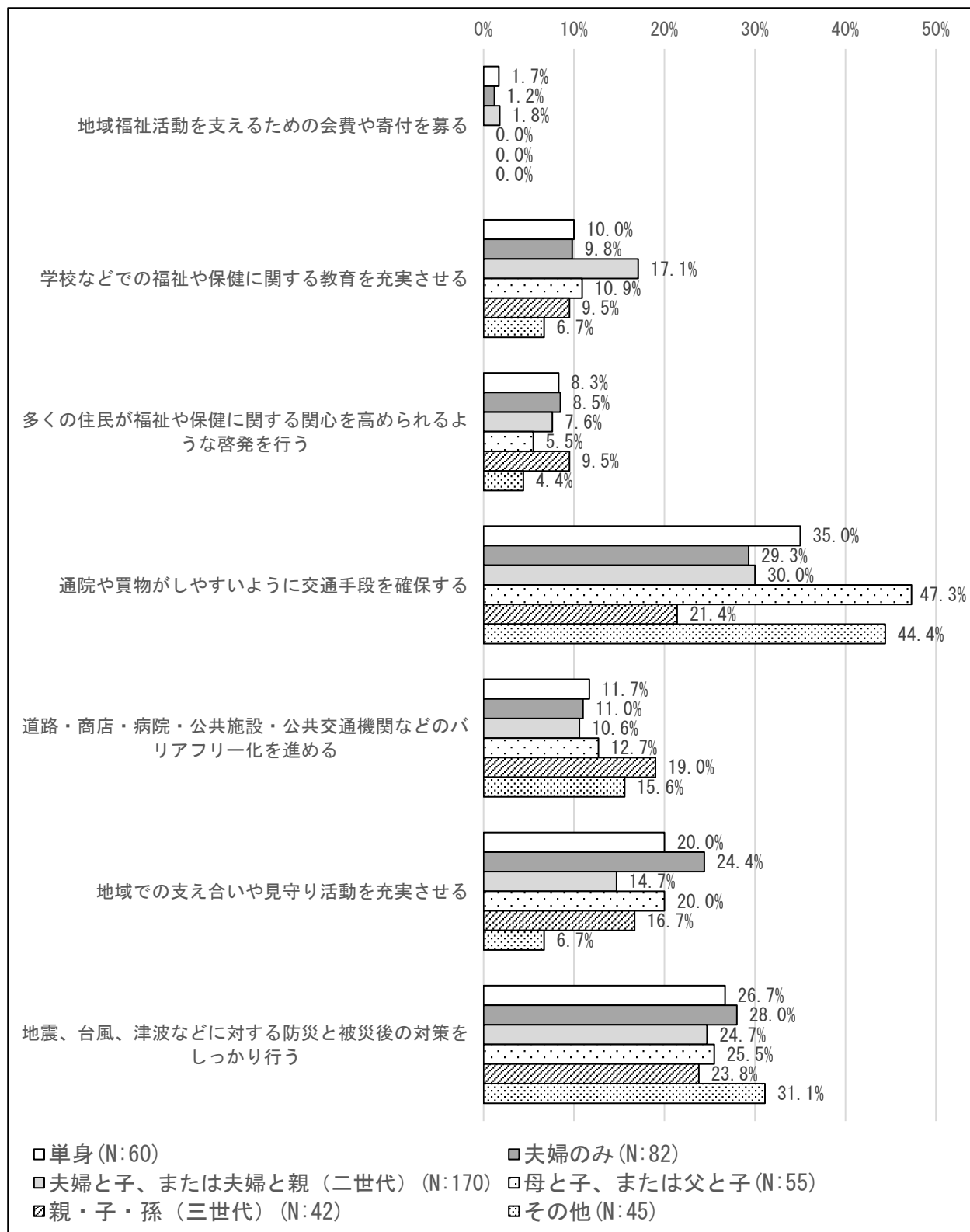


「市部」は、「支援を必要とする人の多様なニーズに応えられるような豊富な種類のサービスを用意する」が最も高く、次いで「福祉や保健に関する情報提供を充実させる」、「通院や買物がしやすいように交通手段を確保する」の順となっている。

「郡部」は、「福祉や保健に関する情報提供を充実させる」が最も高く、次いで「通院や買物がしやすいように交通手段を確保する」、「支援を必要とする人の多様なニーズに応えられるような豊富な種類のサービスを用意する」の順となっている。

【家族構成別】





「夫婦のみ」は「福祉や保健に関する情報提供を充実させる」、「支援を必要とする人の多様なニーズに応えられるような豊富な種類のサービスを用意する」が高く、「親・子・孫（三世代）」は、「支援を必要とする人の多様なニーズに応えられるような豊富な種類のサービスを用意する」が高くなっている。

「母と子、または父と子」は、「通院や買物がしやすいように交通手段を確保する」が高くなっている。

地域福祉の推進に向けた青森県民の意識に関するアンケート調査

アンケート調査へのご協力のお願い

青森県では、各市町村地域福祉計画の推進を支援するため、青森県地域福祉支援計画を策定しています。

この計画を着実に進めるため、県民の皆さんが地域福祉についてどのように感じているのかをお聞かせいただき、計画推進の基礎資料とさせていただきたく、「地域福祉の推進に向けた青森県民の意識に関するアンケート調査」を実施することとしました。

アンケートは、県内にお住まいの20歳以上の方2,000名を住民基本台帳から無作為に選ばせていただき、お願いしております。地域福祉の推進に向けた大切な資料となりますので、お忙しい中大変恐縮ですが、ぜひ調査にご協力くださるようお願いいたします。

なお、アンケートは無記名です。ご記入いただいた内容につきましては、全て統計的に処理するもので、回答者が特定されることはありません。また、集計結果につきましては、後日、青森県のホームページ等で公表する予定です。

【回答にあたってのお願い】

- 1 封筒の宛名にお名前が記載されている方がご回答くださるようお願いいたします。
- 2 この調査は、ウェブアンケート形式で実施します。ご自身のスマートフォン等からお答えください。（通信料は自己負担となりますのでご了承ください。）
- 3 該当する回答がない場合でも、一番近いと思う選択肢を必ず選んでください。回答数は質問によって異なりますのでご注意ください。

回答期間 令和6年10月2日～10月21日

ご回答いただく上で不明な点、調査に対するお問い合わせは、下記までお願いします。

青森県 健康医療福祉部 健康医療福祉政策課 地域福祉推進グループ

電話 017-734-9281

E-mail kkenkofu@pref.aomori.lg.jp

地域福祉の推進に向けた青森県民の意識に関するアンケート調査票

《Ⅰ あなた自身のことについておうかがいします》

問1 あなたの性別をお答えください。（1つ）

- ① 男 ② 女 ③ 答えたくない

問2 あなたの年齢をお答えください。

満		歳
---	--	---

問3 あなたがお住まいの市町村をお答えください。

--

問4 あなたは現在、どのような家族構成で暮らしていますか。（1つ）

- ① 単身
② 夫婦のみ
③ 夫婦と子、または夫婦と親（二世帯）
④ 母と子、または父と子
⑤ 親・子・孫（三世帯）
⑥ その他

《Ⅱ あなたと地域とのかかわりについておうかがいします》

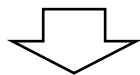
※ 「地域」とは、おおむね小学校区とお考えいただきご回答ください。

問5 あなたは、地域の人とどのような付き合いをしていますか。（2つまで）

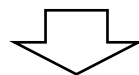
- ① 仲がよく、お互いの家を往き来する
② 会えば立ち話をする
③ 顔を合わせればあいさつをする
④ 顔は知っているが声をかけることはない
⑤ ほとんど顔も知らない
⑥ その他

問6 あなたは地域活動に参加していますか。(1つ)

① 参加している



② 参加していない



問6-1 参加している地域活動
(あてはまるものすべて)

- ① 一斉清掃
- ② 祭り
- ③ 地区運動会・スポーツ大会
- ④ 資源回収
- ⑤ 小中学校行事
- ⑥ 子ども会行事
- ⑦ 青年会活動
- ⑧ 老人クラブ活動
- ⑨ 女性団体活動
- ⑩ 防災活動
- ⑪ 育児支援活動
- ⑫ その他

問6-2 参加していない理由
(3つまで)

- ① 仕事を持っているので時間がない
- ② どのような活動があるのか地域活動に関する情報がない
- ③ 興味を持てる活動が見つからない
- ④ 健康や体力に自信がない
- ⑤ 家事・育児に忙しくて時間がない
- ⑥ 家族等の介護などで時間がない
- ⑦ 地域活動をする上での経済的な負担が大きい
- ⑧ 家族の理解がない
- ⑨ 地域にあまりかかわりたくない
- ⑩ 地域活動の必要性を感じない
- ⑪ その他

《Ⅲ 地域の支え合いに関するあなたのお考えについておうかがいします》

問7 困っていることや不安なことがあるとき、あなたは誰に相談しますか。
(あてはまるものすべて)

- | | |
|-----------------|--------------|
| ① 家族 | ② 親戚 |
| ③ 知人・友人 | ④ 近所の人 |
| ⑤ 市役所や役場 | ⑥ 民生委員・児童委員 |
| ⑦ かかりつけの医者や看護師 | ⑧ 福祉サービス事業者 |
| ⑨ 社会福祉協議会 | ⑩ ボランティア団体 |
| ⑪ その他(わからないを含む) | ⑫ 相談できる人はいない |
| ⑬ 相談しない | |

問7－1 問7で「⑬ 相談しない」を選んだ方におうかがいします。
その理由は何ですか。（1つ）

- ① 自分でぎりぎりまでがんばりたいから
- ② 自分や家族で何とかやっているから
- ③ 誰に相談すればいいかわからないから
- ④ 気軽に相談できる人がいないから
- ⑤ 自分や家族のことを他人に知られたくないから
- ⑥ その他

問8 あなたには、困った時に頼れる人はいますか。（1つ）

- ① いる
- ② いない

問8－1 問8で「①いる」を選んだ方におうかがいします。
あなたは誰を頼りますか。（あてはまるものすべて）

- ① 家族・親族
- ② 友人・知人
- ③ 自治会・町内会・近所の人
- ④ 仕事・学校関係者（職場の同僚・学校の先生等）
- ⑤ 行政機関（国や自治体）
- ⑥ NPO等の民間団体・ボランティア団体
- ⑦ 社会福祉協議会
- ⑧ 病院・診療所の医師
- ⑨ その他

問9 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。（1つ）

- ① 決してない
- ② ほとんどない
- ③ たまにある
- ④ 時々ある
- ⑤ しばしばある・常にある

問 10 隣近所で困っている人がいる場合に、

- ①あなたが手助けできることは何ですか。（できることすべて）
- ②隣近所の人に手助けしてほしいことは何ですか。（してほしいことすべて）

項目	①手助け <u>できる</u> こと	②手助け <u>してほしい</u> こと
(1) 声かけ		
(2) 話し相手		
(3) 悩みごとや心配事の相談		
(4) ちょっとした買物		
(5) ちょっとした家事（電球交換など）		
(6) ごみ出し		
(7) 除雪		
(8) 短時間の子どもの預かり		
(9) 子育ての相談		
(10) 保育園や幼稚園の送迎		
(11) 通院の付き添い		
(12) 病気のときの看病		

問 11 お住まいの地域に、次のような交流の場がありますか。(あてはまるものすべて)

- ① 高齢者
② 認知症の方や家族
③ 子育て中の親子
④ 障がい者
⑤ 誰でも集まれる場
⑥ 交流の場はない・わからない

問 1 1 - 1 地域の交流の場を利用したことがありますか。(1つ)

- ① 利用したことがある・利用している
② 利用したことはないが、今後利用してみたい
③ 利用したことはないし、今後も利用しない

《Ⅳ ボランティア活動についておうかがいします》

問 1 2 ボランティアへ参加していますか。(1つ)

- ① 参加している
② 参加していないが、今後参加したい
③ 参加していないし、今後も参加しない

問 1 2 - 1 問 1 2 で「① 参加している」を選んだ方にお聞きします。参加したきっかけは何ですか。
(3 つまで)

- ① 困っている人や団体に頼まれたから
- ② 友人や家族などに誘われたから
- ③ 人の役に立ちたいから
- ④ 自分たちのために必要な活動だから
- ⑤ 楽しそうだから
- ⑥ 余暇を有効に活用したいから
- ⑦ 趣味や特技を生かしたいから
- ⑧ 学校の授業などで機会があったから
- ⑨ 付き合い上やむをえず
- ⑩ 何となく
- ⑪ その他

《V 様々な相談窓口についておうかがいします》

問 1 3 次の相談窓口を知っていますか。(知っているものすべて)

- ① 民生委員・児童委員
- ② 身体障害者相談員
- ③ 知的障害者相談員
- ④ 地域包括支援センター
- ⑤ 自殺対策のための相談窓口
- ⑥ 児童虐待の相談窓口
- ⑦ 障害者虐待の相談窓口
- ⑧ 高齢者虐待の相談窓口
- ⑨ 生活の困りごとや悩みごとの相談窓口
(生活困窮者自立相談窓口)
- ⑩ ひきこもりの相談窓口

《VI 福祉に関する情報と今後の地域福祉のあり方についておうかがいします》

問 1 4 あなたは、福祉に関する情報を何から入手していますか。(あてはまるものすべて選択)

- ① 市町村の広報
- ② 社会福祉協議会の広報
- ③ 民生委員・児童委員
- ④ 隣近所
- ⑤ 回覧板
- ⑥ 病院や施設
- ⑦ 新聞
- ⑧ テレビやラジオ
- ⑨ 書籍や雑誌
- ⑩ 家族や友人
- ⑪ インターネット
- ⑫ その他
- ⑬ 特に入手していない

問１５ あなたは、福祉や健康についてどのような情報を知りたいですか。（３つまで選択）

- ① 健康づくりについてのサービスの情報
- ② 子育てについてのサービスの情報
- ③ 高齢者や障がい者が利用できる福祉サービスの情報
- ④ 福祉や健康についてのサービス利用方法の情報
- ⑤ 介護保険や福祉のサービス提供業者のサービス内容の情報
- ⑥ ボランティア活動やＮＰＯ法人などの市民活動の情報
- ⑦ 健康づくりや生きがいづくりのための学習機会（講座や教室）の情報
- ⑧ 高齢者や障がい者が生活しやすい住宅や福祉機器の情報
- ⑨ 特にない

問１６ お住まいの地域では、必要な時に適切な福祉サービスを受けられる体制が整っていると感じますか。
（１つ選択）

- ① 感じる ② 感じない ③ わからない

問１７ 誰もが住み慣れた地域で安心して生活していくために、どのようなことが必要だと思いますか。（３つまで選択）

- ① 福祉や保健に関する情報提供を充実させる
- ② 支援を必要とする人の多様なニーズに応えられるような豊富な種類のサービスを用意する
- ③ 福祉や保健に関するサービスを提供する事業者を増やす
- ④ 地域における福祉や保健に関する活動の中心となる人材（地域福祉のリーダー）を育てる
- ⑤ 住民間の調整や住民と関係団体とをつなぐ人材（地域福祉のコーディネーター）を育てる
- ⑥ 福祉に関する困りごとや虐待などについて相談できる窓口を増やす
- ⑦ 福祉や保健に関するボランティア活動を活発にする
- ⑧ 地域福祉活動や住民の交流の拠点となる場所（サロン）を増やす
- ⑨ 地域福祉活動を支えるための会費や寄付を募る
- ⑩ 学校などでの福祉や保健に関する教育を充実させる
- ⑪ 多くの住民が福祉や保健に関する関心を高められるような啓発を行う
- ⑫ 通院や買物がしやすいように交通手段を確保する
- ⑬ 道路・商店・病院・公共施設・公共交通機関などのバリアフリー化を進める
- ⑭ 地域での支え合いや見守り活動を充実させる
- ⑮ 地震、台風、津波などに対する防災と被災後の対策をしっかりと行う

ご協力ありがとうございました。